

筑波大学臨床医学系

業績目録

1984

筑波大学臨床医学系

序

この目録は昭和59年の1年間における筑波大学臨床医学系の業績をまとめたものであります。

原著数は512編と前年度よりも僅かに増加しておりますが、数よりも内容の充実を御覧頂きたいと思います。

臨床医学系の教官は教育・研究のほかに診療という大きな業務をもっていますが、それにも負けずこの業績集を研究活動の指標として発展を続けて行きたいと念じております。

終りに本書の編集を担当された大青、柏木、山下各教授に深甚の謝意を表します。

昭和61年3月

臨床医学系長

岩崎寛和

凡　　例

1. 収録の対象

筑波大学臨床医学系所属の教官が著者ないし発表者（共著者を含む）の業績を対象とした。

2. 記載方針

業績は昭和59年1月1日～12月31日に発表されたものを対象とし、当該教官が所属する研究グループ毎にまとめた。夫々の業績を本業績目録に収録するか否かの判断は、各研究者に委ね、予め配布された用紙に記載された業績はすべて収録した。

3. 業績の分類

各種の業績を次の6種に分類し以下の要領で chronological order に記載した。

i. 原　　著

ii. 総　　説

欧文雑誌名は Index Medicus に準じ和文は公式の略称を用いる。

iii. 著　　書

単行本の場合は、著書名：書名、発行所名、発行地、発行年、

分担執筆の場合は、著書名：表題、書名（編集者）、版数（初版は不要）、
発行所、発行地、発行年、初頁一終頁。

iv. 学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

発表者名：題名、学会名（場所）、月、年（西暦）。

v. 班研究報告

著者名：題名、報告書名、年次、初頁一終頁。

vi. その他（放送、座談会、講演会などで学術的なもの）

発表著名：題名、放送局名、月、日、年、または誌名、巻、頁、年。

なお、著者名は原則として全員を記載し、臨床医学系教官名はゴシック文字とした。

目 次

循環器内科グループ	1
消化器内科グループ	13
呼吸器内科グループ	27
腎臓内科グループ	33
内分泌・代謝グループ	43
リウマチ・アレルギーグループ	51
血液グループ	55
神経内科グループ	61
精神医学グループ	69
皮膚科グループ	73
小児科グループ	81
循環器外科・呼吸器外科グループ	87
消化器外科グループ	109
脳神経外科・救急グループ	117
泌尿器科グループ	129
代謝内分泌外科グループ	143
形成外科グループ	147
小児外科グループ	151
整形外科グループ	157
眼科グループ	165
産婦人科グループ	171
耳鼻咽喉科グループ	183
麻酔グループ	187
歯・口腔グループ	201
放射線グループ	205
臨床病理グループ	219

1984年

臨床医学系教官(昭和59年1月1日~12月31日)

○印は、期間内採用等
△印は、期間内辞職等

1984年（循環器内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 寺崎太郎, 山口巖, 東郷利人, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖, 金澤一郎, 佐久間秀夫：
心筋および刺激伝導系に著明な病変を認めた多発性筋炎の1剖検例。
日本内科学会雑誌 73：54-59, 1984
- No. 2 1月 桜井恒太郎, 河合忠一, 尾藤慶三, 木之下正彦, 鹿野昌彦, 佐々寛己, 檜垣進, 中村仁, 石井正徳, 小川剛：
慢性うっ血性心不全における塩酸プラゾシンの効果。
心臓 16：48-53, 1984
- No. 3 1月 来栖武雄, 山口巖, 東郷利人, 飯田要, 野口祐一, 久賀圭祐, 杉下靖郎, 伊藤巖：
洞房ブロックに関する電気生理学的検討。
心臓ペーリング 1：112-113, 1984
- No. 4 2月 飯田啓治, 杉下靖郎, 松田光生, 小川剛, 鮎坂隆一, 松本龍馬, 藤田享宣, 伊藤巖, 山口徹：
肥大型心筋症のホルター心電図および負荷心電図一心室性不整脈と巨大陰性T波を中心にして。
臨床成人病 14：273-279, 1984
- No. 5 5月 来栖武雄, 山口巖, 東郷利人, 久賀圭祐, 平井信二, 鈴木博之：
Gap現象を呈した His束内ブロックの1症例。
臨床心臓電気生理 7：9-18, 1984
- No. 6 6月 飯田啓治, 杉下靖郎, 松田光生, 山口徹, 鮎坂隆一, 松本龍馬, 藤田享宣, 伊藤巖：
非対称性中隔肥大の病態生理学的特徴：とくに左室短縮最大速度よりみた isoproterenolに対する反応性。
J Cardiography 14：85-93, 1984
- No. 7 6月 小川剛, 山口巖, 飯田啓治, 石井正徳, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖, 山口徹：
心筋梗塞患者における負荷心電図ST上昇ならびに陰性T波正常化の意義。
治療 66：1295-1301, 1984
- No. 8 6月 松本龍馬, 鮎坂隆一, 藤田享宣, 飯田要, 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖：
拡張型心筋症の等尺性負荷における左室収縮および拡張機能の評価。
日本超音波医学会講演論文集 44：567-568, 1984
- No. 9 7月 Akatsuka T., Matsuda M., Takeda T., Kuwako K., Sugishita Y., Akisada M.：
Cardiac image analysis corresponding to physical parameters,
IEEE 1984 International Symposium on Medical Images and ICONS-ISMII
'84, pp. 238-244, 1984
- No. 10 8月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M., Ogawa T., Ajisaka R., Iida K., Ito I.,
Oshima M., Takeda T., Akisada M.：
Functional significance of coronary collateral vessels during exercise evaluated by radionuclide angiography, The importance of supplying arteries, |
Acta Cardiol 39：273-283, 1984

- No. 11 9月 Smith D., Ishimitsu T., Craige E. :
 Mechanical vibration transmission characteristics of the left ventricle :
 Implications with auscultation and phonocardiography.
 J Am Coll Cardiol 4 : 517-521, 1984
- No. 12 9月 佐久間徹, 小川剛, 小林正貴, 関口達彦, 鯉坂隆一, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 解離性大動脈瘤を伴った大動脈炎症候群の1例.
 心臓 16 : 969-974, 1984
- No. 13 10月 Sugishita Y., Matsuda M., Sekiguchi T., Kuwako K., Sakuma T., Ito I. :
 Detection of pulmonary vascular changes in the aortitis syndrome by
 pulsed Doppler echocardiography,
 J Cardiography 14 (Suppl V) : 227-230, 1984
- No. 14 10月 Takahashi H., Sakamoto T., Hada Y., Amano K., Yamaguchi T., Takenaka
 K., Ishimitsu T., Takikawa R., Hasegawa I., Takahashi T. :
 Correlative study of pulsed Doppler echocardiography in the diagnosis of
 silent aortic regurgitation.
 J Cardiography 14 (Suppl V) : 108-112, 1984
- No. 15 10月 Hada Y., Sakamoto T., Amano K., Yamaguchi T., Ishimitsu T., Takenaka
 K., Takahashi H., Takikawa R., Hasegawa I., Takahashi T. :
 Phonocardiographic and echocardiographic diagnosis of mild rheumatic
 mitral valve disease.
 J Cardiography 14 (Suppl V) : 174-176, 1984
- No. 16 10月 Takikawa R., Sakamoto T., Hada Y., Amano K., Yamaguchi T., Takenaka
 K., Ishimitsu T., Takahashi H., Hasegawa I., Takahashi K. :
 Pharmacodynamic phonocardiographic evaluation of the genesis of thyroid
 bruit.
 J Cardiography 14 (Suppl V) : 177-179, 1984
- No. 17 10月 関口達彦, 松田光生, 桜井徹志, 石井正徳, 佐久間徹, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 強皮症における肺血管病変について, 超音波パルスドップラー法による検討.
 日本超音波医学会講演論文集 45 : 449-450, 1984
- No. 18 10月 山口巖, 東郷利人, 来栖武雄, 鈴木博之, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 洞不全症候群に対する洞結節活動電位直接記録時の洞周期の変動.
 第7回心臓ペーシングプロシーディングス. 74-75, 1984
- No. 19 11月 Matsuda M., Sekiguchi T., Sugishita Y., Ito I. :
 Adverse effect of nifedipine on left ventricular obstruction detected by
 pulsed Doppler echocardiography,
 Jpn Heart J 15 : 1081-1084, 1984

- No. 20 11月 武田徹, 赤塚孝雄, 松田光生, 杉下靖郎, 秋貞雅祥:
造影剤を用いない DSA による心臓の壁運動解析の試み.
第4回医療情報学連合大会論文集: 406-411, 1984
- No. 21 12月 杉下靖郎:
非侵襲的筋壁運動異常検査による一過性心筋虚血の診断.
J Cardiography 14 (Suppl 2): 55-67, 1984
- No. 22 12月 桑子賢司, 佐久間徹, 松田光生, 関口達彦, 杉下靖郎, 伊藤巖:
断層心エコー・ドプラ法による心拍出量測定の試み: 肺動脈基部サンプリング法.
J Cardiography 14: 841-850, 1984
- No. 23 12月 鯉坂隆一, 松本龍馬, 藤田享宣, 飯田要, 飯田啓治, 小川剛, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖:
虚血性心疾患の運動負荷における Upsloping 型 ST 低下の臨床的意義.
最新医学 39: 2651-2653, 1984
- No. 24 12月 Craige E., Ishimitsu T., Smith D.:
Phasic patterns of a vibratory tone through the left ventricle.
Transact Am Clin Clinat Assoc 96: 104-110, 1984
- No. 25 12月 天野恵子, 坂本二哉, 羽田勝征, 山口経男, 石光敏行, 竹中克, 高橋久子:
僧帽弁閉鎖不全例の臨床経過推定における心エコー図の意義.
J Cardiography 14: 751-763, 1984

総 説

- No. 1 2月 杉下靖郎, 松田光生, 赤塚孝雄:
心検査法の展望—とくにイメージングを中心にして—.
臨床成人病 14: 209-216, 1984
- No. 2 2月 堀花昌明, 杉下靖郎:
心筋症治療の最近の考え方.
治療 66: 207-210, 1984
- No. 3 3月 杉下靖郎:
産婦人科疾患と心疾患の合併.
循環科学 4: 260-263, 1984
- No. 4 3月 杉下靖郎:
心疾患と妊娠・分娩.
臨床成人病 14: 392-394, 1984
- No. 5 3月 杉下靖郎, 松田光生, 桑子賢司, 鯉坂隆一, 飯田啓治, 関口達彦:
超音波による心機能評価.
臨床 ME 8: 157-165, 1984
- No. 6 3月 鯉坂隆一:
新しい薬. Nitroglycerin 外用薬
臨床成人病 14: 112-114, 1984

- No. 7 4月 杉下靖郎：
成人のスポーツ管理と心電図.
総合臨牀 33：797-802, 1984
- No. 8 4月 山口巖：
抗不整脈薬.
臨床医 10：09-112, 1984
- No. 9 5月 伊藤巖：
大動脈炎症候群.
総合臨牀 33：921-922, 1984
- No. 10 6月 伊藤巖：
大動脈炎症候群.
臨床看護 10：1018-1021, 1984
- No. 11 6月 山口巖, 杉下靖郎：
新しい薬. Mexiletine.
臨床成人病 14：96-97, 1984
- No. 12 7月 杉下靖郎.
スポーツ心臓と肥大型心筋症.
内科 54：85-89, 1984
- No. 13 8月 小川剛, 野口祐一, 石井正徳：
心筋梗塞患者のリハビリテーション, 一般病棟におけるリハビリテーション.
ICU と CCU 8：965-972, 1984
- No. 14 8月 山口巖, 来栖武雄：
心臓電気刺激試験.
臨床医 10：119-121, 1984
- No. 15 9月 杉下靖郎, 鮎坂隆一, 飯田要, 松田光生, 武田徹, 秋貞雅祥, 小関迪：
運動負荷による局所心筋運動異常の評価.
循環器科 16：240-250, 1984
- No. 16 9月 杉下靖郎, 垣花昌明：
心不全の合併症とその対策.
Medical Practice 1：62-64, 1984
- No. 17 9月 小川剛, 富沢巧治：
 α 遮断薬.
腎と透析 17：118-119, 1984
- No. 18 10月 山口巖：
 β 遮断薬.
腎と透析 17：134-135, 1984
- No. 19 11月 杉下靖郎：
心不全の治療, 最近の動向と考え方.
第1回循環器病研究会論文集 pp. 1-19, 1984

No. 20 12月 杉下靖郎, 松田光生, 小川剛, 鮎坂隆一, 飯田啓治, 飯田要, 関口達彦, 松本龍馬, 藤田享宣, 武田徹, 秋貞雅祥:

最近の循環器治療薬の薬効評価法.

臨床成人病 14: 1983-1988, 1984

No. 21 12月 松尾裕英, 克谷文彦, 沢山俊民, 山口隆美, 水重梶文, 森田久樹, 千田彰一, 松田光生, 武田徹, 杉下靖郎, 赤塚孝雄:

血流計測の動向—第5回瀬戸内ワークショップの話題から.

医学のあゆみ 131: 750-757, 1984

著 書

No. 1 2月 伊藤巖:

大動脈瘤, 慢性動脈閉塞, 大動炎脈症候群(高安動脈炎).

新臨床内科学(第4版)(阿部正和, 日野原重明, 本間日臣, 岡部治弥, 田崎義昭, 高久史磨編), pp. 250-254, 医学書院, 東京, 1984

No. 2 5月 杉下靖郎:

高血圧.

心臓病ケーススタディ(日野原重明, 高木誠, 前田如矢編) pp. 78-82, 医学書院, 東京, 1984

No. 3 6月 Sugishita Y., Matsuda M., Sekiguchi T., Kuwako K., Ishii M., Sakuma T., Ito I:

Detection of pulmonary vascular changes in the aortitis syndrome by pulsed Doppler echocardiography.

Recent Advances in Mechanocardiology (ed. by Ueda H), pp. 227-230, Cardiography Society, Tokyo, 1984

No. 4 6月 杉下靖郎:

運動負荷心電図検査と患者の指導のすすめ方.

心電図のとり方・よみ方(大国貞彦編), pp. 14-1~14-6, チーム医療, 東京, 1984

No. 5 6月 垣花昌明, 杉下靖郎:

難治性心不全.

心臓病の薬物療法(高野照夫編), pp. 107-114, 南山堂, 東京, 1984

No. 6 9月 杉下靖郎:

肥大型心筋症の診断.

Medical Corner 70, pp. 9-12, 1984

No. 7 9月 杉下靖郎:

虚血性心疾患の診断.

超音波診断法(日本超音波医学会編), pp. 31-33, 1984

No. 8 10月 Yamaguchi I., Togo T., Sekiguchi T., Sugishita Y., Ito I:

The effects on sinus node function of increases in right atrial pressure.

Cardiac Pacing: Electrophysiology and Pacemaker Technology, pp. 52-54, Piccin Medical Books, 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

No. 1 1月 杉下靖郎：

画像診断の最近の動向—循環器病を中心として—。

老化に関するシンポジウム（筑波），1月，1984

No. 2 1月 石井正徳、小川剛、関口達彦、桑子賢司、鰐坂隆一、杉下靖郎、伊藤巖：

慢性うっ血性心不全に対する angiotensin 変換酵素阻害薬 captopril の効果
—血行力学および運動負荷試験による評価。

第18回日本成人病学会（東京），1月，1984

No. 3 1月 鰐坂隆一、飯田要、藤田享宣、松本龍馬、飯田啓治、杉下靖郎、伊藤巖：

運動負荷試験の再現性—回復期に関する検討—。

第18回循環器負荷研究会（東京），2月，1984

No. 4 2月 小川剛、山口巖、飯田啓治、石井正徳、杉下靖郎、伊藤巖、山口徹：

心筋梗塞患者における負荷心電図 ST 上昇の機序—ST 偏位と血行力学、壁運動、
心筋代謝との関係—。

第18回循環器負荷研究会（東京），2月，1984

No. 5 2月 杉下靖郎：

特別講演「スポーツ心」。

香川県循環器研究会（高松），2月，1984

No. 6 2月 石井正徳、垣花昌明、横田光、大塚定徳、藤田享宣、松本龍馬、飯田要、関口達彦、桑子賢司、杉下靖郎、伊藤巖：

高度の右室流出路狭窄を呈した膜性部心室中隔瘤の75歳の1例。

日本循環器学会関東甲信越地方会第111回例会（東京），2月，1984

No. 7 3月 飯田要、大島統男、松田光生、鰐坂隆一、武田徹、杉下靖郎、伊藤巖、秋貞雅祥：

Radionuclide angiography を用いた虚血性心疾患患者の左室拡張機能の
評価：特に運動負荷に対する nifedipine の効果について。

第20回日本核医学会関東甲信越地方会（東京），3月，1984

No. 8 3月 Yamaguchi I., Kurusu T., Togo T., Iida K., Sugishita Y., Ito I.:

Follow-up study of patients with sick sinus syndrom by pharmacologic
total autonomic blockade.

The 33rd Ann Sci Session of Am Coll Cardiol (Dallas),
March, 1984

No. 9 3月 武田徹、松田光生、桑子賢司、小川剛、鰐坂隆一、垣花昌明、杉下靖郎、伊藤巖、秋貞雅祥、赤塚孝雄：

心筋血液灌流解析により虚血部位が明らかとなった PDA に合併した congenital
coronary arterio-venous fistulae の1例。

第28回臨床心臓図学会（福岡），3月，1984

No. 10 3月 垣花昌明：

シンポジウム「冠動脈攣縮の成因」冠動脈攣縮の成因における α_2 受容体の役割について。

第48回日本循環器学会学術集会（福岡），3月，1984

- No. 11 3月 桑子賢司, 松田光生, 佐久間徹, 杉下靖郎, 伊藤巖：
拡張型心筋症 (DCM) の右心機能の検討。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 12 3月 佐久間徹, 桑子賢司, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖, 赤塚孝雄, 佐藤実, 山口徹：
心筋梗塞の右室壁動態の解析。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 13 3月 武田徹, 松田光生, 小川剛, 桑子賢司, 杉下靖郎, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄：
Digital subtraction angiography による心筋血液灌流状態の定量化。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 14 3月 小川剛, 山口巖, 飯田啓治, 右井正徳, 飯田要, 杉下靖郎, 伊藤巖, 山口徹：
心筋梗塞患者における負荷心電図 ST 上昇ならびに陰性 T 波正常化の意義。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 15 3月 山口巖, 東郷利人, 来栖武雄, 杉下靖郎, 伊藤巖：
薬理学的自律神経遮断による洞不全症候群の予後に関する検討。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 16 3月 山口巖, 東郷利人, 来栖武雄, 飯田要, 大塚定徳, 杉下靖郎, 伊藤巖：
ヒト洞結節活動電位直接記録による洞房伝導時間に対する抗不整脈薬の効果。
第48回日本循環器学会学術集会 (福岡), 3月, 1984
- No. 17 4月 杉下靖郎, 飯田啓治, 松本龍馬, 藤田享宣, 鮎坂隆一, 松田光生, 伊藤巖：
高血圧性心肥大の β 交感神経刺激反応性に関する臨床的研究—肥大型心筋症との対比—。
第81回日本内科学会講演会 (福岡), 4月, 1984
- No. 18 5月 来栖武雄, 山口巖, 東郷利人, 飯田要, 野口祐一, 久賀圭祐, 杉下靖郎, 伊藤巖：
洞房ブロックに関する電気生理学的検討。
第8回心臓ペーシング研究会 (名古屋), 5月, 1984
- No. 19 5月 山口巖, 来栖武雄, 東郷利人, 飯田要, 野口祐一, 大塚定徳, 久賀圭祐：
Disopyramide phosphate 静注による WPW 症候群の順行副伝導路有効不応期の推定。
第14回臨床心臓電気生理研究会 (鹿児島市), 5月, 1984
- No. 20 6月 佐久間徹, 鮎坂隆一, 市毛雅子, 石井久美子, 杉下靖郎, 伊藤巖, 斎田幸久：
脳血管造影中に動脈解離を生じ, 心膜炎をおこした1例。
日本循環器学会関東甲信越地方会第112回例会 (栃木), 6月, 1984
- No. 21 6月 松本龍馬, 鮎坂隆一, 藤田享宣, 飯田要, 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖：
拡張型心筋症の等尺性負荷における左室収縮および拡張機能の評価。
日本超音波医学会第44回研究発表会 (東京), 6月, 1984

- No.22 7月 Sugishita Y., Koseki S., Matsuda M., Ogawa T., Ajisaka R., Iida K., Ito I., Oshima M., Akisada M :
 Functional significance of coronary collateral vessels during exercise, evaluated by radionuclide angiocardiography : The importance of supplying arteries.
 9th Europ Congress of Cardiology, July, 1984
- No.23 8月 鮎坂隆一, 飯田要, 藤田享宣, 松本龍馬, 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖, 武田徹, 秋貞雅祥, 小関迪 :
 統一テーマ「狭心症薬評価における運動負荷試験の意義」狭心症薬の薬効における運動負荷時心電図と心機能諸指標の関連性について。
 第19回循環器負荷研究会(東京), 8月, 1984
- No.24 9月 石井正徳, 小川剛, 野口祐一, 富沢巧治, 鮎坂隆一, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 心筋梗塞患者における運動負荷時収縮期血圧低下の意義。
 第7回心臓リハビリテーション研究会(東京), 9月, 1984
- No.25 9月 小川剛, 石井正徳, 杉下靖郎 :
 心臓リハビリテーションの心理学的諸因子に及ぼす影響。
 第7回心臓リハビリテーション研究会(東京), 9月, 1984
- No.26 9月 杉下靖郎, 鮎坂隆一, 松田光生 :
 シンポジウム「運動負荷時における心力学と制御」各種心筋症における運動時心力学の制御一心力学的予備力。
 第12回心臓の力学と制御に関する研究会(仙台), 9月, 1984
- No.27 9月 藤田享宣, 鮎坂隆一, 飯田要, 松本龍馬, 飯田啓治, 杉下靖郎 :
 労作狭心症患者の運動反応性の日内変動について。
 第39回日本体力医学会大会(奈良), 9月, 1984
- No.28 9月 飯田啓治, 杉下靖郎, 鮎坂隆一, 松本龍馬, 富沢巧治, 伊藤巖 :
 運動により血圧低下をきたし, 心臓カテーテル検査にて Brockenbrough 現象を認めた sigmoid septum の1例。
 第29回臨床心臓図学会(東京), 9月, 1984
- No.29 9月 武田徹, 松田光生, 小川剛, 垣花昌明, 鮎坂隆一, 富沢巧治, 杉下靖郎, 伊藤巖, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄 :
 会長要望演題「循環器領域における画像診断の進歩」Digital subtraction angiography による局所心筋血流状態の定量的解析。
 第29回日本臨床心臓図学会(東京), 9月, 1984
- No.30 9月 松本龍馬, 山口巖, 橋口八寿子, 小川剛, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 异型狭心症を合併した洞不全症候群の2例。
 日本循環器学会関東甲信越地方会第113回例会(東京), 9月, 1984
- No.31 10月 関口達彦, 松田光生, 桜井徹志, 石井正徳, 佐久間徹, 杉下靖郎, 伊藤巖 :
 強皮症における肺血管病変について, 超音波パルスドプラー法による検討。
 日本超音波医学会第45回研究発表会(旭川), 10月, 1984

- No. 32 10月 石川友衛, 杉下靖郎：
シンポジウム「運動負荷試験の生理と臨床」
第21回日本臨床生理学会総会（神戸），10月，1984
- No. 33 10月 鮎坂隆一：
シンポジウム「運動負荷試験の生理と臨床」左心機能, 右心機能.
第21回日本臨床生理学会総会（神戸），10月，1984
- No. 34 10月 杉下靖郎：
シンポジウム「運動負荷試験の生理と臨床」運動負荷試験と予後.
第21回日本臨床生理学会総会（神戸），10月，1984
- No. 35 10月 飯田啓治, 杉下靖郎, 伊藤巖：
巨大陰性T波の昼夜変動.
第1回日本心電学会学術集会（名古屋），10月，1984
- No. 36 10月 久賀圭祐, 山口巖, 竹村博之, 来栖武雄, 富沢巧治, 野口祐一, 杉下靖郎, 伊藤巖：
Dual AV nodal pathway が関与する各種の gap 現象を呈した1症例.
第1回日本心電学会学術集会（名古屋），10月，1984
- No. 37 10月 山口巖, 久賀圭祐, 大塚定徳, 行定公彦, 東郷利人, 杉下靖郎, 伊藤巖：
血清カリウム濃度の変動に伴うT波の変化に関する検討.
第1回日本心電学会学術集会（名古屋），10月，1984
- No. 38 10月 石井正徳, 小川剛, 野口祐一, 富沢巧治, 鮎坂隆一, 杉下靖郎, 伊藤巖：
心筋梗塞患者における運動負荷時収縮期血圧低下の意義.
第26回日本老年医学会総会（福岡），10月，1984
- No. 39 10月 久賀圭祐, 山口巖, 来栖武雄, 東郷利人, 野口祐一, 富沢巧治, 杉下靖郎, 伊藤巖：
老年者の洞結節機能障害の予後に関する検討.
第26回日本老年医学会総会（福岡），10月，1984
- No. 40 10月 杉下靖郎：
特別講演「スポーツと心臓」.
第10回神戸循環器研究会（神戸），10月，1984
- No. 41 11月 垣花昌明, 大塚定徳, 野田汎史, 杉下靖郎, 伊藤巖：
 α 受容体刺激薬投与下における大動脈圧と冠動脈血流および大動脈血流との関連.
第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984
- No. 42 11月 小川剛, 石井正徳, 関口達彦, 杉下靖郎, 伊藤巖：
慢性うっ血性心不全患者における prazosin の末梢血行力学に及ぼす影響.
第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984
- No. 43 11月 松本龍馬, 鮎坂隆一, 藤田享宣, 飯田要, 飯田啓治, 松田光生, 杉下靖郎, 伊藤巖：
拡張型心筋症の心機能に対するニフェジピンの効果—等尺性負荷法による検討—.
第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984
- No. 44 11月 杉下靖郎：
高血圧性心肥大の β 交感神経刺激反応性に関する臨床的研究—肥大型心筋症との対比—.
第6回カテコールアミンと循環器研究会（東京），11月，1984

- No. 45 11月 杉下靖郎：
講演「心不全の治療—最近の動向と考え方—」
第1回循環器病研究会（東京），11月，1984
- No. 46 11月 Yamaguchi I., Kurusu T., Togo T., Sugishita Y., Ito I.：
Follow-up study of patients with sinoatrial block by pharmacologic total autonomic blockade.
The 57th Ann Sci Session of Am Heart Assoc (Miami Beach), November, 1984
- No. 47 11月 飯田啓治，小出義信，川井紘一，松田光生，杉下靖郎，山下亜次郎，伊藤巖：
末端肥大症患者の心病変：心エコー図による検討。
第57回日本内分泌学会秋季学術大会（神戸），11月，1984
- No. 48 12月 寺田康，藤田享宣，三井利夫，湊直樹，福田幾夫，井島宏，前田肇，岡村健二，酒井章，筒井達夫，堀原一，杉下靖郎：
VVI pacing における体位変換と循環動態。
日本循環器学会関東甲信越地方会第114回例会（東京），12月，1984
- No. 49 12月 杉下靖郎：
シンポジウム「抗狭心症薬の基礎と臨床」抗狭心症薬と心機能。
第4回東海循環器研究協議会シンポジウム（名古屋），12月，1984
- No. 50 12月 Iida K., Sugishita Y., Koide Y., Yamashita K., Ito I.：
Myocardial lesions in pheochromocytoma.
International Symposium on Cardiomyopathy and Myocarditis (Tokyo), December, 1984
- No. 51 12月 Iida K., Sugishita Y., Matsuda M., Koide Y., Kawai K., Yamashita K., Ito I.：
Echocardiographic assessment of the heart in acromegaly : pre - and post-operative evaluation.
International Symposium on Cardiomyopathy and Myocarditis (Tokyo), December, 1984

斑研究報告

- No. 1 3月 伊藤巖，諸岡成徳，斎藤嘉美，野中泰延，行徳祐一：
大動脈炎症候群の加齢による変化—高年および若年症例の臨床像の比較—。
厚生省特定疾患系統的血管病変に関する調査研究班1983年度研究報告書，
1984 pp. 140-142
- No. 2 3月 伊藤巖，斎藤嘉美，野中泰延：
大動脈炎症候群における凝固線溶系（II）—脳梗塞併発の3症例の検討—。
厚生省特定疾患系統的血管病変に関する調査研究班1983年度研究報告書，
1984, pp. 143-148

- No. 3 3月 杉下靖郎, 飯田啓治, 松本龍馬, 藤田享宣, 鮎坂隆一, 松田光生, 伊藤巖：
肥大型心筋症と高血圧肥大心における β 交感神経刺激反応性の対比。
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班昭和58年度研究報告書,
1984, pp. 114-120
- No. 4 3月 杉下靖郎, 藤田享宣, 鮎坂隆一, 小川剛, 桑子賢司, 飯田啓治, 石井正徳, 松本龍馬,
伊藤巖：
拡張型心筋症を疑われ、冠状動脈に低形成を認めた1例。
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班昭和58年度研究報告書,
1984, pp. 201-205
- No. 5 3月 杉下靖郎, 飯田啓治, 松田光生, 小出義信, 伊藤巖：
末端肥大症の心エコー図所見。手術前後の比較検討を含む。
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班昭和58年度研究報告書,
1984, pp. 213-217
- No. 6 3月 杉下靖郎, 鮎坂隆一, 小川剛, 山口巖, 東郷利人, 飯田要, 関口達彦, 来栖
武雄, 石井正徳, 松本龍馬, 藤田享宣, 伊藤巖, 松田光生, 越永重四郎, 上野正彦：
循環器領域における老化に関する研究。
老化特別プロジェクト研究, 1984, pp. 78-83
- No. 7 3月 杉下靖郎：
画像診断の現況—循環器病を中心に—。
老化特別プロジェクト研究, 1984, pp. 192-195
- No. 8 8月 杉下靖郎, 桑子賢司, 松田光生, 佐久間徹, 伊藤巖：
拡張型心筋症における右室機能の検討。
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班昭和59年度第1回総会, 8月, 1984
- No. 9 8月 松本龍馬, 鮎坂隆一, 杉下靖郎, 松田光生, 伊藤巖：
拡張型心筋症の心機能に対するニフェジピンの効果—等尺性負荷法による検討—。
厚生省特定疾患特発性心筋症調査研究班昭和59年度第1回総会, 8月, 1984

その他（放送、座談会、講演会などで学術的なもの）

- No. 1 1月 杉下靖郎, 松田光生, 鮎坂隆一, 藤田享宣, 小関迪：
狭心症の診断と治療、心エコー図。
興和医報：27：21-26, 1984
- No. 2 2月 杉下靖郎, 広沢弘七郎：
対談、心疾患患者の問診から診断決定まで。
臨床成人病, 14：221-232, 1984
- No. 3 2月 杉下靖郎：
Q & A「不安定狭心症」。
臨床成人病, 14：272, 1984
- No. 4 2月 杉下靖郎：
肥大型心筋症。
朝日新聞 2月26日, 1984

- No. 5 3月 杉下靖郎, 阿波彰一:
突然死——大人と子供.
からだの科学 116:12-18, 1984
- No. 6 4月 杉下靖郎:
肥大型心筋症の診断.
日本短波放送「メディカル・コーナー」4月15日, 1984
- No. 7 5月 垣花昌明, 飯田要, 杉下靖郎, 小川剛, 鰐坂隆一, 石井正徳, 大塚定徳, 赤羽久昌, 松田光生, 桑子賢司, 飯田啓治, 佐久間徹, 菊地正教:
CPC「不整脈を主徴とした拡張型心筋症の1例」.
臨床成人病, 14:685-695, 1984
- No. 8 6月 杉下靖郎:
運動負荷心電図検査と患者の指導のすすめ方.
心電図実習セミナー(東京), 6月17日, 1984
- No. 9 6月 村尾覚, 古田昭一, 杉下靖郎:
心臓一大血管の病態シリーズ(7) 座談会「弁膜症をめぐる話題」.
日本短波放送「カネボウ・メディック」病態シリーズ, 6月20日, 1984
- No. 10 6月 杉下靖郎:
Q & A「肥大型心筋症」.
臨床成人病 14:831, 1984
- No. 11 7月 杉本恒明, 戸嶋裕徳, 桜井恒太郎, 岡田了三, 杉下靖郎:
座談会「特発性心筋症診療の進歩」.
内科 54:120-136, 1984
- No. 12 9月 杉下靖郎:
運動負荷心電図検査と患者の指導のすすめ方.
心電図実習セミナー(東京), 9月16日, 1984
- No. 13 9月 杉下靖郎:
虚血性心疾患の診断.
第30回超音波診断法講習会(東京), 9月29日, 1984
- No. 14 10月 早川弘一, 橋場邦武, 山口巖:
心電図の基礎教育. Sick sinus 症候群(洞不全症候群)をめぐって.
心電図 4:484-499, 1984
- No. 15 10月 小川剛:
心電図の基礎と臨床.
鉢田町医師会学術講演会(鉢田), 10月, 1984
- No. 16 11月 杉下靖郎:
Q & A「労作性狭心症における運動負荷試験」.
臨床成人病 14:1891, 1984
- No. 17 12月 杉下靖郎, 加藤和三:
対談「循環器疾患別の治療薬使用上のコツ」.
臨床成人病 14:1989-1997, 1984

1984年(消化器内科グループ)

原著

- No. 1 1月 倉井清彦, 飯野四郎, 鈴木宏, 三田村圭二, 田中直見, 小池和彦, 遠藤康夫, 岡博:
B型肝炎ウイルス持続陽性者の長期的観察—特に肝機能と HBe 抗原抗体系との関連について,
肝臓 25:139-1405, 1984
- No. 2 2月 Hisayuki Fukutomi., Takao Sakita:
Analysis of early gastric cancer cases collected from major hospitals and institutes in Japan,
Jap. J. Clin. Oncol. 14 (2)169-179, 1984
- No. 3 3月 Hiromasa Kashimura., Hisayuki Fukutomi., Isao Kawakita., Shoki Sai,
Akira Nakahara., Keiji Mitamura., Hiroshi Mutoh., Takao Sakita.:
Photoradiation therapy with protoporphyrin disodium for human hepatocellular carcinoma transplanted nude mice,
The journal of Japan society for laser medicine,
Vol. 4 (1), 93-94, 1984
- No. 4 3月 三好秋馬, 崎田隆夫, 福富久之, 武藤弘, 他:
胃潰瘍を対象とした Famotidine の臨床評価,
内科宝函 31:109-127, 1984
- No. 5 3月 三好秋馬, 崎田隆夫, 福富久之, 武藤弘, 他:
十二指腸潰瘍を対象とした Famotidins の臨床評価,
内科宝函 31:91-108, 1984
- No. 6 3月 Akira Nakahara., Toshimasa Matsumoto., Shoki Sai., Hiromasa Kashimura.,
Isao Kawakita., Hisayuki Fukutomi., Takao Sakita.:
The indication of endoscopic therapy for early gastric cancer (comparison of electrocauterization therapy and laser photo coagulation therapy)
The journal of Japan society for laser medicine,
Vol. 4 (1), 73-74, 1984
- No. 7 5月 谷中昭典, 武藤弘, 柴田裕身, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫:
十二指腸潰瘍の再発と胃液分泌,
日本消化器病学会誌 81:1165-1172, 1984
- No. 8 5月 崎田隆夫, 福富久之, 中原朗:
消化性潰瘍外来例に対するリーゼの使用経験,
診断と治療, 72 (5), 1984
- No. 9 5月 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎清司, 大菅俊明, 相川達也, 大林明:
HBV キアリアの肝細胞および肝癌細胞における HBVDNA の存在様式,
肝臓 25:622-629, 1984

- No. 10 5月 小池和彦, 飯野四郎, 倉井清彦, 鈴木宏, 三田村圭二, 遠藤康夫:
健常者および肝疾患における IgM 型 HBc 抗体の測定—RIA 法と EIA 法による
検討, 肝・胆・脾 8 : 715-721, 1984
- No. 11 6月 宮本二郎, 中原朗:
胃潰瘍における胃血行動態-June, 1984,
progress of digestive endoscopy Vol.24, 1984
- No. 12 6月 島倉秀也, 武藤弘, 谷中昭典, 佐藤寿一, 蔡承熹, 横村博正, 松本好正, 宮本二郎, 中
原朗, 川北寅, 山形迪, 小山捷平, 福富之久, 大菅俊明, 崎田隆夫:
前庭部小弯における陥凹性病変の内視鏡的検討,
Progress of digestive endoscopy 24 (88-91), 1984
- No. 13 6月 蔡承熹, 川北寅, 佐藤寿一, 島倉秀也, 谷中昭典, 横村博正, 松本好正, 東郷順子, 宮
本二郎, 中原朗, 小山捷平, 山形迪, 柴田裕身, 武藤弘, 福富之久, 大菅俊明, 崎田隆
夫, 藤井敬二, 菊地正教, 中村恭一:
胃原発性悪性リンパ腫 7 例の検討,
Progress of digestive endoscopy, 24 (164-166), 1984
- No. 14 7月 小山捷平, 深尾立, 崎田隆夫:
胃癌患者における T 細胞増殖因子 (TCGF) を用いた免疫抑制性 T 細胞の培養と
その細胞表面膜性状のモノクローナル抗体と Fluorescence activated cell sorter
(FACS) による解析,
癌の臨床, 30 : 912-924, 1984
- No. 15 8月 蔡承熹, 川北寅, 福富之久, 熊谷博彰, 横村博正, 中原朗, 小山捷平, 山形迪, 武藤
弘, 大菅俊明, 崎田隆夫:
レーザー励起による消化管癌の蛍光スペクトル分析およびその蛍光物質の解明に關
する研究., Gastroenterological Endoscopy 26 : 1267-1277, 1984
- No. 16 8月 飯野四郎, 倉井清彦, 小池和彦, 岡博, 鈴木宏, 三田村圭二:
HBe 抗原陽性例の自然経過,
第13回犬山シンポジウム記録, 2-10, 1984
- No. 17 8月 飯野四郎, 倉井清彦, 小池和彦, 岡博, 鈴木宏, 三田村圭二:
HBs 抗原の自然消失例,
第13回犬山シンポジウム記録, 62-64, 1984
- No. 18 8月 三田村圭二, 井廻道夫, 松崎靖司, 大菅俊明, 大林明, 相川達也:
肝細胞および肝癌細胞における WHVDNA および HBVDNA の存在様式,
第13回犬山シンポジウム記録, 144-149, 1984
- No. 19 9月 山形迪:
メタケイ酸アルミニ酸マグネシウム経口投与の胃内 pH におよぼす影響,
基礎と臨床, 18 (9) 81-87, 1984

No. 20 9月 Susumu Yamagata :

Correlation between orally administered pirenzepine and changes in 24-hour intragastric pH,

Gastrozepin symposium, proceedings pp9-15, 1984,
Excerpta Medica, Hong Kong

No. 21 10月 山形迪, 福富之久, 崎田隆夫 :

Ranitidine 投与後の胃内 pH 日内変動と投与終了後の胃酸分泌の変動,

Ranitidine Symposium, Proceedings, Tokyo, 90-99, 1984

No. 22 11月 小池和彦, 飯野四郎, 倉井清彦, 鈴木宏, 三田村圭二, 遠藤康夫, 岡博 :

B型慢性肝疾患における IgM 型 HBc 抗体-transaminase 動搖例での経時的測定による検討,

肝臓 25 : 1385-1393, 1984

No. 23 12月 横村博正, 川北勲, 中原朗, 萩原憲, 三田村圭二, 福富之久, 崎田隆夫 :

培養ヒト肝癌細胞及びヌードマウス移植腫瘍を用いた光化学反応の基礎的検討,

Gastroenterological Endoscopy 26 (12) 2368-2375, 1984

No. 24 12月 正田純一, 松崎靖司, 三田村圭二, 大菅俊明, 相川達也, 山崎晋, 伊藤正大, 石崎正元, 宮崎浩 :

肝硬変症および原発性肝細胞癌における 3-ケト型胆汁酸の胆汁中出現

肝臓 25, 106, 1984

No. 25 12月 井廻道夫, 山口高史, 三田村圭二, 大菅俊明 :

実験的劇症肝不全における血漿フィブロネクチンの変動

肝臓 25, 113, 1984

No. 26 12月 正田純一, 松崎靖司, 三田村圭二, 大菅俊明, 相川達也, 山崎晋, 伊藤正大, 石橋正元, 宮崎浩 :

肝硬変症および原発性肝細胞癌における 3-ケト型胆汁酸の胆汁中出現,

肝臓 25 : 1618, 1984

総 説

No. 1 1月 崎田隆夫, 谷中昭典, 武藤弘 :

消化性潰瘍の慢性化要因,

日本臨床, 42 : 22-26, 1984

No. 2 1月 武藤弘 :

プロスタグランдин誘導体,

日本臨床, 42 : 125-129, 1984

No. 3 1月 大菅俊明 :

胆石の新らしい分類, まれな胆石について

胆と膵 5 : 27-31, 1984

- No. 4 1月 大菅俊明：
がん性腹膜炎
今日の治療指針, 1984
- No. 5 4月 中原朗, 松本好正, 福富之久：
胃癌に対する内視鏡的レーザー治療
カレントテラピー <別冊> Vol. 2 No. 4 4月号, 1984
- No. 6 4月 崎田隆夫, 福富之久, 小黒八七郎：
ショ糖硫酸エステルアルミニウム塩の十二指腸潰瘍に対する治療効果
診療と新薬, 21 (4)13-27, 1984
- No. 7 5月 崎田隆夫, 福富之久, 中原朗：
消化性潰瘍外来例に対する clotiazepam の使用経験,
診断と治療72 (5) 170-175, 1984
- No. 8 7月 島倉秀也, 宮本二郎, 中原朗, 福富之久, 大菅俊明, 崎田隆夫：
peltier stack を用いた連続的胃血流測定法の検討, 胃粘膜病変と血流をめぐって
アセスメティカル p.52-63, 1984
- No. 9 7月 松崎靖司, 大菅俊明, 正田純一, 井廻道夫, 三田村圭二,
肝機能検査としての UDCA 経口負荷試験の意義と限界,
日本臨床 42 : 117-182, 1984
- No. 10 7月 大菅俊明：
胆汁酸の生化学と臨床
日本臨床42 : 2-3, 1984
- No. 11 8月 蔡承熹, 赤羽久昌, 中村恭一, 中原朗, 福富之久：
早期胃癌の経内視鏡的レーザー治療, 病理の立場からの適応と問題点,
胃と腸 19 (18), 1984
- No. 12 8月 福富之久, 中原朗, 武藤弘, 崎田隆夫：
話題の最新医学消化器領域,
Medical Companion, 4 (8) 961-965, 1984
- No. 13 9月 福富久之, 横村博正：
栄養障害 Cancer Therapy Manual,
日本臨床, 42 : 959-963, 1984
- No. 14 9月 宮本二郎, 福富之久：
化学療法剤による副作用,
日本臨床 42 : 1056-1061, 1984
- No. 15 9月 中原朗, 松本好正, 横村博正, 川北勲, 福富之久, 崎田隆夫：
レーザー内視鏡ー診断ー現況と将来,
診断と治療, 72 : (43-48) 1984
- No. 16 10月 松本好正, 中原朗, 福富之久：
胃潰瘍の内視鏡的治療,
臨床医 136 : 2314-2315 1984

- No. 17 10月 福富之久, 平塚秀雄, 小堀和学, 黒崎みえ, 渡辺洋三, 木村健：
 消化器疾患治療における H₂受容体拮抗薬とくに Ranitidine の位置づけ
 Proceedings Ranitidine Symposium Tokyo 1984-pp289-298,
 Excepta Medica, 1984
- No. 18 11月 武藤弘, 崎田隆夫：
 消化性潰瘍研究の新しい展開—酸分泌よりみて,
 臨床科学 20 : 1339-1345, 1984
- No. 19 11月 松崎靖司, 正田純一, 三田村圭二, 大菅俊明：
 胆汁酸と肝疾患
 消化器科 1 : 576-583, 1984
- No. 20 12月 中原朗, 松本好正, 横村博正, 蔡承熹, 福富之久：
 内視鏡下早期胃癌のレーザー焼灼療法—その適応と評価—,
 外科診療. 1753 (27)-1759 (33). 1984

著 書

- No. 1 1月 武藤弘：
 消化管診断トレーニング, pp.15-21, pp.44-47, pp.62-65, pp.73-76, pp.315-318,
 中外医学社, 東京, 1984
- No. 2 1月 崎田隆夫, 福富之久, 川北歟, 中原朗, 蔡承熹, 横村博正：
 レーザーによる癌診断,
 代謝 vol 21, 臨時増刊号「癌'84」 pp.171-174, 中山書店, 1984
- No. 3 1月 福富之久：
 アカラジア食道裂孔ヘルニア食道靜脈留,
 内科学 (上田英雄, 武内重五郎編) pp.494-497, 朝倉書店, 東京, 1984
- No. 4 1月 福富之久：
 経口的 X 線検査, 注腸 X 線検査, 上部消化管内視鏡検査特殊検査各症例,
 消化管診断トレーニング (中村孝司編) pp.111-117, pp.153-156, pp.175-178, pp.235-240, pp.290-293, pp.301-302, 中外医学社, 東京, 1984
- No. 5 1月 福富久之：
 急性胃炎, 慢性胃炎・びらん性胃炎 Ménétrier 病,
 今日の内科学 (宮本昭正, 水島裕編集) pp.568-574,
 医歯薬出版株式会社, 1984
- No. 6 2月 赤羽久昌, 蔡承熹, 川北歟, 菊池正教, 中村恭一：
 胃底腺粘膜領域から発生した IIc 型早期胃癌で術後 2 年 4 ヶ月に著明な骨髄転移を来たした剖検例,
 胃と腸, 19 (7) pp.795-798, 医学書院, 1984
- No. 7 3月 川北歟, 蔡承熹, 横村博正, 中原朗, 福富久之, 崎田隆夫：
 レーザー励起による胃癌粘膜螢光現象の解析とその臨床応用,
 かなえ医学助成金報告書, 1984

- No. 8 3月 福富久之：
胃ポリープ,
今日の治療指針 1984, pp.326-327, 医学書院, 東京, 1984
- No. 9 3月 大菅俊明：
胆汁酸による胆石溶解療法,
新内科学大系(年刊版'84-B) 143-154
- No. 10 8月 蔡承熹, 赤羽久昌, 中村恭一, 中原朗, 福富久之：
早期胃癌の経内視鏡的レーザー治療, 病理の立場からの適応と問題点,
Gastroenterological Endoscopy 26 (8), 8月1984

学会発表(シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 3月 三田村圭二, 井廻道夫, 松本康彦, 松崎靖司, 山口高史, 大菅俊明, 崎田隆夫, 倉井清彦, 飯野四郎, 鈴木宏, 相川達也：
HBV 持続感染における血中 HBVDNA の動態,
第70回日本消化器病学会総会, (東京), 3月, 1984
- No. 2 3月 小山捷平, 深尾立, 中原朗, 山形迪, 三田村圭二, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 岩崎洋治, 有村博文：
ヒト胆のう癌細胞に対するモノクロナール抗体の作製,
第70回日本消化器病学会総会, (東京), 3月, 1984
- No. 3 3月 小山捷平, 深尾立, 中原朗, 川北寅, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫：
胃癌患者における抗癌剤を用いた免疫抑制性 T 細胞の抑制の試み,
第70回日本消化器病学会総会(東京), 4月, 1984
- No. 4 3月 山形迪, 福富久之, 武藤弘, 小山捷平, 川北寅, 中原朗, 横村博正, 谷中昭典, 蔡承熹, 島倉秀也, 佐藤寿一, 柴田裕身, 宮本三郎, 崎田隆夫：
各種胃液分泌抑制投与後の経時の胃液分泌変動の研究—rebound 現象をめぐって,
第70回日本消化器病学会総会(東京), 3月, 1984
- No. 5 3月 谷中昭典, 武藤弘, 柴田裕身, 佐藤寿一, 島倉秀也, 蔡承熹, 横村博正, 中原朗, 川北寅, 山形迪, 小山捷平, 福富久之, 大菅俊明, 内山安男：
消化性潰瘍再発の病態生理—胃液分泌動態及び電顕的生化学的側面からの検討,
第70回日本消化器病学会総会(東京), 3月, 1984
- No. 6 5月 Hisayuki Fukutomi., Hideya Shimakura., Jiro Miyamoto., Akira Nakahara., Takao Sakita.：
Effects of traditional herbal foromeelation on gastric mucosal blood flow,
XVIIth International congress of internal medicine, (Kyoto), May, 1984
- No. 7 5月 柴田裕身, 武藤弘：
(パネルディスカッション) 十二指潰瘍の経過と胃酸分泌動態及び胃粘膜代謝,
第27回日本消化器内視鏡学会総会(旭川), 5月, 1984

- No. 8 5月 熊谷博彰, 川北勲, 蔡承熹, 横村博正, 中原朗, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫, 比企能樹, 坂東健史:
 レーザー螢光による胃リモートセンシングへのアプローチ(分光画像解析),
 第27回日本消化器内視鏡学会総会(旭川) 5月, 1984
- No. 9 5月 福富久之:
 消化器内視鏡の最先端レーザーによる癌の診断と治療。(宿題講演),
 第27回日本消化器内視鏡学会総会, (旭川) 5月, 1984
- No. 10 5月 松本好正, 中原朗, 蔡承熹, 島倉秀也, 横村博正, 宮本二郎, 川北勲, 山形迪, 小山捷平, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫:
 内視鏡的レーザー治療後特異な経過を示した上部消化管病変の検討,
 第27回日本消化器内視鏡学会総会(旭川) 5月, 1984
- No. 11 5月 島倉秀也, 宮本二郎, 佐藤寿一, 松本好正, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫:
 各種薬剤投与下での胃血行動態の検討(第一報)一特に漢法製剤について一,
 第27回日本消化器内視鏡学会総会(旭川) 5月, 1984
- No. 12 5月 蔡承熹, 川北勲, 横村博正, 松本好正, 中原朗, 熊谷博彰, 福富久之, 崎田隆夫:
 レーザー励起による消化管病変の経内視鏡的螢光スペクトル分析,
 第27回日本消化器内視鏡学会総会(旭川) 5月, 1984
- No. 13 6月 松本好正, 横村博正, 中原朗, 川地勲, 福富久之, 崎田隆夫:
 陥凹型早期癌に対するYAG レーザー治療,
 第3回消化器レーザー内視鏡研究会(東京) 6月, 1984
- No. 14 6月 内藤隆志, 小山捷平, 松本好正, 中原朗, 川北勲, 山形迪, 武藤弘, 福富久之, 崎田隆夫:
 大腸クローン病の1例,
 日本消化器内視鏡学会(関東地方会)(東京) 6月, 1984
- No. 15 6月 三田村圭二:
 肝炎ウィルス DNA の組込みと肝発癌・ヒト肝癌・肝疾患におけるHBVDNAの組込み.
 日本癌学会(シンポジウム) 6月, 1984
- No. 16 7月 宮本二郎, 福富久之:
 慢性および急性胃潰瘍における胃血行動態,
 第38回日本消化器内視鏡学会(中国, 四国地方会)(岡山), 7月, 1984
- No. 17 7月 井廻道夫, 大菅俊明, Roger Williams:
 劇症肝不全(FHF)におけるクッパー細胞機能とフィブロネクチン(FN),
 第20回日本肝臓学会総会, 7月(東京) 1984. (シンポジウム)
- No. 18 7月 市田文弘, 大菅俊明:
 原発性硬化性胆管炎,
 第20回日本肝臓学会総会(東京) 7月, 1984

- No. 19 7月 松崎靖司, 正田純一, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明:
肝予備機能検査法としての経口胆汁酸負荷試験の意義—ICG, Rmax 及びグルカゴン負荷試験との比較—,
第20回日本肝臓学会総会, 7月6日, (東京), 1984
- No. 20 7月 島倉秀也, 宮本二郎, 中原朗, 福富久之, 崎田隆夫:
peltier stack を用いた連続的胃血流測定法の検討,
第5回セトラキサートシンポジウム(東京), 7月, 1984
- No. 21 8月 福富久之, 小黒八七郎, 崎田隆夫:
ショ糖硫酸エステルアルミニウム塩の胃十二指腸潰瘍治療効果に関する調査研究
—内視鏡観察を中心に—
第30回胃液ペプシン研究会(静岡) 8月, 1984
- No. 22 9月 Shoda, J., Matsuzaki, Y., Osuga, T., Ito, M., Ishibashi, M., Miyazaki, H.,
Appearance of biliary 3-keto bile acid in liver cirrhosis and primary
hepatocellular carcinoma.
Falk Symposium 42. Bile acid meeting.
Berne, Switzerland, Septzember, 1984
- No. 23 9月 Matuzaki, Y., Imawari, M., Shoda, J., Osuga, T.,
Serum individual bile acid in gastrointestinal diseases by high performance
liquid chromatography.
Falk Symposium 42. Bile acid meeting.
Berne, Switzerland, September, 1984
- No. 24 9月 Wen, Y. M., Tang, Z. Y., Mitamura, K., and Purcell, R.:
Immunoprecipitation of hepatitis B virus associated nuclear antigen(NBNA),
Sixth international congres of virology,
(Sendai), September, 1984
- No. 25 9月 Keiji Mitamura:
The state of hepatitis B virus DNA in liver diseases,
Third International symposium on viral
hepatitis, (Tokyo), September, 1984
- No. 26 9月 Susumu Yamagata (Symposium : Gastrozepin):
Effects of various depressants, orally administered, on gastric secretion,
7 th Asian-Pacific congress of Gastroenterology,
(Jakarta), September, 1984
- No. 27 9月 Yoshimasa Matsumoto, Akira Nakahara, Hiromasa Kashimura, Hisayuki
Fukutomi and Takao Sakita:
Prognosis of early gastric cancer patients in the alimentary tract to whom
terformed the endoscopic laser therapy,
7 th Asian-Pacific congress of Gastroenterology,
(Jakarta), September, 1984

- No. 28 9月 中原朗, 菊田公一, 斎田幸久, 石川演美, 西蓮寺愛弘, 本間彰, 山形迪, 葉梨之義:
 胃集検チェック率に及ぼす各種要因についての検討,
 第28回日本消化器集団検診学会, 関東信越地方会(前橋市), 9月, 1984
- No. 29 9月 Akinori Yanaka, Hiroshi Mutoh, Shibata, Hisayuki Fukutomi, Toshiaki Osuga, Takao Sakita, Y. Uchiyama : Hiromi
 Changes in subcellular structures of human parietal cells after administration of H₂-receptor antagonists,
 XII International Congress of Gastroenterology, V European Gastrointestinal Endoscopy Congress, (Lisboa), September. 1984
- No. 30 10月 柴田裕身, 武藤弘:
 (シンポジウム) 消化性潰瘍再発の病態生理と再発予防,
 第26回日本消化器病学会大会(千葉) 10月, 1984
- No. 31 10月 谷中昭典, 武藤弘, 柴田裕身, 中原朗, 川北勉, 山形迪, 小山捷平, 福富久之, 大菅俊明, 崎田隆夫:
 酸分泌と胃粘膜代謝—histamine 及び H₂ receptor antagonist の胃粘膜Adenylate Cyclase (AC) 活性に及ぼす影響.
 第26回日本消化器病学会大会(千葉) 10月, 1984
- No. 32 10月 小山捷平, 深尾立, 中原朗, 山形迪, 三田村圭二, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 岩崎洋治, 有村博文:
 ヒト胆のうがん細胞に対するモノクローナル抗体の作製,
 第26回日本消化器病学会大会(千葉) 10月, 1984
- No. 33 10月 小山捷平, 深尾立, 崎田隆夫:
 N-CWS による胃癌術後免疫療法の細胞性機序,
 第43回日本癌学会総会(福岡), 10月, 1984
- No. 34 10月 山形迪, 福富久之:
 シンポジウム「消化性潰瘍の再発予防」, 消化性潰瘍再発および H₂受容体拮抗剤投与後における基礎分泌亢進,
 第26回日本消化器病学会大会(千葉), 10月, 1984
- No. 35 10月 Keiji Mitamura:
 Etiology of hepatocellular carcinoma—hepatitis B virus,
 The 5th international center for medical research, (Kobe), October, 1984
- No. 36 10月 Osuga, T.:
 Clinical significance of serum bile acid determination in liver diseases.
 Annual meeting of the Chinese association for clinical biochemistry.
 (Taipei, Taiwan), October, 1984
- No. 37 10月 Keiji Mitamura:
 Etiology of hepatocellular carcinoma—Hepatitis B virus,
 Fifth international center for medical research seminar, (Kobe), October, 1984

- No. 38 10月 倉井清彦, 飯野四郎, 小池和彦, 遠藤康夫, 岡博, 三田村圭二, 鈴木宏:
 HBV キャリアにおける血中 HBe 抗原量と DNA-polymerase 活性および HBV
 DNA との関連について, 第26回消化器病学会, (千葉), 10月, 1984
- No. 39 10月 Keiji Mitamura:
 State of hepatitis B virus DNA in liver and hepatocellular carcinoma tissues
 of HBV carriers, International symposium 2 hepatitis virus and
 hepatocellular carcinoma, (Chiba), October, 1984
 第26回消化器病学会
- No. 40 10月 小池和彦, 飯野四郎, 倉井清彦, 鈴木宏, 三田村圭二, 遠藤康夫, 岡博:
 HBe 抗体陽性 B型慢性肝疾患における IgM 型 HBe 抗体の意義.
 第26回消化器病学会 (千葉), 10月 1984
- No. 41 10月 松崎靖司, 正田純一, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明:
 消化管疾患における血清胆汁酸測定の臨床的意義.
 第26回日本消化器病学会大会 (千葉) 10月, 1984
- No. 42 10月 正田純一, 松崎靖司, 三田村圭二, 大菅俊明, 相川達也, 伊藤正大, 宮崎浩:
 肝硬変症および原発性肝癌における胆汁中 3-ケト胆汁酸の出現,
 第26回日本消化器病学会, (千葉), 10月, 1984
- No. 43 11月 小池和彦, 倉井清彦, 飯野四郎, 遠藤康夫, 岡博, 三田村圭二, 鈴木宏:
 B型慢性肝炎治療時の血中 HBe の抗原量の変動.
 第19回日本肝臓学会東部会, (東京), 11月, 1984
- No. 44 11月 中原朗, 松本好正. (ワークショップ): 各種レーザー治療における工夫と改良 (特に接触法, 穿刺法の比較について),
 第5回日本レーザー医学会総会 (札幌), 11月, 1984
- No. 45 11月 横村博正, 福富久之 (シンポジウム): 光化学療法の基礎的検討—組織透過性と腫瘍親和性—.
 第5回日本レーザー医学会総会 (札幌), 11月, 1984
- No. 46 11月 蔡承熹, 川北勲, 横村博正, 松本好正, 中原朗, 熊谷博彰, 福富久之, 大菅俊明, 吉崎亮造:
 レーザー励起蛍光スベクトル分析を用いた担癌体におけるポリフィリン体の動態.
 第5回日本レーザー医学会総会 (札幌) 11月, 1984
- No. 47 11月 蔡承熹, 川北勲:
 生検が偽陰性であった胃悪性腫瘍の臨床病理学的検討.
 第28回日本消化器内視鏡学会総会 (東京) 11月, 1984
- No. 48 11月 松本好正, 福富久之 (ワークショップ): 内視鏡的マイクロ波凝固法の基礎と臨床—特に高周波法, レーザー法との比較を中心に—.
 第28回日本消化器内視鏡学会総会 (東京) 11月, 1984

No. 49 11月 島倉秀也, 宮本二郎 (ワークショップ) :

熱勾配式組織血流測定法による胃粘膜血流連続測定の検討—電解式測定法との対比—.

第28回日本消化器内視鏡学会総会 (東京), 11月, 1984

No. 50 11月 中原朗, 横村博正 (パネルディスカッション) :

レーザー内視鏡の評価—特に早期癌治療症例の予後についての検討—.

第28回日本消化器内視鏡学会総会 (東京), 11月, 1984

No. 51 11月 松崎靖司, 山口高史, 小松義成, 吉沢利弘, 井廻道夫, 三田村圭二, 大菅俊明 :

タウリン投与により筋硬直が消失した肝硬変の1例.

第19回日本肝臓学会東部会 (東京), 11月, 1984

No. 52 12月 海老原次男, 松本好正, 石川敏子, 横村博正, 中原朗, 山形迪, 小山捷平, 武藤弘, 福富久之, 大菅俊明, 西川貴之 :

多彩な皮膚粘膜病変を伴った Crohn 病疑診例の1例.

第182回日本消化器病学会関東甲信越地方会 (東京), 12月, 1984

No. 53 12月 Wilson 菊地, 渋谷進, 赤羽久昌, 篠原直宏, 蔡承熹, 菊地正教, 福富久之, 中村恭一 :

原発巣が微小癌であった典型的な linitis plastica 型胃癌の1例.

第39回日本消化器内視鏡学会関東地方会 (東京), 12月, 1984

No. 54 12月 島倉秀也, 福富久之, 宮本二郎, 中原朗, 武藤弘, 大菅俊明, 崎田隆夫, 金武朝春 :

多目的小動物固定装置を用いたラット胃内視鏡観察法.

第39回日本消化器内視鏡学会関東地方会 (東京), 12月, 1984

班研究報告

No. 1 3月 小山捷平 :

ヒト担癌生体の抑制性細胞の性状とその作用機序,

文部省がん特別研究1, 藤本班「がん細胞の免疫学的エスケープメカニズムの解析とその解消」, 昭和59年度「がん」特別研究, 研究報告書集録 pp.363-370, 1984

No. 2 3月 大菅俊明, 松崎靖司, 井廻道夫, 三田村圭二, 崎田隆夫 :

胃腸疾患における血清胆汁酸の臨床的意義,

厚生省特定疾患: 消化吸収障害調査研究班業績集 p.149-152, 1984

No. 3 3月 大菅俊明, 松崎靖司, 井廻道夫, 南原利夫, 後藤順一 :

高速液体クロマトグラフィー法の問題点.

文部省科研費総合研究 (A) 研究成果報告書

「胆汁酸微量定量法の比較研究」p.53-59, 1984

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 福富久之 :

レーザーによる癌診断,

日本分光学会医学生物学研究部会研究会, (東京), 1984

No. 2 1月 中原朗：

胃癌の内視鏡的治療—その現況と問題点一,

1月17日, 1984, (東京)

No. 3 3月 大菅俊明：

胆石症の治療とくすりの使い方,

NHK「今日の医学」, 3月4日, 1984(放送)

No. 4 4月 福富久之: 平塚秀雄, 小越和栄, 黒川きみえ, 渡部洋三, 木村健:

消化器疾患治療における H₂受容体拮抗薬とくにラニチジンの位置づけ,

ラニチジンシンポジウム総合討論, 4月, 1984

No. 5 5月 福富久之:

「胃炎をめぐる最近の話題」,

東茨城郡医師会学術講演会, 5月, 1984

No. 6 5月 大菅俊明:

腸疾患と胆汁酸,

第2回上越胆石胆汁酸研究会, (新潟) 5月19日, 1984, (講演)

No. 7 6月 大菅俊明:

胆石, 胆汁酸研究における最近の話題,

宮崎医科大学外科学第一講座開講十周年記念会, (宮崎)

6月16日, 1984(講演)

No. 8 6月 大菅俊明:

胆石症の診断と治療,

石岡市医師会(石岡), 6月23日, 1984(講演)

No. 9 7月 福富久之:

「レーザー内視鏡の開発とその展開」,

第2回レーザー医学研修セミナー, (東京), 7月, 1984

No. 10 7月 福富久之:

最近の内視鏡医学の進歩・特にレーザー内視鏡を中心として,

金沢大学内視鏡部発足部会学術講演会, (金沢), 7月, 1984

No. 11 7月 福富久之:

内視鏡の現状とニーズ, Salon de Science et Medicine,

筑波大学大学会館, 7月31日, 1984

No. 12 7月 大菅俊明, 谷村弘, 鈴木範美, 大藤正雄:

胆石, 胆のう炎の治療方針,

臨床医, 12:116-129, 1984(座談会)

No. 13 7月 大菅俊明:

胆汁酸の基礎と臨床,

第11回京都大学胆石症懇話会, (京都), 7月20日, 1984(講演)

No. 14 8月 中原朗:

胃癌の内視鏡的治療—その現況と問題点,

胃と腸, 19(8), 1984, 8月

- No. 15 9月 大菅俊明：
胆石溶解剤の功罪,
大阪府医師会医学会消化器シリーズ（昭和59年度第3回）, (大阪), 9月20日, 1984 (講演)
- No. 16 9月 大菅俊明：
溶解療法の問題点を整理し研究発展につなげる(特別発言第3回臨床胆汁酸研究会),
Medical Tribune 38:24, 1984
- No. 17 10月 大菅俊明：
肝臓病はこうしてみつける,
NHK「今日の医学」, 10月8日, 1984, (放送)
- No. 18 10月 市田文弘, 鈴木宏, 大菅俊明, 内藤聖二：
肝胆脾疾患の薬物療法, 国際医書出版,
9(6):1149-1160, 1984 (座談会)
- No. 19 10月 福富久之：
胃疾患と内視鏡診断と治療,
鹿島郡医師会学術講演会. (鹿島), 10月, 1984
- No. 20 10月 福富久之：
「長生きをするために」,
竜ヶ崎市公民館教養講座講演会 (竜ヶ崎), 10月, 1984
- No. 21 12月 福富久之：
「最近の消化性潰瘍治療の動向,
県南地区学術講演会 (土浦), 12月, 1984
- No. 22 12月 福富久之, 鎌田悌輔, 小川和朗, 岡博：
国際内科学会議 Satellie Symposium を振り返って (座談会),
漢方医学 8 (12)12-18, 1984
- No. 23 12月 崎田隆夫, 三宅健夫, 三輪剛, 福富久之, 武藤弘, 川北勉, 島倉秀也, 谷中昭典：
胃十二指腸潰瘍の診断治療と再発予防の考え方. (座談会),
エクセプタメディカ, 1984

1984年（呼吸器内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 内田義之, 本間敏明, 藤岡浩, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 杉田良樹：
ラット気道における BALF を中心とするアラキドン酸代謝産物の測定（第1報）,
臨床薬理15卷, 1号:229-230, 1984
- No. 2 1月 斎藤武文, 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 長谷川鎮雄, 松木健一：
慢性閉塞性肺疾患における気道閉塞部位の研究—第二報ヘリウムフロー・ボリウム曲
線を中心とした検討—
臨床呼吸生理 vol. 16, No 1 : 14-20, 1984
- No. 3 1月 藤岡浩, 本間敏明, 内田義之, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 大塚俊道：
肺癌症例の喀痰細胞診における乳酸脱水素酵素（LDH）の研究—第2報—
日本臨床細胞学会雑誌, vol. 23, 1 : 16~23, 1984
- No. 4 1月 藤岡浩, 本間敏明, 内田義之, 斎藤武文, 長谷川鎮雄：
肺癌症例に対するアルゴンレーザーによる光化学治療法の臨床的研究—照射方法の
設定について—
気管支炎, vol. 6, 1 : 63-70, 1984
- No. 5 3月 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 斎藤武文, 松木健一, 長谷川鎮雄：
体プレチスモグラフ法によるイヌ肺機能の研究—3
日本臨床生理学会雑誌 vol.14 : 73-77, 1984
- No. 6 3月 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 斎藤武文, 松木健一, 長谷川鎮雄：
体プレチスモグラフ法によるイヌ肺機能の研究—4
日本臨床生理学会雑誌 vol.14 : 78-83, 1984
- No. 7 3月 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 斎藤武文, 松木健一, 長谷川鎮雄：
体プレチスモグラフ法によるイヌ肺機能の研究—5
日本臨床生理学会雑誌. vol.14 : 84-87, 1984
- No. 8 7月 Toshiaki Homma, Koh Fujioka, Yoshiyuki Uchida, Takefumi Saitoh, Kenichi
Matsuki, Shizuo Hasegawa :
Clinical use of the measurement of airway resistance during spontaneous
respiration
Respiration 45(4) : 360-371, 1984
- No. 9 8月 M. Ohtsuka, H. Watanabe, R. Tsunoda, S. Hasegawa, M. Kojima :
The accessory cell function of human alveolar macrophages in T lym-
phocyte proliferative responses.
J., Leuk. Biol. 36 (2) 198, 1984
- No. 10 8月 H. Watanabe, M. Ohtsuka, I. Kono, R. Tsunoda, S. Hasegawa, M.
Kojima :
Prominent production of fibronectin by human alveolar macrophages in
interstitial lung diseases.
J., Leuk. Biol. 36 (2) 197, 1984

- No. 11 8月 I. kono, T. Kabashima, H. Watanabe, M. Ohtsuka, K. Yamane, T. Sakurai, H. Kashiwagi, R. Tsunoda, M. Kojima :
 Production of fibronectin by monocytes and alveolar macrophages in patieuts with progressive systemic sclerosis.
 J. Leuk. Biol. 36 (2) 215, 1984
- No. 12 9月 内田義之, 本間敏明, 藤岡浩, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 杉田良樹 :
 高速液体クロマトグラフィーによる生体試料中プロスタグランディン類定量の試み
 —第1報—
 現代医療. vol. 16 : 1771-1774, 1984
- No. 13 9月 長谷川鎮雄, 本間敏明, 内田義之, 斎藤武文 :
 気管支喘息症例に対するマブテロール (Mabuterol) の使用経験.
 薬理と治療 vol. 12. No. 9 355-362, 1984
- No. 14 9月 Y. Yoshizawa, S. Ohdama, A. Ikeda, M. Ohtsuka, S. Masuda, M. Tanaka :
 Lymphoid interstitial pneumoma associated with depressed cellular immunity and polyclonal gammopathy.
 Am. Rev. Respir. Dis. 130. : 507-509, 1984
- No. 15 10月 井上節子, 小出義信, 大越教夫, 板倉光夫, 葛谷信明, 藤田敏郎, 久貝信夫, 川井紘一
 長谷川鎮雄, 山下龜次郎 :
 OP'-DDD が著効した悪性胸腺カルチノイドに伴う異所性 ACTH 症候群の1例
 ホルモンと臨床, 32 (10) 21-25, 1984

総 説

- No. 1 5月 長谷川鎮雄, 福田潔 :
 肺性心の診断 胸部X線・CT
 現代医療, 16 : 39-43, 1984
- No. 2 6月 長谷川鎮雄 :
 診断演習, 呼吸器疾患 (1)
 日本医事新報 3138. 15-17, 1984
- No. 3 7月 長谷川鎮雄, 亀山昌明, 福田潔 :
 パットウイング状陰影
 臨床成人病 14 (7) : 74-76, 1984
- No. 4 8月 長谷川鎮雄, 亀山昌明 :
 診断演習, 呼吸器疾患 (2)
 日本医事新報. 3146 : 27-28, 1984
- No. 5 9月 長谷川鎮雄, 亀山昌明 :
 診断演習, 呼吸器疾患 (3)
 日本医事新報 3153 : 43-45, 1984
- No. 6 11月 長谷川鎮雄, 亀山昌明 :
 診断演習, 呼吸器疾患 (4)
 日本医事新報 3160 : 43-45, 1984

No. 7 12月 長谷川鎮雄, 亀山昌明：
診断演習, 呼吸器疾患 (5)

日本医事新報 3164：30-31, 1984

No. 8 12月 長谷川鎮雄, 本間敏明：
気管支拡張症

Medicina vol. 21, No.13, 2652-2654, 1984

著 書

No. 1 9月 長谷川鎮雄, 福田潔：
胸部X線写真と動脈血ガス異常の関係

内科 Q & A (本間日臣, 吉良枝郎編); 195-197, 金原出版, 東京, 1984

No. 2 9月 吉沢靖之, 大玉信一：
リンパ節腫脹,

内科 Q & A (本間日臣, 吉良枝郎編); 115-117, 金原出版, 東京, 1984

No. 3 12月 内田義之, 長谷川鎮雄, 杉田良樹：
高速液体クロマトグラフィーによるペプチドロイコトリエンの定量—蛍光法を用いた微量定量

免疫実験操作法 XⅢ 4421-4426, 日本免疫学会編, 1984

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 1月 斎藤武文, 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 長谷川鎮雄, 松木健一：

慢性閉塞性肺疾患における気道閉塞部位の研究—第3報—ヘリウムフロー・ボリューム曲線を中心とした検討

第18回日本成人病学会 (東京), 1月, 1984

No. 2 4月 内田義之, 本間敏明, 藤岡浩, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 市瀬孝道, 嵐嶽井勝：
呼気中炭化水素測定の臨床応用—第5報—

第24回日本胸部疾患学会総会 (東京), 4月, 1984

No. 3 4月 大玉信一, 吉沢靖之, 田ノ上雅彦, 大久保修一, 森成元, 田中元一, 池田昭, 大塚盛男：
肺サルコイドーシスの活動性の指標—気管支肺洗浄液中の遊走因子とリンパ球および液性成分との関連。

第24回日本胸部疾患学会総会 (東京), 4月, 1984

No. 4 4月 大玉信一, 吉沢靖之, 田ノ上雅彦, 大久保修一, 森成元, 田中元一, 池田昭, 大塚盛男：
肺サルコイドーシスの活動性の指標。

第24回日本胸部疾患学会総会 (東京), 4月, 1984

No. 5 4月 大塚盛男, 渡辺宏, 木村敬二郎, 長谷川亮, 長谷川鎮雄, 大玉信一, 吉沢靖之, 田中元一, 田中健彦：
間質性肺疾患における肺局所リンパ球増加の機序について。

第24回日本胸部疾患学会総会 (東京), 4月, 1984

- No. 6 4月 斎藤武文, 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 長谷川鎮雄, 松木健一：
 慢性閉塞性肺疾患における気道閉塞部位の研究—第4報—ヘリウムフロー・ボリューム
 曲線を中心とした検討
 第24回日本胸部疾患学会総会（東京）4月, 1984
- No. 7 4月 須甲松伸, 斎藤博士, 信太隆夫, 落合孝広, 馬場徹, 吉沢靖之：
 サルコイドーシス患者血清中の単球修飾因子, 単核球老化因子について,
 第24回日本胸部疾患学会総会（東京）, 4月, 1984
- No. 8 4月 田ノ上雅彦, 吉沢靖之, 大玉信一, 池田昭, 大久保修一, 森成元, 田中元一, 橋本憲
 一：
 結核性ならびに癌性胸水の水の性状.
 第24回日本胸部疾患学会総会（東京）, 4月, 1984
- No. 9 4月 藤岡浩, 本間敏明, 内田義之, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 門馬勇次, 渕上隆：
 肺癌症例に対する光化学治療の研究, アルゴンレーザーの応用—第5報—
 第24回日本胸部疾患学会総会（東京）, 4月, 1984
- No. 10 4月 本間敏明, 藤岡浩, 内田義之, 斎藤武文, 長谷川鎮雄, 松木健一, 高橋淳, 岩崎勇：
 実験的肺気腫作成犬における肺病変と肺機能との対比
 第24回日本胸部疾患学会総会（東京）, 4月, 1984
- No. 11 4月 長谷川鎮雄, 木村敬二郎, 長谷川堯, 渡辺宏, 大塚盛男, 福田潔, 本間敏明, 藤岡浩,
 亀山昌明, 内田義之, 斎藤武文：
 慢性閉塞性肺疾患の鑑別診断に関する研究—第一報—
 第81回日本内科学会講演会（福岡）, 4月, 1984
- No. 12 6月 亀山昌明, 福田潔, 渡辺宏, 大塚盛男, 長谷川堯, 木村敬二郎, 長谷川鎮雄, 赤羽久昌
 小形岳三郎：
 橫断性脊髄症を初発とした高度進展型肺癌の一例,
 第80回日本肺癌学会関東支部会（東京）, 6月, 1984
- No. 13 9月 M. Ohtsuka, H. Watanabe, R. Tsunoda, S. Hasegawa, M. Kojima：
 The accessory cell function of human alveolar macrophages in T lymphocyte proliferative responses.
 The Reticuloendothelial Society Tenth International Congress, (Ito), 9月, 1984
- No. 14 9月 H. Watanabe, M. Ohtsuka, I. Kono, R. Tsunoda, S. Hasegawa, M. Kojima;
 Prominent production of fibronectin by human alveolar macrophages in interstitial lung diseases.
 The Reticuloendothelial Society Tenth International Congress, (Ito), 9月, 1984
- No. 15 9月 I. Kono, T. Kabashima, H. Watanabe, M. Ohtsuka, K. Yamane, T. Sakurai,
 H. Kashiwagi, R. Tsunoda, M. Kojima：
 Production of fibronectin by monocytes and alveolar macrophages in patients with progressive systemic sclerosis.
 The Reticuloendothelial Society Tenth International Congress, (Ito), 9月, 1984

No. 16 10月 斎藤武文, 本間敏明, 内田義之, 坂本透, 大塚真人, 野村明広, 長谷川鎮雄, 松木健一:

慢性閉塞性肺疾患における気道閉塞部位の研究—第5報—安静換気 flow-volume 曲線の検討

第21回日本臨床生理学会総会（神戸）, 10月, 1984

No. 17 10月 福田潔, 秋貞雅祥, 木村敬二郎, 亀山昌明, 大塚盛男, 吉沢靖之, 長谷川堯, 渡辺宏, 長谷川鎮雄:

慢性閉塞性肺疾患を合併する肺癌の局所機能障害及び代償能に関する ^{133}Xe 法による検討.

第25回日本肺癌学会総会（東京）10月, 1984

No. 18 12月 斎藤武文, 本間敏明, 内田義之, 坂本透, 井上雅樹, 大塚真人, 野村明広, 長谷川鎮雄, 松木健一:

ヘリウム混合ガス吸入テストの検討.

第53回臨床呼吸生理研究会（東京）, 12月, 1984

班研究報告

No. 1 3月 大玉信一, 吉沢靖之, 田ノ上雅彦, 大久保修一, 森成之, 田中元一, 大塚盛男:

サルコイドーシス の病像形成における chemotactic factor の役割,

厚生省特定疾患・間質性肺疾患調査研究班,
昭和58年度研究報告書, 1984, pp.37-41

No. 2 3月 紀伊国文献三, 小宮正文, 牧豊, 内藤裕史, 山下衛, 長谷川鎮雄, 中田義隆, 佐藤重仁,
佐々木順子: PPC システムの研究,

昭和56~58年度科学研究費補助金一般研究（B）研究成果報告書, 1984

No. 3 3月 吉沢靖之, 田ノ上雅彦, 大玉信一, 大久保修一, 森成元, 田中元一, 大塚盛男:
過敏性肺臓炎患者の BAL 液所見,

厚生省特定疾患・間質性肺疾患調査研究班,
昭和58年度研究報告書, 1984, pp.79-84

その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）

No. 1 1月 長谷川鎮雄:

肺癌の診断と治療.

鎌ヶ谷市医師会学術講演会（鎌ヶ谷）, 1月, 1984

No. 2 3月 長谷川鎮雄:

気管支喘息の治療, その 2.

第20回水戸チエストカンファレンス（水戸市）, 3月, 1984

No. 3 3月 福田潔, 亀山昌明, 大塚盛男, 長谷川堯, 木村敬二郎, 渡辺宏, 長谷川鎮雄:

「呼吸器感染症に於ける CMX の使用経験について」

呼吸器感染症研究講演会（土浦）3月, 1984

- No. 4 5月 長谷川鎮雄：
慢性気管支炎、肺気腫の診断と治療、その1
第21回水戸チェストカンファレンス（水戸市），5月，1984
- No. 5 7月 長谷川鎮雄：
慢性気管支炎、肺気腫の診断と治療、その2
第22回水戸チェストカンファレンス（水戸市），7月，1984
- No. 6 9月 長谷川鎮雄：
慢性気管支炎、肺気腫の診断と治療、その3
第23回水戸チェストカンファレンス（水戸市），9月，1984
- No. 7 9月 長谷川鎮雄：
胸部 X-P 読影シリーズ（円形陰影）
第23回県南呼吸器同好会（土浦市），9月，1984
- No. 8 11月 長谷川鎮雄：慢性気管支炎、肺気腫の診断と治療、その4
第24回水戸チェストカンファレンス（水戸市），11月，1984
- No. 9 11月 福田潔、亀山昌明、大塚盛男、長谷川堯、木村敬二郎、渡辺宏、長谷川鎮雄：
「呼吸器感染症に於ける NFLX の使用経験について」
パクシダール学術講演会（土浦），11月，1984
- No. 10 11月 吉沢靖之：
間質性肺炎の臨床。
取手市医師会学術講演会（取手市），11月，1984
- No. 11 12月 長谷川鎮雄：
気管支喘息治療の現況
鹿島郡医師会学術講演会（鹿島），12月，1984

1984年（腎臓内科グループ）

原 著

- No. 1 1月 石田裕, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫：
In vivo における Solubilization と Solubilized IC の性質について。
日腎誌26(1):21-29, 1984
- No. 2 1月 大島研三, 五島雄一郎, 東條静夫：
各種浮腫性疾患に対する SK-110 (Azosenide) の臨床評価—Furosemide を対照薬とした多施設二重盲検群間比較試験—SK-110 研究会。
医学の歩み 130:70-94 (1), 1984
- No. 3 3月 宮崎三弘, 永瀬宗重, 小林正貴, 渡辺孝太郎, 成田光陽, 東條静夫：
腎不全における抗生物質の副作用—CEZ による中枢神経障害, Lmox による Vitamin K 欠乏性出血—。
腎と透析 16(3):313-322, 1984
- No. 4 3月 東條静夫, 成田光陽, 宮原正, 酒井紀, 本田西男, 長瀬光昌, 加藤暎一, 小西孝之助, 原耕平, 原田孝司, 田中恒男：
慢性糸球体腎炎に対する塩酸ジラゼブ (AS-O 5) の臨床効果—多施設共同二重盲検法による用量検討—。
腎と透析 17:437-452 (3), 1984
- No. 5 7月 東條静夫, 成田光陽, 宮原正, 酒井紀, 加藤暎一, 小西孝之助, 本田西男, 長瀬光昌：
腎疾患における塩酸ジラゼブ (AS-O 5) の臨床試験—パイロット試験—。
基礎と臨床 18:3055-3064 (7), 1984
- No. 6 7月 大島研三, 五島雄一郎, 東條静夫：
新利尿剤アゼミド (SK-110) の臨床的検討—多施設共同によるオープン・スタディー SK-110研究会 (第1報)。
基礎と臨床 18:3025-3039 (7), 1984
- No. 7 8月 大島研三, 五島雄一郎, 東條静夫：
新利尿剤アゼミド (SK-110) の臨床的検討—多施設共同によるオープン・スタディー SK-110 研究会 (第2報)。
基礎と臨床 18:4117-4128 (8), 1984
- No. 8 8月 太田義章, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫：
Immuno Complex の腎糸球体内局在に関する研究—抗原の荷電の影響について—。
日腎誌26:1029-1036 (8), 1984
- No. 9 8月 小山哲夫, 太田義章, 稲毛博実, 石田裕, 成田光陽, 東條静夫：
受身血清病腎炎における抗原の荷電の影響について。
日腎誌 26:1037-1044 (8), 1984
- No. 10 8月 大場正二, 佐野元昭, 青柳一正, 中村日出子, 成田光陽, 東條静夫：
新しい病型と考えられる遺伝性糸球体腎炎。
日腎誌 26:1045-1054 (8), 1984

- No.11 8月 宮崎三弘, 青柳一正, 東條静夫:
 Lactulose による慢性腎不全の保存的療法
 日腎誌 26:1091-1098 (8), 1984
- No.12 8月 永瀬宗重, 青柳一正, 東條静夫:
 Methylguanidine の産生臓器について—Creatinine 短期投与による検討—
 日腎誌 26:1099-1104 (8), 1984
- No.13 8月 Koro T., Watanabe K., Narita M., Tojo S., Kato, H.:
 Cardiovascular Fitness Index (CVFI) and physical Training Effects.
 Jpn Circ J 48:914, 1984
- No.14 9月 根本真一, 小磯謙吉, 青柳一正, 東條静夫:
 膀胱癌浸潤因子に関する研究—膀胱癌のエラスターーゼ様酵素活性について—
 日本泌尿器科学会雑誌 75:1391-1400 (9), 1984
- No.15 10月 佐野元昭, 寺崎太郎, 成田光陽, 東條静夫:
 実験的巢状糸球体硬化症の電子顕微鏡的研究
 日腎誌 26:1345-1354 (10), 1984
- No.16 11月 太田義章, 小山哲夫, 稲毛博実, 成田光陽, 東條静夫:
 膜性糸球体腎炎における腎尿細管上皮抗原の関与についての検討
 日腎誌 26:1389-1397 (11), 1984
- No.17 11月 永瀬宗重, 青柳一正, 東條静夫:
 ラット単離肝細胞における methylguanidine の生合成について
 日腎誌 26:1453-1459 (11), 1984
- No.18 12月 加藤弘, 紅露恒男, 渡辺孝太郎:
 臥位運動負荷後の立位反応
 体力科学 33:329, 1984
- No.19 19月 紅露恒男:
 心エコー図からみた心臓の動き
 J. J. sports sci 3:10-18, 1984
- No.20 月 紅露恒男:
 話題の治療「虚血性心疾患慢性期の薬剤」
 治療 66:227-229, 1984
- No.21 紅露恒男:
 循環器疾患管理と運動「運動処方と指導の実際」
 日循協誌 18:237-242, 1984
- 総 説
- No. 1 1月 東條静夫:
 糸球体腎炎。
 現代医療 16:399-407 (1), 1984

- No. 2 1月 稲毛博実, 東條静夫：
糖尿病性腎症.
臨床と研究 61：104-108 (1), 1984
- No. 3 2月 東條静夫：
糖尿病性腎症.
日医ニュース Medical Scope (腎シリーズ8), 1984
- No. 4 2月 東條静夫：
慢性腎炎治療法の進歩—抗凝固・線溶療法, 抗血小板療法—
治療 66：443-446 (2), 1984
- No. 5 3月 稲毛博実, 東條静夫：
糸球体疾患研究の最近の進歩.
メジカル コンパニオン 4：313-316 (3), 1984
- No. 6 3月 宮崎三弘, 東條静夫：
薬物と腎障害.
総合臨床 33：637-638 (3), 1984
- No. 7 3月 永瀬宗重, 東條静夫：
腎孟腎炎.
Medicina 21：416-417 (3), 1984
- No. 8 6月 東條静夫：
糸球体腎炎の治療.
日本臨床 42：1298-1309 (6), 1984
- No. 9 6月 佐野元昭, 東條静夫：
腎孟腎炎と間質性腎炎.
腎と透析 16：689-694 (6), 1984
- No. 10 9月 東條静夫：
腎炎・ネフローゼ症候群の治療指針
総合臨床 33：1701-1704 (9), 1984
- No. 11 10月 東條静夫, 小山哲夫：
全動物を用いての代謝研究法Ⅱ) 実験腎炎—馬杉腎炎と免疫複合体腎炎—
代謝 21：1241-1256 (10), 1984
- No. 12 月 東條静夫, 小林正貴：
悪性腫瘍と膜性糸球体腎炎.
免疫と疾患 8：683-688 (5), 1984
- No. 13 11月 東條静夫：
ネフローゼ症候群における副腎皮質ステロイド免疫抑制療法
診断と治療 72：2223-2227 (11), 1984
- No. 14 11月 東條静夫：
糸球体腎炎治療の動向
最新医学 39：2308-2316 (11), 1984

- No. 15 12月 永瀬宗重, 東條静夫：
クレアチニン クリアランスソス (Ccr).
Medicina 21 : 2510-2511 (12), 1984
- No. 16 12月 永瀬宗重, 東條静夫：
チオ硫酸ナトリウムクリアランス (Cthio)
Medicina 21 : 2512-2513 (12), 1984
- No. 17 12月 永瀬宗重, 東條静夫：
パラアミノ馬尿酸クリアランス (CPAH)
Medicina 21 : 2514-2515 (12), 1984
- No. 18 月 青柳一正, 東條静夫：
腎不全における代謝異常.
腎と透析 17 : 911-915 (6), 1984
- No. 19 月 東條静夫：
重井医学研究所第10回腎疾患セミナー「腎炎とネフローゼの治療の進歩」
重井医学年報 6 : 87-113, 1984
- No. 20 月 成田光陽, 小山哲夫, 太田義章：
腎疾患と非ステロイド性抗炎症剤
治療 66 : 2189-2195, 1984
- No. 21 月 成田光陽：
慢性糸球体腎炎の治療—最近の趨勢
腎と透析 17 : 809-821, 1984
- No. 22 月 成田光陽：
慢性糸球体腎炎の治療
クリニカ 11 : 703-707, 1984
- No. 23 月 成田光陽, 小山哲夫, 稲毛博実：
腎疾患に対する抗血小板療法
総合臨床 33 : 1713-1717, 1984

著 書

- No. 1 月 東條静夫：
全身性疾患と腎 a)ループス腎炎
b)痛風腎, 尿酸塩腎症
c)糖尿病性腎症
新臨床内科学第4版 p630-633, 医学書院, 東京, 1984
- No. 2 月 東條静夫, 佐野元昭：
「ネフローゼ症候群」難治疾患のモデルと動物実験—ヒト疾患との共通理解のため
に一
(京極方久編集) p479-488 Soft Science. Tokyo, 1984

- No. 3 月 東條静夫：
 「ネフローゼ症候群」，
 内科 MOOK 24 p168-186，金原出版，東京，1984
- No. 4 4月 東條静夫：
 「腎不全・尿毒症と皮膚」，
 現代皮膚科学大系 第2巻D 全身と皮膚IV，p67-75 中山書店，東京，1984
- No. 5 5月 成田光陽：
 急性糸球体腎炎（成人） p472-473
 急速進行性糸球体腎炎 p476-477
 膜性腎症 p484-485
 新薬物療法84年版（上田，清水，春見編）メジカルビュー社，東京，1984
- No. 6 7月 成田光陽：
 腎尿路疾患・総論・薬物療法
 今日の内科学（宮本，水島編），p845-855，医歯薬出版，東京，1984
- No. 7 月 成田光陽：
 ネフローゼ症候群
 腎疾患診療ハンドブック（宮原正編），p138-150，南江堂，東京，1984
- No. 8 月 成田光陽：
 急速進行性糸球体腎炎
 今日の治療指針，p379-380，医学書院，東京，1984
- No. 9 月 成田光陽，小山哲夫：
 ネフローゼ症候群—治療
 内科シリーズ・新腎炎のすべて，本田西男編，p255-267，南江堂，東京，
- 学会発表（シンポジウム，特別講演を含む）
- No. 1 2月 渡辺孝太郎，鈴木治男，東條静夫，広瀬賢次：
 糖尿病性腎症に対するジビリダモール大量療法の効果。
 第21回日本糖尿病学会関東甲信越地方会（東京），2月，1984
- No. 2 3月 紅露恒男，渡辺孝太郎，成田光陽，東條静夫，加藤弘（体育科学系）：
 心脈管適応の指数と身体トレーニング効果。
 第48回日本循環器学会（福岡），3月，1984
- No. 3 3月 紅露恒男：
 老化研究における心脈管適応指数 Cardiovascular Fitness Index (CVFI) 検討の意義。
 筑波大学老化特別プロジェクト研究発表会 3月，1984
- No. 4 4月 成田光陽，稻毛博実，小山哲夫，小林正貴，太田義章，宮崎三弘，石田裕，永瀬宗重，大場正二，寺崎太郎，青柳一正，渡辺孝太郎，佐野元昭，東條静夫：
 腎疾患における抗血小板療法と血小板動態について。
 第81回日内会講演会（福岡），4月，1984

- No. 5 5月 小林正貴, 吉沢利弘, 稲毛博実, 寺崎太郎, 佐野元昭, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫 泌尿器科・加納勝利, 小磯謙吉：
 FGS の組織像を呈した逆流腎症 (reflux nephropathy) の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 6 5月 宮崎三弘, 永瀬宗重, 村山耕子, 石田裕, 青柳一正, 紅露恒男, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫, 鈴木治男：
 亜急性細菌性心内膜炎 (SBE) に起因すると考えられた RPGN の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 7 5月 中村日出子, 大場正二, 小林正貴, 佐野元昭, 紅露恒男, 成田光陽, 東條静夫, 丸山佳子：
 MPGN 様腎病変を呈した肝硬変患者の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 8 5月 永瀬宗重, 宮崎三弘, 山口直人, 青柳一正, 渡辺孝太郎, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫, 泌尿器科・根本真一, 加納勝利, 小磯謙吉：
 Plasmapheresis と Steroid 療法が著効を示した RPGN (Lupus Nephritis) の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 9 5月 太田義章, 山本駿一, 土田弘基, 岡田正明, 村野俊一, 斎藤康, 東條静夫：
 家族性 LCAT 欠損症による腎症の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 10 5月 寺崎太郎, 太田義章：
 IgA 腎症の電顕的検索
 第14回日本腎臓学会東部部会ワーキングショップ（新潟），5月，1984
- No. 11 5月 小林正貴, 太田義章, 稲毛博実, 渡辺孝太郎, 小山哲夫, 紅露恒男, 成田光陽, 東條静夫, 泌尿器科・加納勝利, 小磯謙吉：
 中等程度の蛋白尿を呈した褐色細胞腫の一例
 第14回日本腎臓学会東部部会（新潟），5月，1984
- No. 12 6月 H. Inage, A. Koyama, M. Kobayashi, T. Kohro, Y. Maruyama, M. Narita, and S. Tojo：
 Study of platelet involvement in pathogenesis and progression of glomerulonephritis.
 IX th International Congress of Nephrology.
 (Los Angeles, California U.S.A) June 11-16, 1984
- No. 13 6月 M. Narita, A. Koyama, H. Inage, H. Ishida, Y. Ohta, M. Kobayashi, K. Aoyagi, S. Ohba, M. Miyazaki, M. Sano, T. Terasaki, S. Nagase, K. Watanabe, Y. Maruyama, T. Kohro and S. Tojo：
 Long-term Warfarin and Dipyridamole therapy in the progressive glomerulonephritis.
 IX th International Congress of Nephrology.
 (Los Angeles, California U.S.A) June 11-16, 1984

No.14 6月 M. Kobayashi, A. Koyama, H. Inage, Y. Ohta, H. Ishida, M. Narita and S. Tojo :

The effect of antigenic charge on the glomerular deposition of immune complexes in acute serum sickness of rabbits.

IX th international Congress of Nephrology.

(Losangeles, California U. S. A) June 11-16, 1984

No.15 6月 A. Koyama, H. Inage, M. Kobayashi, Y. Ohta, H. Ishida, M. Narita and S. Tojo :

The effect of antigenic charge on the glomerular deposition of immune complexes in passive serum sickness nephritis.

IX th international Congress of Nephrology.

(Losangeles, California U. S. A) June 11-16, 1984

No.16 6月 A. Koyama, H. Inage, M. Kobayashi, H. Ishida, Y. Ohta, M. Narita, and S. Tojo :

The role of platelets and effect of anti-platelet drugs in acute serum sickness of rabbits.

IX th international Congress of Nephrology.

(Losangeles, California U. S. A) June 11-16, 1984

No.17 6月 T. Yazaki, A. Koyama, K. Koiso, M. Narita and, S. Tojo :

Presence of the renal tubular antigen and IgG on the cell surface of renal adenocarcinoma and glomeruli in the tumor bearing kidney.

IX th international Congress of nephrology.

(Losangeles, California U. S. A) June 11-16, 1984

No.18 6月 M. Narita, Y. Ohta, A. Koyama, H. Inage, H. Ishida, M. Kobayashi and S. Tojo :

Search for renal tubular epithelial antigen and antibody in membranous glomerulonephritis.

IX th international Congress of nephrology.

(Losangeles, California U. S. A) June 11-16, 1984

No.19 7月 渡辺孝太郎, 紅露恒男, 成田光陽, 東條靜夫, 山下亜二郎 :

糖尿病性腎不全患者における運動負荷試験法の臨床的意義.

第29回人工透析研究会総会シンポジウム(京都), 7月, 1984

No.20 7月 宮崎三弘, 永瀬宗重, 棚部聰, 渡辺孝太郎, 成田光陽, 東條靜夫, 安藤昇, 五十嵐千代, 野上英高: 腎不全時に認められた CEZ の中枢神経障害.

第29回人工透析研究会総会シンポジウム(京都), 7月, 1984

No.21 9月 加藤弘, 紅露恒男, 渡辺孝太郎 :

臥位運動負荷後の立位反応.

第39回日本体力医学会大会(奈良), 9月, 1984

- No. 22 10月 永瀬宗重, 青柳一正, 宮崎三弘, 大場正二, 飯田恵実, 成田光陽, 東條靜夫：
Methylguanidine の產生について
 第7回グアニジノ化合物研究会（金沢）, 10月, 1984
- No. 23 10月 青柳一正, 永瀬宗重, 大場正二, 宮崎三弘, 飯田恵実, 成田光陽, 東條靜夫：
 グアニジノ酢酸の代謝について
 第7回グアニジノ化合物研究会（金沢）, 10月, 1984
- No. 24 11月 中村日出子, 小山哲夫, 稲毛博実, 小林正貴, 菊池博, 太田義章, 石田裕, 渡辺孝太郎
 成田光陽：
 陽性荷電抗原による Immune Complex の腎糸球体内沈着パターンに関する検討.
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 25 11月 小林正貴, 小山哲夫, 稲毛博実, 中村日出子, 菊池博, 佐野元昭, 紅露恒男, 成田光
 陽, 東條靜夫：
 陽性荷電抗原を用いた家兔慢性血清病腎炎における組織像と抗体の性状について
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 26 11月 永瀬宗重, 青柳一正, 宮崎三弘, 大場正二, 成田光陽, 東條靜夫：
Methylguanidine の產生に影響する諸因子について
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 27 11月 永瀬宗重, 青柳一正, 宮崎三弘, 大場正二, 成田光陽, 東條靜夫：
 ラット臓器中の *Methylguanidine* 產生促進および阻害物質について
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 28 11月 宮崎三弘, 青柳一正, 永瀬宗重, 大場正二, 成田光陽, 東條靜夫, 小磯謙吉：
 血中蔥酸測定の実用化
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 29 11月 菊池博, 小山哲夫, 稲毛博実, 中村日出子, 小林正貴, 太田義章, 石田裕, 紅露恒男,
 成田光陽, 東條靜夫：
 Cationic ferritin を用いた急性血清病腎炎における血小板活性化と IC 局在化に
 ついて
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 30 11月 太田義章, 山本駿一, 家里憲二, 成田光陽, 東條靜夫：
 腎疾患に伴う高脂血症に対する clinfibrate の効果
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 31 11月 飯泉達夫, 矢崎恒忠, 石川悟, 小磯謙吉, 小山哲夫, 東條靜夫：
 腎癌の免疫組織化学的研究
 第27回日本腎臓学会総会（東京）, 11月, 1984
- No. 32 11月 青柳一正, 片山幸一：
 腎糸球体の科学機構 “Kidney Endopeptidase” について.
 第27回日本腎臓学会総会シンポジウム（東京）, 11月, 1984
- No. 33 11月 青柳一正, 大場正二, 永瀬宗重：
 —Uremictoxin—グアニジン化合物の合成機構について.
 第27回日本腎臓学会総会ワークショッピング（東京）, 11月, 1984

- No.34 11月 成田光陽, 北川照男：
腎炎薬物療法の進歩—その作用機序と適応
第27回日本腎臓学会総会シンポジウム（東京），11月，1984
- No.35 11月 小山哲夫：
腎炎薬物療法—その作用機序と適応
第27回日本腎臓学会総会シンポジウム（東京），11月，1984
- No.36 11月 小山哲夫, 稲毛博実：
実験モデルからみた糸球体腎炎の発症機構
第27回日本腎臓学会総会ワークショッピング（東京），11月，1984
- No.37 11月 佐野元昭, 寺崎太郎：
統一治る腎炎, 治らぬ腎炎
第27回日本腎臓学会総会ワークショッピング（東京），11月，1984
- No.38 11月 青柳一正, 大場正二：
Uremic Toxin—最近の進歩—
第27回日本腎臓学会総会ワークショッピング（東京），11月，1984
- No.39 11月 加納勝利, 佐野元昭：
逆流腎症 (Reflux Nephropathy)
第27回日本腎臓学会総会ワークショッピング（東京），11月，1984
- No.40 12月 紅露恒男：
成人病と運動療法
体力調査専門委員会（東京）12月，1984

班研究報告

- No. 1 東條静夫, 成田光陽, 小山哲夫, 稲毛博実, 太田義章, 小林正貴, 永瀬宗重, 宮崎三弘, 大場正二, 寺崎太郎, 石田裕, 青柳一正, 渡辺孝太郎, 佐野元昭, 紅露恒男, 鈴木治男, 丸山佳子：
非ステロイド系抗炎症剤の尿蛋白減少効果について。
厚生省特定疾患進行性腎障害調査研究班,
昭和58年度研究業績, p138-143, 1984
- No. 2 東條静夫, 渡辺孝太郎, 宮崎三弘, 永瀬宗重, 稲毛博実, 青柳一正, 紅露恒男, 成田光陽：
透析療法を要した SLE 患者の臨床的検討。
厚生省特定疾患進行性腎障害調査研究班,
昭和58年度研究業績, P326-332, 1984
- No. 3 東條静夫, 寺崎太郎, 佐野元昭, 小林正貴, 小山哲夫, 成田光陽：
IgA 腎症における糸球体末梢部病変の電顕的検討。
厚生省特定疾患進行性腎障害調査研究班,
昭和58年度研究業績, P366-371, 1984

その他（放送、座談会、講演会などで学術的なもの）

No. 1 2月 紅露恒男：心筋梗塞のリハビリテーション

公衆衛生院 特別課程（循環器予防コース）講義10月，1984

No. 2 10月 青柳一正：

腎不全における窒素代謝の異常について，

奈良，10月，1984

No. 3 11 紅露恒男：

高血圧症患者の治療と日常生活管理・指導

日本医師会伝達講習会 日立医師会 11/28, 1984

下館医師会 11/30, 1984

No. 4 12月 紅露恒男：

高血圧症患者の治療と日常生活管理・指導

日本医師会伝達講習会 水戸医師会 12/05, 1984

土浦医師会 12/12, 1984

1984年（内分泌代謝グループ）

原著

- No. 1 1月 Kubota K., Uchimura H., Mitsuhashi T., S. C. Chiu, Kuzuya N. and Nagataki S. :
Effects of intrathyroidal metabolism of thyroxine on thyroid hormone secretion increased degradation of thyroxine in mouse thyroids stimulated chronically with thyrotrophin.
Acta Endocrinologica 105 : 57-65, 1984
- No. 2 2月 板倉光夫, 藤田敏郎, 小出義信, 久貝信夫, 川井紘一, 山下亜次郎:
低血糖昏睡を主訴とする単独 ACTH 欠損症に認められた血糖の グルカゴン不応性: CAMP 以降の反応性欠如.
日本臨床代謝学会記録XXI : 52-53, 1984
- No. 3 2月 川井紘一, 山下亜次郎, 甫立孝一:
ヒト赤血球へのインスリン結合と赤血球内の ATP 濃度.
日本臨床代謝学会記録XXI : 24-26, 1984
- No. 4 2月 Ikeda H., S. C. Chiu, Kuzuya N., Uchimura H. and Nagataki S. :
Thyroid hormone secretion is more sensitive than thyroid cyclic AMP accumulation to stimulation with LATS in mice in vitro and in vivo.
Journal of Endocrinological Investigation, 7 : 1—6, 1984
- No. 5 3月 海老原次男, 川井紘一, 山下亜次郎:
糖尿病性末梢神経障害に対する Postaglandin E₁ の点滴静注法に関する検討.
現代医療 16 : 1049-1052, 1984
- No. 6 4月 Yamashita K., Sugawara S., Sakairi I. :
Effects of an α -glucosidase inhibitor, acarbose, on blood glucose and serum lipids in streptozotocin-induced diabetic rats.
Hormone and Metabolic Research 16 : 179-182, 1984
- No. 7 4月 川井紘一, 小出義信, 伴野悠治, 大塚定徳, 板倉光夫, 藤田敏郎, 久貝信夫, 山下亜次郎:
大脳基底核部腫瘍により Cushing 症候群を呈した 1 例.
ホルモンと臨床 32 (春孝増刊号) : 28-31, 1984
- No. 8 4月 山口高史, 川井紘一, 原博, 山崎研一, 山下亜次郎:
低分子ペプチドを窒素源とする経腸栄養剤 (T-330, テルモ) の血糖調節機能への影響.
臨床と研究 61 : 1329-1333, 1984
- No. 9 5月 赤間高雄, 川井紘一, 板倉光夫, 藤田敏郎, 小出義信, 久貝信夫, 山下亜次郎:
亜鉛によるインスリンアレルギーの一例—ヒトインスリンの使用経験—.
糖尿病 27 : 93-98, 1984

- No.10 6月 Fujita T., J. C. M. Chan, F. C. Bartter:
Effects of oral furosemide and salt loading on parathyroid function in normal subjects.
Nephron 38: 109-114, 1984
- No.11 6月 中村日出子, 川井紘一, 藤田敏郎, 板倉光夫, 小出義信, 久貝信夫, 山下亀次郎:
糖尿病患者にみられる高クロール性アンドーシスに関する検討.
糖尿病 27: 679-688, 1984
- No.12 6月 富沢巧治, 川井紘一, 奥田諭吉, 山下亀次郎:
血糖調節機構への cephalic phase insulin 分泌の関与—糖尿病患者における tolbutamide 刺激による検討—.
Peptide hormones in pancreas 4: 98-105, 1984
- No.13 10月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 植野暎, 山下亀次郎, 松本邦彦, 秋貞雅洋:
軟X線撮影による甲状腺腫瘍の診断.
ホルモンと臨床 32: 939-943, 1984
- No.14 10月 井上節子, 小出義信, 大越教夫, 板倉光夫, 葛谷信明, 藤田敏郎, 久貝信夫, 川井紘一, 長谷川鎮雄, 山下亀次郎:
op'-DDD が著効した悪性胸腺カルチノイドに伴う異所性 ACTH 症候群の一例
ホルモンと臨床 32: 945-949, 1984
- No.15 11月 坂内千恵子, 川井紘一, 奥田諭吉, 山下亀次郎:
Ⅱ型糖尿病患者における NPH 型 Human Insulin(recombinant DNA) および
ブタインスリンの血中移行と食後血糖上昇抑制作用に関する比較検討.
糖尿病 27: 223-230, 1984
- No.16 12月 Itakura M., Yamashita N., Fujita T., Koide Y., Kugai N., Yamamura H.,
Yamashita K.:
A case of glycogen storage disease type I associated with an incomplete
type of Fanconi syndrome: The protective role of lysosomal alpha 1, 4-
glucosidase and insulin deficiency against hypoglycemia.
Hormone and Metabolic Research 16: 204-206, 1984
- No.17 12月 Imagawa S., Abe T., Kimura S., Sugita Y., Yamashita K.:
Studies on subfractions of hemoglobin A_{1b} and hemoglobin A_{1c} in diabetic
subjects.
Endocrinol Japon 31: 725-731, 1984
- No.18 12月 Yamashita K., Kawai K., Itakura M.:
Effect of fructo-oligosaccharides on blood glucose and serum lipids in diabetic
subjects.
Nutrition Research 4: 961-966, 1984

総 説

No. 1 2月 藤田敏郎：

Salt-responder と non-responder.

日本臨床 42：209-216, 1984

No. 2 4月 藤田敏郎：

高血圧患者の食塩感受性の判定,

日本医事新報 No.3131：134, 1984

No. 3 5月 藤田敏郎：

ナトリウム代謝と血圧.

内科 53：808-811, 1984

No. 4 7月 山下亀次郎, 葛谷信明：

各種疾患と胆汁酸異常—甲状腺疾患—.

日本臨床 42：1645-1651, 1984

No. 5 7月 山下亀次郎, 川井紘一：

インスリン依存性糖尿病の成因と病態—その免疫学的考察—.

Pharma Medica 2：17-24, 1984

No. 6 7月 安東克之, 藤田敏郎：

細胞膜ナトリウム輸送の異常と高血圧症.

医学のあゆみ 130：181-187, 1984

No. 7 8月 藤田敏郎：

食塩と高血圧.

医学のあゆみ 130：880-885, 1984

No. 8 10月 藤田敏郎：

Kと血圧.

臨床水電解質 2：303-309, 1984

No. 9 11月 藤田敏郎：

Na 摂取量と高血圧.

臨床医 10：58-60, 1984

著 書

No. 1 4月 山下亀次郎：

サイロキシン, 甲状腺刺激ホルモン, 他, 生化学辞典

(今堀和友, 山川民夫監修), 東京化学同人, 東京, 1984

No. 2 4月 Fujita T.:

(分担) The pathogenesis of Bartter's Syndrome.

Coupled Transport in Nephron-Mechanisms and Pathophysiology

(T. Hoshi 編), Miura Medical Research Foundation, 1984

No. 3 5月 藤田敏郎：

軽症高血圧.

メディカルリビューン社, 1984

- No. 4 6月 山下亀次郎：
転移糖と臨床応用（糖尿病を中心として）。
転移糖と栄養（細谷憲政、福湯博保編），pp.123-136，第一出版，東京，1984
- No. 5 6月 葛谷信明：
甲状腺機能亢進症，甲状腺クリーゼ，甲状腺炎，甲状腺腫，甲状腺癌，バセドー病，粘液水腫，TSH。
平凡社大百科事典，平凡社，1984
- No. 6 9月 藤田敏郎：
食塩と高血圧。
ライフサイエンス社，1984
- No. 7 10月 藤田敏郎：
(分担) レニンアンジオテンシン系抑制の基礎と臨床。
ライフサイエンス社，1984
- 学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）**
- No. 1 1月 井上節子，川井紘一，葛谷信明，藤田敏郎，小出義信，山下亀次郎，斎田幸久，久貝信夫：
特異な下肢骨X線像を呈した糖尿病患者の一例—Diabetic Osteopathy。
第21回日本糖尿病学会関東甲信越地方会（東京），1月，1984
- No. 2 2月 福江陽，内村英正，三橋知明，久保田憲，葛谷信明，池田斉，高久史磨，岡野繁，金地嘉夫：
ヒト甲状腺細胞のTSHに対する反応性の変化—正常およびバセドウ病患者 IgG の影響—。
第21回日本臨床代謝学会（神戸），2月，1984
- No. 3 5月 小出義信，小野富男，新井勇治，山下亀次郎：
ラット睾丸内カルモデュリンとカルモデュリン結合蛋白—造精機能における生理的意義の可能性—。
第57回日本内分泌学会学術総会（東京），5月，1984
- No. 4 5月 小野富男，小出義信，新井勇治，山下亀次郎：
ラット睾丸内カルモデュリンとカルモデュリン結合蛋白—カルモデュリン結合蛋白の特性と解剖学的分布—。
第57回日本内分泌学会学術総会（東京），5月，1984
- No. 5 5月 川井紘一，村山耕子，奥田諭吉，山下亀次郎：
各種食餌負荷時の糖尿病患者インスリン分泌能に関する検討。
第27回日本糖尿病学会（宇都宮），5月，1984
- No. 6 5月 奥田諭吉，川井紘一，小出義信，山下亀次郎：
ラット非再灌流式肝灌流法によるケトン体産生調節機構に関する基礎的検討。
第27回日本糖尿病学会（宇都宮），5月，1984

- No. 7 5月 千葉之宣, 川井紘一, 宗像英輔, 山下亜次郎:
ラット及イヌ摘出灌流脾からのホルモン分泌に対する Substance P 作用の相違.
第57回日本内分泌学会(東京), 5月, 1984
- No. 8 5月 川井紘一, 奥田論吉, 田上幹樹, 千葉之宣, 山下亜次郎:
脾ラ島細胞間隙に関する機能及び形態的検討.
第57回日本内分泌学会(東京), 5月, 1984
- No. 9 5月 葛谷信明, 三橋知明, 久保田憲, 今井康雄, 池田斉, 金沢康徳, 内村英正:
バセドウ病患者血中の甲状腺刺激物質の培養甲状腺上皮細胞への結合特性について.
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 10 5月 福江暢, 内村英正, 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 池田斉, 高久史磨, 岡野繁, 金地嘉夫:
Thyroid stimulating immunoglobulins (TSI) の作用機序について.
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 11 5月 池田斉, 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 内村英正:
EGF の GH 分泌促進作用.
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 12 5月 内村英三, 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 池田斉:
細胞膜に対する甲状腺ホルモンの作用機序に関する研究(Ⅲ).
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 13 5月 福江暢, 内村英正, 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 池田斉, 高久史磨, 岡野繁, 金地嘉夫:
ヒト甲状腺細胞に対する Thyrotropin (TSH), Prostaglandin E₁ (PGE₁), Cholera toxin (CT) あるいは Thyroid stimulating IgGs (TSI) 刺激に対する TSH 慢性曝露の影響.
第27回日本内分泌学会甲状腺分科会, 5月, 1984
- No. 14 5月 内村英正, 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 池田斉:
血中遊離 T₃ (FT₃) 濃度の臨床的意義(甲状腺疾患, 非甲状腺疾患患者における検討).
第27回日本内分泌学会甲状腺分科会, 5月, 1984
- No. 15 5月 三橋知明, 久保田憲, 葛谷信明, 池田斉, 内村英正, 杉本充弘, 水野正彦:
出産時母親の血中及び臍帶動脈血中 Free T₃, T₄ 濃度について
第27回日本内分泌学会甲状腺分科会, 5月, 1984
- No. 16 5月 板倉光夫, 土屋雅美, 山下亜次郎:
グルカゴン (G) の静脈内持続投与によるラット肝プリン体の de novo 生合成速度(『速度』) 上昇作用とその機序.
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 17 5月 土屋雅美, 板倉光夫, 山下亜次郎:
インスリン (I) およびグルカゴン (G) のプリン体の de novo 生合成に与える影響—ラット初代培養肝細胞における検討—.

- No.18 5月 奥田諭吉, 川井紘一, 千葉之宣, 山下亀次郎, 鈴木一正:
ラット糖代謝への合成二糖類パラチノースの影響.
第57回日本内分泌学会(東京), 5月, 1984
- No.19 5月 安東克之, 藤田敏郎, 伊東康, 山下亀次郎:
若年境界域高血圧症における尿中カリクレイン排泄に対するナトリウム及びカリウム負荷の影響.
第57回日本内分泌学会総会(東京), 5月, 1984
- No.20 5月 伊東康, 藤田敏郎, 安東克之, 山下亀次郎:
若年及び壮年境界域高血圧症における尿中カリクレイン排泄の利尿剤投与に対する反応.
第57回日本内分泌学会総会(東京), 5月, 1984
- No.21 6月 Kawai K., Murayama Y., Okuda Y., Yamashita K.:
Postprandial glucose and hormone responses to meals with different nutrient compositions in Type II diabetic subjects.
Satellite Symposium of the VIIth International Congress of Endocrinology (Toronto), June, 1984
- No.22 7月 Kawai K., Chiba N., Munekata E., Yamashita K.:
Species difference in effects of substance P on islet hormone secretion-
opposite effects on canine and rat isolated perfused pancreases.
7th International Congress of Endocrinology (Quebec), July, 1984
- No.23 6月 Kuzuya N., Hirota Y., Mitsuhashi T., Kubota K., Ikeda H., Tamai H., Kuma K., Itoh K., and Uchimura H.:
Thyrotropin displacing immunoglobulins (TDI) in Graves' disease patients treated 10 years earlier; In relapse or in remission.
7th International Congress of Endocrinology (Quebec), July, 1984
- No.24 7月 Fukue Y., Uchimura H., Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N., IKeda H., Okano S., Kanaji Y. and Takaku F.:
Subchronic exposure of cultured human thyroid monolayer cells to thyroid stimulating IgGs alters subsequent stimulation with TSI or TSH.
7th International Congress of Endocrinology (Quebec), July, 1984
- No.25 7月 Ikeda H., Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N. and Uchimura H.:
Epidermal growth factor (EGF) stimulates GH secretion from superfused rat adenohypophyseal fragments.
7th International Congress of Endocrinology (Quebec), July, 1984

- No.26 7月 Iiri T., Uchimura H., Akimoto N., Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N., Imai Y., Ikeda H., Matsuzaki F. and L. Kumagai F. :
 Changes in thyrotropin displacing immunoglobulin (TDI) in sera of patients with Graves' disease during long term treatment with thionamide drugs : determinations by radioreceptor assay.
 7th International Congress of Endocrinology
 (Quebec), July, 1984
- No.27 7月 Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N., Ikeda H. and Uchimura H. :
 Quantitative and qualitative analysis of rat liver malic enzyme in altered thyroid states.
 7th International Congress of Endocrinology
 (Quebec), July, 1984
- No.28 7月 Kubota K., Mitsuhashi T., Kuzuya N., Ikeda H., and Uchimura H. :
 Evidence that calmodulin may regulate release of intrathyroidal free T_4 in mice : Demonstration by calmodulin inhibitors.
 7th International Congress of Endocrinology
 (Quebec), July, 1984
- No.29 7月 Uchimura H., Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N. and Ikeda H. :
 Studies of T_3 action on β -adrenergic receptor cAMP system in rat heart muscle : T_3 binding by solubilized β -receptors from plasma membranes.
 7th International Congress of Endocrinology
 (Quebec), July, 1984
- No.30 7月 Uchimura H., Fukue Y., Mitsuhashi T., Kubota K., Kuzuya N. and Ikeda H. :
 Demonstration of heterogeneity in thyrotropin displacing or thyroid stimulating immunoglobulins (IgGs) in sera of patients with Graves' disease by four different assay methods.
 7th International Congress of Endocrinology
 International Satellite Meeting "Autoimmunity and the thyroid" (Toronto), July, 1984
- No.31 11月 飯田啓二, 小出義信, 川井紘一, 松田光生, 杉下靖郎, 山下亜次郎, 伊藤巖 :
 末端肥大症患者の心病変一心エコー図による検討—.
 第57回日本内分泌学会秋季学術大会(神戸), 11月, 1984
- No.32 11月 村山耕子, 藤田敏郎, 川井紘一, 安東克之, 葛谷信明, 板倉光夫, 小出義信, 山下亜次郎 :
 術前高血圧を示さなかった褐色細胞腫の一例
 第57回日本内分泌学会秋季学術大会(神戸), 11月, 1984
- No.33 11月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 葛谷信明, 山下亜次郎 :
 軟X線撮影による甲状腺腫瘍の診断.
 第57回日本内分泌学会秋季学術大会(神戸), 11月, 1984

No. 34 11月 藤田敏郎, 安東克之, 佐藤雄二:

ワークショップ「本態性高血圧」一腎 Na 排泄を中心として一.

第27回日本腎臓学会総会(東京), 11月, 1984

No. 35 12月 川井紘一, 千葉之宣, 奥田諭吉, 山下亀次郎, 田上幹樹:

腎ラ島細胞間隙に関する機能及び形態的検討.

第5回腎ホルモン研究会(東京), 12月, 1984

1984年（リウマチ・アレルギーグループ）

原 著

- No. 1 1月 奥田諭吉, 桜井徹志, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
多発性巨大皮下結節を合併した痛風.
内科 53 : 177-179, 1984
- No. 2 2月 野田汎史, 浅井克晏：
「若年性境界域高血圧症に対する食塩負荷試験について」
保健の科学 26 : 133-135, 1984
- No. 3 3月 Okada N., Mukai R., Harada F., Kabashima T., Nakao Y., Yamane K., Ohshima Y., Sakamoto K., Itoh M., Kashiwagi, H., Hamaguchi H.：
Isolation of a novel antibody, which precipitates ribonucleoprotein complex containing threonine tRNA from a patient with polymyositis.
Eur J Biochem 139 : 425-429, 1984
- No. 4 5月 Sakurai T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.：
Amegakaryocytic thrombocytopenia associated with systemic lupus erythematosus successfully treated by a high-dose prednisolone therapy.
Jap J Med 23 : 135-136, 1984
- No. 5 6月 Sakurai T., Fukuda K., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.：
Rapidly progressive pancytopenia, hepatomegaly and abnormal lung uptake of colloid in systemic lupus erythematosus : Possible saturation of reticuloendothelial system with blood elements.
Henry Ford Hosp Med J 32 : 142-145, 1984
- No. 6 7月 柏木平八郎：
診断へのアプローチ—臨床検査を中心として XVII. Raynaud 現象を主訴として来院した23歳、看護婦.
内科 54 : 162-166, 1984
- No. 7 7月 桜井徹志, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
慢性関節リウマチに対するナプロキセン高用量療法に関する研究.
臨床と研究 61 : 2361-2363, 1984
- No. 8 8月 村山耕子, 桜井徹志, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
尿崩症を合併した全身性エリテマトーデスの一例—その成因についての考察—.
日臨免誌 7 : 224-227, 1984
- No. 9 11月 奥田諭吉, 桜井徹志, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：
左鎖骨下動脈狭窄を伴った巨細胞動脈炎の一例、大動脈炎症候群との鑑別を中心に.
日内会誌 73 : 1686-1690, 1984
- No. 10 11月 野田汎史, 浅井克晏：
アメリカンフットボール選手の循環器管理の意義に関する研究.
臨床スポーツ医学 1 : 671-675, 1984

No. 11 12月 河野一郎, 桃島悌蔵, 渡辺宏, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
結合織疾患患者単球のフィブロネクチン産生能.

医学のあゆみ 131: 605-606, 1984

総 説

No. 1 3月 柏木平八郎, 桃島悌蔵, 河野一郎, 山根一秀, 桜井徹志:
SLE の診断の免疫学的意義.

臨床免疫 16: 169-177, 1984

No. 2 4月 柏木平八郎:
MCTD (mixed connective tissue disease, 混合性結合組織病).

内科 53: 736, 1984

No. 3 7月 柏木平八郎:
問診・診察のすすめ方. 膜原病・リウマチ性疾患.
医事新報ジュニア版 234: 12-13, 1984

No. 4 10月 河野一郎:
フィブロネクチンの現況と展望—臨床の立場から.
最新医学 39: 1987, 1984

No. 5 10月 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
フィブロネクチンの網内系機構における役割.
最新医学 39: 2038-2041, 1984

No. 6 10月 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎:
膜原病とフィブロネクチン.
最新医学 39: 2080-2083, 1984

No. 7 10月 浅井克晏:
リウマチ疾患のための Uniform Database.
総合臨床 33: 2277-2278, 1984

No. 8 10月 浅井克晏:
金療法.
皮膚科の臨床 26: 665-670, 1984

著 者

No. 1 3月 柏木平八郎:
多発筋炎(皮膚筋炎), 1984 今日の治療指針
(石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編), p 508, 医学書院, 東京, 1984

No. 2 7月 柏木平八郎:
血管性紫斑病: 1. Schönlein-Henoch 紫斑病, 2. 遺伝性出血性末梢血管拡張症,
3. 単純性紫斑病, 4. 老人性紫斑病.
今日の内科学(宮本昭正, 水島裕編集代表),
pp. 1368-1370, 医歯薬出版, 東京, 1984

No. 3 7月 柏木平八郎：

膠原病・アレルギー・免疫疾患総論：一免疫療法.

今日の内科学（宮本昭正、水島裕編集代表），
pp. 1754-1755, 医歯薬出版, 東京, 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

No. 1 4月 柏木平八郎, 河野一郎, 桜井徹志, 植島悌蔵, 山根一秀：

SLE における fibronectin と免疫複合体の関係について.

第81回日本内科学会講演会（福岡），4月，1984

No. 2 5月 西角丈夫, 桜井徹志, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：

食細胞の免疫複合体結合能に関する研究. —Phycoerythrin と単クローナン抗体を用いて.

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 3 5月 山根一秀, 河野一郎, 植島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎：

単球抑制作用の調節因子に関する研究.

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 4 5月 桜井徹志, 関口達彦, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：

PSS の肺高血圧症に関する研究—ドッpler装置および超音波断層装置を用いて.

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 5 5月 河野一郎, 松本雄二郎, 河野恵子, 石橋康久, 成島勝彦, 植島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎：

シェーグレン症候群の乾燥性角結膜炎に対するフィプロネクチンの点眼効果.

第28回日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 6 6月 久賀圭祐, 河野一郎, 植島悌蔵, 桜井徹志, 山根一秀, 柏木平八郎：

レイノー現象における手指皮膚温動態の検討：冷水負荷前後における観察.

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 7 6月 桜井徹志, 長沢俊郎, 河野一郎, 植島悌蔵, 山根一秀, 柏木平八郎：

LE 細胞中の LE 体の DNA 量に関する研究.

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 8 6月 河野一郎, 植島悌蔵, 渡辺宏, 大盛塙男, 成島勝彦, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎：

強皮症患者における単球・マクロファージのフィプロネクチン産生能.

第12回日本臨床免疫学会総会（東京），6月，1984

No. 9 9月 Kono I., Kabashima T., Watanabe H., Otsuka M., Yamane K., Sakurai T., Kashiwagi H., Tsuneda R., Kojima M.:

(シンポジウム) Production of fibronectin by monocytes and alveolar macrophages in patients with progressive systemic sclerosis. In symposium "The role of mononuclear phagocytes in disease."

10th International RES Congress (Ito), 9月, 1984

No.10 9月 飯島茂子, 中村日出子, 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 福田広志:

Ludwig's angina (口底蜂窓織炎) を合併した SLE の 1 例.

第340回日本内科学会関東地方会 (千葉), 9月, 1984

No.11 10月 Sakurai T., Nagasawa T., Kono I., Kabashima T., Yamane K., Kashiwagi H.:

Reappraisal of LE cell phenomenon: analysis of the target cells by measuring DNA content of the inclusion bodies.

17th International Congress of Internal Medicine (Kyoto), 10月, 1984

No.12 10月 井上節子, 山根一秀, 河野一郎, 桃島悌蔵, 桜井徹志, 柏木平八郎:

詐熱の 2 症例.

第341回日本内科学会関東地方会 (東京), 10月, 1984

班研究報告

No. 1 3月 柏木平八郎, 山根一秀, 河野一郎, 桃島悌蔵, 桜井徹志:

リンパ球増殖性反応に対する单球の抑制作用.

厚生省特定疾患自己免疫疾患調査研究班,
昭和58年度業績集, pp.120-123, 1984

No. 2 3月 柏木平八郎, 桃島悌蔵, 桜井徹志, 山根一秀, 河野一郎:

单球による可溶性免疫複合体処理能.

厚生省特定疾患自己免疫調査研究班,
昭和58年度業績集, pp.124-128, 1984

No. 3 3月 野田汎史, 浅井克晏:

若年境界域高血圧患者管理における心エコー図法の意義.

第21回全国大学保健管理研究集会報告書, pp.160-163, 1984

1984年（血液グループ）

原 著

- No. 1 4月 中村治雄, 阿部帥：
リストセチンによる血小板凝集に対する IgG- (?) Mたんぱくの阻害作用,
血液と脈管 15：135-137, 1984
- No. 2 4月 浦部晶夫, 高久史麿, 赤塚順一, 赤羽太郎, 阿部帥ほか20名：
再生不良性貧血における免疫抑制療法とアンドロジエン療法：多施設共同研究.
臨床血液 25：554-560, 1984
- No. 3 5月 中村治雄, 青木泰子, 佐藤晶子, 中沢正樹, 長沢俊郎：
白血病細胞に顆粒形成不全を認めた急性骨髓性白血病の1例,
臨床血液 25：699-704, 1984
- No. 4 5月 中沢正樹, 小宮正文：
Malignant histiocytosis の一症例. 特に腫瘍細胞の光頭的・電頭的検索成績について.
日血会誌 47：744-757, 1984
- No. 5 7月 Hanada T., Abe T., Nakazawa M., Aoki Y., Uyeno K.：
Bone marrow failure in dyskeratosis congenita.
Scand J Haematol 32：496-500, 1984
- No. 6 8月 中沢正樹, 佐藤晶子, 小宮正文：
鉄沈着顆粒を有する形質細胞の形態学的研究.
日血会誌 47：1144-1156, 1984
- No. 7 8月 青木泰子, 中村治雄, 楠原謙：
腹部大動脈瘤手術後の輸血による移植片対宿主反応が疑われた高齢者の1例.
日内会誌 73：1209-1216, 1984
- No. 8 9月 Satoh C., Takahashi N., Kaneko J., Miura Y., Fujita M., Asakawa J.,
Kageoka T., Goriki K., and Hazawa R.：
Electrophoretic variants of blood proteins in Japanese. II. phosphoglucomutase-1 (PGM 1).
Jap. J. Human Genet. 29：287-310, 1984
- No. 9 10月 Hanada T., Abe T., Nakamura H., Aoki Y.：
Pure red cell aplasia : relationship between inhibitory activity of T cells
to CFU-E and erythropoiesis.
Brit J Haematol 58：107-113, 1984
- No. 10 11月 長沢俊郎, 中沢正樹, 阿部帥：
マウス巨核球コロニーの性状に及ぼす stimulator の影響—液体培養法による観察.
日血会誌 47：1467-1475, 1984

- No. 11 11月 花田尚, 阿部帥, 足立山夫：
 赤血球系無形成症 (PRCA) における免疫学的造血抑制に関する検討.
 日血会誌 47 : 1383-1388, 1984
- No. 12 12月 Imagawa S., Abe T., Kimura S., Sugita Y and Yamashita K.：
 Studies on subfractions of hemoglobin A_{1b} and hemoglobin A_{1c} in diabetic subjects.
 Endocrinol Japon 31 : 725-731, 1984
- No. 13 12月 Hanada T., Nakazawa M., Sakuma H., Takahashi M., Kondo I., Takita H.：
 Magakaryoblastic transformation of chronic myelogeneous leukaemia in a child.
 Scand J Haematol 33 : 476-481, 1984
- 学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)
- No. 1 3月 二宮治彦, 中沢正樹, 青木泰子, 中村治雄, 阿部帥：
 Erythrophagocytosis を認めた多発性骨髄腫の1例.
 第84回日本臨床血液学会例会 (東京), 3月, 1984
- No. 2 4月 阿部帥, 花田尚, 今川重彦：ジフェニヒルダントインによる純赤血球無形成症.
 薬物代謝産物に対する感受性の亢進.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 3 4月 依田安弘, 阿部帥：
 骨髓 NK 細胞の観察.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 4 4月 長沢俊郎, 阿部帥：
 Feulgen 染色と抗血小板糖タンパク抗体を用いた二重染色法によるヒト巨核球コロニーの同定と DNA 量の測定.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 5 4月 影岡武士, 長沢俊郎, 今川重彦, 阿部帥：
 慢性非球状性貧血を呈し, 特異な酵素学的性質を持つ G6PD 欠乏症の一例.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 6 4月 中村治雄：
 Lipopolysaccharide 刺激後の好中球および血小板の血液凝固系への影響.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 7 4月 中沢正樹, 佐藤晶子, 小宮正文：
 形質細胞の Siderosis に関する研究.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984
- No. 8 4月 花田 尚, 阿部帥：
 再生不良性貧血における自己骨髄造血幹細胞抑制 T リンパ球の検出法.
 第46回日本血液学会総会 (京都), 4月, 1984

No. 9 4月 青木泰子, 長沢俊郎, 中沢正樹, 小宮正文:

Polyplody 腫瘍細胞を主体とした骨髄の悪性腫瘍性疾患の2例, 腫瘍細胞のDNA量について.

第46回日本血液学会総会(京都), 4月, 1984

No. 10 4月 阿部帥, 今川重彦, 花田尚, 中村治雄:

芳香族化合物の代謝産物が原因と思われる顆粒球減少症の1例.

第85回日本臨床血液学会例会(高崎), 5月, 1984

No. 11 6月 影岡武士, 杉山真由美, 橋本和子:

2,3-DPG 代謝に関する DPGM, DPGP 活性の CPD 保存赤血球における経時的測定.

第32回日本輸血学会総会(仙台), 6月, 1984

No. 12 8月 Yoda Y., Abe T.:

Deficient natural killer cells in paroxysmal nocturnal haemoglobinuria (PNH).

Thirteenth Annual Meeting of International Society for Experimental Hematology (Atlanta, Georgia, U.S.A.), August, 1984

No. 13 9月 Nakazawa M., Abe T., Mori N., Kojima M.:

A case of multiple myeloma with hemophagocytosis.

10th International RES Congress (Ito), 1984

No. 14 10月 花田尚, 滝田齊, 中沢正樹, 佐久間秀夫, 近藤郁子:

巨核球性急性転化をきたした成人型慢性骨髓性白血病の小児例.

第26回日本小児血液研究会(金沢), 9月, 1984

No. 15 9月 二宮治彦, 青木泰子, 中沢正樹, 中村治雄, 影岡武士, 長沢俊郎, 阿部帥:

ACR, BH-AC, 6MP 併用療法 1 ケースで覚解導入に成功した急性巨核芽球性白血病の1例.

第86回日本臨床血液学会例会(東京), 9月, 1984

No. 16 10月 阿部帥, 今川重彦, 二宮治彦, 青木泰子, 花田尚:

有機溶媒による再生不良性貧血, 代謝産物に対する感受性の亢進.

第26回日本臨床血液学会総会(名古屋), 10月, 1984

No. 17 10月 長沢俊郎, 桜井徹志, 阿部帥:

SLE に合併した amegakaryocytic thrombocytopenia 患者 T cell のヒト巨核球コロニーにおよぼす影響.

第26回日本臨床血液学会総会(名古屋), 10月, 1984

No. 18 10月 影岡武士, 須磨崎亮, 新健治:

感音性難聴を伴った腎尿細管性アシドーシス患者の赤血球内炭酸脱水酵素の性質.

第26回日本臨床血液学会総会(名古屋), 10月, 1984

- No.19 10月 中村治雄：
リポボリサツカライド刺激による血小板 procoagulant 活性への formyl-Met-Leu-Phe 処理好中球の影響。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.20 10月 Nakazawa M., Aoki Y., Ninomiya H., Abe T.：
Clinical significance of iron granules in plasma cells.
17th International Congress of Internal Medicine (Kyoto), 1984
- No.21 10月 中沢正樹，二宮治彦，青木泰子，花田尚，長沢俊郎，阿部帥，森尚義：
急性巨核芽球性白血病および巨核芽球性転化 CML の細胞学的検討。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.22 10月 花田尚，阿部帥：
再生不良性貧血および PRCA に対する免疫抑制療法。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.23 10月 青木泰子，二宮治彦，中沢正樹，阿部帥：
骨髓に特異な封入体を有する形質細胞を認めた IgA(K) 型単クローニ性アグロブリン血症の1例。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.24 12月 牛山和憲，青木泰子，二宮治彦，長沢俊郎，阿部帥，柳沢巖弥：
心筋梗塞の合併を契機に診断された原発性血小板血症の1例。
第87回日本臨床血液学会例会（東京），12月，1984

著書

- No. 1 2月 阿部帥：
骨髄機能低下による貧血。
内科学（第三版）（上田英雄，武内重五郎編），
pp.1161-1166，朝倉書店，東京，1984
- No. 2 3月 中島隆，阿部帥：
Blind loop 症候群における B_{12} 吸収障害。
ビタミン B_{12} の生体内動態と活性（内野治人編），
pp.50-67，科学評論社，東京，1984
- No. 3 9月 阿部帥：
鉄欠乏性貧血。
血液を診る（野村武夫，長尾大編），
pp.63-71，南江堂，東京，1984
- No. 4 9月 阿部帥：
悪性貧血。
血液を診る（野村武夫，長尾大編），
pp.72-83，南江堂，東京，1984

No. 5 9月 阿部帥：

溶血性貧血.

血液を診る(野村武夫, 長尾大編),
pp.84-97, 南江堂, 東京, 1984

総 説

No. 1 1月 阿部帥：

巨赤芽球性貧血.

老人科診療 5：23-27, 1984

No. 2 4月 阿部帥：

老年者大球性貧血.

老年医学 22：476-480, 1984

班研究報告

No. 1 3月 阿部帥, 花田尚：

再生不良性貧血リンパ球の in vitro 幹細胞抑制能—免疫抑制療法の効果との相関.

厚生省特定疾患・特発性造血障害調査研究班,
昭和58年度業績集, pp.155-160, 1984

No. 2 10月 長沢俊郎：

慢性骨髓性白血病における巨核球系前駆細胞の動態.

文部省科研費総合研究「造血幹細胞とその臨床応用」,
昭和59年度班会議

1984年（神経内科グループ）

原著

- No. 1 1月 荒崎圭介, 中西孝雄：
多発神経炎における单一感覚神経線維の受容野。
臨床神経 24 (1) 72-76, 1984
- No. 2 1月 寺崎太郎, 山口巖, 東郷利人, 松田光生, 杉下晴郎, 伊藤巖, 金沢一郎, 佐久間秀夫：
心筋および刺激伝導系に著明な病変を認めた多発性筋炎の1剖検例。
日本内科学会雑誌 73 : 54-59, 1984
- No. 3 2月 水澤英洋, 川井充, 渡辺憲, 井上聖啓, 豊倉康夫：
Adie 症候群を伴う末梢神経障害の1例。
臨床神経 24 (2) : 172-179, 1984
- No. 4 2月 佐藤雄二, 大西晃生, 立石潤, 鬼塚雄三, 石本進士, 岩下宏, 黒岩義五郎, 金澤一郎：
Chorea-acanthocytosis の1剖検例—特に基底核の組織病理学的および生化学的所見について—
脳と神経 36 (2) : 105-111, 1984
- No. 5 3月 水澤英洋：
甲状腺機能低下症における mounding phenomenon の増強に関する実験的研究。
臨床神経 24 (3) : 264-270, 1984
- No. 6 3月 水澤英洋：
ラットの実験的甲状腺機能の低下症における胃移筋の組織学的および組織化学的研究。
臨床神経 24 (3) : 271-279, 1984
- No. 7 3月 Arasaki K., Kudo N., Nakanishi T.：
Firing of spinal motoneurones due to electrical interaction in the rat: an in vitro study.
Exp. Brain Res. 54 : 437-445, 1984
- No. 8 4月 Kuzuhara S., Nakanishi T.：
Tubulomembranous and fingerprint-like inclusions in biopsied muscle of distal myopathy with rimmed vacuoles.
Acta Neuropath. 62 (3) : 194-200, 1984
- No. 9 6月 Nakanishi T., Sobue I., Toyokura Y., Nishitani H., Kuroiwa Y., Satoyoshi E., Tsubaki T., Igata A., Ozaki Y.：
The Crow-Fukase syndrome: a study of 102 cases in Japan.
Neurology 34 : 712-720, 1984
- No. 10 8月 佐々木秀直, 金澤一郎, 中西孝雄, 倉本憲明：
脊髄小脳変性症の脳CT像および髄液モノアミン代謝産物について。
臨床神経 24 (8) : 782-794, 1984

- No.11 9月 吉田紀明, 佐々木秀直, 大越教夫, 萩原茂樹, 中西孝雄:
 ACTH 単独欠損症を合併し, ragged red fiber を認められた Ramsay-Hunt 症候群の1例.
 臨床脳波 26 (9)613, 1984
- No.12 9月 豊倉康夫, 水野美邦, 加瀬正夫, 祖父江逸郎, 黒岩義五郎, 樽林博太郎, 宇尾野公義,
 中西孝雄, 島田康夫, 岩田誠:
 パーキンソン症候群に対するプロモクリプチンの治療効果.
 Clin. Eval. 12: 403-443, 1984
- No.13 9月 Mizusawa H., Takagi A., Nonaka I., Sugita H., Toyokura Y.:
 Muscular abnormalities in experimental hypothyroidism of rats with
 special reference to the mounding phenomenon.
 Exp. Neurol. 85 (3): 480-492, 1984
- No.14 9月 Munekata E., Okada M., Kimura S., Sugita Y., Kanazawa I., Matsudo T., Otsuka
 M.:
 Neurokinin α and β , synthesis and pharmacological properties.
 Chemistry Letters : 1013-1016, 1984
- No.15 10月 Kanazawa I.:
 Neurotransmitters and neurodegenerative disorders.
 Clinical Therapeutics 7 : special issue, 48-58, 1984
- No.16 11月 児島伸彦, 金澤一郎:
 ネコ脊髄下行性線維切断の、神經伝達物質候補アミノ酸に及ぼす影響.
 神經精神薬理 6 (11): 775-780, 1984
- No.17 11月 Kimura S., Goto K., Ogawa T., Sugita Y., Kanazawa I.:
 Pharmacological characterization of novel mammalian tachykinins, neu-
 rokinin α and neurokinin β .
 Neuroscience Research 2 : 97-104, 1984
- No.18 11月 Matsuto T., Yanagisawa M., Otsuka M., Kanazawa I., Munekata E.:
 The excitatory action of the newly-discovered mammalian tachykinins,
 neurokinin α and neurokinin β , on neurons of the newborn rat.
 Neuroscience Research 2 : 105-110, 1984
- No.19 12月 Kanazawa I., Ogawa T., Kimura S., Munekata E.:
 Regional distribution of substance P, neurokinin α and neurokinin β in
 rat central nervous system.
 Neuroscience Research 2 : 111-120, 1984
- No.20 12月 Kwak S., Kanazawa I., Sugita H., Toyokura Y.:
 Tridimensional distribution of markers of neurotransmitters within the
 "accumbens area" of normal human brains.
 Neuroscience 13 : 717-731, 1984

No. 21 12月 Muramoto O., Kanazawa I., Nissato S :

Nuclear distribution of glutamate, γ -aminobutyrate and aspartate within the normal human thalamus.

Neuroscience 13 : 733-742, 1994

総 説

No. 1 1月 中西孝雄 :

病的反射.

Clinical Neuroscience 2 (1) : 118-119, 1984

No. 2 1月 金澤一郎 :

神経 28, 脳内活性物質.

臨床科学 20 (1), 1984

No. 3 3月 中西孝雄 :

多発ニューロパシー.

今日の治療指針 : 184-185, 1984

No. 4 4月 中西孝雄 :

けいれんとは.

Clinical Neuroscience 2 (4) : 402-403, 1984

No. 5 6月 中西孝雄 :

不眠.

内科 53 (6) : 1333, 1984

No. 6 6月 金澤一郎 :

神経ペプチドの一覧

医学のあゆみ (メディカル・トピックス)

129 (13) : 886-887, 1984

No. 7 6月 金澤一郎 :

Familial chorea-acanthocytosis

医学のあゆみ (メディカル・トピックス)

129 (13) : 1013, 1984

No. 8 6月 中西孝雄 :

硬化型骨髓腫と多発神経炎.

医学のあゆみ (メディカル・トピックス)

129 (13) : 1014-1015, 1984

No. 9 6月 水沢英洋, 豊倉康夫 :

遠位型ミオパシー.

神経内科 20 (6) : 555-572, 1984

No. 10 7月 中西孝雄 :

筋緊張亢進とけいれんの病態.

薬局 35 (7) : 1277-1280, 1984

- No. 11 7月 金澤一郎：
ハンチントン舞踏病の顔貌.
神經内科 21：22-27, 1984
- No. 12 7月 金澤一郎：
ハンチントン病—その神經科学的アプローチ—
蛋白質核酸酵素 29 (14) : 1815-1825
- No. 13 8月 中西孝雄, 水澤英洋：
病的反射
綜合臨床 33 : 1924-1928, 1984
- No. 14 10月 中西孝雄：
治療薬の副作用による意識障害
Clinical Neuroscience 2 (10) : 1228-1229, 1984
- No. 15 11月 尾崎行雄：
意識障害の鑑別診断.
Medical Practice 1 (2) : 154-169, 1984
- No. 16 12月 金澤一郎：
脳のグルタミン酸脱炭酸酵素とコリンアセチル基転移酵素について
神經研究の進歩 28 (6) : 984-992, 1984
- No. 17 12月 金澤一郎：
ニューロキニンとは.
医学のあゆみ 131 (9) : 593, 1984

著 書

- No. 1 3月 中西孝雄：
Crow-Fukase 症候群,
新内科学大系年刊版 '84-B pp251-257, 中山書店, 東京, 1984
- No. 2 4月 中西孝雄：
末梢神経障害,
池田亀夫, 西尾篤人, 律山直 監修: 神經, 筋疾患
pp154-167, メジカル・ビュー社, 東京, 1984
- No. 3 7月 中西孝雄：
運動失調を主症状とする疾患
宮本昭正, 水島裕編集代表: 今日の内科学
pp.1123-1129. 医歯薬出版, 東京, 1984
- No. 4 9月 Nakanishi T., Sobue I., Toyokura Y., Nishitani H., Kuroiwa Y., Satoyoshi E., Tsubaki T., Igat A., Ozaki Y. :
The Crow-Fukase syndrome•comparison between Japanese and non-Japanese cases.
Peripheral Neuropathy (ed Sobue I.), Excerpta Medica, Amsterdam, pp.364-377, 1984

- No. 5 11月 水澤英洋：
筋痙攣.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.567, 平凡社 1984
- No. 6 11月 水澤英洋：
筋固縮.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.578-579, 平凡社 1984
- No. 7 11月 水澤英洋：
筋電図.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.631-632, 平凡社 1984
- No. 8 11月 水澤英洋：
クールー.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.939, 平凡社 1984
- No. 9 11月 水澤英洋：
クロイツフェルト・ヤコブ病.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.986, 平凡社 1984
- No. 10 11月 水澤英洋：
頸部脊髄症.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.1216, 平凡社 1984
- No. 11 11月 水澤英洋：
痙攣.
- 平凡社大百科事典 4 : pp.1234, 平凡社 1984
- No. 12 11月 水澤英洋：
高血圧性脳症.
- 平凡社大百科事典 5 : pp.358, 平凡社 1984
- No. 13 11月 水澤英洋：
昏睡.
- 平凡社大百科事典 5 : pp.1224, 平凡社 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

- No. 1 2月 吉澤利弘, 金澤一郎, 中西孝雄, 斎田幸久, 黒崎喜久：
小脳テント周囲硬膜下血腫の1例.
- 第88回日本神経学会関東地方会, 2月, 1984
- No. 2 5月 吉田紀明, 中西孝雄, 高瀬貞夫：
多発性硬化症における血清脂肪酸構成
- 第25回日本神経学会総会, 5月, 1984
- No. 3 5月 葛原茂樹, 中西孝雄：
色素沈着, 浮腫などを伴うポリニューロパチーの末梢神経病変：病理所見と臨床的
神経症状との対比について,
- 第15回日本神経学会総会, 札幌, 5月, 1984

- No. 4 5月 金澤一郎, 小川達次, 木村定雄
 新しいタヒキニン, ニューロキニン α と β の脳内分布について
 第15回日本神経学会総会, 札幌, 5月, 1984
- No. 5 5月 村本治, 金澤一郎
 正常ヒト視床におけるアミノ酸神経伝達物質の微細分布
 第15回日本神経学会総会, 札幌, 5月, 1984
- No. 6 6月 山田滋夫, 小松義成, 玉城允之, 中西孝雄, 林浩一郎：
 胸・腰髓全域にわたって縮小・偏位を認めた1例。
 第89回日本神経学会関東地方会, 6月, 1984
- No. 7 9月 吉沢和朗, 吉田紀明, 中西孝雄, 八木田親重, 兵頭明夫：
 腰仙部硬膜外動脈奇形の1例。
 第90回日本神経学会関東地方会, 9月, 1984
- No. 8 10月 Nakanishi T.：
 Paraneoplastic neuromuscular disease with a unique multisystem syndrome
 (The Crow-Fukase syndrome) in Japan.
 XVII th. International Congress of
 Internal Medicine. Kyoto, 10, 1984
- No. 9 11月 中西孝雄：
 遠隔電場電位の発現機序について。
 第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11月, 1984
- No. 10 11月 中西孝雄, 玉城允之：
 新しい末梢神経伝導速度測定法—実験的研究—
 第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11月, 1984
- No. 11 11月 中西孝雄, 玉城允之, 工藤典雄：
 遠隔電場電位 pa の発現機序について。
 第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11月, 1984
- No. 12 12月 市毛雅子, 水澤英洋, 中西孝雄, 鶴嶋英夫, 能勢忠男：
 射撃練習後脊髄クモ膜下出血にて発症した血管周皮腫の1例。
 第91回日本神経学会関東地方会(東京), 12月, 1984

班研究報告

- No. 1 3月 中西孝雄, 尾崎行雄, 岩井浩一：
 Craw-Fukase 症候群の多変量解析,
 厚生省神経疾患研究委託費・末梢神経障害の病態とその治療に関する研究,
 昭和58年研究報告書, pp.133-139, 1984
- No. 2 3月 中西孝雄, 小松義成, 井上節子, 金澤一郎, 葛原茂樹：
 Duehenne型筋ジストロフィー症が疑われる女性例, 厚生省神経疾患研究委託費・
 筋ジストロフィー症の発症機序に関する臨床的研究。
 昭和58年度報告書, pp.76-79, 1984

No. 3 3月 中西孝雄, 吉田紀明:

Glutamate の誘発痙攣に対する TRH-T の効果 厚生省新薬開発研究,
脊髄小脳変性症治療剤開発研究班.
昭和58年度研究業績, pp.122-125, 1984

No. 4 3月 中西孝雄, 荒崎圭介, 玉城允之:

多発神経炎における单一感覺神経線維の受容野,
厚生省特定疾患スモン調査研究班,
昭和58年度研究業績, pp.129-133, 1984

No. 5 3月 金澤一郎, 村本治:

ヒト視床におけるアミノ酸神経伝達物質の微細分布
厚生省特定疾患神経変性疾患調査研究班.
昭和58年度研究業績, pp.363-371, 1984

No. 6 3月 金澤一郎, 近藤郁子, 三澤章吾, 佐々木秀直:

遺伝性脊髄小脳変性症 (Holmes 型)と遺伝的多型形質との遺伝子連鎖の検討,
厚生省特定疾患調査研究運動失調症調査研究班.
昭和58年度研究業績, pp.106-114, 1984

No. 7 3月 金澤一郎:

本能行動の神経化学的アプローチ—ニューロキニン群ペプチドのラット中枢神経に
おける分布と局在について—
筑波大学本能特別プロジェクト研究組織報告集,
(2), pp.89-96, 1984

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 中西孝雄, 吉田充男, 御子柴克彦, 飯塚礼二, 千野直一:
小脳をめぐって.

Clinical Neuroscience, 1 (1): 104-116, 1984

No. 2 2月 金澤一郎:

特別講演「神経伝達物質と神経疾患」

第10回広島神経疾患同好会, 2月24日, 1984

No. 3 3月 中西孝雄:

Q & A,

Clinical Neuroscience, 2 (1): 131, 1984

No. 4 5月 中西孝雄:

パーキンソン病,

NHK, 5月28日, 1984

No. 5 7月 金澤一郎:

錐体外路疾患研究の現状

第14回新潟神経学夏期セミナー, 7月20日, 1984

- No. 6 8月 中西孝雄：
編集後記.
脳と神經, 36 (8) : 823, 1984
- No. 7 8月 金澤一郎：
DNAマーカーによるハンチントン病の遺伝子連鎖について
第2回家族性高脂血症研究会, 東京, 8月25日, 1984
- No. 8 10月 Kanazawa I
Neurotransmitters in choreic disorders
Sandoz International Symposium, Kyoto, 10月8日, 1984
- No. 9 11月 中西孝雄：
Patten 神經診斷学,
John Patten 著, 後藤文男監訳, 臨床医, 10 (11) : 2409, 1984
- No. 10 11月 金澤一郎：
Substance P類似の neuropeptidin について
第13回薬物活性シンポジウム,
京都, 11月2日, 1984
- No. 11 12月 中西孝雄：
あとがき,
神經研究の進歩, 28 (6) : 1055, 1984
- No. 12 12月 中西孝雄：
編集後記.
臨床神經, 24 (12) : 1984
- No. 13 12月 金澤一郎：
新しいタヒキニン, ニューロキニン α と β について
京大靈長研共同利用ミニ研究会
犬山, 12月28日, 1984

1984年（精神医学グループ）

原 著

No. 1 3月 竹内龍雄, 上月英樹, 藍沢鎮雄, 高橋徹, 丸山晋, 児玉和宏：
不安神経症の発症状況について。

社会精神医学 7 : 53-58, 1984

No. 2 7月 小泉準三, 上月英樹：

精神科におけるデキサメサゾン抑制試験の臨床的有用性、国立精神衛生研究所ワーキングショップの要約、

JAMA (日本語版) 7 : 114-117, 1984

No. 3 7月 小泉準三, 須磨崎加寿子, 白石博康, 竹内龍雄, 宮本真理, 市川忠彦, 嶋崎素吉, 長瀬精一, 大福浩二郎, 東畑薰, 上月英樹：
ホパンテン酸カルシウム(ホバテ)による器質性精神障害の治療経験。

治療, 66 : 1499-1506, 1984

No. 4 8月 小泉準三：

血清電解質異常と精神神経症状。

医学と薬学, 12 : 419-428, 1984

No. 5 9月 長瀬精一, 浜野建三, 長畑正道：
神経性無食欲症の1男子例。

小児の精と神 24 : 133-139, 1984

No. 6 11月 竹内龍雄, 上月英樹, 白石博康, 宮本真理, 須磨崎加寿子, 長瀬精一, 東畑薰, 小泉準三：
幻覚を伴うヒステリーの16自験例について。

臨床精神医学 13 : 1365-1373, 1984

No. 7 11月 小泉準三, 長瀬精一, 白石博康, 大福浩二郎, 清水文雄, 東畑薰, 竹内龍雄：
前頭葉症候群, 失語症状, 記憶障害などを呈した左視床領域梗塞の1臨床例。

臨床精神医学 13 : 1451-1456, 1984

No. 8 11月 Tadahiko Ichikawa :

Une variante exceptionnelle du rythme alpha.

Mémoire pour l'obtention du titre d'assistant étranger, université d'Aix-Marseille, Marseille, 1984

No. 9 12月 市川忠彦：

誤られやすい異常脳波(1)見かけの陽性鋭波。

茨城県立病院医学雑誌 2 : 326-328, 1984

No. 10 12月 小泉準三, 白石博康, 大福浩二郎, 長瀬精一, 東畑薰, 小野幸雄, 伊藤政美：

強迫的常同書字と行為, 病的摑み現象, 激しい強迫泣, 亜昏迷, 右半身麻痺などを呈し, 左前頭葉の静脈性血管腫と左側の基底核, 視床, 大脳皮質などの萎縮を認める1臨床例。

臨床精神医学 13 : 1583-1592, 1984

総 説

No. 1 7月 白石博康：

躁うつ病の診断。

総合臨床, 33 : 1409-1410, 1984

著 書

No. 1 3月 大福浩二郎, 小泉準三：

合併症としての精神症状,

Critical care における精神症状とその対策 (黒澤尚編),
pp. 265-276, 創造出版, 東京, 1984

No. 2 3月 小泉準三：

頭部外傷後の精神障害,

今日の治療指針 (石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編),
pp. 226-227, 医学書院, 東京, 1984

No. 3 5月 嶋崎素吉：

精神障害とその予防,

現代保健学習指導事典 (保健教育研究会編),
pp. 398-401, 大修館書店, 東京, 1985

No. 4 10月 小泉準三：

精神症状と状態像

精神医学Essential Lecture (宮本忠雄編),
pp. 14-26, メジカルビュー社, 東京, 1984

No. 5 10月 嶋崎素吉：

大学生の心性とスチューデント・アパシー,

青年期の心の病 (野沢栄司編著),
pp. 28-60, 星和書店, 東京, 1984

No. 6 10月 竹内龍雄：

青年の自己破壊的行為—自殺と手首自傷行為—

青年期の心の病 (野沢栄司編著), pp. 79-101, 星和書店, 東京, 1984

No. 7 11月 白石博康：

気分高揚,

精神医学大事典 (新福尚武編), p. 164, 講談社, 東京, 1984

No. 8 11月 白石博康：

主軸症状,

精神医学大事典 (新福尚武編), pp. 369-370, 講談社, 東京, 1984

No. 9 11月 白石博康：

躁状態,

精神医学大事典 (新福尚武編), p. 571, 講談社, 東京, 1984

- No. 10 11月 嶋崎素吉：
過敏性情動衰弱状態,
精神医学大事典（新福尚武編）, p.138, 講談社, 東京, 1984
- No. 11 11月 嶋崎素吉：
腸内寄生虫妄想,
精神医学大事典（新福尚武編）, p.620, 講談社, 東京, 1984
- No. 12 11月 嶋崎素吉：
被毒妄想,
精神医学大事典（新福尚武編）, pp.737-738, 講談社, 東京, 1984
- No. 13 11月 竹内龍雄：
刺激性衰弱,
精神医学大事典（新福尚武編）, p.312, 講談社, 東京, 1984
- No. 14 11月 竹内龍雄：
難聴者の迫害妄想,
精神医学大事典（新福尚武編）, pp.667-668, 講談社, 東京, 1984
- No. 15 11月 竹内龍雄：
皮膚寄生虫妄想.
精神医学大事典（新福尚武編）, p.739, 講談社, 東京, 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

- No. 1 2月 竹内龍雄, 上月英樹, 白石博康, 嶋崎素吉, 宮本真理, 須磨崎加寿子, 長瀬精一, 大福浩二郎, 東畑薰, 鈴木利人, 小泉準三：
Wrist cutting の23自験例について.
第10回東京精神医学懇話会（東京）, 2月, 1984
- No. 2 2月 大福浩二郎, 小泉準三, 長瀬精一, 上月英樹, 宮本真理, 須磨崎加寿子, 東畑薰, 白石博康：
白内障, 網膜剥離などの眼科手術に伴うせん妄の発症要因に関する研究—7自験例から—.
第10回東京精神医学懇話会（東京）, 2月, 1984
- No. 3 5月 藍沢鎮雄, 星野良一, 高橋徹, 丸山晋, 竹内龍雄：
不安神経症者の性格特徴について.
第80回日本精神神経学会総会（福岡）, 5月, 1984
- No. 4 6月 竹内龍雄, 上月英樹, 白石博康, 宮本真理, 須磨崎加寿子, 長瀬精一, 東畑薰, 小泉準三：
幻覚を伴うヒステリーの16自験例について.
第11回東京精神医学懇話会（東京）, 6月, 1984
- No. 5 10月 上月英樹, 小泉準三, 竹内龍雄, 飯尾正明, 小野幸雄：
自殺目的の縊頸で発見時から10数分後に蘇生したが, 著明な器質性人格症候群を残した1臨床例—とくに前頭葉症状と脳ポジトロン CT 所見について—
第12回東京精神医学懇話会（東京）, 10月, 1984

No. 6 10月 佐久間健一, 小泉準三, 白石博康, 長瀬精一:

多彩な精神症状を伴った顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーの1臨床例.

第12回東京精神医学懇話会(東京), 10月, 1984

No. 7 11月 長瀬精一, 白石博康, 小泉準三, 佐藤茂仁:

精神分裂病様症状で発症した Ramsay-Hunt 症候群の1臨床例.

第6回茨城医学会精神科分科会(水戸), 11月, 1984

班研究報告

No. 1 3月 高橋徹, 藍沢鎮雄, 竹内龍雄, 丸山晋, 上林靖子, 児玉和宏, ウィリアム・ヴェザール:

ストレスによる神経症の発生機序および診断技術の開発に関する研究—不安神経症の発症・経過・予後—

国立精神衛生研究所 神経症研究班報告, 1984

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 3月 嶋崎素吉:

精神障害とその対応.

茨城県心身障害職業センター(友部), 3, 1, 1984

No. 2 11月 市川忠彦:

Une variante exceptionnelle du rythme alphaについて

国立療養所静岡東病院(てんかんセンター)医局懇話会, 11月14日, 1984

1984年（皮膚科グループ）

原著

- No. 1 1月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 鐘陽明, 松代彰子, 相吉悠治, 上野賢一, 大見尚, 内藤秀一, 三井清文：
最近われわれの経験した悪性黒色腫の症例.
日形会誌 4: 45-59, 1984
- No. 2 2月 馬場徹：
遅延型皮膚過敏症の抑制機構の解析. 特にマクロファージの果たす役割について.
日本リディアオリリー協会 昭和58年度研究助成年報98-99, 1984
- No. 3 2月 大見尚, 高橋秀東, 上野賢一, 斎藤義雄, 柴原正, 寺山勇, 広瀬至, 近藤靖児, 吉井田美子, 大津晃：
吉草酸酢酸ブレドニゾロン外用剤（リドメックスコーワ軟膏・クリーム）による皮膚疾患の治療.
薬理と治療, 12: 851-858, 1984
- No. 4 3月 高瀬孝子, 大見尚, 上野賢一：
5-FC が奏効した chromomycosis の 1 例.
臨皮 38: 251-253, 1984
- No. 5 3月 佐久間満里子, 大見尚, 上野賢一：
白斑を伴った多発性 morphea の 1 例.
臨皮 38: 241-245, 1984
- No. 6 3月 堀内早苗, 馬場徹, 上野賢一：
Keratoacanthoma の 2 例.
第4回 HLBI 研究会記録86-87, 1984
- No. 7 3月 佐久間満里子, 奥山早苗, 鈴木正之, 馬場徹, 高橋秀東, 矢尾板英夫, 上野賢一：
アミロイド苔癬を合併した木村氏病.
日皮会誌 94: 225-233, 1984
- No. 8 5月 Hanada T, Abe T, Nakazawa M, Aoki Y, Uyeno K：
Bone marrow failure in dyskeratosis congenita.
Scand J Haematol 32: 496-500, 1984
- No. 9 5月 鈴木正之, 金沢一也, 矢尾板英夫, 堀内早苗, 佐久間満里子, 馬場徹：
木村氏病のリンパ濾胞構造について.
皮紀要 79: 75-80, 1984
- No. 10 5月 Takahashi H, Hoshino M, Ohmi T & Uyeno K：
A case of lymphangioleiomyoma.
J Clin Electron Microscopy 16: 848, 1984
- No. 11 5月 Ohmi T, Hoshino M, Takahashi H & Uyeno K：
Atypical fibrous histiocytoma.
J Clin Electron Microscopy 16: 849, 1984

- No. 12 6月 木村喜代二, 上野賢一ほか：
共同研究による HLBI の悪性腫瘍に対する Phase I-II Study.
癌と化学療法 11 : 1324-1331, 1984
- No. 13 8月 高瀬孝子, 上野賢一, 美譽志康：
Trichophyton rubrum による白癬性毛瘡.
皮膚臨床 26 : 975-979, 1984
- No. 14 8月 馬場徹, 鶯野谷秀夫, 佐久間満里子, 高瀬孝子, 上野賢一：
多発した灰白色斑を伴ったダリニ病の2例.
日皮会誌 94 : 1003-1013, 1984
- No. 15 9月 鶯野谷秀夫, 馬場徹, 高橋秀東, 大見尚, 内藤琇一, 高瀬孝子, 上野賢一：
紫外・赤外・螢光撮影における gray scale 作製について.
日医写真学会誌 22 : 128-140, 1984
- No. 16 10月 須磨崎亮, 美譽志康, 高瀬孝子, 上野賢一：
超未熟児のアスペルギルス症—皮膚と肺に病変のみられた例一.
真菌と真菌症 25 : 177-181, 1984
- No. 17 11月 佐久間満里子：
Lichen myxoedematosus. 第1報. 肝障害隨伴例の統計的観察と Melphalan 奏効例.
日皮会誌 94 : 1521-1529, 1984
- No. 18 11月 Baba T, Yaoita H：
UV radiation and keratosis follicularis.
Arch Dermatol 120 : 1484-1487, 1984

総 説

- No. 1 2月 上野賢一：
老人に多い皮膚病.
日本医師会雑誌 91 : カラー図説, 1984
- No. 2 2月 上野賢一, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (VII).
西日本皮膚 46 : 364-373, 1984
- No. 3 4月 上野賢一, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (VIII).
西日本皮膚 46 : 565-573, 1984
- No. 4 6月 上野賢一, 佐久間満里子, 星野稔, 堀内早苗：
基底細胞腫.
病理と臨床 2 : 761-770, 1984
- No. 5 6月 上野賢一, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (IX).
西日本皮膚科 46 : 756-761, 1984

- No. 6 6月 上野賢一, 馬場徹, 堀内早苗：
インターフェロン.
皮膚臨床 26: 843-855, 1984
- No. 7 6月 馬場徹：
DDS.
皮膚臨床 26: 679-683, 1984
- No. 8 8月 上野賢一, 高橋秀東, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (X).
西日皮膚 46: 931-937, 1984
- No. 9 9月 上野賢一, 馬場徹, 堀内早苗：
皮膚科領域におけるインターフェロン療法.
MEDICO 15: 6456-6462, 1984
- No. 10 10月 上野賢一, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (XI).
西日皮膚 46: 1152-1161, 1984
- No. 11 12月 上野賢一, 佐久間満里子：
皮膚放射線療法入門 (XII).
西日皮膚 46: 1378-1386, 1984

著 書

- No. 1 3月 上野賢一：
カラーフォト皮膚病 第3巻 (簗野倫, 上野賢一他編), 金原出版, 東京, 1984
- No. 2 5月 上野賢一：
老人性皮膚変化の考え方と対応, (村上元孝他編)
「臨床老年医学大系」14巻, pp 19-46
情報開発研究所, 東京, 1985
- No. 3 10月 上野賢一：
皮膚疾患, 図説 老年病医学 4.
各論内科系 II (尾前照雄等編) pp 244-281 同朋舎出版, 1984

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 4月 高瀬孝子, 大見尚, 上野賢一：
クロモミコーシスの1例.
59年度春期茨城県皮膚科集談会 (土浦), 4月, 1984
- No. 2 4月 星野稔, 高橋秀東, 上野賢一：
Papillomatosis cutis carcinoides の1例.
59年度春期茨城県皮膚科集談会 (土浦), 4月, 1984

- No. 3 4月 中嶋紅美子, 高橋秀東, 上野賢一:
単発性神経線維腫の1例.
59年度春期茨城県皮膚科集談会(土浦), 4月, 1984
- No. 4 4月 星野稔, 堀内早苗, 佐久間満里子, 高橋秀東, 上野賢一, 北川俊夫:
陽子線による皮膚癌の治療.
第1回日本皮膚科学会山梨地方会(甲府), 4月, 1984
- No. 5 5月 大見尚:
一般外来における皮膚疾患の診断と治療.
取手市医師会学術講演会(取手)(特別講演), 5月, 1984
- No. 6 6月 高橋典大, 星野稔, 佐久間満里子, 馬場徹, 上野賢一:
潰瘍化をみた皮膚サトコイドーンスの1例.
第83回日皮学会総会(札幌), 6月, 1984
- No. 7 6月 馬場徹, 落合孝広, 山口浩司, 内藤琇一, 佐久間満里子, 高瀬孝子, 上野賢一:
サルコイドーシス患者血清中の单球修飾因子について.
第83回日皮学会総会(札幌), 6月, 1984
- No. 8 6月 高橋秀東, 星野稔, 大見尚, 上野賢一, 沢田俊道:
リンパ管平滑筋腫.
第83回日皮学会総会(札幌), 6月, 1984
- No. 9 6月 上野賢一:
放射線療法の新しい試み—陽子線療法.
第83回日皮学会総会(札幌)シンポジウム, 6月, 1984
- No. 10 6月 高瀬孝子, 内藤琇一, 堀内早苗, 中嶋紅美子, 上野賢一, 美譽志康:
Chromomcoysis の2例.
第83回日皮学会総会(札幌), 6月, 1984
- No. 11 6月 星野稔, 佐久間満里子, 堀内早苗, 上野賢一, 北川俊夫:
粒子線(陽子線)照射の皮膚科的応用.
第83回日皮学会総会(札幌), 6月, 1984
- No. 12 6月 高瀬孝子, 高橋秀東, 上野賢一, 美譽志康:
Sporotrichosis の3例.
第8回日本小児皮膚科学会総会(東京), 6月, 1984
- No. 13 6月 赤間紅美子, 高橋秀東, 大見尚, 上野賢一, 久木田親重:
単発性神経線維腫の1例.
第8回日本小児皮膚科学会総会, 6月, 1984
- No. 14 7月 高瀬孝子, 上野賢一, 中桐昭:
P. dermatitidis による chromomycosis の1例.
第6回北陸真菌懇談会(金沢), 7月, 1984
- No. 15 7月 赤間紅美子, 星野稔, 佐久間満里子, 高橋秀東, 上野賢一, 森尚義:
悪性リンパ腫の1例.
第3回皮膚リンパフォーマ研究会(横浜), 7月, 1984

- No.16 7月 堀内早苗, 星野稔, 高橋秀東, 大見尚, 上野賢一, 森尚義:
 Atypical lymphoid hyperplasia.
 第3回皮膚リンフォーマ研究会(横浜), 7月, 1984
- No.17 9月 Baba T, Ochiya A, Baba A, Yamaguchi K, Sakuma M, Takase T, Uyeno K:
 Monocyte-Modulating factors in sarcoidosis sera.
 10th International RES Congress (Ito), 9月, 1984
- No.18 9月 Horiuchi S, Baba T, Uyeno K:
 Treatment of common warts with interlesional human fibroblast interferon.
 Symposium on pharmacological and Clinical Approaches
 to Herpes Vireises & Virus Chemotherapy (Oiso), 9月, 1984
- No.19 9月 佐久間満里子, 飯島茂子, 赤間紅美子, 馬場徹, 上野賢一:
 環状紅斑を呈した Sjögren 症候群の1例.
 第35回日皮学会中部支部学術大会(大阪), 9月, 1985
- No.20 9月 馬場徹, 山口浩司, 佐久間満里子, 高瀬孝子, 上野賢一:
 サルコイドーシス患者の血清因子による連鎖的单球修飾.
 第35回日皮学会中部支部学術大会(大阪), 9月, 1985
- No.21 9月 星野稔, 高橋秀東, 上野賢一:
 Papillomatosis cutis carcinoides Gottron の1例.
 第35回日皮学会中部支部学術大会(大阪), 9月, 1985
- No.22 10月 上野賢一:
 皮膚腫瘍について.
 日本皮膚科学会東部支部生涯教育講演会(宇都宮)(教育講演) 10月, 1985
- No.23 10月 高瀬孝子, 上野賢一, 美譽志康, 中桐昭:
 クロモミコーンスター星芒体が認められた例一.
 第28回日本医真菌学会総会(神奈川), 10月, 1985
- No.24 11月 堀内早苗, 馬場徹, 上野賢一:
 IFN- α 局注療法を行なった keratoacanthoma の2例.
 第48回日皮学会東日本学術大会(浜松), 11月, 1984
- No.25 11月 大見尚, 星野稔, 佐久間満里子, 高橋秀東, 上野賢一, 佐藤浩昭, 菅野千秋, 渡辺宏,
 長谷川鎮雄:
 肺小細胞癌の皮膚転移の一例(Merkel cell tumorとの比較検討).
 第48回日皮学会東日本学術大会(浜松), 11月, 1984
- No.26 11月 大見尚:
 皮膚疾患の治療.
 水戸医師会講演会(水戸)(教育講演), 11月, 1985
- No.27 11月 大見尚:
 皮膚悪性腫瘍と鑑別.
 水戸医師会講演会(水戸)(教育講演), 11月, 1985

- No. 28 11月 高瀬孝子, 内藤秀一, 馬場徹, 上野賢一, 美誉志康, 中桐昭:
当科の *M. canis* 感染症例とその mating type.
第36回日皮学会西部支部学術大会 (八幡), 11月, 1984
- No. 29 11月 堀内早苗, 馬場徹, 上野賢一:
青年性扁平疣贅に対するインターフェロン・シメチジン併用療法.
第36回日皮学会西部支部学術大会 (八幡), 11月, 1985
- No. 30 11月 星野稔, 赤間紅美子, 内藤秀一, 高橋秀東, 森口真理:
脂腺上皮腫の2例.
第36回日皮学会西部支部学術大会 (八幡), 11月, 1985
- No. 31 11月 高瀬孝子:
皮膚真菌症について.
水戸医師会講演会 (水戸) (教育講演), 11月, 1985
- No. 32 12月 佐久間満里子:
環状紅斑を主徴とした Sjögren 症候群.
59年度秋期茨城県皮膚科集談会 (水戸), 12月, 1985
- No. 33 12月 堀内早苗, 斎藤義雄:
Cole-Engman 症候群の1例.
59年度秋期茨城県皮膚科集談会 (水戸), 12月, 1985
- No. 34 12月 成田至子, 内藤秀一:
水泡を併なった石灰化上皮腫の1例.
59年度秋期茨城県皮膚科集談会 (水戸), 12月, 1985
- No. 35 12月 高瀬孝子, 馬場徹, 上野賢一, 美誉志康, 長谷川篤彦:
S. schenckii の糖クエン酸尿素代謝に関する検討.
第616回日皮学会東京地方会 (東京), 12月, 1985

班研究報告

- No. 1 3月 上野賢一, 馬場徹, 大見尚, 高橋秀東, 星野稔:
皮膚の老化—特に表皮の形態学的変動.
老化特別プロジェクト研究 pp 40-42, 1984
- No. 2 3月 上野賢一, 星野稔, 佐久間満里子:
粒子線による皮膚癌の治療.
老化特別プロジェクト研究 pp 201-203, 1984

その他 (放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

- No. 1 3月 上野賢一:
文を書くということ.
皮膚臨床 26:355-357, 3月, 1984
- No. 2 5月 上野賢一:
想いを沈めるところ.
イトオテルミー No 129, 5月, 1984

No. 3 6月 上野賢一, 西山茂夫:
老人の皮膚疾患.

ラジオたんぱ, 6月29日. 1984

No. 4 8月 斎藤隆三, 野波英一郎, 肥田野信, 上野賢一:
血管炎.

皮膚臨床 26:1043-1055, 8月, 1984 (座談会)

No. 5 12月 上野賢一:
アトピー性皮膚炎の子の生活点検34.

プチタンファン 20:120-124, 12月号, 1984

No. 6 4月 上野賢一:
侵襲少ない陽子線療法. ガン治療に好成績, 日経メディカル4月号, 31頁

1984年（小児科グループ）

原 著

- No. 1 1月 浜野建三, G. Ponson :
ヘルペス脳炎の早期症候・早期所見とくに血清, 髓液のインターフェロン値.
医学のあゆみ 128 : 168-169, 1984
- No. 2 1月 城賀本満登, 堀米仁志, 中原智子, 花田尚, 蔡田敬次郎 :
寛解導入療法により高 K 血症, 高 P 血症, 低 Ca 血症をきたした T 細胞型急性リンパ性白血病の 1 例.
日本小児科学会雑誌 88 : 40-45, 1984
- No. 3 2月 高瀬孝子, 須磨崎亮, 美譽志康 :
超未熟児のアスペルギルス症—皮膚と肺に病変のみられた例一.
真菌と真菌症 25 : 177-181, 1984
- No. 4 3月 Nakahara S., Kawashima K., Fujiwara J., Matsumura A., Nakata Y :
EEG power spectra and gas analysis of arterial blood during and after hyperventilation in moyamoya disease in children.
Brain & Development 6-2 : 218, 1984
- No. 5 3月 Fujiwara J., Kawashima K., Nakahara S., Nakata Y :
A clinical study of EEG power spectra in children with hemiplegia-prognostic correlation to similarity between the two hemispheres.
Brain & Development 6-2 : 155, 1984
- No. 6 4月 仁科孝子, 澤口重徳, 佐藤秀郎, 田村和喜 :
静脈管・臍静脈の超音波像.
超音波医学 11 : 258-259, 1984
- No. 7 4月 田村和喜, 仁科孝子, 澤口重徳, 滝田齊 :
極小未熟児蘇生術後に発生した肝内無エコー域の超音波断層像.
超音波医学 11 : 246-247, 1984
- No. 8 5月 城賀本満登, 平野岳毅, 滝田齊 :
濾紙血によるサイロキシン結合グロブリン測定法の基礎的, 臨床的検討とくに早期産児の先天性甲状腺機能低下症のマスクリーニングにおける意義について.
日本小児科学会雑誌 88 : 1063-1071, 1984
- No. 9 7月 K. Hamano, P. Bonifas-Ganup, C. J. Sebros.A, P. Plouin :
Periodic complexes in EEG and myoclonus in subacute sclerosing panencephalitis.
Brain and Development 6 : 418, 1984
- No. 10 7月 Hanada T., Abe T., Nakazawa M., Aoki Y., Uyeno K. :
Bone marrow failure in dyskeratosis congenita.
Scand J Haematol 32 : 496-500, 1984

- No. 11 7月 前田肇, 軸屋智昭, 榊原謙, 酒井章, 堀原一, 佐藤秀郎, 近藤陽一：
人工心肺を用いない右心室流出路パッヂ拡大術：
胸部外科 37 : 520-525, 1984
- No. 12 8月 鴨田知博, 須磨崎亮, 藤田敬次郎：
非乏尿性腎不全をともなった急性間質性腎炎の1例。
日本小児科学会雑誌 88 : 1650-1653, 1984
- No. 13 8月 野上哲夫, 花田尚, 鴨田知博, 中原智子, 滝田齊, 渡辺宏：
Methotrexate 骨注により生じたと思われる間質性肺炎。
日本小児科学会雑誌 88 : 1696-1701, 1984
- No. 14 9月 Hanada T., Nakahara S., Takita H., Oshima M.：
¹¹¹In-labelled platelet scintigraphy in Kasabach-Merritt syndrome.
Acta Haematol Jpn 47 : 1359-1365, 1984
- No. 15 9月 Kondo I., Shimakura Y., Hirano T., Kaneko M., Yabuta K.：
Case report and possibility of clinical diagnosis.
Clinical Genetics 25 : 196-200, 1984
- No. 16 9月 長瀬精一, 浜野建三, 長畠正道：
神経性無食欲症の1男子例。
小児の精神と神経 24 : 133-139, 1984
- No. 17 10月 Hanada T., Abe T., Nakamura H., Aoki Y.：
Pure red cell aplasia : relationship between inhibitory of T cells to CFU-E and erythropoiesis.
Brit J Haematol 58 : 107-113, 1984
- No. 18 10月 前田肇, 軸屋智昭, 酒井章, 佐藤秀郎, 伊藤健二, 堀原一：
膜様部瘤, 大動脈騎乗, 動脈管開存を伴うⅡ型完全大血管転位症。
胸部外科 37 : 830, 1984
- No. 19 11月 花田尚, 阿部帥, 足立山夫：
赤血球系無形成症(PRCA)における免疫学的造血抑制に関する検討。
日本血液学会雑誌 47 : 1383-1388, 1984
- No. 20 12月 Hanada T., Nakazawa M., Sakuma H., Takahashi M., Kondo I., Takita H.：
Megakaryoblastic transformation of chronic myelogenous leukaemia in a child.
Scand J Haematol 33 : 476-481, 1984

総 説

- No. 1 10月 滝田齊：
吐血, 下血, 便通異常。
小児科臨床37, 増刊号【鑑別診断】: 2657-2662, 1984
- No. 2 10月 滝田齊：
腹部膨満。
小児科診療 47 : 1558-1560, 1984

No. 3 12月 滝田齊：

肝硬変の病因と治療管理.

小児内科 16 : 2523-2527, 1984

No. 4 12月 平野岳毅：

米国における小児科卒後教育,

日本医事新報 3129 : 31-34, 1984

著 書

No. 1 2月 浜野建三(共訳)

マッソン社医学生物学大辞典

(内菌耕二, 北本治, 小林隆, 小林竜雄, 鈴木安恒, 土屋雅春,
長野泰一, 萬年甫, 三浦義彰, 森岡恭一, 山本高治郎, 吉倉範光
監修) メジカルフレンド社, 東京, 1984

No. 2 4月 中村了正：

生化学辞典(糖質代謝異常ほか36項目分担執筆),

(今堀和友, 山川民夫監修, 宇井信生, 上代淑人他編),
東京化学同人, 1984

No. 3 8月 中村了正：

低血糖症,

小児治療保健指針 改訂第8版(平山宗宏, 小林登編)
pp 736-743, 診断と治療社, 東京, 1984

No. 4 8月 中村了正：

治療できる先天代謝異常,

小児治療保健指針, 改訂第8版(平山宗宏, 小林登編)
pp 690-711, 診断と治療社, 東京, 1984

No. 5 9月 中村了正：

世界大百科辞典(先天代謝異常, 羊水診断ほか9項目分担執筆),

平凡社, 東京, 1984

No. 6 11月 滝田齊, 須磨崎亮：

肝不全, 小児科 MOOK 35 [ベッドサイドの小児輸液のすべて] (山下文雄他編),
pp 129-135, 金原出版, 東京, 1984

学会発表(シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 3月 川嶋浩一郎, 鴨田知博, 浜野建三:

周期性片側性てんかん様放電(PLEDs)を伴った H. H. Syndrome の 1 乳児例.

第11回関東小児てんかん研究会(東京), 3月, 1984

No. 2 4月 花田尚, 阿部帥:

再生不良性貧血における自己骨髄造血幹細胞抑制 T リンパ球の検出法.

第46回日本血液学会総会(京都), 4月, 1984

- No. 3 4月 阿部帥, 花田尚, 今川重彦:
ジフェニルヒダントインによる純赤血球無形成症—薬物代謝産物に対する感受性の亢進.
第46回日本血液学会総会(京都), 4月, 1984
- No. 4 4月 鈴木恵子, 小形岳三郎, 葛原茂樹, 川嶋浩一郎, 浜野建三:
無汗症を伴う先天性痛覚不感症(遺伝性知覚性ニューロパチーIV型)の1剖検例.
第73回日本病理学会総会(東京), 4月, 1984
- No. 5 5月 阿部帥, 今川重彦, 花田尚, 中村治雄:
芳香族化合物の代謝産物が原因と思われる顆粒球減少症の1例.
第85回日本臨床血液学会例会(高崎), 5月, 1984
- No. 6 6月 中村了正:
先天性代謝異常児の年長化に伴う二三の問題.
第87回日本小児科学会総会(宇都宮), 6月, 1984
- No. 7 6月 佐藤秀郎, 堀米仁志:
Rapid atrial pacingによる systolic time interval の変動.
第20回日本小児循環器学会(愛媛), 6月, 1984
- No. 8 6月 前田肇, 酒井章, 堀原一, 佐藤秀郎, 近藤陽一:
補助循環を用いない Central Palliation.
第20回日本小児循環器学会(愛媛), 6月, 1984
- No. 9 6月 野上哲夫, 鴨田知博, 藤原順子:
Fetal hydantoin syndrome の1例.
第25回日本小児科学会茨城地方会(筑波), 6月, 1984
- No. 10 6月 川嶋浩一郎, 堀米ゆみ, 浜野建三:
Babinski および Rossolimo の反射の消長と extensibilité.
第26回日本小児神経学会総会(大阪), 6月, 1984
- No. 11 6月 坂本ゆみ, 新健治, 堀米仁志, 浜野建三, 菅間博, 塚原充秋:
下垂体が欠如した全前脳胞症(Holoprosencephaly)の1剖検例.
第25回日本小児科学会茨城地方会(筑波), 6月, 1984
- No. 12 6月 新健治, 武井治郎, 佐藤秀郎, 柴崎正修, 藤原順子, 中村了正:
新生児寒冷障害の4例.
第25回日本小児科学会茨城地方会(筑波), 6月, 1984
- No. 13 6月 小畠文也, 佐藤秀郎:
先天性心臓病児の知的能力に関する研究.
第20回日本小児循環器学会(愛媛), 6月, 1984
- No. 14 6月 茂木富美子, 渡辺克也, 大滝千佐子, 長谷川知子, 中村了正:
46, XY, dir dup (9 p) (pter-p 12 : p 24-pter) の1症例.
第7回小児臨床遺伝懇話会(宇都宮), 6月, 1984
- No. 15 6月 藤田光江, 藤原順子:
制吐剤により錐体外路症状を呈した2例
第25回日本小児科学会茨城地方会(筑波), 6月, 1984

- No.16 7月 新健治, 鴨田知博, 須磨崎亮, 影岡武士：
感音性難聴を伴った遠位型腎尿細管性アシドーシスの1例。
第20回日本小児腎臓病学会（神戸），7月，1979
- No.17 8月 須磨崎亮, 新健治, 滝田齊：
劇症肝炎の早期診断について。
大山ワークショップ（鳥取），8月，1984
- No.18 8月 須磨崎亮, 新健治, 滝田齊：
劇症肝炎の治療。
大山ワークショップ（鳥取），8月，1984
- No.19 9月 藤原順子：
小児痙攣性疾患の診断治療の進歩。
第99回日本小児科学会群馬地方会（高崎），9月，1984
- No.20 9月 花田尚, 滝田齊, 中沢正樹, 佐久間秀夫, 近藤郁子：
巨核球性急性転化をきたした成人型慢性骨髓性白血病の小児例。
第26回日本小児血液研究会（金沢），9月，1984
- No.21 9月 須磨崎亮, 野上哲夫, 磯部剛志, 新健治, 森山千秋, 江原孝郎, 坂本ゆみ, 浜野建三,
滝田齊：
小児劇症肝炎の臨床病理学的検討。
第11回日本小児消化器病研究会（札幌），9月，1984
- No.22 9月 新健治, 須磨崎亮, 滝田齊, 仁科孝子：
慢性肝障害を伴った肝外門脈閉塞の1例。
第11回日本小児消化器病研究会（札幌），9月，1984
- No.23 10月 阿部帥, 今川重彦, 二宮治彦, 青木泰子, 花田尚：
有機溶媒による再生不良性貧血、代謝産物に対する感受性の亢進。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.24 10月 花田尚, 阿部帥：
再生不良性貧血およびPRCAに対する免疫抑制療法。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.25 10月 城賀本満登, 平野岳毅, 加納勝利：
先天性副腎過形成(CAH)における乳児早期の外陰部形成術の経験。
第18回日本小児内分泌学研究会（松山），10月，1984
- No.26 10月 中沢正樹, 二宮治彦, 青木泰子, 花田尚, 長沢俊郎, 阿部帥, 森尚義：
急性巨核芽球性白血病および巨核芽球性転化CMLの細胞学的検討。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.27 10月 影岡武士, 須磨崎亮, 新健治：
感音性難聴を伴った腎尿細管性アシドーシス患者の赤血球内炭酸脱水酵素の性質。
第26回日本臨床血液学会総会（名古屋），10月，1984
- No.28 11月 滝田齊：
教育講演、小児専門分科の進歩と展望—一般小児科医のために「消化器」
第9回日本小児科学会東日本合同地方会（習志野），11月，1984

- No. 29 11月 野上哲夫, 佐藤秀郎, 堀米仁志, 井島宏, 濑直樹:
 右鎖骨下動脈の閉塞により生じたと思われる右上肢発育不全症の1例。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 30 11月 磯部剛志, 佐藤秀郎, 鈴木敏之:
 肺動脈弁下膜様狭窄を合併した修正大血管転位症(ℓ -TGA)の1例。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 31 11月 新健治, 佐藤秀郎, 堀米仁志, 滝田齊:
 急性肝障害を伴った左心低形成症候群の1女児例。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 32 11月 堀米ゆみ, 鴨田知博, 花田尚, 浜野建三, 仁科孝子, 藤田光江:
 腎静脈血栓症を伴った溶血性尿毒症症候群の1例。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 33 11月 江原孝郎, 新健治, 武井治郎, 田村和喜, 島倉八恵, 須磨崎亮, 渡辺孝太郎:
 慢性腎不全患児における持続的可動性腹膜透析法(Continuous ambulatory peritoneal dialysis, CAPD)の試み。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 34 11月 森山千秋, 野上 夫, 磯部剛志, 新健治, 江原孝郎, 堀米ゆみ, 須磨崎亮, 浜野建三,
 滝田齊:
 小児劇症肝炎の3例。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 35 11月 福田幾夫, 前田肇, 三井利夫, 堀原一, 佐藤秀郎:
 完全大血管転位症(α -TGA)に対するSenning手術の経験。
 第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 36 12月 野上哲夫, 浜野建三, 鴨田知博, 中村了正:
 網膜色素変性, 難聴, 魚鱗癖様皮膚変化および糖尿病をともなった小脳失調症の1
 女児例。
 第91回日本神経学会関東地方会(東京), 12月, 1984

班研究報告

- No. 1 3月 滝田齊, 須磨崎亮, 柴崎正修:
 高 IgM 血症を伴う免疫不全症の1例。
 厚生省特定疾患・免疫不全症候群に関する調査研究班,
 昭和58年度研究報告書, 1984, pp.59-64
- No. 2 3月 阿部帥, 花田尚:
 再生不良性貧血リンパ球の in vitro 幹細胞抑制能一免疫抑制療法の効果との相関。
 厚生省特定疾患・特発性造血障害調査研究班,
 昭和58年度業績集, 1984, pp. 155-160

1984年（循環器外科・呼吸器外科グループ）

原著

No. 1 1月 堀原一：

手術適応の考え方と決め方.

看護技術 30 (2) : 5-10, 1984

No. 2 1月 堀原一：

心臓血管疾患の救急.

茨城県救急医学会雑誌第7号：197-199, 1984

No. 3 1月 中島禎一, 和田光攻, 石川演美, 秋雅貞祥, 井島宏, 軸屋智昭：

上肢のリンパ浮腫—手術適応と術式の選択—. この症例の検査.

外科 46 (1) : 2-7, 1984

No. 4 1月 井島宏, 児玉亮, 榊原謙, 蘇原泰則, 三井清文, 鈴木有二, 三井利夫, 堀原一：

人工血管を用いた静脈血行再建術の問題点と対策.

人工臓器 13(1) : 84-87, 1984

No. 5 1月 児玉亮, 広津敏博, 坂井士, 津田圭四郎, 井島宏, 前田肇：

人工血管の表面修飾.

人工臓器 13 (1) : 400-404, 1984

No. 6 1月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一：

生体顕微鏡による肺水腫の成因に関する研究.

呼吸 3 (1) : 152-152, 1984

No. 7 1月 岡庭群二, 守屋明, 岡部健, 近藤丘, 赤荻栄一, 斎藤泰紀, 藤村重文, 増田高行, 奥山信一：

肺芽細胞腫の1例.

日本胸部外科学会雑誌 32 (1) : 92-96, 1984

No. 8 1月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 鐘陽明, 松代彰子, 相吉悠治, 上野賢一, 大見尚, 内藤秀一, 三井清文：

最近われわれの経験した悪性黒色腫の症例.

日本形成外科学会誌 4 (1) : 45-59, 1984

No. 9 2月 桜井淳一, 前田肇, 堀原一：

右心房内トリプルバルーンパンピングの有用性.

人工臓器 13 (1) : 151-154, 1984

No. 10 2月 小石沢正, 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一：

房室ブロック症例に対するレートヒステレスペーシング—その適応と問題点—.

外科診療 26 (2) : 219-223, 1984

No. 11 2月 井島宏, 児玉亮, 榊原謙, 蘇原泰則, 三井清文, 鈴木有二, 三井利夫, 堀原一：

人工血管を用いた静脈血行再建術の問題点と対策.

人工臓器 13 (1) : 84-87, 1983

No. 12 2月 Fujimura S., Kondo T., Yamauchi A., Handa M., Okabe T., Shionozaki F., Saito R., Ichinose T., Akaogi E., Nakada T.:

A ten-year experience with surgical resection for patients with metastatic lung tumors.

Tohoku J. Exp. Med. 142 (2) : 217-225, 1984

- No.13 3月 前田肇, 福田幾夫, 小林幸雄, 井島宏, 岡村健二, 三井利夫, 堀原一：
多発性塞栓症, ことに急性上腸間膜動脈塞栓症に対する塞栓摘除術の1治験例.
外科 46 (3) : 319-324, 1984
- No.14 3月 桜井淳一, 前田肇, 伊藤翼, 堀原一：
右心房内トリプルバルーンパンピングの有用性—右心室バイパスモデルにおける右心機能補助効果および腎動脈血流に及ぼす影響—.
日本心臓血管外科学会雑誌 13 (4) : 281-284, 1984
- No.15 4月 堀原一：
人工肝臓の動向.
酵素工学ニュース No.11 : 18-21, 1984
- No.16 4月 井島宏：
突然の胸背痛とそれに続発したショックの症例.
臨床医 10 (4) : 522-526, 1984
- No.17 4月 井島宏, 堀原一：
解離性大動脈瘤の新しい外科的分類法—治療方針決定のために—.
胸部外科 37 (4) : 260-266, 1984
- No.18 5月 近藤陽一, 土肥修司, 堀原一, 武島玲子, 水谷太郎, 清野秀子：
人工心肺中の中枢神経活動のモニターABM (Anesthesia-Brain Monitor) の使用経験.
日本手術部医学会誌 5 (2) : 215-217, 1984
- No.19 5月 前田肇, 小石沢正, 桜井淳一, 堀原一：
消失した左房内球形血栓.
胸部外科 37 (5) : 326-327, 1984
- No.20 6月 前田肇, 小石沢正, 堀米仁志, 佐藤秀郎, 堀原一：
重複大動脈弓を合併した極型 Fallot 四徴症.
胸部外科 37 (6) : 408-409, 1984
- No.21 6月 堀原一：
人工臓器の明日 : Hybrid artificial organ—人工肝臓温故知新.
人工臓器 13 (3) : 1058-1062, 1984
- No.22 6月 赤荻栄一, 佐藤雅美, 今井督, 斎藤泰紀, 須田秀一, 橋本邦久, 仲田祐, 佐藤博俊：
気管支カルチノイドの悪性度の評価.
肺癌 24 (3) : 285-292, 1984
- No.23 6月 赤荻栄一, 斎藤亮, 新田澄郎, 藤村重文, 仲田祐, 佐藤博俊：
緊急手術によって救命し得た鈍的胸部外傷に伴う胸腔内気管完全離断の1症例.
日本胸部外科学会雑誌 32 (6) : 944-947, 1984
- No.24 6月 斎藤泰紀, 赤荻栄一, 永元則義, 佐藤雅美, 岡田信一郎, 太田伸一郎, 今井督, 須田秀一, 橋本邦久, 仲田祐, 中川潤, 佐藤博俊：
胸部レ線写真無所見肺癌例の気管支鏡検査.
気管支学 6 (2) : 151-161, 1984

No. 25 7月 Okamura K., Maeta H., Ijima H., Mitsui T., Hori M. :

Evaluation of left ventricular posterior wall movement after open mitral commissurotomy by echocardiogram : with reference to the effect of papilloplasty.

Clinical Cardiology 7 (7) : 387-392, 1984

No. 26 7月 桜井淳一, 前田肇, 入山正, 堀原一 :

心筋保護液の物理化学的 pitfall.

日本胸部外科学会雑誌 32 (7) : 1030-1034, 1984

No. 27 7月 小石沢正, 前田肇, 堀原一 :

中心静脈圧の基準点のとりかたに関する検討.

呼吸と循環 32 (7) : 705-708, 1984

No. 28 7月 前田肇, 軸屋智昭, 柳原謙, 酒井章, 堀原一, 佐藤秀郎, 近藤陽一 :

人工心肺を用いない右心室流出路パッチ拡大術.

胸部外科 37 (7) : 520-526, 1984

No. 29 7月 柳原謙, 武田徹, 井島宏, 能勢忠男, 石川演美, 堀原一 :

大動脈瘤症例における血栓シンチグラフィーの意義—¹¹¹In-oxine labelled platelet および^{99m}Tc-fibrinogen による研究.

脈管学 24 (7) : 563-568, 1984

No. 30 7月 井島宏, 山内栄五郎, 柳原謙, 小石沢正, 軸屋智昭, 宮淳, 三井利夫, 堀原一 :

静脈血行再建術における一時の動静脉瘻併設の有用性.

日本心臓血管外科学会雑誌 14 (1) : 52-53, 1984

No. 31 7月 Oshima M., Ijima H., Kohda Y., Kuramoto K., Kikuchi Y., Wada M., Akisada M. :

Peripheral arterial disease diagnosed with high-count-rate radionuclide arteriography.

Radiology 152 (1) : 161-166, 1984

No. 32 7月 Sohara Y., Mitsui K., Hori M. :

A study for the relation between blood flow velocity and vessel diameter in the small pulmonary arteries of the living dogs.

Proceedings of VII Asian-Pacific Congress on Diseases of the Chest. p. 160, Tokyo, 1984

No. 33 7月 Ijima H., Sakakibara Y., Koishizawa T., Fukuda I., Sakai A., Okamura K., Maeta H., Mitsui T., Hori M. :

Aortic dissection localized in the proximal ascending aorta with aortic regurgitation. A case report of the successful surgical repair with internal patch without valve replacement.

Proceedings of VII Asian-Pacific Congress on Diseases of the Chest. p. 350, Tokyo, 1984

No. 34 8月 三井利夫, 堀原一 :

不整脈における自律神経の関与—心臓交感神経の再分極相への影響—.

臨床医 10 (8) : 1302-1304, 1984

- No. 35 8月 三井利夫, 堀原一：
外科的アプローチによる心拍制御の研究
日本臨床外科医学会雑誌 45回特集号：197-198, 1984
- No. 36 8月 牛場大蔵, 堀原一, 山下文雄, 石井哲夫, 植村研一, 岡島道夫, 尾島昭次, 酒井紀, 高久史麿, 田中勸, 畠尾正彦, 真島英信：
医師国家試験の医学教育への影響に関する研究
医学教育 15 (4) : 237-252, 1984
- No. 37 9月 Koishizawa T., Itoh T., Mitsui T., Hori M.：
Hysteresis pacing for patients with low pacemaker dependency.
Progress in Artificial Organs—1983, Vol. 1, pp. 324-328, ISAO Press No. 204, Cleveland, 1984
- No. 38 9月 Kodama M., Sakai T., Hirotsu T., Tsuda K., Maeta H., Ijima H.：
Modification of prosthetic grafts by glow discharge treatment with collagen-mucopolysaccharide complex.
Progress in Artificial Organs—1983, Vol. 1, pp. 298-301, ISAO Press No. 204, Cleveland, 1984
- No. 39 9月 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：
重ねマットレス法による大動脈弁置換術後の上行大動脈切開創の縫合法
手術 38 (9) : 979-982, 1984
- No. 40 9月 Ogata T., Endo K.：
Clara cell granules of peripheral lung cancer.
Cancer 54 (8) : 1635-1644, 1984
- No. 41 10月 前田肇, 岡村健二, 軸屋智昭, 野末睦, 堀原一：
左背側大動脈遺残を伴う右大動脈弓
胸部外科 37 (10) : 746-747, 1984
- No. 42 10月 前田肇, 軸屋智昭, 酒井章, 佐藤秀郎, 伊藤健二, 堀原一：
膜様部瘤, 大動脈騎乗, 動脈管開存を伴うⅡ型完全大血管転位症
胸部外科 37 (11) : 830-830, 1984
- No. 43 10月 前田肇, 村山史雄, 福田幾夫, 三井利夫, 堀原一：
永久的 long aortic bypass の功罪と改善についての考察：巨大破裂性弓部大動脈瘤の1治験例をもとに
日本胸部外科学会雑誌 32 (10) : 1872-1879, 1984
- No. 44 10月 棚原謙, 武田徹, 井島宏, 堀原一：
大動脈瘤内血栓における血小板消費—¹¹¹In-oxine 標識血小板シンチ グラフィーによる検討—
外科 46 (10) : 1061-1064, 1984
- No. 45 11月 中川晴夫, 石川成美, 鈴木宏昌, 島崎修次, 村山史雄, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一：
胸部鈍的外傷による気管支損傷の3例
救急医学 8 (11) : 1729-1732, 1984

- No. 46 12月 前田肇, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：
動脈圧からみた IABP の適応限界. 循環器科 16 (6) : 540-543, 1984
- No. 47 12月 柳原謙, 福田幾夫, 小石沢正, 軸屋智昭, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：
開心術後腎機能の評価における自由水クリアランス, FENa 測定の意義. 日本胸部外科学会雑誌 32 (12) : 2060-2066, 1984
- No. 48 12月 酒井章, 前田肇, 山内栄五郎, 桜井淳一, 筒井達夫, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一, 野村章：
血液心筋保護（持続血液冠灌流）の臨床研究から得た成果とその臨床応用. 日本心臓血管外科学会雑誌 14 (3) : 139-140, 1984

総 説

- No. 1 4月 堀原一：
Cardiac emergency. 臨床医 10 (4) : 542-543, 1984
- No. 2 4月 三井清文：
急性心タンポナーデの治療. 臨床医 10 (4) : 681-684, 1984
- No. 3 4月 前田肇：
蘇生後多臓器不全. 臨床医 10 (4) : 611-613, 1984
- No. 4 4月 井島宏：
深部静脈血栓症の外科治療. 外科治療 26 (4) : 443-447, 1984
- No. 5 6月 三井利夫：
心臓ペースメーカー, DDD ペースメーカーについて. カレントテラピー 2 (6) : 124-126, 1984
- No. 6 6月 三井利夫：
心臓ペースメーカー, 不整脈治療の最前線. キッセイクール 2 (6) : 9-10, 1984
- No. 7 6月 井島宏：
静脈血行再建. 治療学 12 (6) : 753-756, 1984
- No. 8 6月 軸屋智昭, 前田肇, 堀原一：
外傷性・出血性ショック. 外科診療 26 (6) : 748-754, 1984
- No. 9 8月 堀原一：
不整脈の電気的治療の歴史. 治療学 13 (2) : 272-277, 1984

- No. 10 8月 三井利夫：
 DDD ペースメーカーとその治療の現況.
 循環科学 4 (8) : 830-834, 1984
- No. 11 12月 岡村健二, 堀原一：
 心臓大血管疾患の手術適応の判定における観血的診断法の必要性.
 日本臨床 42 (12) : 2706-2709, 1984
- No. 12 12月 三井利夫, 堀原一：
 近未来の心臓ペースメーカー—頻拍停止帯とエコー帯—.
 心臓ペーシング 1 (1) : 25-29, 1984
- No. 13 12月 井島宏：
 閉塞性動脈硬化症.
 外科 46 (12) : 1417-1419, 1984
- 著 書**
- No. 1 4月 堀原一, 赤塚孝雄, 久保武士：
 医学教育におけるシミュレーションの種類と特徴—CAI とペーパーペーシエント。
 医学教育マニュアル 5 シミュレーションの応用,
 pp.132-163, 日本医学教育学会／篠原出版, 東京, 1984
- No. 2 5月 小石沢正, 三井利夫, 堀原一, 山口巖, 伊藤翼：
 長期ペーシング症例における spontaneous heart activity の評価.
 心臓ペーシング, 第7回心臓ペーシング研究会プロシーディングス,
 pp.41-41, 日本循環器学会・日本 ME 学会, 1984
- No. 3 6月 堀原一：
 Will there ever be an artificial liver?
 渥美和彦 (編)：人工臓器の現況と未来, pp.25-26,
 第4回国際人工臓器会議組織委員会, 1984
- No. 4 7月 三井利夫, 井島宏：
 自律神経系に作用する薬.
 諏訪邦夫, 西立野研二 (編)：周術期の薬と使い方,
 pp.159-191, 南山堂, 東京, 1984
- No. 5 7月 植原謙, 三井利夫：
 体液浸透圧調整薬.
 諏訪邦夫, 西立野研二 (編)：周術期の薬と使い方,
 pp.251-261, 南山堂, 東京, 1984
- No. 6 7月 前田肇, 堀原一：
 心臓性ショック.
 田中大平, 近藤芳夫 (編)：
 外科代謝栄養学, pp.398-409, 文光堂, 東京, 1984

- No. 7 8月 阿部裕, 金井寛, 赤塚孝雄, 稲田紘, 井上通敏, 都築正和, 古川俊之, 堀原一, 諸橋侃
 (日本 ME 学会 編) :
 臨床 ME ハンドブック.
 コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 8 8月 堀原一 :
 外科一般, 外科と ME.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.176-177, コロナ社・医学書院1984
- No. 9 8月 三井利夫 :
 人工臓器.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.184-185, コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 10 8月 三井利夫 :
 除細動器.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.256-257, コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 11 8月 前田肇 :
 手術と人間.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.188-189, コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 12 8月 岡村健二 :
 ハイポサーミア.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.90-91, コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 13 8月 前田肇 :
 人工弁.
 日本 ME 学会 (編) : 臨床 ME ハンドブック,
 pp.292-293, コロナ社・医学書院, 東京, 1984
- No. 14 12月 中川米造, 岩淵勉, 堀原一 (編訳) :
 医学教育と地域保健計画.
 日本医学教育学会／篠原出版, 東京, 1984

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 2月 堀原一 :
 生体機能の代行.
 第2回バイオニクスシンポジウム,
 通産省工業技術院(筑波), 2月, 1984
- No. 2 2月 堀原一 :
 これから医師に求められるもの—医学と人体生物学の間.
 日本学術会議医用生体工学研究連絡会(東京), 2月, 1984

No. 3 2月 三井利夫, 鬼塚正孝, 柳原謙, 小石沢正, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 堀原一:

CUSA を用いた A-C bypass 手術.

第14回日本心臓血管外科学会(東京), 2月, 1984

No. 4 2月 井島宏, 山内栄五郎, 柳原謙, 小石沢正, 軸屋智昭, 宮淳, 三井利夫, 堀原一:

静脈血行再建術における一時的動脈瘻併設の有用性.

第14回日本心臓血管外科学会(東京), 2月, 1984

No. 5 2月 井島宏, 柳原謙, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 三井利夫, 堀原一:

解離性大動脈瘤の新しい外科的分類法—治療方針決定のために.

第14回日本心臓血管外科学会(東京), 2月, 1984

No. 6 2月 岡村健二, 宮淳, 柳原謙, 小石沢正, 桜井淳一, 筒井達夫, 酒井章, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:

三尖弁閉鎖不全症を合併した僧帽弁狭窄症の手術成績—特に cardiac cachexia 症例の手術適応を中心に.

第14回日本心臓血管外科学会(東京), 2月, 1984

No. 7 2月 酒井章, 前田肇, 山内栄五郎, 桜井淳一, 筒井達夫, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一, 野村章:

血液心筋保護(持続血液冠灌流)の臨床研究から得た成果とその臨床応用.

第14回日本心臓血管外科学会(東京), 2月, 1984

No. 8 2月 宮淳, 橋川正典, 軸屋智昭, 小石沢正, 柳原謙, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:

術前 CT 検査にて巨大左房内血栓を診断し得た MS の 1 治験例.

第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984

No. 9 2月 野末睦, 軸屋智昭, 宮淳, 柳原謙, 小石沢正, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:

右大動脈弓, 背側左大動脈弓遺残の症例.

第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984

No. 10 2月 辻勝久, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 橋川正典, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一:

最近経験した悪性胸腺腫の 3 手術例.

第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984

No. 11 2月 野口良輔, 橋川正典, 中川晴夫, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一:

産褥期に胸水を伴った出血性肺過誤腫の 1 手術例.

第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984

No. 12 2月 橋川正典, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一:

腫瘍内出血を認めた悪性神経鞘腫の一例.

第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984

No. 13 2月 宮淳, 塚田博, 辻勝久, 福田幾夫, 柳原謙, 小石沢正, 前田肇, 井島宏, 岡村健二, 筒井達夫, 酒井章, 三井利夫, 堀原一:

冠状動脈入口部狭窄を合併した梅毒性大動脈弁閉鎖不全症の 2 手術治験例.

第111回日本循環器学会関東甲信越地方会(東京), 2月, 1984

- No.14 2月 中川晴夫, 石川成美, 鈴木宏昌, 島崎修次, 鬼塚正孝, 村山史雄, 赤荻栄一, 三井清文, 堀原一:
　　気管支損傷を伴った胸部外傷の3例。
　　第49回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 2月, 1984
- No.15 2月 榊原謙, 酒井章, 井島宏:
　　解離性大動脈瘤の腹部合併症。
　　第4回血管外科合同研究会(宇都), 2月, 1984
- No.16 3月 三井利夫, 小石沢正, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 堀原一, 山口巖:
　　発作性上室性頻拍症に対する胸部交感神経節切除術。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.17 3月 前田肇, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
　　Wire guided knife を用いた血行再建術。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.18 3月 酒井章, 筒井達夫, 蘇原泰則, 前田肇, 山内栄五郎, 桜井淳一, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一, 野村章:
　　持続血液冠灌流法の問題点と長所。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.19 3月 軸屋智昭, 小石沢正, 榊原謙, 福田幾夫, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
　　大腿膝窩動脈閉塞症に対する血行再建術と手術成績。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.20 3月 小石沢正, 伊藤翼, 三井利夫, 堀原一:
　　長期ペーシシング症例における pacemaker dependency の推移とその臨床的意義。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.21 3月 中川晴夫, 鬼塚正孝, 村山史雄, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一:
　　肺癌に対する左房部分合併切除9例の検討。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.22 3月 藤村重文, 赤荻栄一, 近藤丘, 山内篤, 岡部健, 半田政志, 塩ノ崎文博, 斎藤亮, 一ノ瀬高志, 新田澄郎, 今井督, 仲田祐:
　　肺癌に対する気管・気管支形成術の治療成績。
　　第84回日本外科学会総会(京都), 3月, 1984
- No.23 3月 渡辺泰徳, 榊原謙, 寺田康, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
　　消費性凝固障害, 腎機能障害を合併した解離性大動脈瘤の手術治験例。
　　第712回外科集談会(東京), 3月, 1984
- No.24 3月 鬼塚正孝, 村山史雄, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 井島宏, 堀原一:
　　胸部腫瘍切除と動脈損傷。
　　第12回血管外科研究会(京都), 3月, 1984

- No. 25 3月 宮淳, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
 Spinal cord stimulation 電極植込み術が奏効した1例.
 第3回 Limb Salvage 懇話会(東京), 3月, 1984
- No. 26 3月 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 村山史雄, 中川晴夫, 鬼塚正孝, 矢吹武, 小形岳三郎, 鈴木有二:
 1年以内の胸部検診で異常のなかった進行肺癌の2例.
 第79回日本肺癌学会関東支部会(東京), 3月, 1984
- No. 27 3月 宮淳, 寺田康, 井島宏, 堀原一:
 閉塞性動脈疾患に対する PGE₁ の治療効果の臨床的検討.
 第13回日本脈管作動物質研究会(松本), 3月, 1984
- No. 28 3月 前田肇:
 慢性負荷増加に対する左心室の適応. シンポジウム:心臓と血管系との相互関連.
 第48回日本循環器学会総会(福岡), 3月, 1984
- No. 29 4月 渡直樹, 井島宏
 Periarteritis nodosa による下肢虚血性潰瘍に対する血行再建術.
 第34回血管外科症例検討会(東京), 4月, 1984
- No. 30 4月 井島宏:
 拡張型心筋症の1例(追加)
 第13回茨城心臓血管研究会(水戸), 4月, 1984
- No. 31 4月 Sakai A., Maeta., Sohara Y., Tsutsui T., Onizuka M., Murayama F., Okamura K., Iijima H., Mitsui T., Hori M., Ohshima N.:
 Evaluation of continuous cold blood cardioplegia. A controversial role of red blood cells studied with myocardial gas analysis and microcirculation.
 19th Congress of the European Society for Surgical Research (Zürich), April, 1984
- No. 32 5月 軸屋智昭, 榊原謙, 井島宏, 堀原一, 鈴木有二:
 上大静脈・下大静脈閉塞, 腹部大動脈瘤を合併した vasculo-Behcet 病の1症例.
 第4回日本静脈疾患研究会(霧島), 5月, 1984
- No. 33 5月 井島宏, 軸屋智昭, 榊原謙, 酒井章, 三井利夫, 堀原一:
 静脈血栓後遺症による stasis syndrome に対する膝窩一大伏在静脈吻合術.
 第4回日本静脈疾患研究会(霧島), 5月, 1984
- No. 34 5月 久賀圭祐, 河野一郎, 桃島悌蔵, 桜井徹志, 山根一秀, 柏木平八郎, 井島宏:
 レイノー現象における手指皮膚温の検討:冷水負荷前後における観察.
 第4回血管に関する無侵襲診断法研究会(霧島), 5月, 1984
- No. 35 5月 榊原謙, 井島宏, 三井利夫, 堀原一, 武田徹:
 大動脈瘤の手術適応における ¹¹¹In-oxine labelled platelet scintigraphy の意義.
 第4回血管に関する無侵襲診断法研究会(霧島), 5月, 1984

No.36 5月 宮淳, 前田肇, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 堀原一, 軸屋智昭:
心臓粘液腫の2例.

第118回茨城外科集談会(土浦), 5月, 1984

No.37 5月 寺田康, 軸屋智昭, 近藤陽一, 筒井達夫, 井島宏, 堀原一:
造影剤ならびに局麻剤によるアナフィラキシーショックの1例.

第713回外科集談会(東京), 5月, 1984

No.38 6月 寺田康, 井島宏:
先天性右腋窩上腕動脈欠損が疑われた1幼児例.

第35回血管外科症例検討会(相模原), 6月, 1984

No.39 6月 水原章浩, 小石沢正, 井島宏:
患肢切断により救命じえたと思われる急性動脈閉塞の1症例.

第35回血管外科症例検討会(相模原), 6月, 1984

No.40 6月 柳原謙, 武田徹, 井島宏, 三井利夫, 堀原一:
Embolic source, DIC の focus 検出における血小板シンチグラフィーの有用性.
第112回日本循環器学会関東甲信越地方会(独協医大), 6月, 1984

No.41 6月 三井利夫, 小石沢正, 軸屋智昭, 堀原一:
ペースメーカー症候群の一成因に関する考察.

第8回心臓ペーシング研究会(名古屋), 6月, 1984

No.42 6月 村山史雄, 鈴木有二, 三井清文, 遠藤勝幸, 赤荻栄一, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 小川功,
石川成美, 土井幹夫, 木村雄二, 小形岳三郎:
Pulmonary blastoma の1例.

第80回日本肺癌学会関東部会(東京), 6月, 1984

No.43 6月 中川晴夫, 村山史雄, 鬼塚正孝, 小川功, 石川成美, 赤荻栄一, 三井清文, 堀原一:
虚血性心疾患を伴った肺癌手術例.

第50回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 6月, 1984

No.44 6月 前田肇, 軸屋智昭, 寺田康, 渡直樹, 柳原謙, 筒井達夫, 井島宏, 堀原一:
僧帽弁置換術直後, 閉鎖位固定をくりかえした Björk-Shiley 弁の1例.
第50回日本胸部外科学会関東信越地方会(東京), 6月, 1984

No.45 6月 前田肇, 酒井章, 佐藤秀郎, 近藤陽一, 堀原一:
補助循環を用いない central palliation.

第20回日本小児循環器学会(松山), 6月, 1984

No.46 6月 小畠文也, 佐藤秀郎, 宝田正志, 前田肇, 長畠正道:
先天性心臓病児の知的能力に関する研究.

第20回日本小児循環器学会(松山), 6月, 1984

No.47 7月 福田禎治, 福田幾夫, 井島宏:
原因不明のエオジノフィリー, 蛋白漏出性胃腸症, 両側胸水を伴う線維性縦隔炎による上大静脈症候群.

第14回茨城心臓血管研究会(水戸), 7月, 1984

- No. 48 7月 寺田康, 井島宏 : 弓部分枝発生異常症例に発症したⅢ型大動脈解離.
第14回茨城心臓血管研究会(水戸), 7月, 1984
- No. 49 7月 須田秀一, 太田伸一郎, 佐藤雅美, 永元則義, 今井督, 斎藤泰紀, 橋本邦久, 仲田祐, 赤荻栄一, 佐藤博俊 : 肺癌患者における経気管支鏡的気管分岐下リンパ節造影.
第7回日本気管支学会総会(徳島), 7月, 1984
- No. 50 7月 斎藤泰紀, 太田伸一郎, 永元則義, 佐藤雅美, 岡田信一郎, 今井督, 須田秀一, 橋本邦久, 仲田祐, 佐藤博俊, 赤荻栄一 : 気管支鏡可視範囲外の末梢領域に局在した Tx 4例の検討.
第7回日本気管支学会総会(徳島), 7月, 1984
- No. 52 8月 Ijima H., Miya J., Yamanouchi E., Jikuya T., Sakakibara Y., Koishizawa T., Minato N., Mitsui K., Mitsui T., Hori M. : Forced pulsatile perfusion for unreconstructable arterial occlusive diseases of the limb: A reappraisal.
III German-Japanese Congress of Angiology (Heidelberg), 8月, 1984
- No. 53 8月 Ijima H., Yamanouchi E., Miya J., Sakakibara Y., Koishizawa T., Minato N., Mitsui T., Hori M. : Femoro-iliac venous reconstructive surgery combined with a temporary distal arteriovenous fistula.
III German-Japanese Congress of Angiology (Heidelberg), 8月, 1984
- No. 54 9月 遠藤隆志, 鬼塚正孝, 小川功, 村山史雄, 石川成美, 森田理一郎, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 吉沢靖之, 本間敏明 : 食道気管支瘻の1手術例.
第119回茨城外科集談会(水戸), 9月, 1984
- No. 55 9月 宮本寛, 鬼塚正孝, 小川功, 村山史雄, 石川成美, 森田理一郎, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 中島正樹 : 小児の多発性気管支嚢腫の1手術例.
第119回茨城外科集談会(水戸), 9月, 1984
- No. 56 9月 平林国彦, 村山史雄, 小川功, 石川成美, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 小形岳三郎 : 月経随伴性気胸の1手術例.
第51回日本胸部外科学会関東信越地方会(埼玉), 9月, 1984
- No. 57 9月 井島宏, 渕直樹, 寺田康, 福田幾夫, 柳原謙, 筒井達夫, 酒井章, 三井利夫, 堀原一 : 遠位側遮断をバルーンにより行ったⅢa型解離性大動脈瘤に対する血栓性空置術の1成功例.
第51回日本胸部外科学会関東信越地方会(埼玉), 9月, 1984
- No. 58 9月 寺田康, 田中秀行, 福田幾夫, 渕直樹, 井島宏, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 前田肇

- 三井利夫, 堀原一：心内リード走行に起因した電極断線の1例。
第113回日本循環器学会関東甲信越地方会（東京），9月，1984
- No.59 9月 寺田康, 淢直樹, 福田幾夫, 井島宏, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 前田肇, 三井利夫, 堀原一：
大伏在静脈合流部の稀な異常に基く医原性動静脉瘻の1例。
第714回外科集談会（東京），9月，1984
- No.60 10月 三井利夫：
特別発言：頻脈性不整脈のペーシング治療，頻拍停止帶。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.61 10月 三井利夫, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 植原謙, 小石沢正, 軸屋智昭, 淢直樹, 寺田康, 山内栄五郎, 宮淳, 堀原一, 小形岳三郎：
僧帽弁狭窄症の進展と左房肺循環系病態。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.62 10月 三井利夫, 小石沢正, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 井島宏, 堀原一：
左胸部交感神経節切除術によるWPW症候群における発作性上室性頻拍症の治療機序。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.63 10月 三井清文, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 村山史雄, 鈴木有二, 蘇原泰則, 遠藤勝幸, 赤荻栄一, 石川成美, 小川功, 森田理一郎, 前田肇, 三井利夫, 堀原一：
胸骨穿孔術：その手技と診断・治療への応用。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.64 10月 井島宏, 植原謙, 淢直樹, 寺田康, 宮淳, 福田幾夫, 軸屋智昭, 筒井達夫, 酒井章, 岡村健二, 前田肇, 三井利夫, 堀原一：
胸部大動脈瘤の手術適応における術前併存疾患発見の重要性。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.65 10月 岡村健二, 植原謙, 筒井達夫, 酒井章, 前田肇, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：
断層心エコー図によるMSの重症度評価。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.66 10月 筒井達夫, 山内栄五郎, 前田肇, 岡村健二, 酒井章, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：
抗血栓性材料を用いた人工三葉弁の実験的研究。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.67 10月 鬼塚正孝, 村山史雄, 赤荻栄一, 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一：
肺血流の一時的停止後の肺微小循環動態。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984
- No.68 10月 中川晴夫, 鬼塚正孝, 村山史雄, 小川功, 石川成美, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一：
心・大血管浸潤例に対する肺癌手術例の検討。
第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984

No. 69 10月 山内栄五郎, 前田肇, 桜井淳一, 简井達夫, 酒井章, 岡村健二, 井島宏, 三井利夫, 堀原一：

大動脈—冠状動脈バイパス術後の高血圧の成因：実験犬モデルの作製とそれによる研究。

第37回日本胸部外科学会総会（仙台），10月，1984

No. 70 10月 三井清文, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 鈴木有二, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 村山史雄, 小川功, 石川成美, 森田理一郎：

胸腔内リンパ球注入療法：肺癌による癌性胸水を長期間コントロール可能な治療。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 71 10月 三井清文, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 鈴木有二, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 村山史雄, 小川功, 石川成美, 森田理一郎：

Ⅳ期肺癌切除例の検討。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 72 10月 遠藤勝幸 菅間博, 小形岳三郎：

肺癌培養細胞株についての検討。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 73 10月 鬼塚正孝, 石川成美, 小川功, 森田理一郎, 村山史雄, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 中川晴夫, 鈴木有二：

Ⅲ期肺癌の手術適応。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 74 10月 石川成美, 小川功, 森田理一郎, 村山史雄, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文, 中川晴夫, 鈴木有二：

肺癌に対する気管支動脈注入療法の検討。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 75 10月 小林俊介, 岡田信一郎, 佐藤雅美, 稲葉浩久, 橋本邦久, 仲田祐, 三井清文：

ヒト肺腺癌の *in vitro* 増殖動態と病理組織像との比較検討。

第25回日本肺癌学会総会（東京），10月，1984

No. 76 10月 遠藤勝幸, 菅間博, 小形岳三郎：

肺大細胞癌に対するモノクロナール抗体。

第43回日本癌学会総会（福岡），10月，1984

No. 77 10月 久保武士, 是沢光彦, 稲葉淳一, 岩崎寛和, 三井利夫, 堀原一, 佐藤秀郎：

経腹壁穿刺による直接誘導胎児心電図。

第1回日本心電学会学術集会（名古屋），10月，1984

No. 78 10月 井島宏, 福田幾夫, 濑直樹, 堀原一：

解離性大動脈瘤（Ⅲb）に対する非解剖学的バイパス手術の1例。

第15回茨城心臓血管研究会（土浦），10月，1984

No. 79 10月 村山史雄, 石川成美, 小川功, 森田理一郎, 鬼塚正孝, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文：

選択的胸腺静脈造影で診断できた小さな胸腺腫。

第3回胸腺研究会（仙台），10月，1984

No. 80 11月 堀原一：

パネルディスカッション：これからどうあるべきか日本の病院、医師養成の立場から。

第34回日本病院学会総会（高知），11月，1984

No. 81 11月 堀原一：特別講演：

21世紀へ向けての医学と人工臓器のあいだ。

第6回茨城医学会総会（兼第5期第3回日本医師会医学講座）（水戸），11月，1984

No. 82 11月 井島宏，赤羽紀武，福田幾夫，榎原謙，湊直樹，寺田康，宮淳，山内栄五郎，酒井章，筒井達夫，三井利夫，堀原一：

解離性大動脈瘤 entry 閉鎖用 balloon catheter の開発と実験的研究。

第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984

No. 83 11月 寺田康，榎原謙，湊直樹，福田幾夫，井島宏，三井利夫，堀原一：

腹部大動脈瘤の合併症としての腎機能障害と消費性凝固障害。

第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984

No. 84 11月 湊直樹，榎原謙，福田幾夫，寺田康，井島宏，筒井達夫，酒井章，岡村健二，前田肇，三井利夫，堀原一：

Poor risk 大動脈瘤症例に対する手術術式の検討。

第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984

No. 85 11月 井島宏：

シンポジウム：静脈血行再建の問題点：末梢静脈一主として人工血管を用いるバイパス手術について。

第25回日本脈管学会総会（東京），11月，1984

No. 86 11月 筒井達夫，前田肇，酒井章，岡村健二，井島宏，三井利夫，堀原一，北条正樹：

メッシュ強化ポリウレタンを用いた人工三葉弁の研究。

第22回日本人工臓器学会大会（大阪），11月，1984

No. 87 11月 寺田康，三井利夫，藤田享宣，井島宏，前田肇，岡村健二，酒井章，筒井達夫，福田幾夫，湊直樹，堀原一：

心拍数一定下（VVI pacing）における心臓血管反射と心機能。

第22回日本人工臓器学会大会（大阪），11月，1984

No. 88 11月 井島宏，山内栄五郎，宮淳，湊直樹，寺田康，榎原謙，児玉亮，井街宏，筒井達夫，酒井章，三井利夫，堀原一：

静脈用人工血管開発に関する実験的研究。

第22回日本人工臓器学会大会（大阪），11月，1984

No. 89 11月 児玉亮，坂井士，津田圭四郎，前田肇，井島宏，駒宮正治：

コラーゲン・ムコ多糖複合体の抗血栓性。

第22回日本人工臓器学会大会（大阪），11月，1984

No. 90 11月 宮淳，前田肇，堀原一，恒次利幸，柴田勝：

右心不全に対する新しい補助循環法：肺動脈外バルーン・パンピング。

第22回日本人工臓器学会大会（大阪），11月，1984

- No. 91 11月 三井利夫, 堀原一：
ポスター・シンポジウム 6：A-C bypass の手術適応と手術手技。A-C bypass におけるCUSA の応用。
第46回日本臨床外科医学会総会（東京），11月，1984
- No. 92 11月 三井利夫, 堀原一：
シネクリニック：CUSA を用いた A-C bypass grafting。
第46回日本臨床外科医学会総会（東京），11月，1984
- No. 93 11月 井島宏, 植原謙, 寺田康, 駿直樹, 三井利夫, 堀原一：
大動脈瘤の手術適応に関する臨床的検討。
第46回日本臨床外科医学会総会（東京），11月，1984
- No. 94 11月 三井利夫, 小石沢正, 井島宏, 前田肇, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 堀原一, 山口巖：
左胸部交感神経節ブロックによる房室伝導の加速と興奮旋回性頻脈の治療。
第87回日本自律神経学会総会（東京），11月，1984
- No. 95 11月 児玉亮, 広津敏博, 坂井士, 森本敏, 津田圭四郎, 井島宏, 前田肇：
グロー放電プラズマ処理による血液回路用材料の表面改質。
昭和59年度繊維高分子材料研究所研究発表会（東京），11月，1984
- No. 96 11月 鬼塚正孝, 石川成美, 村山史雄, 小川功, 森田理一郎, 中川晴夫, 村山由美子, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 土井幹夫, 木村雄二, 小形岳三郎, 深沢政勝, 鈴木有二, 大森美恵子：
肺末梢異常陰影における病巣擦過細胞診一腺癌と良性増殖の鑑別。
第23回日本臨床細胞学会秋期大会（郡山），11月，1984
- No. 97 11月 村山史雄, 石川成美, 鬼塚正孝, 小川功, 森田理一郎, 中川晴夫, 村山由美子, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 土井幹夫, 木村雄二, 小形岳三郎, 深沢政勝, 鈴木有二, 大森美恵子：
細胞診において診断困難であった肺芽細胞腫の1症例。
第23回日本臨床細胞学会秋期大会（郡山），11月，1984
- No. 98 11月 福田幾夫, 前田肇, 三井利夫, 堀原一, 佐藤秀郎：
完全大血管転位症（d-TGA）に対する Senning 手術の経験。
第26回日本小児科学会茨城地方会，
第6回茨城医学会小児科分科会（水戸），11月，1984
- No. 99 11月 越智五平, 沢口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 仁科孝子, 赤荻栄一：
左気管支異物を疑われたマイコプラズマ肺炎の1幼児例。
第26回日本小児科学会茨城地方会，
第6回茨城医学会小児科分科会（水戸），11月，1984
- No. 100 12月 堀原一：
パネルディスカッション：次世代人工臓器を語る。
化学工業協会人工臓器研究会，
第11回医工懇談会（横浜），12月，1984

- No. 101 12月 遠藤俊輔, 本股敬裕, 森田理一郎, 村山史雄, 小川功, 中川晴夫, 石川成美, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 吉沢靖之, 長谷川鎮雄, 長沢俊郎, 角田力哉, 森尚義, 小島瑞, 本間敏明：
肺原発リンパ腫の1切除例。
第120回茨城外科集談会（水戸）, 12月, 1984
- No. 102 12月 高野晋吾, 塚田博, 小川功, 中川晴夫, 森田理一郎, 村山史雄, 石川成美, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 飯泉達夫, 小磯謙吉, 小形岳三郎：
興味ある腎癌肺転移の1手術例。
第120回茨城外科集談会（水戸）, 12月, 1984
- No. 103 12月 福田楨治, 渡直樹, 福田幾夫, 中川晴夫, 寺田康, 井島宏, 堀原一, 加納勝利：
鈍的外傷による下大静脈断裂の1例。
第120回茨城外科集談会（水戸）, 12月, 1984
- No. 104 12月 鈴木有二, 鬼塚正孝, 石川成美, 東郷和人, 福田幾夫, 井島宏, 三井清文, 三井利夫, 堀原一：
救命し得た破裂性腹部大動脈瘤の1例。
第120回茨城外科集談会（水戸）, 12月, 1984
- No. 105 12月 水原章浩, 飯塚育士, 神山幸一, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾：
抗甲状腺剤で顆粒球減少症を来たし, ステロイドホルモンで術前処置を行なったバセドウ病の1例。
第120回茨城外科集談会（水戸）, 12月, 1984
- No. 106 12月 村山史雄, 石川成美, 小川功, 森田理一郎, 中川晴夫, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一：
肺切除後肺塞栓例の検討。
第52回日本胸部外科学会関東信越地方会（東京）, 12月, 1984
- No. 107 12月 福田幾夫, 渡直樹, 寺田康, 前田鑑, 佐藤秀郎, 三井利夫, 堀原一：
Wire-guided knifeによる右室流出路拡大術の問題点。
第52回日本胸部外科学会関東信越地方会（東京）, 12月, 1984
- No. 108 12月 寺田康, 藤田享宣, 三井利夫, 渡直樹, 福田幾夫, 井島宏, 前田鑑, 岡村健二, 酒井章, 筒井達夫, 堀原一, 杉下靖郎：
VVI pacingにおける体位変換と循環動態。
第114回日本循環器学会関東甲信越地方会（東京）, 12月, 1984
- No. 109 12月 小川功, 森田理一郎, 村山史雄, 中川晴夫, 赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 石川成美, 鬼塚正孝, 鈴木有二, 土井幹雄, 木村雄二, 小形岳三郎：
肺腺様囊胞癌の1例。
第81回日本肺癌学会関東部会（東京）, 12月, 1984

班研究報告

No. 1 2月 三井清文, 蘇原泰則：

肺細動脈の shear stress による肺水腫発生の可能性と再膨張性肺水腫の血管透過性亢進について。

昭和58年度厚生省循環器病研究委託（57公-7 肺水腫の成因と治療に関する研究），班会議（京都），2月，1984

No. 2 2月 三井利夫：

僧帽弁膜症における左房肺静脈系動態。

昭和58年度厚生省循環器病研究委託（57公-3 静脈系コンプラスに関する研究），第4回班会議（東京），2月，1984

No. 3 3月 堀原一：

学部教育。

昭和58年度文部省科学研究費補助金特定研究，21世紀へ向けての医学と医療 第9班医師養成（班長阿部正和）研究成果中間報告書（1），pp.15-17，1984

No. 4 3月 堀原一：

卒前医学教育。

昭和58年度文部省科学研究費補助金特定研究，21世紀へ向けての医学と医療（代表研究者森亘），昭和58年度研究報告書，pp.110-111，1984

No. 5 3月 堀原一：

人工肝臓をはじめとする hybrid organ に関する研究。

学内プロジェクト臓器移植と人工臓器（代表研究者岩崎洋治）研究報告書，pp.73-79，1984

No. 6 3月 三井利夫：

僧帽弁膜症における左房肺静脈系動態—特に肺高血圧症成立機序への関与—。

昭和58年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集，pp.278-278，国立循環器病センター，吹田，1984

No. 7 3月 前田肇：

心臓性ショック時の cardiac return.

昭和58年度厚生省循環器病研究委託費による研究報告集，pp.303-304，国立循環器病センター，吹田，1984

No. 8 3月 前田肇：

心臓性ショック時の cardiac return.

昭和58年度厚生省循環器病研究委託（57公-5 心臓性ショックの病態と治療に関する研究）班会議（東京），3月，1984

No. 9 9月 三井利夫：

僧帽弁狭窄症における左房肺静脈系動態。

昭和59年度厚生省循環器病研究委託（57公-3 静脈系コンプラスに関する研究），第5回班会議（盛岡），9月，1984

No. 10 11月 三井利夫, 堀原一：

外科的アプローチによる心拍制御の研究.

昭和59年度文部省科学研究費総合研究(A) (不整脈の外科的治療), 第1回班会議(東京), 11月, 1984

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 三井利夫, 堀原一：

新しい外科研究システムのあり方を模索しつつ(筑波大学臨床医学系外科).

Clinic Magazine 1月号: 70-73, 1984

No. 2 1月 高久史磨, 堀原一, 日野原重明:

21世紀へ向って日本の医学・医療を考える.

日本医事新報 No.3117: 3-12, 1984

No. 3 1月 赤荻栄一：

肺癌の外科治療と細胞診.

茨城県臨床衛生検査技師会細胞診研究会講演(土浦), 1月, 1984

No. 4 4月 堀原一(司会), 藤原秀臣, 古田昭一, 永沼万寿喜:

Cardiac emergencyにおける内科と外科.

臨床医 10(4): 700-719, 1984

No. 5 4月 堀原一:

総会印象記.

文部省特定研究. 21世紀へ向けての医学と
医療ニュース第4号: 5-8, 1984

No. 6 4月 三井清文:

肺化膿症・膿胸の治療の現況.

第21回茨城県南呼吸器同好会(土浦), 4月, 1984

No. 7 6月 三井利夫:

教室の今日, 筑波大学臨床医学系外科(循環器, 呼吸器).

外科治療 50(6): 724-724, 1984

No. 8 6月 福田信之, 佐藤正, 青木彰, 池辺八洲彦, 岡崎誠, 椎貝博美, 比嘉正範, 堀原一, 村上和雄(編):

21世紀の大学—筑波大学10周年記念国際シンポジウムリポート.

サイマル出版会, 東京, 1984

No. 9 6月 赤荻栄一:

肺門部早期肺癌.

第22回茨城県南呼吸器同好会(土浦), 6月, 1984

No. 10 8月 堀原一(司会), 横山正義, 中田八洲郎, 八木洋:

不整脈治療の新しい考え方とその実際.

臨床医 10(8): 1376-1389, 1984

No.11 11月 堀原一：

健康は口から、病いも口から

毎日ライフ 11月号, p. 3, 1984

No. 12 11月：堀原一：

医学教育の改革.

日本学術振興会(編)：特定国派遣研究者研究報告集アジア・オセアニア部会，pp. 4-6，1984

補 遺 (1979年～1983年分)

1979年分

著 書

1979年11月 堀原一：

カリキュラムの形式。

医学教育マニュアル2 カリキュラムの作り方,
pp. 85-113, 日本医学教育学会／篠原出版, 東京, 1979

1982年分

原 著

1982年10月 Itoh T., Mitsui T., Hori M., Yamaguchi I.:

Clinical implication of ventricular overdrive pacing in patients with advanced AV block.

Jap. Heart J. 23 (suppl.) : 261-263, 1982

学会発表

1982年9月 宮淳, 鬼塚正孝, 鈴木有二, 遠藤勝幸, 蘇原泰則, 三井清文：

肋骨原発の Ewing's sarcoma の 1 手術例.

第109回茨城外科集談会(東海村), 9月, 1982

1983年分

原 著

1983年3月 Itoh T., Hori M.:

Vascular endoscopy for major vascular reconstruction : Experimental and clinical studies.

Surgery 93 (3) : 391-396, 1983

1983年3月 田村富士夫, 堀原一, 横山正義：

腕時計型心拍数計のペースメーカー患者のレート・チェックへの応用.

心臓ペーシング, 第6回心臓ペーシング研究会プロシーディングス,
pp. 267-268, 日本循環器学会・日本ME学会, 1983

1983年2月 Sohara Y., Mitsui K., Hori M.:

A study on real time measurement and successive display of blood flow velocity in pulmonary microvessels of the dog.

Microvascular Res. 26 : 375-375, 1983

Proceedings of VII Asia-Pacific Congress
on Diseases of the p. 160-160,

Tokyo, 1983

総 説

1983年11月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一：

心シンポナード.

外科 45 (11) : 1203-1206, 1983

学会発表

1983年2月 蘇原泰則, 三井清文, 堀原一：

肺微小血管血流速度の実時間測定連続表示法の開発.

第8回微小循環研究者のつどい(久留米), 2月, 1983

1983年7月 Sohara Y., Mitsui K., Hori M.:

A study for the relation between blood flow velocity and vessel diameter
in the small pulmonary arteries of the living dogs.

VII Asian-Pacific Congress on
Disease of the Chest (Tokyo), 7月, 1983

1984年（消化器外科グループ）

原 著

- No. 1 1月 竹島徹, 高瀬靖広, 小野陸, 小林幸雄, 秋貞雅祥, 岩崎洋治
成人食道裂孔ヘルニアの X 線分類と臨床経過.
日消会誌81:1-6, 1984
- No. 2 1月 武田光志, 須賀肇, 家田重義, 吉野清高, 町田啓, 高瀬靖広, 岩崎洋治：
食道静脈瘤の内視鏡的栓塞療法—栓塞剤の安定性—.
病院薬学10:35-38, 1984
- No. 3 4月 岩崎洋治：
肝右葉切除を伴う肝門部胆管癌切除術.
消化器外科 7 : 380-392, 1984
- No. 4 4月 大塚雅昭：
低温肝灌流の研究.
移植 19 : 239-248, 1984
- No. 5 4月 佐方周防, 秋山芳久, 飯田孔陽, 佐藤滋宏, 高瀬賢一, 西村明, 中野喜久男, 鬼原達夫, 岩崎洋治, 岡村隆夫, 中野政雄, 大津祐司：
脾癌患者の子後因子に関する検討.
日本医学放射線学会物理部会誌 4 : 111-125, 1984
- No. 6 5月 岩崎洋治, 岡村隆夫：
胆管癌.
消化器外科 7 : 935-938, 1984
- No. 7 7月 小山捷平, 深尾立, 崎田隆夫：
胃癌患者における T 細胞増殖因子 (TCGF) を用いた免疫抑制性 T 細胞の培養と
その細胞表面膜状のモノクローナル抗体 Fluorescence activated cell sorter (FACS) による解析.
癌の臨床 30 : 912-924, 1984
- No. 8 9月 折居和雄, 高瀬靖広, 岩崎洋治：
食道静脈瘤に対する内視鏡的栓塞療法.
腹部救急診療の進歩 3 : 339-404, 1984
- No. 9 9月 岡村隆夫, 岩崎洋治, 西村明：
肝門部胆管癌の臨床, 病理学的検討, 一特に術後 2 年以上生存例を中心として—.
日消外会誌 17 : 1712-1716, 1984
- No. 10 9月 大塚雅昭, 西島浩, 小野純一, 豊泉惣一郎, 松崎理：
巨大な胃神経線維腫の一例.
外科診療 26 : 111-114, 1984
- No. 11 10月 岩崎洋治, 岡村隆夫, 糸健, 大原潔：
補助療法—特に進行肝門部胆管癌に対する切除と術中照射合併療法の評価.
臨床外科 39 : 1403-1408, 1984

- No.12 11月 小林幸雄, 高瀬靖広, 折居和雄, 岩崎洋治：
食道静脈瘤合併肝硬変症例の予後に関する研究—内視鏡的栓塞療法施行例一。
日本消化器外科学会誌 17：1996-2005, 1984
- No.13 11月 岩崎洋治, 岡村隆夫, 轟健, 西村明：
肝門部胆管癌に対する集学的癌治療法の問題点—非治癒切除と術中照射の合併療法一。
胆と脾 5：1525-1532, 1984
- No.14 11月 湯沢賢治, 更科広実, 名越和夫, 尾崎梓, 小野陸, 高田彰, 岡村隆夫, 岩崎洋治：
結腸狭窄を合併した腸間膜動脈瘤破裂の1例。
日本消化器外科学会雑誌 17：2075-2078, 1984
- No.15 12月 Nishimura A., Nakano M., Otsu H., Nakano K., Iida K., Sakata S., Iwabuchi K., Maruyama K., Kihara M., Okamura T., Todoroki T., Iwasaki Y：
Intraoperative radiotherapy for advanced carcinoma of the pancreas.
Cancer 54：2375-2384, 1984
- No.16 12月折居和雄：
内視鏡的截石法。
臨床医 10：2558-2559, 1984

総 説

- No. 1 1月 深尾立, 岩崎洋治：
免疫抑制一機序と効果。
病態生理 3：8-14, 1984
- No. 2 1月 高瀬靖広：
食道静脈瘤の内視鏡的治療。
カレントテラピー 2：29-38, 1984
- No. 3 5月 岩崎洋治, 高瀬靖広：
食道静脈瘤に対する内視鏡的栓塞療法の適応と方法。
消化器外科 7：571-576, 1984
- No. 4 5月 Yasuhiro Takase, Kazuo Orii, Azusa Ozaki, Yoji Iwasaki：
Conservative treatment of esophageal varices-endoscopic embolization.
Asian Medical Journal 27：345-348, 1984
- No. 5 9月 岩崎洋治：
臓器提供者をめぐる諸問題。
治療学 13：396-400, 1984
- No. 6 9月 岩崎洋治, 高瀬靖広：
食道静脈瘤の硬化療法。
救急医学 8：1130-1131, 1984
- No. 7 9月 高瀬靖広：
食道静脈瘤の硬化療法。
肝臓病学の進歩 10：44-49, 1984

- No. 8 10月 高瀬靖広, 小林幸雄, 折居和雄：
食道静脈瘤の瘤化療法-intravariceal injection.
日本臨床 42：2322-2326, 1984
- No. 9 11月 岩崎洋治, 深尾立：
腎移植療法の現状と将来.
最新医学 39：2341-2346, 1984

著 書

- No. 1 1月 Urano M., Kahn J., Booth A. and Todoroki T.：
Fractionated hyperthermia given alone or with radiation.
in "Frontiers of Radiation Therapy and Oncology"
(ed)J. M. Vaeth, pp41-46, (S. Karger Basel,
SanFrancisco), 1984
- No. 2 2月 岩崎洋治：
ヒトの臓器移植腎移植を例として—
免疫科学 7, 移植免疫と腫瘍免疫（東一郎, 高橋利忠編）
pp 78-104, 岩波書店, 東京, 1984
- No. 3 2月 岩崎洋治：
臓器移植,
図説外科学全書（阿部令彦, 瀬在幸安, 牧豊編）
pp685-697, 朝倉書店, 東京, 1984
- No. 4 3月 高瀬靖広：
門脈圧亢進症（食道静脈瘤を含む）,
今日の治療指針1984, (石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編)
pp352-353, 医学書院, 東京, 1984
- No. 5 3月 高瀬靖広：
ゼングスター・ケン・ブレイクモアチューブ,
今日の治療指針1984, (石山俊次, 日野原重明, 阿部正和編),
pp59-60, 医学書院, 東京, 1984
- No. 6 3月 高瀬靖広：
食道静脈瘤の内視鏡的硬化療法,
肝硬変と肝腫瘍（水戸迪郎, 瀧野辰郎編）,
pp94-100 医学書院, 東京, 1984
- No. 7 11月 岩崎洋治, 高瀬靖広, 高田彰, 岡村隆夫, 北川俊夫：
食道静脈瘤を伴う肝細胞癌の治療,
消化器外科セミナー・17 pp286-302, 1984

- No. 8 12月 Yasuhiro Takase, Azusa Ozaki :
 Injection sclerotherapy for esophageal varices (Clinical experience of 6 years),
 Endoscopic Surgery (H. Okabe, T. Honda, S. Ohshima editors) pp11-21, Elsevier Science Publishers B. V., Amsterdam-New York-Oxford, 1984
- 学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）
- No. 1 1月 高瀬靖広：
 食道静脈瘤の硬化療法。
 第10回肝臓病研究会（東京），1月，1984
- No. 2 2月 小林幸雄，高瀬靖広，折居和雄，尾崎梓，深尾立，岡村隆夫，岩崎洋治，大菅俊明，崎田隆夫：
 内視鏡的栓塞療法施行食道静脈瘤症例の予後と肝機能との関係—施行後1-3年の遠隔を中心に—
 第23回日本消化器外科学会総会（山口），2月，1984
- No. 3 2月 高瀬靖広：
 食道静脈瘤の内視鏡的栓塞療法（特別講演）。
 第2回高知外科医会（高知），2月，1984
- No. 4 2月 小野陸，竹島徹，小林幸雄，折居和雄，名越和夫，更科広実，尾崎梓，高瀬靖広，深尾立，岡村隆夫，岩崎洋治：
 原発性肝細胞癌85例の臨床的検討。
 第84回日外会総会（京都），2月，1984
- No. 5 3月 竹島徹，高瀬靖広，折居和雄，小野陸，小林幸雄，川北勲，秋貞雅祥，岩崎洋治：
 食道裂孔ヘルニアにおける逆流性食道炎難治性病型の検討。
 第70回日消病総会（東京），3月，1984
- No. 6 3月 折居和雄，高瀬靖広：
 食道静脈瘤出血に対する内視鏡的栓塞療法（シンポジウム）。
 第2回腹部救急診療研究会（東京），3月，1984
- No. 7 3月 轆健，Herman D. Suit, :
 大きさの異なるマウス下肢腫瘍に対する故息切除，根治切除，切断術に併用した術前1回照射の治療効果。
 日本医学放射線学会総会（松本），3月，1984
- No. 8 3月 更科広実，轆健，折居和雄，名越和夫，石川詔雄，竹島徹，高瀬靖広，尾崎梓，深尾立，岡村隆夫，岩崎洋治，大原潔，大津裕司：
 直腸癌に対する術前照射と抗癌剤併用療法の臨床の病理学的検討。
 第84回日本外科学会総会（京都），3月，1984
- No. 9 3月 折居和雄，尾崎梓，高瀬靖広，小野陸，名越和夫，小林幸雄，高田彰，更科広実，竹島徹，深尾立，岡村隆夫，岩崎洋治：
 肝胆道結石症に対するYAGレーザーによる截石。
 第84回日本外科学会総会（京都），3月，1984

- No.10 3月 大塚雅昭, 浅野武秀, 榎本和夫, 植松武史, 永田松夫, 林良輔, 落合武徳, 佐藤博, 渡辺一男:
灌流肝の Viability の検討.
第11回臓器保存研究会(京都), 3月, 1984
- No.11 3月 佐方周防, 秋山芳久, 飯田孔陽, 佐藤滋宏, 伊藤一郎, 高橋賢一, 岩崎洋治, 岡村隆夫, 西村明, 中野喜久雄, 鬼原道夫, 岩淵啓一, 丸山孝士, 中野政雄, 大津裕司:
脾癌術中照射の予後因子の検討, II.
日本医学放射線学会第47回物理部会大会(松本), 3月, 1984
- No.12 3月 岡村隆夫, 名越和夫, 折居和雄, 小野陸, 岩崎洋治:
乳頭機能温存による胆道再建術とその予後.
第84回外科学会(京都), 3月, 1984
- No.13 5月 小川功, 竹島徹, 尾崎梓, 池袋賢一, 小野陸, 名越和夫, 更科広実, 岡村隆夫, 岩崎洋治:
脾癌に対する脾全摘, 術中照射の1例.
第113回茨城外科集談会(土浦), 5月, 1984
- No.14 6月 深尾立, 岩崎洋治:
移植腎長期生着者のリンパ球サブセットの解析.
第2回 Immuno Monitoring System 研究会(東京), 6月, 1984
- No.15 7月 小林幸雄, 高瀬靖広, 折居和雄, 岩崎洋治, 大菅俊明:
内視鏡的栓塞療法施行食道静脈瘤症例の再発例の検討.
第17回日本門脈圧亢進症研究会(東京), 7月, 1984
- No.16 7月 石井哲郎, 轆健, 杉田良樹:
システィンとグルタチオン欠乏によるL1210細胞のG₁期における増殖停止とマーメルカプトエタノールによる同調的増殖再開.
日本生化学会大会 7月, 1984
- No.17 7月 竹島徹:
脾疾患の診断と治療の現況.
水戸消化器病研究会(水戸), 7月, 1984
- No.18 7月 浅野武秀, 大塚雅昭, 榎本和夫, 植松武史, 後藤剛貞, 林良輔, 鈴木孝雄, 永田松夫, 武合武徳, 佐藤博:
肝移植の基礎的研究—温阻血肝の移植—.
第20回日本肝臓学会総会(東京), 7月, 1984
- No.19 8月 Bensallam Khalil, Kyoich Nakamura, Masanori Kikuchi, Takao Okamura, Haruo Ohkawa, Shigenori Sawaguchi:
Relationship of metaplasia and cancer in biliary tract diseases to abdominal pancreaticobiliary ductal union.
第20回胆管疾患研究会, 8月, 1984

- No. 20 9月 松井陽, 藤本貴子, 高沢佳江, 高瀬靖広：
胆道閉塞症術後門脈圧亢進症に対する内視鏡的栓塞療法の経験。
第11回日本小児栄養発育研究会・
日本小児消化器病研究会合同集会（札幌），9月，1984
- No. 21 9月 岡村隆夫, 轟健, 高田彰, 岩崎洋治, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃, 北川俊夫, 稲田哲雄, 小形岳三郎, 土井幹雄：
原発性肝癌に対する照射療法。
第22回日本癌治療学会，9月，1984
- No. 22 9月 植松武史, 浅野武秀, 落合武徳, 林良輔, 榎本和夫, 軍司祥雄, 中島一彰, 佐藤博, 大塚雅昭：
肝持続灌流保存の研究。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 23 9月 榎本和夫, 浅野武秀, 大塚雅昭, 植松武史, 後藤剛貞, 林良輔, 永田松夫, 軍司祥雄, 中島一彰, 落合武徳, 佐藤博, 渡辺一男：
温阻血肝（WIT 15分）の移植。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 24 9月 深尾立, 尾崎梓, 大塚雅昭, 岩崎秀生, 湯沢賢治, 岩崎洋治, 梅山知一, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉, 野口淳夫：
Cyclosporine A 投与腎移植患者の末梢血免疫細胞 phenotype の解析。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 25 9月 浅野武秀, 榎本和夫, 植松武史, 劍持敬, 林良輔, 軍司祥雄, 中島一彰, 落合武徳, 佐藤博, 渡辺一男, 大塚雅昭：
脾保存の研究—48時間浸漬保存—。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 26 9月 尾崎梓, 大塚雅昭, 深尾立, 岩崎洋治, 大神雅史：
イヌ腎長期灌流保存の問題点。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 27 9月 羽柴克子, 野口淳夫, 深尾立, 尾崎梓, 岩崎洋治：
蛍光児童測光装置を用いた单球抗原系の解析。
第20回日本移植学会総会（東京），9月，1984
- No. 28 10月 小林幸雄, 高瀬靖広：
内視鏡的栓塞療法の食道静脈瘤に対する予防的治療の適応（ワークショップ）。
第26回日本消化器病学会大会（千葉），10月，1984
- No. 29 10月 Takeshi Todoroki :
Combination of radiation and surgery.
American Society for therapeutic radiology and oncology
(Washington, D. C.), Oct. 7-Oct. 12, 1984
- No. 30 11月 渋谷進, 高瀬靖広, 岩崎洋治, 菊地正教, 中村恭一：
内視鏡的食道静脈瘤栓塞療法後の食道静脈瘤の病理組織学的検討。
第28回日本消化器内視鏡学会総会（東京），11月，1984

- No. 31 11月 高瀬靖広, 小林幸雄, 折居和雄：
食道静脈瘤—各種治療法の選択とその評価（ポスター・シンポジウム）,
第46回日本臨床外科医学会総会（東京），11月，1984
- No. 32 11月 Takeshi Todoroki：
Therapeutic gain of Combined Conservative or Radical Surgery and
Radiation Therapy of Mouse Tumors.
The New England Radiobiology (Boston), Nov. 14, 1984
- No. 33 12月 近森文夫, 小林幸雄, 高瀬靖広, 岩崎洋治：
食道静脈瘤症例の門脈圧と内視鏡所見の対比検討。
第39回日本消化器内視鏡学会関東地方会（東京），12月，1984
- No. 34 12月 深尾立, 尾崎梓, 大塚雅昭, 竹島徹, 載健, 石川詔雄, 折居和雄, 岡村隆夫, 岩崎洋治：
脾移植の一例。
第711回千葉医学会例会（千葉），12月，1984
- No. 35 12月 岩崎洋治：
胆のう, 胆管がんの治療成績向上をめざした集学的治療法の確立に関する研究,
厚生省がん研究助成金, 昭和59年度
- その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）
- No. 1 2月 高瀬靖広：
内視鏡的食道静脈瘤硬化療法について（特別講演）,
第2回三重肝疾患治療セミナー（三重），2月，1984
- No. 2 3月 高瀬靖広：
食道静脈瘤内視鏡的栓塞療法（特別講演）,
第1回奈良肝疾患治療談話会（奈良），3月，1984
- No. 3 5月 高瀬靖広：
食道静脈瘤の栓塞療法,
第2回日本消化器内視鏡学会セミナー・テキスト（第2回
日本消化器内視鏡学会卒後教育委員会編），pp113-115, 1984
- No. 4 6月 岩崎洋治：
臓器移植の未来と可能性。
からだの科学（臨時増刊），pp126-130, 1984
- No. 5 9月 高瀬靖広：
食道静脈瘤の硬化療法について。
第133回広島肝臓病懇話会（広島），9月，1984
- No. 6 10月 岩崎洋治：
肝門部胆管癌（2）—外科治療の問題点,
日本短波放送, 10月11日放送, 1984

1984年（脳神経外科・救急グループ）

原 著

- No. 1 1月 榎本貴夫, 中田義隆, 牧豊：
小児の Cisterna magna および Mega cisterna magna の検討
CT 研究 6, 21-26, 1984
- No. 2 1月 Kasamo S, Asakura T, Yamamoto Y, Kobayashi E：
Unilateral Moyamoya disease associated with multiple aneurysms—A case report and review of the literature—
Neurol Med Chir 24, 30-34, 1984
- No. 3 1月 坪井康次, 能勢忠男, 牧豊：
眼窩内静脈瘤。
臨床放射線 29, 111-114, 1984
- No. 4 1月 吉澤卓, 中田義隆, 牧豊, 木内宗甫, :
Chiari 奇形Ⅱ患者にみられた反復性嚥下性肺炎に対する外科の一治験例—特に、輪状咽頭筋切開術の導入について。
小児の脳神経 9, 29-34, 1984
- No. 5 1月 Yoshizawa T, Tomono Y, Nose T, Maki Y:
Juxtasellar mycotic abscess.
Surg Neurol 21, 49-52, 1984
- No. 6 2月 鈴木秀次, 江頭泰平, 渡辺士郎, 本間三郎：
筋振動による立位, 足踏み, 歩行時の運動単位発射の解析。
JJ Sports Sci 3, 168-173, 1984
- No. 7 2月 吉澤卓, 菊池晴彦, 重澤淳, 伊原郁夫, 永田泉, 光木徹：
脳外科領域における遷延性意識障害に対する Bromocriptine の効果。
診療と新薬 21, 305-315, 1984
- No. 8 2月 Yoshii Y, Egashira T, Maki Y:
Use of evoked responses to measure laser photoradiation tissue effects.
Neurosurgery 14, 131-134, 1984
- No. 9 2月 T. Kondo, M. Brock, H. Bach. :
Effect of intra-arterial sodium nitroprusside on intracranial pressure and cerebral autoregulation.
Japanese Heart Journal. vol 25. No. 2 : 231-237. 1984
- No. 10 3月 T. Kondo, M, Kano, T. IKeda :
Cerebral blood volume changes in cats with acute increased intracranial pressure.
Medical J. Osaka University vol 34, No. 3-4, March, 1984
- No. 11 3月 吉井与志彦, 牧豊, 土佐純一, 坪井康次, 松村明, 伴野悠士, 中田義隆：
脳腫瘍例の放射線壞死に関する考察
Neurol Med Chir (Tokyo) 24, 157-168, 1984

- No.12 3月 Yoshii Y. Maki Y. Nakagawa K. Egashira T :
Use of photoactivation by laser in treatment of brain tumors.
日本レーザー医学会誌 4, 89-90, 1984
- No.13 3月 坪井康次, 牧豊, 能勢忠男, 松木孝之:
慢性硬膜下血腫の精神症状の検討.
脳神経外科 12, 275-279, 1984
- No.14 3月 兵頭明夫, 水上公宏, 田澤俊明, 富権修:
開頭術中の超音波診断.
脳神経外科 12, 311-318, 1984
- No.15 3月 Egashira T. Yoshi Y. Maki Y :
Basic research for Ar. laser for the spinal cord (2).
日本レーザー医学会誌 4, 247, 1984
- No.16 4月 宗像克治, 小林栄喜, 松村明, 牧豊, 入江勇治, 安曽岡一男, 菅間博:
脳有鉤囊虫症の特徴的な CT 像の 1 例.
Neurol Med Chir (Tokyo) 24, 265-270, 1984
- No.17 4月 兵頭明夫, 水上公宏, 田澤俊明, 富権修, 江口孝:
前交通動脈瘤に対する手術アプローチへの考察, 112例の脳血管撮影, 手術所見から.
脳神経外科 12, 469-475, 1984
- No.18 5月 江頭泰平, 能勢忠男, 牧豊:
腎移植患者に生じた脊髄硬膜外膿瘍の 1 例.
脳神経外科 12, 739-743, 1984
- No.19 7月 長田乾, 兵頭明夫, 水上公宏, 柚木和太, 荒木五郎:
脳波二次元表示と脳循環, 二次元脳電図の臨床.
第 2 回二次元脳電図研究会講演集 93-104, 1984
- No.20 7月 能勢忠男, 松村明, 牧豊, 能勢晴美, 山田隆, 本間一弘:
NMR を用いた中枢神経疾患診断のための基礎的実験—第 1 報ラット正常時の NMR 画像.
NMR 医学 4, 248-249, 1984
- No.21 7月 松村明, 能勢忠男, 牧豊, 本間一弘:
NMR を用いた中枢神経疾患診断のための基礎的実験—第 2 報急性期脳内出血について.
NMR 医学 4, 250-251, 1984
- No.22 7月 近藤陽一, 佐藤重仁, 渡辺誠治, 山下衛, 小形岳三郎, 島崎修次:
パラコート中毒急性期ショックの血行動態
臨床麻酔, Vol. 8. No. 7, 857-860, 1984
- No.23 8月 児野正明, 福田廣志, 田所重映, 島崎修次, 近藤孝:
舌骨, 茎状突起骨折を合併した顎・顔面骨骨折の 1 例
茨城県救急医学會雑誌第 8 号: 80-81, 1984

- No. 24 9月 Hyodo A, Mizukami M, Kawase T, Nagata K, Yunoki K, Yamaguchi K :
 Postoperative evaluation of extracranial-intracranial arterial bypass by means
 of ultrasonic quantitative flow measurement and computed mapping of
 the electroencephalogram.
 Neurosurgery 15, 381-386, 1984
- No. 25 10月 Hori A, Bardosi A, Tsuboi K, Maki Y :
 Accessory cerebral ventricle of the occipital lobe. Morphogenesis and
 pathological appearance.
 J. Neurosurg. 61, 767-771, 1984
- No. 26 11月 吉澤卓, 菊池晴彦, 唐澤淳, 栗山良絵, 澤田徹, 永田泉, 鳴尾好人, 香川雅昭, 林真 :
 後頭蓋窓の血行動態評価における^{81m}Kr SPECT 画像の信頼性
 CT 研究 6, 1984
- No. 27 11月 Schwartz ML, Tator CH, Rowed DW, Meguro K, Andrews DF :
 The University of Toronto head injury treatment study. A prospective,
 randomized comparison of pentobarbital and mannitol.
 Canad J Neurol Sci 11, 434-440, 1984
- No. 28 11月 中川晴夫, 石川成美, 鈴木宏昌, 島崎修次, 村山史雄, 鬼塚正孝, 赤荻栄一, 遠藤勝
 幸, 三井清文, 堀原一 :
 胸部鉛的外傷による気管支損傷の3例,
 救急医学 8 (11) : 1729-1739, 1984
- No. 29 12月 坪井康次, 牧豊, 堀映, 海老原玲子 :
 側脳室後角の副脳室について.
 CT 研究 6, 1984
- No. 30 12月 小泉準三, 白石博康, 大福浩二郎, 長瀬精一, 東畑薰, 小野幸雄, 伊藤政美 :
 強迫的常同書字と行為, 病的摑み現象, 激しい強迫症, 亜昏迷, 右半身麻痺などを
 呈し, 左前頭葉の静脈性血管腫と左側の基底核, 視床, 大脳皮質などの萎縮を認め
 る1臨床例.
 臨床精神医学 13, 1984

著 書

- No. 1 1月 牧豊 :
 水頭症の原因
 小児科診療 Q&A 309-3-4-3-5, 1 東京, 六法出版, 1984
- No. 2 1月 中田義隆 :
 頭部外傷の診断と処置
 小児科診療 Q&A 1318-1321, 1, 東京, 六法出版, 1984
- No. 3 2月 牧豊 :
 脳神経疾患
 図説外科学全書 (安部令彦・瀬尾幸安・牧豊編)
 pp. 164-235, 2, 東京, 朝倉書店, 1984

- No. 4 2月 島崎修次, 近藤孝：
外科的侵襲と病態生理,
図説外科学全書（阿部令彦, 濱尾幸安, 牧豊編）
pp. 2-65, 朝倉書店, 東京, 1984
- No. 5 5月 監訳 牧豊, 中西孝雄（訳者 松村明, 土佐純一, 宗像克治, 松本孝之, 伊藤政美, 寺田康, 成島淨, 山田隆：
ベッドサイド神経学的検査法 (Barrows HS 著)
ベッドサイド神経学的検査法 (Barrows HS 著)
5, 東京, 南江堂, 1984
- No. 6 5月 島崎修次：
急性一酸化炭素中毒,
新薬物療法（上田泰, 清水喜八郎, 春見建一編）
pp.788, メディカルビュー社, 東京, 1984
- No. 7 5月 島崎修次：
熱傷（特集—救急蘇生法とその応用）
日本医師会雑誌, vol 92, No. 5, p787-791, 1984
- No. 8 5月 島崎修次：
急性アルコール中毒.
メディカルビュー社, 東京, pp822. 1984
- No. 9 5月 島崎修次, 水谷太郎：
心肺蘇生法 2. 二次救命処置
情報開発研究所. 大塚敏文, 柴田進, 平野寛編集
pp.44-61, 東京, 臨床老年医学大系-18 救急医学.
プライマリーケア～ 1984
- No. 10 6月 近藤孝：
臭化メチル中毒 3. 中毒性疾患
今日の治療指針 Vol 26. 医学書院 p90-91, 1984
- No. 11 6月 島崎修次：
異型輸血 1. 救急治療
今日の治療指針 Vol 26. 医学書院 p30-31, 1984
- No. 12 8月 島崎修次：
思い出に残る患者—2つの敗血症死—苦いカルテー症例に学ぶ誤診予防学—
日経メディカル編 日経マグロウヒル社 pp.184-187, , 1984.
- No. 13 11月 島崎修次, 近藤孝：
9・2 热傷—各種疾患に対する亜鉛療法—
亜鉛と臨床, 岡田正, 高木洋治編 (東京). 朝倉書店 pp137-142, 1984,
- No. 14 11月 島崎修次：
ベッドサイドの熱傷. 小児熱傷
小児科 MOOK ベッドサイドの小児輸液のすべて (S 59,
11, 30. 発行), 35. 山下文雄, 蔡田敬次郎編集.
金原出版, pp.185-194 東京

No. 15 11月 鈴木宏昌, 島崎修次：
被虐待児症候群

図説臨床・小児科講座—4— 小林登監修, 窪田義弘, 三川宏編集
中毒・事故・外傷・救急・治療手技pp. 154-161, 1984, 11月発行.

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

No. 1 1月 土佐純一, 吉井与志彦, 成島淨, 高野晋吾, 中川邦夫, 牧豊：

CT 画像上における神経膠腫の境界診断（第2報）, steroid-osmotherapy 負荷による low dense area の検討.

第7回脳神経 CT 研究会, 1, 京都, 1984

No. 2 1月 塚田篤郎, 伴野悠士, 能勢忠男, 江頭泰平, 高野晋吾, 牧豊：

Symptomatic Rathkes cleft cyst の CT 像.

第7回脳神経 CT 研究会, 1, 京都, 1984

No. 3 1月 兵頭明夫, 伴野悠士, 能勢忠男, 山田隆, 牧豊：

CT 上 pituitary stalk の腫大所見としてとらえられた早期 suprasellar germinoma の1例.

第7回脳神経 CT 研究会, 1, 京都, 1984

No. 4 1月 久木田親重, 能勢忠男, 橋川正典, 吉井与志彦, 中川邦夫, 江頭泰平, 牧豊：

脳転移をきたした悪性黒色腫の CT 像について.

第7回脳神経 CT 研究会, 1, 京都, 1984

No. 5 1月 坪井康次, 牧豊, 堀映, 海老原玲子：

側脳室後角の副脳室について.

第7回脳神経 CT 研究会, 1, 京都, 1984

No. 6 1月 対野光将, 池田卓也, 近藤孝, 他：

Dynamic CT Scan による頭蓋内病変に関する検討（第4報）.

第7回脳神経 CT 研究会 1984, 1月, 京都

No. 7 2月 成島淨, 能勢忠男, 塚田篤郎, 中田義隆, 牧豊：

Arnold-Chiari 奇形—成人例の検討.

第13回日本脳神経外科学会関東地方会, 2, 東京, 1984

No. 8 2月 亀崎高夫, 坪井康次, 小林栄喜, 牧豊：

Neuro-cutaneous mecanosis の1例.

第13回日本脳神経外科学会関東地方会, 2, 東京, 1984

No. 9 2月 江頭泰平, 松木孝之, 吉井与志彦, 牧豊：

頸椎脊椎管拡大術の1経験.

第13回日本脳神経外科関東地方会, 2, 東京, 1984

No. 10 2月 坪井康次, 吉井与志彦, 土佐純一, 松村明, 中川邦夫, 久木田親重, 成島淨, 牧豊：

再発神経膠腫の CT によるパターン診断の試み.

第13回日本脳神経外科学会関東地方会, 2, 東京, 1984

- No.11 2月 兵頭明夫：
脳神経外科における超音波断層診断。
第3回日本脳神経超音波研究会ワークショップ，2，東京，1984
- No.12 5月 坪井康次，亀崎高夫，日黒琴生，小林栄喜，牧豊：
経口避妊薬内服女性にみられた多発性脳梗塞の1例。
第14回日本脳神経外科学会関東地方会，5，東京，1984
- No.13 5月 塚田篤郎，榎本貴夫，能勢忠男，牧豊：
排尿困難を主訴とした成人腰部脂肪腫の1例。
第14回日本脳神経外科学会関東地方会，5，東京，1984
- No.14 5月 森茂夫，秋本宏，牧豊：
慢性硬膜下水腫のドレナージ療法についての検討。
第14回日本脳神経外科学会関東地方会，5，東京，1984
- No.15 5月 兵頭明夫，能勢忠男，小野幸雄，牧豊：
原因不明の脳血管攣縮について一分娩後に発症し，広範な vasospasm を呈した皮質下出血の1例を中心にして—。
第9回日本脳卒中学会総会，5，東京，1984
- No.16 5月 小野幸雄，伴野悠士，久木田親重，牧豊：
末端肥大症における睡眠時無呼吸症候群。
第9回日本睡眠学会，5，金沢，1984
- No.17 5月 近藤孝，島崎修次，M，Brock：
脳血流再開による脳浮腫の水・電解質変化について。一白質と灰白質との相違について—。
第9回日本脳卒中学会総会，日本都市センター，東京，1984，
- No.18 6月 島崎修次：
救急蘇生法
(日本交通福祉協会主催) 土浦市民会館，s.59. 6. 5
- No.19 6月 島崎修次：
溺水患者の観察と救急処置。
第4回救急隊員部会(第17回日本救急医学会関東地方会)
日本教育会館 s.59. 6. 16.
- No.20 7月 松村明，能勢忠男，牧豊，能勢晴美，本間一弘：
NMR を用いた中枢神経疾患診断のための基礎実験，第1報 ラット正常脳の NMR 画像。
第4回核磁気共鳴医学研究大会，7，筑波，1984
- No.21 7月 松村明，能勢忠男，牧豊，兵頭明夫，本間一弘：
NMR を用いた中枢神経疾患診断のための基礎実験，第2報 急性期脳内血腫について。
第4回核磁気共鳴医学研究大会，7，筑波，1984

- No.22 7月 中原順子, 川島浩一郎, 藤原順子, 松村明, 中田義隆:
 小児モヤモヤ病における過呼吸賦活時の脳波定量解析と血液ガス分析.
 第25回日本小児神経学会総会, 7, 栃木, 1984
- No.23 9月 松木孝之, 江頭泰平, 成島淨:
 初期に脳幹症状を呈した小脳出血の検討.
 第119回茨城外科集談会, 9, 水戸, 1984
- No.24 9月 吉井与志彦, 牧豊, 亀崎高夫, 能勢忠男, 小松洋治, 杉本耕一, 鶴島英夫, 山田雄三,
 江頭泰平, 松木孝之, 成島淨:
 転移性脳腫瘍に対する治療適応について.
 第119回茨城外科集談会, 9, 水戸, 1984
- No.25 9月 伊藤政美, 森茂夫, 秋本宏:
 急性硬膜下血腫をきたした尿毒症の1例.
 第15回日本脳神経外科学会関東地方会, 9, 東京, 1984
- No.26 9月 山田隆, 塚田篤郎, 篠原明:
 頸部黄靭帯肥厚症について.
 第15回日本脳神経外科学会関東地方会, 9, 東京, 1984
- No.27 9月 成島淨, 松村明, 鶴嶋英夫, 吉井与志彦, 牧豊:
 易出血性 multicentric glioma の1例.
 第15回日本脳神経外科学会関東地方会, 9, 東京, 1984
- No.28 9月 目黒琴生, 坪井康次, 小林栄喜, 牧豊:
 劇症下垂体卒中の一部検例.
 第15回日本脳神経外科学会関東地方会, 9, 東京, 1984
- No.29 9月 吉井与志彦, 牧豊, 能勢忠男, 中川邦夫, 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃:
 脳腫瘍に対する陽子線治療の試み(第1報).
 第44回日本癌治療学会総会, 9, 東京, 1984
- No.30 9月 Enomoto T, Ono Y, Nose T, Maki Y:
 Significance of EEG in minor head injury in childhood, with special
 reference to the feature of EEG in early stage.
 12th Scientific meeting of ISPNC 9, Cairo, 1984
- No.31 10月 小川功, 菊地直心夫, 鈴木宏昌, 近藤孝, 島崎修次:
 蘇生後脳症に対する持続的頭蓋内圧モニタリングの試み.
 第17回日本救急医学会関東地方会, 日本教育会館, 1984
- No.32 10月 菊地直心夫, 近藤陽一, 鈴木宏昌, 玉那覇好生, 近藤孝, 島崎修次:
 重症患者における循環動態と呼吸代謝パラメータ.
 第17回日本救急医学会関東地方会, 1984
- No.33 10月 中川邦夫, 能勢忠男, 牧豊, 北原文代, 石川演美, 畠山六郎:
 ラット脳腫瘍に対するモノクロナール抗体の作成と RI 標識抗体の抗体計測.
 第43回日本癌学会総会, 10, 福岡, 1984

- No. 34 10月 上月英樹, 小泉準三, 竹内龍雄, 飯尾正明, 小野幸雄:
 自殺目的の縊頸で発見時から10数分後に蘇生したが、著明な器質性人格症候群を残した1臨床例一とくに前頭葉症状と脳ボジトロン CT 所見について—。
 東京精神医学懇話会第12回学術集会, 10, 東京, 1984
- No. 35 10月 目黒琴生:
 急性期脊髄外傷における神経症状の悪化に関する因子の検討。
 第43回日本脳神経外科学会総会, 10, 千葉, 1984
- No. 36 10月 土佐純一, 吉井与志彦, 亀崎高夫, 成島淨, 高野晋吾, 牧豊:
 CT 画像上における神経膠腫の境界診断の可能性。
 第43回日本脳神経外科学会総会, 10, 千葉, 1984
- No. 37 10月 吉澤卓, 菊池晴彦, 唐澤淳, 他:
^{81m}Kr SPECT による小脳の機能的血行動態の検討 とその神経外科的意義に関する考察。
 第43回日本脳神経外科学会総会, 10, 千葉, 1984
- No. 38 10月 吉井与志彦, 牧豊, 久木田親重, 亀崎高夫, 松村明, 中川邦夫:
 悪性神経膠腫に対する HPD-Argon Laser Photoradiation Therapy (PRT) 臨床応用への試み (第3報)。
 第43回日本脳神経外科学会総会 10, 千葉, 1984
- No. 39 10月 坪井康次, 吉井与志彦, 亀崎高夫, 中川邦夫, 成島淨, 牧豊:
 再発神経膠腫の CT によるパターン診断。
 第43回日本脳神経外科学会総会 10, 千葉, 1984
- No. 40 11月 吉井与志彦, 牧豊, 久木田親重, 亀崎高夫, 松村明, 中川邦夫:
 悪性神経膠腫に対する HPD-Argon Laser Photodynamic Therapy (PDT) 臨床応用への試み。
 第5回日本レーザー医学会総会, 11, 札幌, 1984
- No. 41 11月 目黒琴生, 吉澤卓, 小林栄喜:
 重症貧血患者におけるクモ膜下出血の CT 所見。
 第4回茨城県南脳血管障害研究会, 11, 土浦, 1984
- No. 42 11月 菊地直心夫, 鈴木宏昌, 玉那霸好生, 近藤陽一, 近藤孝, 島崎修次:
 重症患者における呼吸代謝と栄養。
 第12回日本救急医学会総会シンポジウム—重症患者の栄養管理—
 於: 広島(公会堂) 会長盛生倫夫, 1984. 11. 22
- No. 43 11月 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 近藤孝, 島崎修次:
 胆汁性腹膜炎で発症した肝梗塞の1例。(野口雅之, 小島瑞) 基礎臨床病理
 第12回日本救急医学会総会。於: 広島(公会堂), 1984. 11. 23
- No. 44 11月 江頭泰平, 松木孝之, 成島淨, 篠原明:
 頸椎脊柱管拡大術の検討。
 第6回茨城医学会脳神経外科分科会, 11, 水戸, 1984

- No. 45 11月 目黒琴生, 小林栄喜, 吉澤卓, 坪井康次：
Metrizamide spinal CT-additional techniques.
第6回茨城医学会脳神経外科分科会, 11, 水戸, 1984
- No. 46 11月 兵頭明夫, 能勢忠男, 榎本貴夫, 小松洋治, 杉本耕一, 鶴嶋英夫, 山田雄三, 牧豊：
脳動脈奇形の外科的療法 Intravascular surgery の応用, 第1報 脳血管内バルーンカテーテル法による術前評価の試み.
第6回茨城医学会脳神経外科分科会, 11, 水戸, 1984
- No. 47 11月 森茂夫, 伊藤政美, 秋本宏, 江頭泰平：
上矢状洞穿通性外傷の1例.
第6回茨城医学会脳神経外科分科会, 11, 水戸, 1984
- No. 48 11月 小野幸雄, 牧豊, 西原京子, 遠藤四郎, 古閑永之助：
睡眠の加齢変化—60歳代の睡眠—.
第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11, 北九州, 1984
- No. 49 11月 古閑永之助, 遠藤四郎, 西原京子, 斎藤泰彦, 小野幸雄：
睡眠脳波分類の再検討—stage 2について.
第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11, 北九州, 1984
- No. 50 11月 渡辺誠治, 田中淳介, 内藤裕史, 清野秀子, 小野幸雄, 酒井邦彦, 堀内晋, 石丸尚：
脊髄麻酔によって誘発される夜間ミオクロース.
第14回日本脳波・筋電図学会学術大会, 11, 北九州, 1984
- No. 51 12月 久木田親重, 水上公宏：
脳動脈奇形の手術摘要に対する Balloon の応用.
第16回日本脳神経外科関東地方会, 12, 東京, 1984
- No. 52 12月 森茂夫, 伊藤政美, 秋本宏, 兵頭明夫：
Detachable balloon catheter による外傷性内頸動脈海綿靜脈洞瘻閉塞の1例.
第16回日本脳神経外科関東地方会, 12, 東京, 1984
- No. 53 12月 目黒琴生, 吉澤卓, 小林栄喜, 牧豊：
CT 上血管内に高吸収域を認める中大脳動脈閉塞症について.
第16回日本脳神経外科関東地方会, 12, 東京, 1984
- No. 54 12月 坪井康次, 能勢忠男, 渡辺一弘, 兵頭明夫, 中西孝夫, 牧豊：
両側内腸骨動脈より Feed された腰部硬膜外動脈奇形の1例.
第16回日本脳神経外科関東地方会 12, 東京, 1984
- No. 55 12月 松木孝之, 成島淨, 江頭泰平：
脊髓症状を呈した頸椎黄靭帯石灰化の1例.
第16回日本脳神経外科関東地方会 12, 東京, 1984
- No. 56 12月 市毛雅子, 水沢英洋, 中西孝雄, 鶴嶋英夫, 能勢忠男：
射撃練習後脊髄クモ膜下出血にて発症した血管周皮腫の1例.
第91回日本神経学会関東地方会, 12, 東京, 1984

No. 57 12月 玉那覇好生, 鈴木宏昌, 船越尚哉, 近藤孝, 島崎修次:
PCP 中毒の 1 例.

第5回急性中毒研究会
経団連会館 昭和59年12月1日

班研究報告

No. 1 2月 島崎修次:

救急自動車の規格・構造研究委員会報告書.

昭和58年度消防科学総合センター 2月, 1984

No. 2 3月 牧豊, 伴野悠士, 能勢忠男:

全髄液腔 RI-cisternography における spinal stasis の検討.

厚生省特定疾患・正常圧水頭症研究班,
昭和58年度研究報告書 41-44, 1984

No. 3 3月 小野幸雄, 牧豊, 遠藤四郎, 西原京子, 古関永之助:

60歳代の睡眠—若年者成人群および高齢者群との比較.

筑波大学・老化特別プロジェクト研究 63-69, 1984

No. 4 6月 牧豊, 吉井与志彦:

再発神經膠腫に対する HPD-Argon PRT 臨床応用の試み.

厚生省がん研究「HPD とクリプトン・イオンダイレーザーによる螢光診断と HPD とアルゴンダイレーザーによる光学的治療」, 早田班(東京), 1984

No. 5 8月 牧豊:

レーザー機器のガン診療への応用に関する研究(早田班).

昭和58年度厚生省がん研究助成金による研究報告集,
早田班 30-35, 502-506, 1984

No. 6 10月 牧豊:能勢忠男, 伴野悠士:

難治性水頭症の RI-システィルノグラフィー.

厚生省特定疾患・難治性水頭症調査研究班,
昭和59年度第1回班会議総会(神戸・10. 6), 1984

No. 7 11月 牧豊, 吉井与志彦:

神經膠腫に対する HPD-Argon PDT 法応用の検討.

厚生省がん, 早田班(東京), 1984

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 牧豊:

特別講演「脳の老化とその防止」

昭和58年度筑波大学公開講演会, 土浦・
石岡地方社会教育センター 1. 17, 1984

No. 2 2月 島崎修次：

「熱傷」、ラジオたんぱ放送「救急蘇生法の指針」

日本短波放送第一放送 S.59. 2. 4. 放東京

No. 3 4月 能勢忠男：

特別講演「脳血管障害の外科療法」

鹿島医師会講演会、鹿島医師会館 4. 18, 1984

No. 4 5月 能勢忠男：

特別講演「脳神経外科の術後管理」

エーザイ談話会、エーザイ本社 5. 11, 1984

No. 5 5月 G. T. Shires, B. A. Pruitt, 相川直樹, 吉岡敏治, 石田詔治, 島崎修次：

Septic shock の治療とその考え方(座談会)

臨床外科 5. May Vol 39. No. 5, p.600-658, 1984

No. 6 6月 牧豊：

特別講演「老人病の治療のポイント」

関東地区 MRC の会(水戸) 6. 23, 1984

No. 7 6月 秋本宏：

Trapidil の臨床治験。

関東地区 MRC の会(水戸) 6. 23, 1984

No. 8 6月 能勢忠男：

特別講演「脳血管障害の外科療法—最近の動向—」

古河医師会講演会 6. 21, 1984

No. 9 7月 牧豊：

特別講演「ぼけを防ぐには？」

厚生年金受給者組合、つくばね荘 7. 3, 1984

No. 10 9月 訳一(島崎修次)

179(訳)動物咬創—救急処置の実際—

日経メディカル 3-12, 1984, 117-122

(Postgraduate Medicine : Vol 73, No. 6.

No. 11 10月 秋本宏：

虚血性脳血管障害に対する Trapidil の臨床効果。

関東 MRC 大会、東京会館 10. 6, 1984

No. 12 10月 奥島基良、能勢忠男、沢田淳、伊藤紘一、松尾裕英、北村次男、竹田久弥：

座談会「エコー現状と将来・各科からアドバイス」

メディックス Vol.16p. 5-20, 10, 1984

No. 13 11月 島崎修次：

講演「救急医療の現状と救急法実技」

全国モーターボート競走会連合会「笹川良一」

於 愛知県競走会蒲郡宿舎 S.59. 11. 7-11. 8.

総 説

- No. 1 5月 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 近藤孝, 島崎修次:
高熱障害症候群の病態生理
ICU と CCU vol 8 (5) 391-398, 1984
- No. 2 6月 島崎修次:
広範囲熱傷と高張電解質輸液 (HLS), メディカル・トピックス
医学のあゆみ Vol 129, 13号, 1201, 1984
- No. 3 6月 島崎修次:
Battered child syndrome, メディカル・トピックス
医学のあゆみ vol 129, 13号, 1195, 1984
- No. 4 8月 鈴木宏昌, 島崎修次:
熱傷患者の取扱い方
外科治療—外科救急計画法
vol 51. Aug. p21 (275)-29 (283), 1984
- No. 5 8月 島崎修次, 近藤孝, 菊地直心夫, 鈴木宏昌, 玉那覇好生:
ICU における栄養管理
救急医学, Vol 8, No. 8, Aug. 985-996, 1984
- No. 6 10月 島崎修次, 菊地直心夫, 玉那覇好生, 河野一郎, 近藤孝
熱傷および外傷性ショックにおけるフィブロネクチンの役割. 一特集 フィブロネ
クチン研究の進歩と臨床の現況—
最新医学, 第39巻, 第10号, S. 59. 10. 2076-2083, 1984
- No. 7 10月 島崎修次, 鈴木宏昌, 菊地直心夫, 玉那覇好生, 近藤孝:
大量出血と体液循環動態. 一特集 出血と止血—
救急医学 vol 8. No. 10. Oct 219 (1411)-229 (1421), 1984

1984年（泌尿器科グループ）

原 著

No. 1 1月 根本真一, 林正健二:

前立腺癌骨転移の指標としての尿中ハイドロキシプロリンの検討, II骨シンチグラムにおける前立腺癌転移巣の広がりと生化学マーカーとの関連について.

日泌尿会誌 75 (1): 53-58, 1984

No. 2 1月 石川博通, 武島仁, 矢崎恒忠, 小磯謙吉, 岡野克紀, 相川厚:

男子不妊症患者における精管副睾丸吻合術 (microsurgery の導入)

手術 38 (1): 7-9, 1984

No. 3 1月 S. Ishikawa, R. Nemoto, S. Kanoh, K. Kobayashi, and S. Ishizaka:

Photodynamic inactivation of bladder cancer cells (MGH-UI) sensitized with acridine orange and irradiated by argon laser.

Tohoku J. exp. Med., 144: 265-271, 1984

No. 4 2月 林正健二, 石川悟, 根本真一, 加納勝利, 小磯謙吉:

ホルモン抵抗性前立腺癌に対する化学療法の効果判定における問題点.

日泌尿会誌 75 (2): 229-232, 1984

No. 5 3月 加納勝利, 小磯謙吉, 矢崎恒忠, 林正健二, 根本良介, 石川悟, 根本真一:

II-6 膀胱癌膀胱全摘除術前治療としての下腹動脈抗癌剤動注療法.

日本外科系連合学会誌 10: 149-151, 1984

No. 6 3月 林正健二, 内田克紀, 梅山知一, 石川悟, 小磯謙吉:

腎癌の早期発見における超音波検査の意義.

日本臨床画像 3 (3): 660-664, 1984

No. 7 3月 吉井慎一, 内田克紀, 石川博通, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉:

外傷によって発見された巨大水腎症の1例.

臨泌 38 (3): 225-227, 1984

No. 8 3月 K. Uchida, T. Shimazui, R. Nemoto, S. Kanoh, and K. Koiso:

Survival of patients with superficial bladder cancer after treatment: A 10-year retrospective follow up study.

Jpn. J. Clin. Oncol., 14 (3): 369-378, 1984

No. 9 3月 K. Rinsho, S. Ishikawa, K. Uchida, and K. Koiso:

The value of ultrasonography in early detection of renal cell carcinoma.

Jpn. Clin. Oncol., 14 (3): 329-334, 1984

No. 10 3月 遠山隆夫, 石井一郎, 影山隆久, 石川博通:

S状結腸憩室誠膀胱瘻の1例.

かるて 9: 75-78, 1948

No. 11 4月 矢崎恒忠, 内田克紀, 梅山知一, 根本真一, 石川悟, 加納勝利, 小磯謙吉:

海綿腎の臨床的検討.

西日本泌尿器科46 (4): 773-776, 1984

- No.12 4月 矢崎恒忠, 菊池孝治, 島居徹, 武島仁, 飯泉達夫, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉:
囊胞腎の臨床的検討.
西日本泌尿器科 46 (4): 777-780, 1984
- No.13 4月 矢崎恒忠, 根本真一, 飯泉達夫, 武島仁, 内田克紀, 菊池孝治, 島居徹, 石川博通, 加納勝利, 小磯謙吉:
馬蹄腎における排泄性腎盂造影所見の検討.
西日本泌尿器科 46 (4): 761-765, 1984
- No.14 4月 飯泉達夫, 矢崎恒忠, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉, 中島禎一, 秋貞雅祥:
尿路性器悪性腫瘍における fine needle を用いた後腹膜リンパ節吸引細胞診の意義.
日泌尿会誌 75 (4): 633-637, 1984
- No.15 4月 林正健二, 石川悟, 内田克紀, 菊池孝治, 島居徹, 小磯謙吉:
進行した精上皮腫に対する化学療法.
泌尿紀要 30 (4): 513-517, 1984
- No.16 4月 石川博通, 相川厚, 武島仁, 篠田正幸, 中薗昌明, 家田和夫:
男子不妊症における精索靜脈瘤一術前各種ホルモン値と手術成績との関連について.
日不妊誌 29 (2): 1-5, 1984
- No.17 4月 中薗昌明, 篠田正幸, 中島史雄, 相川厚, 石川博通, 田崎寛:
ラットにおけるマストセル刺激による血中セロトニン, ヒスタミン, プロラクチンの変動.
日不妊誌 29 (2): 6-9, 1984
- No.18 4月 T. Yazaki, T. Umeyama, S. Nemoto, S. Ishikawa, K. Uchida, T. Iizumi, H. Takeshima, H. Ishikawa, S. Kanoh, and K. Koiso:
Partial nephrectomy: Wedge resection versus guillotine resection.
Nishinihon J. Urol., 46 (2): 373-376, 1984
- No.19 4月 Tze-Chun Liu, R. Nemoto, Pamela Griffin, Chi-Wee Lief, and George R. Prout, Jr.:
Incidence of vascular invasion in prostatic carcinoma and its correlation with metastasis: an application of the lectin-immunoperoxidase endothelium staining technique.
J. Urol., 131 (4)part 2: 125A, 1984
- No.20 5月 矢崎恒忠, 小磯謙吉:
腰痛及び肉眼的血尿を主訴とした水腎症例.
腎と透析 16 (5): 623-628, 1984
- No.21 5月 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉, 梅山知一, 金子昌司:
結石重量と成分に関する研究.
日泌尿会誌 75 (5): 847-852, 1984

- No.22 6月 T. Suzuki, K. Kawabe, C. Mori, A. Ueno, H. Asakage, K. Koiso, H. Akaza, T. Niijima :
 Pheochromocytoma with remission following phentolamine-induced shock.
Urology 23 (6) : 582-584, 1984
- No.23 6月 矢崎恒忠, 梅山知一, 根本真一, 加納勝利, 小磯謙吉 :
 海綿腎に対する手術療法の経験.
 手術 38 (6) : 741-743, 1984
- No.24 6月 H. Takeshima, A. Aikawa, H. Ishikawa, and T. Kageyama :
 A case report of Crohn's disease with sigmoido-vesical fistula.
Acta Urol. Jpn., 30 (6) : 793-796, 1984
- No.25 6月 武島仁, 石川博通, 相川厚, 影山隆久 :
 下部結腸癌に対する骨盤内臟器全摘術の経験.
 日泌尿会誌 75 (6) : 967-972, 1984
- No.26 6月 内田克紀, 島居徹, 菊池孝治, 石川悟, 林正健二, 小磯謙吉 :
 後腹膜脂肪肉腫の1例.
 泌尿紀要 30 (6) : 781-785, 1984
- No.27 7月 石川博通, 相川厚, 武島仁, 小山雄三, 中村聰 :
 男子不妊症の臨床統計学的検討.
 日不妊誌 29 (3) : 57-63, 1984
- No.28 7月 飯泉達夫, 菊池孝治, 島居徹, 内田克紀, 武島仁, 梅山知一, 根本真一, 石川悟, 矢崎恒忠, 石川博通, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉 :
 超音波下経皮的腎孟造影の臨床的意義.
 腎と透析 17 (1) : 31-34, 1984
- No.29 8月 内田克紀, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉 :
 成人期に初発し排尿障害を主訴とした脊髄脂肪腫の1例および文献的考察.
 日泌尿会誌 75 (8) : 1319-1325, 1984
- No.30 8月 M. Ohtani, S. Fukushima, T. Okamura, T. Sakata, N. Ito, K. Koiso, and T. Niijima :
 Effects of intravesical instillation of antitumor chemotherapeutic agents on bladder carcinogenesis in rats treated with N-Butyl-N-(4-Hydroxybutyl) nitrosamine.
Cancer 54 (8) : 1523-1529, 1984
- No.31 8月 矢崎恒忠, 加納勝利, 石川博通, 林正健二, 小磯謙吉, 根本真一, 石川悟 :
 泌尿器科レジデントがおこなった開放性腎生検の検討.
 泌尿紀要 30 (8) : 1055-1011, 1984
- No.32 9月 根本真一, 小磯謙吉, 青柳一正, 東條静夫 :
 膀胱癌浸潤因子に関する研究—膀胱癌の elastase 標酵素活性について.
 日泌尿会誌 75 (9) : 1391-1400, 1984

- No. 33 9月 H. Ishikawa, and H. Takeshima :
 An evaluation of blood serotonin in male infertile patients.
 Acta. Urol. Jpn. 30 (9) : 1201-1205, 1984
- No. 34 10月 石川博通, 武島仁, 小磯謙吉 :
 男子不妊症における精索静脈瘤の内分泌学的検討.
 ホルモンと臨床 32 (10) : 51-53, 1984
- No. 35 10月 林正健二, 小磯謙吉 :
 前立腺癌におけるリンパ節郭清法.
 日本外科系連合学会誌 11 : 27-29, 1984
- No. 36 11月 矢崎恒忠, 小磯謙吉 :
 吐乳と腹部腫瘍を主訴とした男児例.
 腎と透析 17 (5) : 715-719, 1984
- No. 37 11月 矢崎恒忠, 加納勝利, 石川博通, 石川悟, 根本真一, 梅山知一, 飯泉達夫, 武島仁, 内田克紀,
 経尿道的膀胱腫瘍切除術における大腿内転筋反射の防止法.
 手術 38 (11) : 1425-1428, 1984
- No. 38 11月 島居徹, 菊池孝治, 内田克紀, 林正健二, 矢崎恒忠, 小磯謙吉 :
 精索脂肪腫の1例.
 泌尿紀要 30 (11) : 1665-1669, 1984
- No. 39 12月 小山雄三, 中村聰, 相川厚, 根本真一, 武島仁, 石川博通 :
 国立霞ヶ浦病院泌尿器科の経尿道的前立腺切除術の統計.
 茨城県臨床医学雑誌 20 : 191-194, 1984

総 説

- No. 1 2月 小磯謙吉 :
 睾丸腫瘍—PVB 療法.
 治療 66 (2) : 613-615, 1984
- No. 2 3月 小磯謙吉 :
 腎の感染症.
 日医 News Medical scope 腎シリーズ 9, 1984
- No. 3 3月 小磯謙吉 :
 前立腺癌治療上の問題点.
 京 63 : 9-15, 1984
- No. 4 4月 矢崎恒忠, 小磯謙吉 :
 排尿のしづみと夜尿症.
 からだの科学増刊 2 : 204-208, 1984
- No. 5 4月 矢崎恒忠 :
 ミニ情報……IVP
 腎と透析 16 (4) : 35, 1984

- No. 6 5月 小磯謙吉, 加納勝利, 内田克紀, 菊池孝治:
反復膀胱炎.
産科と婦人科 51 (5): 28-32, 1984
- No. 7 5月 林正健二, 小磯謙吉:
早期癌治療の問題点, 尿路性器癌.
癌の臨床 30 (6): 653-658, 1984
- No. 8 6月 小磯謙吉:
腎芽細胞腫(ウィルムス腫瘍)における中間径フィラメント構成蛋白質.
医学のあゆみ 129 (10): 682-683, 1984
- No. 9 6月 小磯謙吉:
膀胱癌の病理学的分類.
日本医事新報 No.3139: 130-131, 1984
- No. 10 6月 矢崎恒忠, 小磯謙吉:
尿路変更と腎盂腎炎.
腎と透析 16 (6): 771-776, 1984
- No. 11 7月 矢崎恒忠:
ミニ情報……経皮的順行性腎盂造影.
腎と透析 17 (1): 91, 1984
- No. 12 9月 小磯謙吉, 林正健二, 石川悟:
化学療法—[2] 疾患別多剤併用療法, 腎癌 第1編治療法の種類とその選択.
日本臨牀 42 (1984年秋季増刊) Cancer Therapy Manual
: 242-245, 1984
- No. 13 9月 小磯謙吉, 加納勝利, 根本真一, 飯泉達夫:
集学的治療法—腎癌 第II編器官別集学的療法.
日本臨牀 42 (1984年秋季増刊) Cancer Therapy Manual
: 849-853, 1984
- No. 14 9月 小磯謙吉, 加納勝利, 矢崎恒忠, 武島仁,
癌の合併症対策—腎障害
日本臨牀 42 (1984年秋季増刊) Cancer Therapy Manual: 1025-1031, 1984
- No. 15 9月 林正健二, 小磯謙吉:
前立腺癌.
臨床成人病 14 (9): 1443-1448, 1984
- No. 16 9月 丸彭夫, 中西正一郎, 南谷正水:
尿管S状結腸吻合術
<追加発言1> 加納勝利 <追加発言2> 加野資典
臨床泌尿器科 38 (9): 765, 1984
- No. 17 9月 矢崎恒忠, 北川龍一:
臨床医の治療薬(新版) 57 泌尿生殖器用薬
臨床医 10 (増刊号): 597-602, 1984

- No. 18 9月 矢崎恒忠：金子昌司, 梅山知一, 小磯謙吉：
腎結石と利尿剤の役割.
日本臨牀 42 (9) : 101-104, 1984
- No. 19 11月 矢崎恒忠, 小磯謙吉：
吐乳と腹部腫瘍を主訴とした男児例.
腎と透析 17 (5) : 105-109, 1984
- No. 20 12月 小磯謙吉：
尿路感染症.
Current therapy 2 (1) : 99-108, 1984
- No. 21 12月 小磯謙吉：
癌と腎疾患.
Medical corner 71 : 40-43, 1984
- No. 22 12月 小磯謙吉, 加納勝利, 矢崎恒忠, 石川博通, 梅山知一, 飯泉達夫, 内田克紀：
腎臓学の進歩 “泌尿器科領域”
腎と透析 17 (6) : 903-909, 1984
- No. 23 12月 矢崎恒忠, 小磯謙吉：
—私たちの最近の仕事から—泌尿器科的腎疾患に関する研究.
腎と透析 17 (6) : 951-954, 1984
- No. 24 12月 矢崎恒忠：
ミ=情報……泌尿器科領域における open surgery と開腹手術.
腎と透析 17 (6) : 167, 1984
- No. 25 12月 矢崎恒忠：
ミ=情報……Endourology.
腎と透析 17 (6) : 248, 1984
- No. 26 12月 北川龍一, 加納勝利
分腎尿検査
Medicina 21(12) : 2522-2523, 1984
- 著 書**
- No. 1 1月 小磯謙吉：
カラーアトラス
「泌尿器」(新島端夫監訳) 第2, 3章, 丸善, 東京, 1984
- No. 2 1月 小磯謙吉：
泌尿器科.
電気メスの理論と実際 (都築正和, 斎藤正男編)
pp88-95, 文光堂, 1984
- No. 3 1月 加納勝利共著：
国試からみた泌尿器科学,
中外医学社, (北川龍一, 松本泰編) 1984

- No. 4 2月 矢崎恒忠, 小磯謙吉：
排尿のしづみと夜尿症,
新生理学読本 からだの科学増刊2 (星猛編)
pp204-208, 1984 日本評論社
- No. 5 2月 石川博通：
男性不妊症,
今日の治療指針, pp428, 医学書院, 1984
- No. 6 3月 小磯謙吉：
泌尿器科系用語,
広川・サンダースエンサイクロペディア看護辞典,
広川書店, 東京, 1984
- No. 7 4月 加納勝利分担：
I. 尿路系薬剤,
やさしい腎臓学3 (腎と透析編集委員会編集)
pp95-111 東京医学社, 1984
- No. 8 4月 小磯謙吉：
腎の手術,
やさしい腎臓病学3 (上田泰, 杉野信博, 太田和夫監修)
pp35-46, 1984
- No. 9 5月 新島端夫, 小磯謙吉：
XVI 泌尿器癌,
癌の研究 (黒川利雄監修), 同文書院, 1984
- No. 10 7月 小磯謙吉：
腎尿路の通過障害, 腎尿路の奇形および腫瘍.
今日の内科学 (宮本昭正, 水島裕編)
pp.946-952, 医歯薬出版, 1984
- No. 11 9月 小磯謙吉, 加納勝利：
泌尿器科学へのアプローチ,
医学書院, 1984
- No. 12 11月 小磯謙吉：
尿路異常と腎障害,
腎疾患診療ハンドブック (宮原正編) pp.281-288 1984
- No. 13 月 R. Nemoto and T. Kato：
Microencapsulation of anticancer drug for intraarterial infusion and its clinical application. Microspheres and Drug Therapy.
Pharmaceutical, Immunological and Medical Aspects
(edited by S. S. Davis, L. Illum, J. G. McVie and E. Tomlinson, 1984)

No. 14 月 R. Nemoto :

Chemosensitivity in vitro and clinical responses to the selected drug.

New concepts of bladder cancer edited by George
R. Prout and Hiroshi Tazaki), Medical Research
Center Co., Ltd., 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

No. 1 1月 石川博通, 加納勝利, 小磯謙吉, 武島仁:

精索靜脈瘤における術前各種ホルモン値と手術成績の関連について。

第10回北関東内分泌懇談会（桜村竹園），1月，1984

No. 2 1月 吉井慎一, 内田克紀, 石川博通, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉:

外傷により発見された巨大水腎症の1例。

第423回日本泌尿器科学会東京地方会（東京），1月，1984

No. 3 2月 小磯謙吉, 加納勝利, 林正健二:

進行膀胱癌のペプロマイシンによる動注療法。

第7回ペプロマイシン研究会（東京），2月，1984

No. 4 2月 小磯謙吉:

泌尿器科よりみた腎疾患。（特別講演）

稲敷郡医師会学術講演会（土浦），2月，1984

No. 5 2月 小磯謙吉:

最近の泌尿器疾患診療の進歩。（特別講演）

第56回国立霞ヶ浦病院内科研究会（土浦），2月，1984

No. 6 3月 野口良輔, 矢崎恒忠, 梅山知一, 金子昌司, 菊池孝治, 小磯謙吉:

長期経過をとった外傷性尿道囊胞の1例。

第425回日本泌尿器科学会東京地方会（東京），3月，1984

No. 7 3月 内田克紀, 石川博通, 島居徹, 武島仁, 根本真一, 石川悟, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉:

肉腫様変化を伴った膀胱腫瘍の3例。

第425回日本泌尿器科学会東京地方会（東京），3月，1984

No. 8 4月 根本真一, 小磯謙吉, 青柳一正, 東條静夫:

膀胱癌のエラスター様酵素活性に関する研究。

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No. 9 4月 小磯謙吉: シンポジウム

CIS の臨床。

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No. 10 4月 矢崎恒忠, 根本真一, 加納勝利, 石川博通, 菊池孝治, 吉井慎一, 野口良輔, 小磯謙吉:

尿管S状結腸吻合術患者の術後生活状況。

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No.11 4月 飯泉達夫, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉, 小山哲夫, 東條静夫:
腎細胞癌における腎尿細管上皮抗原.

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No.12 4月 林正健二, 内田克紀: シンポジウム 膀胱上皮内癌の臨床について
mapping biopsy による膀胱上皮内癌の臨床的観察.

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No.13 4月 武島仁, 林正健二, 石川悟, 島居徹, 金子昌司,
前立腺癌における staging operation の臨床的意義.

第72回日本泌尿器科学会総会（徳島），4月，1984

No.14 4月 小磯謙吉:
排尿障害の臨床.

取手医師会特別講演（取手），4月，1984

No.15 5月 小林正貴, 太田義章, 稲毛博実, 渡辺孝太郎, 小山哲夫, 紅露恒男, 成田光陽, 東條静夫, 加納勝利, 小磯謙吉:
中等度の蛋白尿を呈した褐色細胞腫の1例.

第14回東部腎臓学会（新潟），5月，1984

No.16 5月 小林正貴, 吉沢利弘, 稲毛博実, 寺崎太郎, 佐野元昭, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫, 加納勝利, 小磯謙吉:
FGS の組織像を呈した逆流腎症（reflux nephropathy）の1例.

第14回東部腎臓学会（新潟），5月，1984

No.17 5月 永瀬宗重, 宮崎三弘, 山口直人, 青柳一正, 渡辺孝太郎, 小山哲夫, 成田光陽, 東條静夫, 根本真一, 加納勝利, 小磯謙吉:
Plasmaphresis と Steroid 療法が著効を示した PRGN (Lupus Nephritis) の1例.

第14回東部腎臓学会（新潟），5月，1984

No.18 5月 矢崎恒忠, 小磯謙吉:
ワーカショップ, 四尿, 泌尿器科からみた血尿.

第14回東部腎臓学会（新潟），5月，1984

No.19 5月 飯泉達夫, 矢崎恒忠, 菊池孝治, 島居徹, 内田克紀, 武島仁, 梅山知一, 根本真一, 石川悟, 石川博通, 加納勝利, 小磯謙吉:
超音波下経皮的腎孟造影の臨床的意義.

第14回東部腎臓学会（新潟），5月，1984

No.20 5月 小磯謙吉:
内科に必要な泌尿器科の知識.

帝京大カンファレンス特別講演（東京），5月，1984

No.21 6月 菊池孝治, 野口良輔, 金子昌司, 吉井慎一, 島居徹, 内田克紀, 武島仁, 飯泉達夫, 梅山知一, 石川悟, 石川博通, 林正健二, 矢崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉:
VUR に対する新しい術式.

第17回茨城泌尿器科集談会（桜村），6月，1984

- No.22 6月 中村聰, 石川博通, 根本真一, 武島仁：
前立腺癌から転移した陰茎癌の1例.
第17回茨城泌尿器科集談会(桜村), 6月, 1984
- No.23 6月 武島仁, 石川博通, 小磯謙吉：
最近1年間の男子不妊症の患者の臨床統計的観察.
第90回日本不妊学会関東地方部会(宇都宮), 6月, 1984
- No.24 6月 梅山知一, 内田克紀, 飯泉達夫, 石川悟, 石川博通, 林正健二, 矢崎恒忠, 加納勝利,
小磯謙吉：
小児尿道下裂患者における問題点について.
第25回日本小児科学会茨城地方会(桜村), 6月, 1984
- No.25 6月 小磯謙吉：
膀胱腫瘍浸潤因子に関する研究. (特別講演)
第190回日本泌尿器科学会東北地方会(盛岡), 6月, 1984
- No.26 7月 野口良輔, 内田克紀, 飯泉達夫, 梅山知一, 石川悟, 石川博通, 林正健二, 矢崎恒忠,
加納勝利, 小磯謙吉：
進行性膀胱癌の動注温熱同時併用療法.
第11回尿路悪性腫瘍研究会(東京), 7月, 1984
- No.27 7月 金子昌司, 吉井慎一, 武島仁, 飯泉達夫, 石川博通, 矢崎恒忠, 小磯謙吉, 寺崎太郎,
藤田敏郎, 山下龜次郎：
無症候性褐色細胞腫の1例.
第427回日本泌尿器科学会東京地方会(東京), 7月, 1984
- No.28 7月 菊池孝治, 内田克紀, 飯泉達夫, 武島仁, 梅山知一, 石川悟, 石川博通, 林正健二, 矢
崎恒忠, 加納勝利, 小磯謙吉：
術後感染症に関する統計.
第427回泌尿器科学会東京地方会(東京), 7月, 1984
- No.29 8月 林正健二, 小磯謙吉：シンポジウム
前立腺癌におけるリンパ節廓清術.
第9回外科系連合総会(大阪), 8月, 1984
- No.30 8月 内田克紀, 林正健二, 小磯謙吉：シンポジウム
臓器機能保存手術—表在性膀胱癌.
第9回外科系連合総会(大阪), 8月, 1984
- No.31 9月 深尾立, 尾崎梓, 大塚雅昭, 岩崎秀生, 湯沢賢次, 岩崎洋治, 梅山知一, 矢崎恒忠, 加
納勝利, 小磯謙吉, 野口淳夫：
Cyclosporin A 投与腎移植患者の末梢血免疫細胞 phenotype の解析.
第20回日本移植学会(東京), 9月, 1984
- No.32 9月 小磯謙吉：
生体機能代行の現状とニーズ. (特別講演)
Salon de S & M(筑波), 9月, 1984

No.33 9月 小磯謙吉：シンポジウム
腎・膀胱・前立腺癌.

第22回日本癌治療学会（東京），9月，1984

No.34 9月 原田昌興，内田克紀，根本良介，林正健二，小磯謙吉：

前立腺癌の臨床病理学的研究第7報前立腺恥骨上摘除術材料における偶発癌の検討.

第22回日本癌治療学会（東京），9月，1984

No.35 9月 林正健二，内田克紀，根本真一，石川悟，小磯謙吉：
前立腺癌の骨転移と尿中ヒドロシキプロリン（3）.

第22回日本癌治療学会（東京），9月，1984

No.36 9月 内田克紀，菊池孝治，島居徹，石川悟，石川博通，根本良介，林正健二，加納勝利，小磯謙吉，原田昌興：
膀胱癌の非腫瘍部粘膜生検における病理組織学的検討.

第22回日本癌治療学会（東京），9月，1984

No.37 9月 梅山知一，武島仁，飯泉達夫，矢崎恒忠，加納勝利，小磯謙吉，更科広実：
尿管S状結腸吻合術後に発生したと思われる結腸腺腫の1例.

第22回日本癌治療学会（東京），9月，1984

No.38 10月 飯泉達夫，矢崎恒忠，加納勝利，小磯謙吉：
腎細胞癌の免疫組織化学的研究.

第43回日本癌学会総会（福岡），10月，1984

No.39 10月 飯泉達夫，武島仁，梅山知一，石川博通，矢崎恒忠，加納勝利：
腎細胞癌の臨床的検討.

第49回日本泌尿器科学会東部連合総会（東京），10月，1984

No.40 10月 石川悟，島居徹，菊池孝治，林正健二，加納勝利，小磯謙吉：
Fogartyカテーテルを使用して下大静脈腫瘍血栓を切除し得た腎癌の1例.

第49回日本泌尿器科学会東部連合総会（東京），10月，1984

No.41 11月 金子昌司，内田克紀，飯泉達夫，石川博通，矢崎恒忠，加納勝利，小磯謙吉：
非定型的褐色細胞腫の2例.

第6回茨城医学会泌尿器科分科会（水戸），11月，1984

No.42 11月 梅山知一，石川博通，武島仁，吉井慎一，矢崎恒忠，小磯謙吉：
男子不妊症患者における精液中の微量元素に関する研究.

第29回日本不妊学会総会（東京），11月，1984

No.43 11月 武島仁，吉井慎一，石川博通，小磯謙吉，小山雄三：
男子不妊症患者における精索靜脈瘤の手術成績に関する臨床統計的検討.

第29回日本不妊学会総会（東京），11月，1984

No.44 11月 矢崎恒忠，梅山知一，飯泉達夫，金子昌司，菊池孝治，石川博通，加納勝利，小磯謙吉：

カルシウム含有尿路結石症の生化学的検討.

第27回日本腎臓学会総会（東京），11月，1984

- No. 45 11月 宮崎三弘, 青柳一正, 永瀬宗重, 大場正二, 成田光陽, 東條静夫, 小磯謙吉：
血中蔥酸測定の実用化.
第27回日本腎臓学会総会（東京），11月，1984
- No. 46 11月 加納勝利, 佐野元昭：ワーカショップⅢ逆流腎症
逆流腎症の腎病像.
第27回日本腎臓学会総会（東京），11月，1984
- No. 47 11月 武島仁, 石川博通, 小磯謙吉：
腎梗塞の1例.
第6回茨城医学会泌尿器科分科会（水戸），11月，1984
- No. 48 11月 小山雄三, 中村聰, 飯ヶ谷知彦, 相川厚, 根本真一, 武島仁, 石川博通：
国立霞ヶ浦病院泌尿器科の経尿道的前立腺切除術の統計的観察.
第39回国立病院療養所総合医学会（大阪），11月，1984
- No. 49 11月 野口良輔, 加納勝利, 早川吉則, 小磯謙吉：
膀胱腫瘍に対するRF波加温機による加温方法との効果の検討.
第1回日本ハイパーサーミア学会（京都），11月，1984
- No. 50 12月 小磯謙吉：
膀胱腫瘍の進展に関する研究.（特別講演）
第2回日本泌尿器科学学会山梨地方会（甲府），12月，1984
- No. 51 12月 高野晋吾, 塚田博, 小川功, 中川晴夫, 森田理一郎, 村山史雄, 石川成美, 鬼塚正孝,
赤荻栄一, 遠藤勝幸, 三井清文, 堀原一, 飯泉達夫, 小磯謙吉, 木村雄三, 小形岳三郎：
興味ある腎癌肺転移の1手術例.
第120回茨城外科集談会（水戸），12月，1984
- No. 52 12月 佐藤健, 飯泉達夫, 石川悟, 根本良介, 林正健二, 小磯謙吉：
腎孟 Fibroepithelial tumor の1例.
第430回日本泌尿器科学会東京地方会（東京），12月，1984
- その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）1984年（泌尿器科グループ）
- No. 1 4月 加納勝利：
排尿障害の薬物療法, 特にミニプレスの効果について.
ミニプレス研究会 講演 1984-4-19
- No. 2 5月 小磯謙吉：
書評, 臨床〈超音波シリーズ No. 7〉
泌尿器内科 53 (5) : 924-925, 1984-5-1
- No. 3 8月 小磯謙吉, 杉野信博, 上田泰, 清水喜八郎：
疾患の変ぼう（その1）（座談会）
Medico Vol. 15 (8) : 6404-6416, 1984-8-1
- No. 4 9月 小磯謙吉：
新入医員を迎えて.
いづみ 31 (7) : 4, 1984-9-1

No. 5 9月 小磯謙吉：
癌と腎疾患

「メディカルコーナー」(提供明治製菓) 放送日 1984-9-2

1984年（代謝内泌外科グループ）

原 著

- No. 1 1月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 鍾陽明, 松代彰子, 相吉悠治, 上野賢一, 大見尚, 内藤秀一, 三井清文:
最近われわれの経験した悪性黒色腫の症例。
日本形成外科学会雑誌 4 : 45-49, 1984
- No. 2 6月 Fujimoto Y, Obaya T, Ito Y, Kanazawa K, Aiyoshi Y, and Nobori M:
Surgical treatment of ten cases of parathyroid carcinoma: Importance of an initial en-bloc tumor resection.
World J Surg 8 : 392-400, 1984
- No. 3 6月 東野英利子, 植野映, 高崎雅子, 相吉悠治, 伊東紘一, 浅間善雄, 藤間弘行, 江森直衛:
数量化理論を用いた乳腺疾患の超音波画像の評価。
第44回日本超音波医学会講演論文集, pp.441-442, 1984
- No. 4 10月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 植野映, 山下亀次郎, 松本邦彦, 秋貞雅祥:
軟X線撮影による甲状腺腫瘍の診断。
ホルモンと臨床 32 : 939-943, 1984

総 説

- No. 1 9月 植野映:
超音波診断法のコツ—乳癌—。
新医療 pp.99-106, 1984

著 書

- No. 1 2月 植野映:
乳房・甲状腺超音波検査法。
第27回超音波診断法講習会テキスト pp.6-12,
日本超音波医学会, 東京, 1984
- No. 2 2月 植野映:
乳腺疾患の診断。
第30回超音波診断法講習会テキスト pp.6-10,
日本超音波医学会, 東京, 1984

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 1月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 植野映, 松本邦彦, 東野英利子, 平野洋子:
甲状腺軟X線撮影による甲状腺結節の診断。
第10回北関東内分泌懇談会（筑波）, 1月, 1984
- No. 2 1月 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾:
甲状腺手術と反回神経麻痺：特に反回神経縫合の意義について。
第10回北関東内分泌懇談会（筑波）, 1月, 1984

- No. 3 2月 塚田博, 山部克己, 湯沢賢治, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾:
囊胞内乳癌の1治験例.
第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984
- No. 4 2月 山田滋雄, 亀崎高夫, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾:
胸壁に発生した nodular fasciitis の1治験例.
第117回茨城外科集談会(筑波), 2月, 1984
- No. 5 2月 植野映, 相吉悠治, 牛尾浩樹, 東野英利子, 伊東紘一, 浅間善雄, 金澤暁太郎, 藤間弘行, 江森直衛:
乳腺超音波検査における誤診例の検討.
第39回乳癌研究会(鹿児島), 2月, 1984
- No. 6 2月 浅間善雄, 金澤暁太郎, 清水英男, 植野映:
乳癌と誤診した類膜腫の一例について.
第39回乳癌研究会(鹿児島), 2月, 1984
- No. 7 2月 植野映:
乳房・甲状腺超音波検査法.
第27回超音波診断法講習会(東京), 2月, 1984
- No. 8 4月 植野映, 相吉悠治, 牛尾浩樹, 添田周吾:
大・小胸筋保存所属リンパ節郭清乳房切断(Br+Ax+Ps).
第84回日本外科学会総会(京都), 4月, 1984
- No. 9 5月 山部克己, 塚田博, 湯沢賢治, 赤間高雄, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾:
腎不全に合併した上皮小体機能亢進症の1治験例.
第118回茨城外科集談会(水戸), 5月, 1984
- No. 10 5月 野本篤志, 相吉悠治, 山下龜次郎:
甲状腺 cAMP 系におけるカテコールアミンとアデノシン関与とその機構.
第57回日本内分泌学会学術総会(東京), 5月, 1984
- No. 11 6月 東野英利子, 植野映, 高崎雅子, 相吉悠治, 伊東紘一, 浅間善雄, 藤間弘行, 江森直衛:
数量化理論を用いた乳腺疾患の超音波画像の評価.
第44回日本超音波医学会研究発表会(東京), 6月, 1984
- No. 12 7月 植野映:
乳腺超音波診断で使用する名称と診断基準について.
日本超音波医学会乳腺研究部会(東京), 7月, 1984
- No. 13 9月 木服敬裕, 檜垣仁志, 辻勝久, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾:
バセドウ病を合併した原発性上皮小体機能亢進症の一治験例.
第119回茨城外科集談会(水戸), 9月, 1984
- No. 14 9月 植野映:
乳腺疾患の診断.
第30回超音波診断法講習会(東京), 9月, 1984

- No.15 10月 早川吉則, 相吉悠治, 植野映, 和賀井敏夫：
超音波パルス透過法による乳癌検診の理論。
日本超音波医学会第45回研究発表会（　），10月，1984
- No.16 10月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 植野映, 山下亀次郎, 葛谷信明：
甲状腺腫瘍組織のホルモン反応の多様性。
第17回甲状腺外科検討会（東京），10月，1984
- No.17 11月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 山下亀次郎, 葛谷信明：
軟X線撮影による甲状腺腫瘍の診断。
第57回日本内分泌学会秋季学術大会（神戸），11月，1984
- No.18 12月 早川吉則, 稲田哲雄, 植野映, 相吉悠治, 和賀井敏夫：
パルス超音波透過法による乳癌検診の理論。
第5回超音波エレクトロニックスの基礎と応用に関する
シンポジウム（　），12月，1984
- No.19 12月 水原章浩, 飯塚育士, 神山幸一, 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾：
抗甲状腺剤で顆粒球減少症を来たし, ステロイドホルモンで術前処置を行なったバセ
ドウ病の1例。
第120回茨城外科集談会（水戸），12月，1984
- No.20 12月 植野映, 牛尾浩樹, 相吉悠治, 添田周吾：
乳癌の新しい手術術式 modified extended radical mastectomy (Br+Ax+Ps).
第120回茨城外科集談会（水戸），12月，1984

1984年（形成外科グループ）

原 著

No. 1 1月 光嶋勲, 波利井清紀:

血管柄付神経移植の研究—第4報 瘢痕内へ移植した神経の軸索再生に関する電気生理学的検索一,

日本形成外科学会誌, 4: 9-15, 1984

No. 2 2月 光嶋勲, 白土基次, 渡辺敢仁, 高尾資郎:

Wringer injury 後の浮腫に対する静脈移植の1例,

整形災害外科, 27: 247-250, 1984

No. 3 3月 光嶋勲, 波利井清紀:

血管柄付神経移植の研究. 第5報. 烫傷後の瘢痕内に移植した神経の軸索再生に関する生化学的検索—主として軸索内輸送の経時的变化について一,

日本形成外科学会誌, 4: 159-168, 1984

No. 4 3月 中山凱夫, 添田周吾, 坂井重信, 鐘陽明:

Ethmocephaly の1例.

形成外科 27: 125-132, 1984

No. 5 3月 光嶋勲, 波利井清紀:

末梢性運動神経の軸索内輸送に関する研究,

形成外科, 27: 156-159, 1984

No. 6 5月 中山凱夫, 添田周吾, 坂井重信, 鐘陽明:

Subcutaneous pedicle flap の経験.

形成外科 27: 198-208, 1984

No. 7 6月 光嶋勲, 波利井清紀, 松林薰美:

高濃縮フィブリノーゲン (Tisseel®) を使用した神経接合に関する実験的研究—第2報 軸索内輸送の測定による軸索伸長速度の計測一,

臨床整形 19: 659-664, 1984

No. 8 7月 光嶋勲:

SDS ポリアクリルアミドゲル電気泳動法によるラット坐骨神経構成蛋白の定量的検索と神経細胞内骨格について (第1報),

日本形成外科学会誌, 4: 412-419, 1984

No. 9 9月 中山凱夫, 添田周吾:

Sleeve anastomosis による流量の変化とその適応.

形成外科, 27: 525-530, 1984

No. 10 10月 光嶋勲, 添田周吾:

血管柄付神経移植の研究, 神経移植後の神経筋構成蛋白の経時的変動について,

日本手の外科学会誌, 1: 609-612, 1984

No. 11 10月 中山凱夫:

皮弁における動脈血流入の重要性について. ラット皮弁による実験一

日本形成外科学会誌 4: 277-292, 1984

- No. 12 10月 中山凱夫, 添田周吾:
動脈 Shunt による血管柄付神経移植片作製の試み, —Rat による実験第2報—
日本手の外科学会誌 1: 727-730, 1984
- No. 13 11月 光嶋勲, 八巻信行:
Free or pedicled saphenous flap の経験とその臨床的応用について,
形成外科, 27: 559-565, 1984
- No. 14 12月 光嶋勲:
Tissee™ (FKS-Z) の形成外科領域における使用について,
薬理と治療, 12: 409-425, 1984

著 書

- No. 1 2月 添田 周吾:
形成外科,
図説外科学全書 (阿部令彦, 濑在幸安, 牧豊編)
pp 639-652, 朝倉書店, 東京, 1984

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 2月 松代彰子, 添田周吾, 中山凱夫, 光嶋勲, 坂井重信, 飯野知足:
posterior thigh flap にて再建した肛門癌の1例.
第111回日本形成外科学会東京地方会 (東京) 2月, 1984
- No. 2 3月 光嶋勲, 添田周吾, 波利井清紀:
SDS ポリアクリルアミドゲル電気泳動法によるラット坐骨神経および筋構成蛋白の定量的検索,
第112回日本形成外科学会東京地方会 (東京), 3月, 1984
- No. 3 4月 光嶋勲, 添田周吾, 波利井清紀:
血管柄付神経移植の研究—神経移植後の神経再生過程における末梢神経構成蛋白の経時的変動—,
第27回日本形成外科学会総会 (横浜), 4月, 1984
- No. 4 4月 坂井重信, 添田周吾, 中山凱夫, 光嶋勲, 鐘陽明, 松代彰子:
5年間の悪性腫瘍の経験.
第27回日本成形外科学会総会 (横浜), 4月, 1984
- No. 5 4月 中山凱夫, 添田周吾, 光嶋勲, 坂井重信, 飯野知足, 松代彰子:
口蓋の小瘻孔閉鎖に用いた舌の free composite graft
第27回日本形成外科学会総会 (横浜), 4月, 1984
- No. 6 4月 飯野知足, 添田周吾, 福田広志, 染谷さき子:
頬部, 口蓋欠損の1例
第27回日本形成外科学会総会 (横浜), 4月, 1984
- No. 7 4月 添田周吾:
ケロイド, 肥厚性瘢痕の予防と治療をめぐって. シンポジウム「形成外科における明日への展望」
第27回日本形成外科学会総会 (横浜), 4月, 1984

No. 8 5月 光嶋勲, 添田周吾:

血管柄付神経移植の研究, 神経移植後の神経筋構成蛋白の経時的変動について.

第27回日本手の外科学会総会(金沢), 5月, 1984

No. 9 6月 光嶋勲, 添田周吾, 八巻信行:

爪つき Hemi-pulp flap による手足指の再建法,

第113回日本形成外科学会東京地方会(東京), 6月, 1984

No. 10 6月 中山凱夫, 添田周吾, :

顔面を donor とする顔面の全層植皮について,

第113回日本形成外科学会東京地方会(東京), 6月, 1984

No. 11 9月 光嶋勲, 添田周吾, 中山凱夫, 坂井重信, 内田彰子, 清沢智晴, 飯野知足, 和田野安良:

マイクロサージャリーによる組織移植の経験, その1, 遊離橈側前腕皮弁の移植,

第119回茨城外科集談会(水戸), 9月, 1984

No. 12 9月 光嶋勲, 添田周吾, 八巻信行:

Distally based radial forearm flap の経験,

第114回日本形成外科学会東京地方会(東京), 9月, 1984

No. 13 10月 坂井重信, 添田周吾, 内田彰子, 若林邦夫, 石川詔雄:

腹壁欠損治療の2例

第115回日本形成外科学会東京地方会(東京), 10月, 1984

No. 14 10月 内田彰子, 添田周吾, 中山凱夫, 光嶋勲, 坂井重信, 飯野知足:

会陰部 hemangio pericytoma の1例.

第115回日本形成外科学会東京地方会(東京), 10月, 1984

No. 15 10月 添田周吾, 中山凱夫, 光嶋勲, 坂井重信, 内田彰子, 飯野知足, 清沢智晴:

頭頸部悪性腫瘍再建例の検討.

第2回日本顎顔面外科学会学術集会(東京), 10月, 1984

No. 16 11月 中山凱夫, 添田周吾:

特殊な島状皮弁の生着の可能性について.

第11回マイクロサージャリー研究会(福井), 11月, 1984

No. 17 11月 光嶋勲, 添田周吾:

実験的神経移植後の神経筋の変生と再生に関する電顎的検索.

第11回マイクロサージャリー研究会(福井), 11月, 1984

1984年（小児外科グループ）

原 著

- No. 1 2月 吉澤卓, 中田義隆, 牧豊, 木内宗甫, 大川治夫:
Chiari 奇型Ⅱ型患児にみられた反復性嚥下性肺炎に対する外科の一治験例.
小児の脳神経 9 (1): 29-34, 1984
- No. 2 2月 仁科孝子, 中條俊夫, 石田和夫, 小芝草剛, 安川繁博, 清水興一:
持続的な高血圧症を示した神經芽細胞腫の1例.
日本小児外科学会雑誌 20 (1): 25-28, 1984
- No. 3 3月 Saito S., Nishina T., Tsuchida Y.:
Intrahepatic cysts in biliary atresia after successful hepatoportoenterostomy.
Arch. Disease. Childh. 59: 274-275, 1984
- No. 4 3月 大川治夫, 山崎洋次, 石川詔雄:
実験モデル（犬）を用いた胆管胆道合流異常における障害発生因子に関する生化学的研究.
昭和57, 58年度文部省科学研究費報告書 一般研究 (B)
- No. 5 6月 大川治夫, 澤口重徳, 山崎洋次, 石川詔雄:
胆管胆道合流異常モデルの研究—Ⅳ 胆汁内逆流胆蛋白分解酵素の活性化動態の検討—
日本小児外科学会雑誌 20 (4): 723-731, 1984
- No. 6 2月 Kondo I., Shimakura Y., Hirano T., Kaneko M., Yabuta K.:
Ring chromosome 10 syndrome: Case report and the possibility of clinical diagnosis.
Clin. Genet. 25 (2): 196-200, 1984
- No. 7 6月 Tsuchida Y., Saito S., Honna T., Makino S., Kaneko M., Hazama H.:
Double termination of the alimentary tract in females: A report of 12 cases and a literature review.
J. Ped. Surg. 19 (3): 292-296, 1984
- No. 8 7月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫:
姉妹染色分体交換分析による小児癌治療のもたらす長期細胞障害評価の試み.
小児がん 20: 146-148, 1984
- No. 9 7月 大川治夫, 澤口重徳, 監物久夫, 高橋正彦, 金子道夫, 池袋賢一, 平松慶博:
小児期腎腫瘍の鑑別診断.
小児内科 16 (7): 1082-1083, 1984
- No. 10 8月 田村和喜, 仁科孝子, 澤口重徳, 滝田齊:
極小未熟児蘇生術後に発生した肝内無エコー域の超音波断層像.
超音波医学 11 (4): 246-247, 1984

- No. 11 8月 仁科孝子, 澤口重徳, 佐藤秀郎, 田村和喜：
静脈管, 脍靜脈の超音波像.
超音波医学 11 (4) : 258-259, 1984
- No. 12 8月 大川治夫, 澤口重徳, 金子道夫, 監物久夫, ベンサラム カリル, 古川敏紀：
鎖肛に関する基礎的研究 II 鎖肛ブタの疾患治療モデルとしての意義について.
日本小児外科学会雑誌 20 (5) : 923-929, 1984
- No. 13 8月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 金子道夫：
新生児期の特発性胃軸捻症特にその放射線学的追求.
日本小児外科学会雑誌 20 (5) : 985-991, 1984
- No. 14 11月 澤口重徳, 大川治夫, 金子道夫, ベンサラムカリル, 近藤郁子：
疾患モデルとしての鎖肛ブタの遺伝性.
医学のあゆみ 131 (8) : 539-540, 1984
- No. 15 11月 大川治夫, 金子道夫, 池袋賢一, 澤口重徳：
第1鰓裂性頸瘻根治手術のための新しい工夫—瘻管翻転法—
手術 38 (11) : 1401-1407, 1984

総 説

- No. 1 2月 大川治夫：
昭和57年度小児腎悪性腫瘍の集計.
日本小児外科学会雑誌 20 (1) : 253-256, 1984
- No. 2 2月 大川治夫：
そけいヘルニアと腸重積症.
赤ちゃんとまま 19 (2) : 28-29, 1984
- No. 3 5月 仁科孝子, 澤口重徳, 斎藤純夫, 中條俊夫：
消化器の検査—エコー—.
小児内科 16 (5) : 645-654, 1984
- No. 4 11月 仁科孝子, 澤口重徳：
超音波検査マニュアル：胆管—先天性胆道拡張症—.
外科 46 (11) : 1264-1268, 1984

著 書

- No. 1 6月 中條俊夫, 仁科孝子：
悪性腫瘍,
小児外科マニュアル—術前・術後管理—. (角田昭夫, 秋山洋編)
pp.329-347, 国際医書出版, 東京, 1984
- No. 2 9月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 仁科孝子：
Cancer Therapy Manual B 化学療法 [2] 器官別集学的療法
1) 神経系 2) 神經芽細胞腫 pp.738-744
日本臨床, 臨増号, 1984

- No. 3 9月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 仁科孝子:
 Cancer Therapy Manual B 化学療法 疾患別多剤併用療法
 神経芽細胞腫 pp.134-139, 日本臨床, 臨増号(大阪), 1984
- No. 4 12月 Tsuchida Y., Saito S., Kaneko M., Honna T.:
 Alpha-fetoprotein and its heterogeneity in the diagnosis of biliary atresia,
 Biliary Atresia and its Related Disorders (M. Kasai ed.)
 Excerpta Medica, p.138-144, 1983

学会発表(シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 2月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫:
 顔面部横紋筋肉腫の1例.
 昭和58年度, 関東甲信越小児がん登録研究会(東京)2月, 1984
- No. 2 2月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 金子道夫:
 腹筋麻痺を初発症状とした dumbbell 型神経芽腫例の治療経過.
 58年度関東甲信越地区小児がん登録研究会(東京)2月, 1984
- No. 3 2月 監物久夫, 澤口重徳, 大川治夫, 高橋正彦, 金子道夫, 仁科孝子, 池袋賢一, 是沢光彦:
 出生前診断により生直後に摘出術の行われた巨大な仙尾部奇形腫の1治験例.
 第117回茨城外科集談会(水戸), 2月, 1984
- No. 4 5月 塙田博, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 金子道夫, 仁科孝子, 山部克己:
 手術時に腸重積症が成因と確認し得た先天性回腸閉鎖症の1例.
 第118回茨城外科集談会(水戸), 5月, 1984
- No. 5 5月 Kaneko M., Sawaguchi S., Ohkawa H., Kaneko S.:
 Acute and long-term cytogenetic effects of childhood cancer therapy
 detected by sister chromatid exchange.
 Research conference of radiobiology,
 Harvard Univ. Boston. USA. 1984
- No. 6 6月 金子道夫, 大川治夫, 澤口重徳, 大原潔:
 機能温存を考慮した臍原発 yolk sac tumor に対する集学的治療, (映画)
 第21回日本小児外科学会総会(東京)6月, 1984
- No. 7 6月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 金子節子:
 小児悪性腫瘍治療のもたらす細胞障害—姉妹染色分体交換分析による評価—
 第21回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1984
- No. 8 6月 仁科孝子, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 金子道夫:
 小児腹部疾患の超音波診断.
 第25回日本小児科学会茨城地方会(筑波大), 6月, 1984
- No. 9 6月 仁科孝子, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 金子道夫, 岩崎寛和, 是沢光彦:
 小児外科疾患の出生前診断と予後の改善.
 第21回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1984

- No.10 6月 大川治夫, 澤口重徳, 金子道夫, Bensallam Khalil, 近藤郁子:
鎖肛膜の遺伝性に関する実験的検討.
第21回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1984
- No.11 6月 大川治夫, 石川詔雄, 石山晴生, 澤口重徳:
エンテロキナーゼ検出法の開発及び脾胆管合流異常犬モデル胆汁の測定への応用.
第21回日本小児外科学会総会(東京), 6月, 1984
- No.12 6月 Misao Sakaniwa:
Three dimensional display of anal canal movement: A dynamic pressure profile imaging technique.
17th Annual Meeting of The European Society for Gastroenterology and Nutrition, Tampere Finland June, 1984.
- No.13 7月 金子道夫, 大川治夫, 澤口重徳, 監物久夫, 池袋賢一, 三井清文, 近藤陽一:
新生児広範囲気管狭窄症に対する気管形成手術症例について.
第20回日本新生児学会(岡山), 7月, 1984
- No.14 7月 越智五平, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 坂庭操, 金子道夫, 仁科孝子, 池袋賢一:
生後7日目に敗血症, DICを併発した Giant cavernous lymphangioma and hemangioma の1例.
第20回日本新生児学会(岡山), 7月, 1984
- No.15 7月 H. Ohkawa, S. Sawaguchi, Bensallam Khalil, A. Ishikawa:
Experimental analysis on the cause of hyper-amylasemia in choledochal dilatation with anomalous pancreatico-biliary ductal union.
第31回 British Ass. of Paediatric Surgeons (Liverpool), July, 1984
- No.16 8月 Bensallam Khalil, 菊池正教, 中村恭一, 岡村隆夫, 大川治夫, 澤口重徳:
胆道系癌症例における脾胆管合流異常と腸上皮化生の関係.
第20回胆道疾患研究会(大阪), 8月, 1984
- No.17 9月 大川治夫, Bensallam Khalil, 澤口重徳, 菊池正教:
脾管胆道合流異常モデル長期生存犬における胆道粘膜の腸上皮化生.
第7回日本脾管胆道合流異常研究会(東京), 9月, 1984
- No.18 9月 大川治夫:
小児癌の放射線治療(シンポジウム放射線治療の進歩と現況).
第27回日本放射線影響学会(千葉), 9月, 1984
- No.19 9月 Bensallam Khalil, 中村恭一, 菊池正教, 岡村隆夫, 大川治夫:
Relationship of metaplasia and cancer in biliary tract diseases to abnormal pancreatico-biliary ductal union.
第7回日本脾管胆道合流異常研究会(東京), 9月, 1984
- No.20 9月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 北川俊夫, 稲田哲夫:
小児悪性腫瘍に対する陽子線照射療法の試み.
第22回日本癌治療学会総会(東京), 9月, 1984

- No. 21 9月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫:
高精度分染法によるブタ染色体 G-banded karyotype 分析.
第76回日本畜産学会(東京), 9月, 1984
- No. 22 9月 Bensallam Khalil, K. Nakamura, M. Kikuchi, H. Ikezono, T. Okamura, H. Ohkawa, S. Sawaguchi,:
Intestinal and gastric metaplasia in the biliary tract and carcinogenesis.
12th International Gastro-intestinal Congress (Lisboa). 1984
- No. 23 10月 H. Ohkawa, S. Sawaguchi, Bensallam Khalil, A. Ishikawa,:
The operation of choice for congenital choledochal dilatation.
First International Symposium of Pediatric Surgery in China (Tianjin). Oct. 1984
- No. 24 10月 H. Ohkawa, H. Kenmotsu, T. Nishina, S. Sawaguchi:
Prenatal diagnosis as an aid of neonatalsurgery.
First International Symposium of Pediatric Surgery in China (Tianjin). Oct. 1984
- No. 25 10月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 金子節子:
小児癌治療による長期細胞障害—姉妹染色体交換分析による評価—
第43回日本癌学会総会(福岡), 10月, 1984
- No. 26 11月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 北川俊夫, 稲田哲夫:
腹部神経芽腫幼児症例に対する陽子線照射療法の経験
臨床小児放射線研究会(神戸), 11月, 1984
- No. 27 11月 仁科孝子, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 越智五平:
小児肝外門脈閉塞症8例の超音波断層像.
第13回臨床小児放射線研究会(神戸), 11月, 1984
- No. 28 11月 仁科孝子, 澤口重徳, 滝田斎, 大川治夫, 監物久夫, 高橋正彦, 金子道夫, 中條俊夫, 清水興一, 小林昭夫:
肝炎を伴った肝外門脈閉塞の2例.
第46回日本臨床外科医学会総会(東京), 11月, 1984
- No. 29 9月 新健治, 須磨崎亮, 滝田斎, 仁科孝子:
慢性肝障害を伴った肝外門脈閉塞症の1例.
第11回 日本小児消化器病研究会(札幌), 9月, 1984
- No. 30 11月 坂本ゆみ, 鴨田知博, 花田尚, 浜野建三, 仁科孝子, 藤田光江:
腎靜脈血栓症を伴った溶血性尿毒症症候群の1例.
第6回茨城医学会小児科分科会,
第26回日本小児科学会茨城地方会(水戸), 11月, 1984
- No. 31 11月 越智五平, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 仁科孝子, 須磨崎亮:
リンパ管腫の感染で初発した慢性肉芽腫症の1乳児例.
第19回日本小児外科学会関東甲信越地方会(千葉), 11月1984

- No. 32 11月 越智五平, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 仁科孝子, 赤荻栄一：
 左気管支異物を疑われたマイコプラズマ肺炎の1幼児例。
 第6回茨城医学会小児科分科会。
 第26回日本小児科学会茨城地方会（水戸），11月，1984
- No. 33 11月 越智五平, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 仁科孝子：
 CT, 超音波検査で診断し得た十二指腸壁内血腫の1例。
 第13回臨床小児放射線研究会（神戸），11月，1984
- No. 34 11月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 仁科孝子, 越智五平：
 左大腿神経に発生した“成熟横紋筋腫瘍”的1例。
 第19回日本小児外科学会関東甲信越地方会，11月，1984
- No. 35 11月 大川治夫, 金子道夫, 坂庭操, 澤口重徳：
 (映画)直腸総排泄腔瘻型鎖肛の1手術例。
 第46回日本臨床外科医学会（東京），11月，1984
- No. 36 12月 大川治夫, 澤口重徳, 太田道男：
 持続性食道端エロンゲータの開発。
 第8回千葉大小児外科例会，第716回千葉医学会例会，12月，1984
- No. 37 12月 Besnallam Khalil, 大川治夫, 澤口重徳：
 脾胆管合流異常における胆道粘膜上皮化生に関する病理学的検討。
 第8回千葉大小児外科例会（千葉），12月，1984
- No. 38 12月 小林俊也, 澤口重徳, 大川治夫, 監物久夫, 金子道夫, 仁科孝子, 越智五平：
 外傷性十二指腸壁内血腫の1治験例。
 第120回茨城外科集談会，12月，1984

班研究報告

- No. 1 5月 金子道夫, 澤口重徳：
 神経芽細胞腫の予後予測式による治療成績評価。
 厚生省がん研究助成金・神経芽細胞腫の集学的治療に関する研究班会議
- No. 2 11月 金子道夫, 澤口重徳：
 神経芽腫の集学的治療に対する長期細胞障害。
 厚生省がん研究助成金・神経芽細胞腫の集学的治療に関する研究班会議

その他（放送、座談会、講演会などで学術的なもの）

- No. 1 8月 金子道夫：
 茨城県に於ける乳児神経芽腫マスクリーニングのための保健所検査技師講習会
 8月30日 筑波大学医療技術短大

1984年（整形外科グループ）

原 著

- No. 1 2月 増島篤，土居通泰，福林徹，他：
膝前十字靱帯損傷に対する一次修復について。
第4回 東京膝関節研究会会誌：187-192, 1984
- No. 2 4月 福林徹，河合徳之，西野仁樹，黒沢尚：
半月縫合術について
整形外科 35 : 441-444, 1984
- No. 3 4月 岡野克紀，林浩一郎，進藤裕幸：
人工股関節置換術後 DIC を合併した慢性関節リウマチの一例
別冊 整形外科 5 : 138-143, 1984
- No. 4 5月 林浩一郎，矢吹武，田渕健一，岩下裕芳：
治療開始の遅れと転位にかかわらず保存的に骨癒合を得た歯突起骨折の一例
整形外科 35 : 588-591, 1984
- No. 5 5月 上牧裕，福林徹，佐藤茂，星川吉光，黒沢尚：
外来での局麻下関節鏡—その長所と限界について—
整形外科 35 : 559-569, 1984
- No. 6 5月 福林徹，立石哲也：
抜去人工股関節の検討。
人工臓器 13 : 1122-1125, 1984
- No. 7 5月 大野敦也，吉田透，天貝均，吉川靖三：
Fracturing Osteodystrophy の1治療経験：
第2回腎と骨代謝記録，29-34, 1984
- No. 8 6月 吉川靖三：
先天性内反足の治療方針。
整形外科 35 : 737-744, 1984
- No. 9 6月 友部正大，福林徹，土肥徳秀，立石哲也，白崎芳夫，黒沢尚：
正常膝およびいわゆる膝蓋軟骨軟化症様膝蓋骨の関節面の力学特性について：
整形外科基礎科学 11 : 62-67, 1984
- No. 10 7月 下條仁士，田渕健一，福林徹，大野敦也，友部正大，天貝均，岩谷力：
いわゆる恒久性膝蓋骨脱臼の経験。
整形外科 35 : 857-860, 1984
- No. 11 8月 吉川靖三：
骨X線写真の読み方 VII 骨軟化症。
内科 54 : 318-319, 1984
- No. 12 8月 福岡重雄，柳迫康夫，君塚葵，福林徹，黒沢尚，岩谷力，妹尾寿：
先天性恒久性膝蓋骨脱臼の手術と成績。
整形・災害外科 27 : 1087-1092, 1984

- No.13 8月 白崎芳夫, 立石哲也, 福林徹, 三浦啓志, 中山義人:
関節軟骨の粘弾性試験法および実測例.
整形外科バイオメカニクス 5:55-58, 1984
- No.14 8月 友部正大, 福林徹, 土肥徳秀, 立石哲也, 白崎芳夫:
膝蓋骨関節面の動的及び静的粘弾性特性,
整形外科バイオメカニクス 5:59-62, 1984
- No.15 9月 Akai M., Yabuki T., Tateishi T., Shirasaki Y.:
Mechanical properties of the electrically stimulated callus: An experiment
with constant direct current in rabbit fibulae:
Clin. Orthop. 188:293-302, 1984
- No.16 9月 上牧裕, 田渕健一, 土肥徳秀, 福林徹, 天貝均, 下條仁士:
大学生の跳躍競技選手にみられる足関節X線像の変化.
東日本スポーツ医学研究会会誌 5:247-258, 1984
- No.17 9月 黒沢尚, 増島篤, 福林徹, 他:
膝前十字靱帯の大腿筋力
東日本スポーツ医学研究会会誌 5:222-225
- No.18 10月 竹松宏, 吉田透, 大野敦也, 吉川靖三, 藤本吉秀:
肺転移を起こした上皮小体癌の1治験例:
関東整災外科学会誌 15:513-518, 1984
- No.19 11月 矢吹武, 林浩一郎, 原田繁, 和田野安良:
当科における頸髄症手術症例の検討.
日本整形外科学会誌 58 (Suppl.):80, 1984
- No.20 11月 和田野安良, 林浩一郎:
Impingement Exostosisについて:
整形外科 35:1555, 1984
- No.21 12月 大野敦也, 吉田透, 天貝均, 吉川靖三, 渡辺孝太郎, 石井宏, 入江邦夫, 藤本吉秀:
Aluminum Related Osteomalacia の1治験例:
日本骨代謝学会雑誌 2:276-282, 1984

総 説

- No. 1 9月 林浩一郎:
感染性疾患の検査.
整形・災害外科 27:1573-1577, 1984
- No. 2 9月 福林徹:
Arthrography 3 膝・足関節.
整形・災害外科 27:1379-1385, 1984
- No. 3 10月 林浩一郎:
Other Antibiotics.:
Clinical Orthopaedics 190:109-113, 1984

No. 4 12月 矢吹武：

脊椎と神経との関係—形態面から。

Clinical Neuroscience 2 : 1422-1426, 1984

著 書

No. 1 3月 吉川靖三：

代謝性骨疾患,

整形外科クルーズ (立石昭夫, 林浩一郎ほか編)
9354-361, 南江堂 (東京) 1984.

No. 2 3月 林浩一郎：

体幹部 (脊椎総論, 386-387),

(脊髓腫瘍, 440-444), (病歴記載法, 639-640)

整形外科クルーズ (立石昭夫, 林浩一郎ほか編)
南江堂 東京 1984

No. 3 3月 土肥徳秀：

パソコンの利用法。

整形外科クルーズ (立石昭夫, 林浩一郎ほか編)
682-687, 南江堂 東京 1984

No. 4 3月 矢吹武：

体幹部 (胸郭, 脊柱, 骨盤の外傷.)

整形外科クルーズ (立石昭夫, 林浩一郎ほか編),
148-155, 南江堂, 東京 1984

No. 5 3月 福林徹：

整形外科的検査 関節造影。

整形外科クルーズ (立石昭夫, 林浩一郎ほか編),
53-62, 南江堂 東京 1984

No. 6 4月 林浩一郎：

整形外科病棟勤務ハンドブック,

改定 第3版, 南江堂, 東京, 1984

No. 7 5月 林浩一郎：

感染性疾患,

新小児医学大系 (小林登, 他編) 13-31, 中山書店, 東京, 1984

No. 8 6月 林浩一郎：

電気化骨,

臨床 ME ハンドブック (日本エム・イー学会編)
424-425, 医学書院, 東京, 1984

No. 9 7月 吉川靖三：

骨粗鬆症患者骨萎縮に対するカルチトニンの効果,

カルチトニン (藤田拓男, 折茂肇編) 298-305,
ライフサイエンス出版, 東京, 1984

- No.10 8月 吉川靖三：
老人性骨粗鬆症と鑑別を要する疾患,
整形外科 Mook No. 34, 骨粗鬆症 (若松英吉編)
158-169, 金原出版, 東京, 1984
- No.11 10月 吉川靖三：
脊椎異常を伴う疾患,
新臨床整形外科全書 5 B 脊椎 (胸椎, 腰椎) (松野誠夫編),
1-9, 金原出版, 東京, 1984
- No.12 10月 林浩一郎：
総論
新臨床整形外科全書 4 A 頸椎 (頸部編) 1-35,
金原出版, 東京 1984
- No.13 10月 Yoshikawa S., Ohno A., Yoshida T., Amagai H., Nakamura T.：
Histomorphometric study in various types of osteomalacia in relation to
clinical and biochemical features.
Endocrine control of bone and calcium metabolism 8 B 362-364
Elsevier Science Publishers B. V. Amsterdam. 1984.
- 学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)
- No. 1 1月 天貝均, 下條仁士, 吉田透, 大野敦也, 吉川靖三：
成人型低リン酸血症性ビタミンD抵抗性骨軟化症の1例
第478回 関東整災外科集談会東京地方会, (東京), 1月, 1984
- No. 2 1月 林浩一郎：
骨関節感染症に於ける抗生物質の使い方：
新潟整形外科学会, (新潟), 1月, 1984
- No. 3 1月 友部正大, 福林徹, 立石哲也, 白崎芳夫：
抜去人工関節よりみた臼蓋ソケットの摩耗について：
第14回 人工関節研究会 (京都) 1月, 1984
- No. 4 2月 和田野安良, 矢吹武, 金子正則, 上牧裕, 岡野克紀, 林浩一郎：
直流電気刺激による偽関節の治療とその刺激装置の試作。
第11回 骨と電気刺激研究会 (長崎), 2月, 1984
- No. 5 2月 矢野英雄, 永田善朗, 林泰史, 大野敦也, 山内繁, 高木茂栄：
人工骨頭の固定剤としての合成水酸化アパタイト。
第15回 人工関節研究会, (仙台), 2月, 1984
- No. 6 2月 福林徹, 土肥徳秀, 植松修, 河合従文, 西野仁樹, 角谷文祐：
前十字靭帯不全膝の半月縫合一その適応と問題点一
第5回 東京膝関節研究会 (東京) 2月, 1984
- No. 7 3月 竹松宏, 吉田透, 大野敦也, 吉川靖三, 藤本吉秀：
肺転移をおこした上皮小体癌の1治験例。
第480回 関東整災外科集談会東京地方会, 東京, 3月, 1984

No. 8 3月 立石哲也, 本間一弘, 星佳伸, 福林徹：
関節構成体の NMR.

第4回 バイオトライボロジ シンポジウム（東京），3月，1984

No. 9 4月 福林徹：
前十字靱帯に対する実験的研究.

第2回 膝関節フォーラム（大阪），4月，1984

No. 10 5月 吉田透, 吉川靖三, 下條仁士, 金子正則, 平林宏之：
未治療成人内反足の治療経験.

第9回 足の外科研究会（奈良），5月，1984

No. 11 5月 友部正大, 福林徹, 進藤裕幸, 天貝均, 工藤洋, 内田詔爾, 立石哲也, 白崎芳夫：
慢性関節リウマチの剖検例による人工関節の評価.

第28回 日本リウマチ学会総会（東京），5月，1984

No. 12 6月 矢吹武, 林浩一郎, 原田繁, 和田野安良：
当科に於ける頸髄症手術症例の検討.

第57回 日本整形外科学会学術集会（札幌）6月，1984

No. 13 6月 福林徹：
前十字靱帯不全の病態.

第57回 日本整形外科学会学術集会（札幌）6月，1984

No. 14 6月 河合徳之, 福林徹, 西野仁樹：
膝半月縫合の実験的研究.

第57回 日本整形外科学会学術集会（札幌）6月，1984

No. 15 6月 友部正大, 福林徹, 立石哲也, 白崎芳夫, 東海林宏, 金栄龍, 吉野慎一, 森重登志雄：
抜去人工関節の検索：—HDP 製臼蓋ソケットを中心として—.

第57回 日本整形外科学会学術集会（札幌）6月，1984

No. 16 6月 岡野克紀, 福林徹, 友部正大, 立石哲也, 白崎芳夫：
TiNi系形状記憶合金の生体への応用.

第12回 整形外科基礎研究会（札幌），6月，1984

No. 17 6月 大野敦也, 矢吹武, 進藤裕幸, 吉田透, 天貝均, 吉川靖三：
腸骨生検術パラメータの海綿内浅-深部差の検討：

第12回 整形外科基礎研究会，（札幌）6月，1984

No. 18 6月 Fukabayashi T：
Retrieval analysis of total hip prostheses.

Ist Pacific Area Conference on Orthopaedics &
Biomechanics, (Seoul, Korea), June, 1984

No. 19 7月 林浩一郎, 折笠博之, 平林宏之, 及川淳, 村井哲夫, 沢畠辰夫, 森三樹雄, 設楽正登,
森本まり：

ディスク法による感受性検査結果と MIC の比較検討：

第7回 骨関節感染症研究会（東京），7月，1984

- No.20 7月 吉田透, 植松修, 天貝均, 林浩一郎:
手術室落下細菌の経時的検討:
第7回 骨関節感染症研究会(東京), 7月, 1984
- No.21 8月 吉川靖三, 庄司豊彦, 大野敦也, 天貝均, 上牧裕, 竹松宏:
汎発性石灰沈着症の治験例:
第2回 日本骨代謝学会,(東京), 8月, 1984
- No.22 8月 大野敦也, 天貝均, 竹松宏, 吉川靖三:
腸骨生検術における海綿骨内深部差について
第2回 日本骨代謝学会,(東京), 8月, 1984
- No.23 9月 折笠博之, 原田繁, 大野敦也, 吉川靖三, 卞盛勝:
Progressive diaphyseal dysplasiaの1例:
第482回 整形外科集談会東京地方会,(東京), 9月, 1984
- No.24 9月 竹松宏, 大野敦也, 吉田透, 天貝均, 吉川靖三:
腸骨骨生検術の観察視野数に関する検討:
第5回 骨形態計測ワークショップ,(米子), 9月, 1984
- No.25 9月 西野仁樹, 福林徹, 河合徳之:
前十字靱帯不全膝における内側半月の役割:
第11回 整形外科バイオメカニクス研究会(東京), 9月, 1984
- No.26 9月 岡野克紀, 福林徹, 友部正大, 立石哲也, 白崎芳夫:
TiNi系形状記憶合金の髓内釘への応用:
第11回 整形外科バイオメカニクス研究会(東京), 9月, 1984
- No.27 9月 白木仁, 田渕健一, 福林徹, 土肥徳秀, 宮川俊平, 下條仁士:
膝のテーピングによる膝関節動搖性への効果:
第39回 日本体力医学会(奈良), 9月, 1984
- No.28 9月 野間弘子, 羅田幸徳, 福林徹, 瓜田吉久, 田渕健一:
スポーツ選手の肩関節障害と動搖性について:
第39回 日本体力医学会(奈良), 9月, 1984
- No.29 9月 上坂元英昭, 勝田茂, 田渕健一, 土肥徳秀:
女性の外側広筋・中臂筋の加令に関する組織化学的研究
第39回 日本体力医学会(奈良), 9月, 1984
- No.30 9月 小林靖, 西藤宏司, 田渕健一, 土肥徳秀:
投擲競技に於けるスポーツ障害に関する実態について:
第39回 日本体力医学会(奈良), 9月, 1984
- No.31 10月 福岡重雄, 黒沢尚, 福林徹, 岩谷力:
先天性膝蓋骨脱臼の手術療法とその成績
第33回 東日本臨床整形外科学会(東京), 10月, 1984
- No.32 10月 吉川靖三, 大野敦也, 竹松宏, 金子正則, 平林宏之, 吉田透:
年長者内反凹足, 凹足変形にたいする中足部楔状骨切り術の経験:
第33回 東日本臨床整形外科学会(東京), 10月, 1984

- No.33 10月 福林徹, 鞘田幸徳, 土肥徳秀, 原田繁, 宮川俊平, 野間弘子, 瓜田吉久, 田渕健一:
スポーツ選手の肩関節障害と肩関節動搖性について：
第6回 東日本スポーツ医学研究会（東京），10月，1984
- No.34 10月 下條仁士, 福林徹, 土肥徳秀, 宮川俊平, 田渕健一, 白木仁：
膝前十字靱帯損傷選手に対するテーピングの効果：
第6回 東日本スポーツ医学研究会（東京），10月，1984
- No.35 10月 原田繁, 宮川俊平, 土肥徳秀, 福林徹, 田渕健一, 上牧裕：
投擲競技選手の上肢障害の理学的所見に就て：
第6回 東日本スポーツ医学研究会（東京），10月，1984
- No.36 10月 下條仁士, 福林徹, 土肥徳秀, 宮川俊平, 田渕健一, 白木仁：
膝前十字靱帯損傷選手に対するテーピングの効果：—Stress machine による計測—
第6回 東日本スポーツ医学研究会（東京），10月，1984
- No.37 10月 木村郁夫, 福林徹, 大野敦也, 宮川俊平, 植松修, 平林宏之, 河村春生：
膝関節拘縮に対する鏡視下授動術：
第11回 北関東膝を語る会，（前橋）10月，1984
- No.38 10月 吉田透, 福林徹, 土肥徳秀, 宮川俊平, 下條仁士：
ACL 再建膝の予後—膝 Laxity と鏡視所見について—：
第11回 北関東膝を語る会，（前橋）10月，1984
- No.39 10月 平林宏之, 中島宏, 宮川俊平, 土肥徳秀, 西間木秀雄：
スポーツ選手に見られた膝大腿骨関節面の障害—靱帯・半月損傷を合併しない症例について—
第11回 北関東膝を語る会，（前橋）10月，1984
- No.40 10月 田中義樹, 西藤宏司, 田渕健一, 土肥徳秀：
陸上競技に於ける四肢・脊椎の傷害の実態について：
第35回 日本体育学会（鹿児島），10月，1984
- No.41 11月 植松修, 矢吹武, 原田繁, 林浩一郎, 小松義成：
脊髓不全麻痺を伴った狹少硬膜管の1例：
第6回 茨城医学会整形外科学会（水戸），11月，1984
- No.42 11月 宮川俊平, 大野敦也, 植松修, 進藤裕幸：
当科に於ける非典型的な変形症の検討，
第6回 茨城医学会整形外科学会（水戸），11月，1984
- No.43 11月 原田繁, 鞘田幸徳, 土肥徳秀, 野間弘子, 瓜田吉久, 田渕健一：
肩関節の前後方向動搖性について：
第11回 肩関節研究会，11月，1984
- No.44 11月 森本光彦, 西藤宏司, 土肥徳秀, 原田繁, 田渕健一：
投擲競技に於ける傷害について—ハンマー投げに於ける鎖骨部に関する研究—
第4回 日本スポーツ教育学会（東京），11月，1984

No. 45 12月 福林徹, 土肥徳秀, 植松修, 吉田透, 黒沢尚, 河合従之, 西野仁樹, 角谷文裕:
縫合半月の関節鏡視:

第10回 日本関節鏡学会, 12月, 1984

No. 46 12月 岡野克紀, 福林徹, 友部正大, 大野敦也, 立石哲也, 白崎芳夫, 福井正信:
水酸化アパタイトおよびアルミニセラミックスコーティング金属材料の骨親和性の
検討:
第4回 整形外科セラミックインプラント研究会(東京), 12月, 1984

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 1月 林浩一郎:
整形外科に於ける抗生物質の使い方,
東京臨床整形外科学会講演会, 1月, 1984

No. 2 3月 吉川靖三:
代謝性骨疾患,
日本医師会教育映画, 岩波映画社制作, テレビ東京, 3月, 1984

No. 3 3月 林浩一郎:
抗生物質の使い方,
鎌倉医師会講演会, 3月, 1984

No. 4 5月 吉川靖三:
カルシウム代謝—最近の話題—,
日本短波放送 ゼリア新薬アワー, 5月, 1984

No. 5 6月 吉川靖三:
足底腱膜の炎症,
日本医事新報, No.3138. p130, 6月, 1984

No. 6 7月 林浩一郎:
抗生物質の使い方,
鹿島医師会講演会, 7月, 1984

No. 7 9月 片山仁, 川口智義, 永瀬譲史, 林浩一郎:
座談会, 整形外科に於ける検査法の進歩,
整形・災害外科 27:1591-1602, 9月, 1984

1984年（眼科グループ）

原 著

- No. 1 1月 大島祐之：
　　フォトスリットランプの改良。
　　日本眼光学学会誌 5 : 104-107, 1984
- No. 2 2月 白杵祥江, 中野秀樹：
　　大腿筋膜移植で治癒した翼状片術後強膜軟化症の晚発例。
　　臨眼 38 : 112-113, 1984
- No. 3 3月 石橋康久, 松本雄二郎：
　　角膜真菌症に対する Miconazole 球結膜下注射の治療効果。
　　日眼 88 : 580-585, 1984
- No. 4 4月 松本雄二郎, 能勢晴美：
　　両側視神経圧迫を起こした fibrous dysplasia の 1 例。
　　臨眼 38 : 449-453, 1984
- No. 5 5月 Ishibashi, Y., and Matsumoto, Y. :
　　Intravenous miconazole in the treatment of keratomycosis.
　　American Journal of Ophthalmology,
　　Letter to the Journal, 97 : 646-647, 1984
- No. 6 6月 石橋康久, 一戸正勝：
　　Miconazole 点滴静注が有効であった Botryodiplodia theobromae による角膜真菌症。
　　真菌と真菌症 25 : 171-176, 1984
- No. 7 7月 松本雄二郎, 中野秀樹, 能勢晴美, 石橋康久：
　　後部強膜炎—Contrast Enhanced CT像による診断的意義—。
　　眼紀 35 : 1469-1472, 1984
- No. 8 7月 能勢忠男, 松村明, 牧豊, 能勢晴美, 山田隆, 本間一弘：
　　NMR を用いた中枢神経疾患診断のための基礎実験. 第 1 報 ラット正常脳の NMR 画像。
　　NMR 医学 4 (suppl) : 248-249, 1984
- No. 9 7月 Ishibashi, Y., and Matsumoto, Y. :
　　Oral ketoconazole therapy for experimental Candida albicans in rabbits.
　　Sabouraudia 22 : 323-330, 1984
- No. 10 7月 石橋康久：
　　角膜真菌症における菌側要因および宿主側要因。
　　真菌と真菌症 25 : 206-210, 1984
- No. 11 8月 中野秀樹, 池谷尚剛：
　　E E R の臨床応用, E E R に異常のみられた Cone degeneration の孤発例。
　　眼紀 35 : 1533-1537, 1984

No.12 8月 松本雄二郎, 渋谷一穂, 武井一夫, 能勢晴美, 河野恵子：
眼球突出を呈した眼窩内木片異物の1例.

眼臨 78 : 1161-1165, 1984

No.13 10月 Ishibashi, Y., Matsumoto, Y. and Takei, K. :
The effects of intravenous miconazole on fungal keratitis.
American Jorunal of Ophthalmology. 98 : 433-437, 1984

No.14 10月 松本雄二郎, 石橋康久：
角膜上皮創傷モデルの作製とその治癒過程の検討,
日眼 88 : 1329-1334, 1984

No.15 10月 河野恵子：
微量水分測定器を用いた涙液量測定法の検討.
日眼 88 : 1335-1339, 1984

No.16 11月 河野恵子：
微量水分測定器を用いた結膜上涙液量の検討. 一正常人および乾性角結膜炎患者について—
日眼 88 : 1418-1422, 1984

総 説

No. 1 10月 大島祐之：
運転適性検査と動体視力・深視力について.
日本の眼科 55 : 1039-1040, 1984

No. 2 10月 石橋康久, 松本雄二郎, 河野恵子：
角膜上皮障害に対するフィプロネクチンの臨床応用,
最新医学. 29 : 2101-2103, 1984

No. 3 11月 大島祐之：
自動化レフラクトメーターの進歩
眼鏡の科学 8 : 60-78, 1984

著 書

No. 1 9月 大島祐之：
眼鏡全般について
めがねの百科 (桑原安治編) 改訂版, pp. 1-7, 日本眼衛生協会, 東京, 1984

No. 2 9月 本村幸子：
昭和60年版医師国家試験問題注解付例題
(医師国家試験問題注解編集委員会編) 眼科学 pp. 1-120,
金原出版, 東京, 1984

No. 3 10月 大島祐之：
視力検査, 視力測定時の照明, 視力表, 眼の光学系, 屈折検査機器
眼科診療 Questions & Answers (中島章他編), pp. 2-9, 242-249,
六法出版, 名古屋, 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

No. 1 4月 中野秀樹, 本村幸子, 石橋康久, 松本雄二郎：

Persistent hyperplastic primary vitreous (PHPV) をともなう retinal dysplasia の 1 例。

第 8 回日本小児眼科学会学術集会（福岡），4 月，1984

No. 2 5月 S. Hommura., H. Nakano. et Y. Usuki. :

Un cas curies de rétinite pigmentaire associée à une dégénérescence maculaire grave.

Considération sur la discordance entre les résultats de l'examen électrophysiologique et ceux de l'examen psychophysique
(Helsinki), May, 1984

No. 3 6月 白杵祥江：

眼窩 Neurinoma の 1 例,

第 10 回東京女子医科大学眼科臨床談話会（東京），6 月，1984

No. 4 7月 松本雄二郎, 石橋康久, 河野恵子, 河野一郎：

難治性角膜上皮疾患に対するフィプロネクチン点眼の臨床応用,

第 1 回関東眼科学会（横浜），7 月，1984

No. 5 9月 寺内将人, 坪井一穂, 白杵祥江, 本村幸子, 近藤郁子：

13番染色体部分欠損と Erastase D の欠損を認めた両眼性網膜芽細胞腫の 1 例.

第 38 回日本臨床眼科学会, グループディスカッション,
小児眼科（札幌），9 月，1984

No. 6 9月 石橋康久, 松本雄二郎, 武井一夫：

角膜真菌症に対する miconazole 点滴静注療法.

第 38 回日本臨床眼科学会総会（札幌），9 月，1984

No. 7 9月 石橋康久, 松本雄二郎：

上皮欠損を有する角膜に対する抗生剤点眼の影響 第 1 報 上皮欠損の治癒過程に及ぼす影響.

第 38 回日本臨床眼科学会眼感染症グループディスカッション
(札幌), 9 月, 1984

No. 8 10月 能勢晴美, 白杵祥江, 坪井一穂：

12歳少女の片眼性網膜芽細胞腫の 1 例.

第 2 回眼腫瘍研究会（京都），10 月，1984

No. 9 10月 石橋康久：

ワークショップ「わが国における真菌症の疫学」3 角膜真菌症.

第 28 回日本医真菌学会総会（横浜），10 月，1984

No. 10 10月 石橋康久, 松本雄二郎：

角膜真菌症に対する miconazole 点滴静注,

第 28 回日本医真菌学会総会（横浜），10 月，1984

- No.11 11月 大島祐之：
視力検査基準化と視力表
第20回日本眼光学学会（東京），11月，1984
- No.12 11月 大島祐之，坪井一穂，山倉右子：
吸収性縫合糸による睫毛・眼瞼内反手術
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.13 11月 関根康生，本村幸子，中野秀樹：
Cone dystrophy の1例。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.14 11月 本村幸子，中野秀樹，能勢晴美，白杵祥江，須磨崎亮，滝田齊：
筑波大学附属病院における未熟児網膜症の推移。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.15 11月 山内啓子，本村幸子，河野恵子：
5歳女児に発症した眼窩内 Neurofibroma の1例。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.16 11月 中野秀樹，河野恵子，石橋康久，白杵祥江，松本雄二郎：
筑波大学眼科における硝子体手術の現況。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.17 11月 松本雄二郎，中野秀樹，石橋康久，武井一夫：
大量硝子体出血をおこした老人性円板状黄斑変性症の1例。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.18 11月 武井一夫，松本雄二郎，中野秀樹，石橋康久：
早期の鉄片除去にもかかわらず鉄鏽症を発症した1例。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.19 11月 池谷尚剛，中野秀樹：
E E R の臨床応用，正常者 E E R の検討。
第1回臨床視覚電気生理学会（京都），11月，1984
- No.20 11月 深沢政勝，相田真介，土井幹雄，木村雄二，小形岳三郎，能勢晴美：
穿刺細胞診にて診断し得た12歳女児に発生した Retinoblastoma の1例。
第23回日本臨床細胞学会（郡山），11月，1984
- No.21 11月 能勢晴美，白杵祥江，坪井一穂，山形幸枝：
12歳少女の片眼性網膜芽細胞腫の1例。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.22 11月 白杵祥江，能勢晴美，本村幸子，中野秀樹：
過去5年間，筑波大学眼科で経験した Recklinghausen 病の眼合併症について。
茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984
- No.23 11月 河野恵子，石橋康久，松本雄二郎：
乾性角結膜炎に対する Fibronectin 点眼治療。
第6回茨城医学会眼科分科会（水戸），11月，1984

No. 24 11月 坪井一穂, 能勢晴美, 白杵祥江:

当初は上強膜炎として扱われた眼窩悪性リンパ腫の1例.

第6回茨城医学会眼科分科会(水戸), 11月, 1984

No. 25 11月 山倉右子, 寺内将人, 白杵祥江, 能勢晴美:

診断に難済した原田氏病の1例

第6回茨城医学会眼科分科会(水戸), 11月1984

No. 26 12月 中野秀樹, 石橋康久, 白杵祥江, 松本雄二郎:

Closed vitrectomyにより摘出した眼内異物の3症例.

第50回日本中部眼科学会(京都), 12月, 1984

班研究報告

No. 1 2月 大島祐之(代表世話人), 白杵祥江, 海老原雄一, 杉田達, 滝田弘子, 辻健一, 寺田保郎, 浜田恒一, 本橋正四郎, 山形幸枝:

茨城県内共同研究によるメチコバール治験成績,

全国メチコバール眼科学会(東京)

その他(放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの)

No. 1 7月 Oshima, S.:

Result of inquiry and comments on ISO/DP 8596, Optics and Optical Instruments, Visual acuity testing standard test type and its presentation
ISO/TC 172/SC 7, N50, p.4, 1984. 7. 17

No. 2 10月 筑波大学眼科グループ:

筑波大学眼科グループの紹介

銀海No.102: 4-9, 1984

1984 (産婦人科グループ)

原著

- No. 1 1月 目崎登, 佐々木純一, 庄司誠, 岩崎寛和, 江田昌佑:
スポーツトレーニングと初経発来。
日本産科婦人科学会雑誌36: (1), 49-56, 1984
- No. 2 1月 目崎登, 佐々木純一, 庄司誠, 岩崎寛和:
初経発来に及ぼすスポーツの影響。
思春期学2: (1), 46-50, 1984
- No. 3 1月 伊藤俊一, 岩崎寛和, 長谷川寛子:
思春期少女の避妊法。
思春期学2: (1), 82-85, 1984
- No. 4 1月 佐々木純一, 目崎登:
モヤモヤ病合併妊娠・分娩管理に関する考察。
産科と婦人科 51: 109-116, 1984
- No. 5 2月 目崎登, 佐々木純一, 庄司誠, 岩崎寛和, 江田昌佑:
大学運動選手の月経現象。
日本産科婦人科学会雑誌, 36: (2), 247-254, 1984
- No. 6 3月 庄司誠, 山内宏, 目崎登, 岩崎寛和:
筑波学園都市における一般住民と研究員家族間の妊娠・分娩・育児に対する意識および妊娠・分娩経過の比較。
母性衛生 25: 44-48, 1984
- No. 7 3月 久保武士, 重光貞彦:
分娩難易度の判定と表現法—主としてCPDに基づく難産の計量化—
産科と婦人科 51: (3), 13-19, 1984
- No. 8 3月 Kubo T., Akatsuka T., Shigemitsu S., Iwasaki H.:
Quantitative Analysis of X-ray Pelvimetry.
昭和57・58年度科学研究補助金一般研究(B)研究成果報告書
「動態画像の画像解析に関する実践的研究」: 97-102, 1984
- No. 9 3月 重光貞彦, 久保武士, 赤塚孝雄:
骨盤計測システム。
昭和57・58年度科学研究補助金一般研究(B)研究成果報告書
「動態画像の画像解析に関する実践的研究」: 94-96, 1984
- No. 10 3月 斎藤正博, 白杵憲, 角田肇, 岩崎寛和:
婦人科手術術後感染症予防における抗生物質選択の検討。
第1回産婦人科感染症研究会学術講演記録集: 65-67, 1984
- No. 11 4月 岩崎寛和, 白杵憲, 角田肇, 斎藤正博:
夫婦間人工授精(AIH)時における陰・子宮腔内及び精液の細菌学的環境。
国際化学療法学会講演集日本語版CMZ文献集3: 36-39, 1984

- No.12 4月 斎藤正博, 白杵恵, 角田肇, 岩崎寛和:
婦人科手術における術前抗生物質投与の意義について.
国際化学療法学会講演集日本語版CMZ文献集3:40-42, 1984
- No.13 4月 重光貞彦, 武田徹, 稲葉淳一, 久保武士, 岩崎寛和, 兵藤一行, 赤塚孝雄:
骨盤動脈造影のDSAによる定量的解析.
ME学会誌医用電子と生体工学22特別号:694-695, 1984
- No.14 4月 飯島悟, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄:
低体重児に対する精度の高い児体重推定法の開発について.
ME学会誌 医用電子と生体工学22特別号:476-477, 1984
- No.15 4月 岡根真人, 重光貞彦, 稲葉淳一, 岩崎まり子, 是沢光彦, 久保武士, 岩崎寛和:
周産期病棟管理のショミレーション・プログラム.
ME学会誌 医用電子と生体工学22特別号:906-907, 1984
- No.16 4月 稲葉淳一, 重光貞彦, 岡根真人, 岩崎まり子, 久保武士, 岩崎寛和:
正常新生児の自己相関関数による心拍細変動評価の基礎的試み
ME学会誌 医用電子と生体工学22特別号:468-469, 1984
- No.17 4月 岩崎まり子, 重光貞彦, 稲葉淳一, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄:
母体心拍変動係数の妊娠経過による推移についての基礎的検討.
ME学会誌 医用電子と生体工学22特別号:470-471, 1984
- No.18 5月 白杵恵, 重光貞彦, 西田正人, 岩崎寛和:
八味地黄丸のSpermatogenesisに及ぼす影響と内分泌学的検討.
産婦人科漢方研究のあゆみ 1:57-67, 1984
- No.19 5月 白杵恵:
ラット成熟卵胞のSteroidogenesisに及ぼす各種漢方方剤の影響.
産婦人科漢方研究のあゆみ 1:94-109, 1984
- No.20 5月 白杵恵:
成熟ラット睾丸に於ける各種漢方方剤のTestosteroneおよびEstrogen分泌に及ぼす影響.
産婦人科漢方研究のあゆみ 1:110-116, 1984
- No.21 6月 白杵恵:
ラット成熟卵胞のSteroidogenesisに及ぼす各種漢方方剤の効果.
産婦人科疾患と漢方:17-20, 1984
- No.22 6月 目崎登:
女子スポーツと母性機能.
母子保健 302:4-5, 1984
- No.23 6月 長谷川寛子, 田代順子, 小松美穂子, 目崎登:
基礎体温(BBT)測定法導入による若年婦人の健康管理.
母性衛生25:263-267, 1984

- No.24 7月 Usuki S. :
Hachimijiogan increases estradiol-17 β levels and stimulates spermatogenesis in oligospermic men.
Journal of the Asean Federation of Endocrine Societies, 3 : 139-143, 1984
- No.25 8月 山内宏, 伊藤俊一, 岩崎寛和:
妊娠悪阻の治療法.
茨城県母性衛生学会誌 4 : 19-22, 1984
- No.26 9月 安ヶ平伸枝, 長谷川寛子, 小松美智子, 田代順子, 目崎登:
月経に関する衛生面の知識と管理行動について一看護学生の調査を通して一
母性衛生 25 : 299-302, 1984
- No.27 9月 岩崎寛和, 白杵恵, 角田肇, 斎藤正博:
術後感染防止のための抗生物質投与とその選択法.
産婦人科治療 49 : 247-251, 1984
- No.28 9月 角田肇, 目崎登, 久保武士:
出生前診断をなし得た胸部型心臓脱の一症例.
日本産科婦人科学会関東連合地方部会報 40 : 11-14, 1984
- No.29 9月 目崎登, 佐々木純一, 庄司誠, 岩崎寛和:
一流柔道選手の月経現象.
東日本スポーツ医学研究会会誌 5 : 44-48, 1984
- No.30 9月 真木正博, 目崎登, 山内宏, 岩崎寛和他:
肺成熟度判定に対する Foam Stability Index (Lumadex®) test の評価.
日本新生児学会雑誌 20 : 474-483, 1984
- No.31 9月 久保武士, 飯島悟:
卵巣腫瘍に対する超音波診断の意義(超音波診断入門).
産婦人科治療 49 : (3), 311-319, 1984
- No.32 10月 飯島悟, 川越厚:
1クールの CAP 療法により著明な抗腫瘍効果を得た卵巣未分化癌の 2 症例.
茨城県立病院医学雑誌 1 : (3), 99-105, 1984
- No.33 11月 宮川創平, 白杵恵, 岩崎寛和:
IUD 装着と障害について.
茨城県臨床医学雑誌 20 : 136-141, 1984
- No.34 11月 久保武士, 岡根真人, 重光貞彦, 稲葉淳一, 岩崎寛和:
パソコンによる分娩数予測の試み—週間分娩予報.
第 4 回医療情報学連合大会論文集 : 226-231, 1984
- No.35 11月 久保武士, 重光貞彦, 岡根真人, 稲葉淳一, 是沢光彦, 岩崎寛和:
周産期病棟混雑度の予測システムについて.
第 4 回医療情報学連合大会論文集 : 232-235, 1984

- No.36 11月 久保武士：
パソコンの周産期管理への応用—シミュレーションによる分娩部病床数の検討と週間分娩数予測の試み一。
産婦人科治療 49：(5), 563-567, 1984
- No.37 11月 岩崎寛和：
超小型人工肺使用による極小未熟児水中哺育法の開発。
昭和57・58年度科学研究費補助金（一般研究B）報告書, 1-40, 1984
- No.38 12月 久保武士, 岡根真人, 重光貞彦, 是沢光彦：
パソコンの周産期管理への応用—シミュレーションによる分娩部病床数と年間取扱い分娩数の関係の検討一。
産婦人科の実際 33：(13), 2137-2141, 1984
- No.39 12月 飯島悟, 宮川創平, 川越厚：
妊娠29週1日に子瘤発作を発症し, 母児共に救命し得た症例。
産婦人科の実際 33：(12), 2043-2048, 1984
- No.40 12月 Usuki S., Iwasaki H., Usuki Y., and Shioda M.：
Effects of LH, FSH and prolactin on induction of DNA polymerase α and β by rat preovulatory follicles.
Gamete quality and fertility regulation, ed. by R. Rolland, M.J. Heineman, S.G. Hillier, K.P. McNatty, C.P. Channing and H. Verner, Elsevier, Excerpta Medica, Amsterdam-Oxford, 658: 95-105, 1984
- No.41 12月 Usuki S., and Iwasaki H.：
Effects of LH and FSH on estrogen, progesterone and androgen secretions by rat preovulatory follicles incubated or perfused in vitro.
Growth and differentiation cells in defined environments, ed. by H. Murakami, I. Yamane, D.W. Barnes, J.P. Mather, I. Hayashi and Gordon H. Sato, Springer-Verlag, Berlin-Heidelberg-New York, 76-80, 1984
- No.42 12月 Usuki S., and Iwasaki H.：
Effects of Chinese herbal medicine "HACHIMIJIOGAN" on spermatogenesis and hormones in oligozoospermic patients.
Proceeding of Human Reproduction, 75-87, 1984

総 説

- No. 1 4月 岩崎寛和：
特集「禁忌と要注意」：いわゆる Trial labor
産科と婦人科 51：(4), 587-588, 1984
- No. 2 4月 岩崎寛和：
少女および老婦人の我が領域の禁物療法の禁忌と要注意。
産科と婦人科 51：(4), 675-677, 1984

- No. 3 5月 岩崎寛和：
思春期における診察法.
日本産科婦人科学会誌36：(5), 815-819, 1984
- No. 4 5月 目崎登, 岩崎寛和：
小児陰唇癒着症.
産科と婦人科51：(5), 716-721, 1984
- No. 5 8月 岩崎寛和：
話題 胎児は聞こえる.
医学のあゆみ130：6., 7, 417-419, 1984
- No. 6 8月 柴田治郎, 岩崎寛和：
思春期の月経困難症の対策.
思春期学2：(2), 84-85, 1984
- No. 7 8月 是沢光彦, 岩崎寛和：
フェトスコープ (Fetoscope 胎児鏡).
周産期医学14：(8), 1205-1208, 1984
- No. 8 8月 是沢光彦：
フェトスコープの現況と臨床応用.
産婦人科の世界36：(8), 601-607, 1984
- No. 9 9月 是沢光彦：
シンポジウム 産科領域の救急, 胎児仮死の救急.
茨城県救急医学会雑誌 8 : 180-183, 1984
- No. 10 9月 金子實：
術後・分娩後ケア～7日間.
産婦人科の実際 臨時増刊特集15：1621-1626, 1984
- No. 11 11月 柴田治郎：
米国における妊娠中毒症取扱いの基本.
産科と婦人科51：(11), 59-64, 1984

著 書

- No. 1 4月 是沢光彦, 岩崎寛和：
帝王切開術,
術前術後の合併症マニュアル第12巻産科・婦人科 2 産科手術
(中山徹也編) pp.45-55, 日本メジカルセンター, 東京, 1984
- No. 2 4月 堀原一, 赤塚孝雄, 久保武士：
CAI とペーパーペイメント,
医学教育マニュアル5 シュミレーションの応用.
pp.132-163, 篠原出版, 東京, 1984
- No. 3 8月 久保武士：
臨床MEハンドブック (日本ME学会編)
コロナ社, 東京, 1984

- No. 4 9月 岩崎寛和：
子宮収縮・臨床,
周産期管理の実際（小林隆, 荒木日出之助編）
pp.113-124, メディカルリビューン, 東京, 1984
- No. 5 10月 白杵惣, 岩崎寛和：
プロモクリプチン療法による妊娠と児への影響—内分泌動態。
産婦人科とプロラクチン—考え方と実際—（坂元正一監集）
pp. 71-79, メディカス・インターベン, 東京, 1984
- No. 6 11月 岩崎寛和, 玉田太朗, 山辺徹, 新井正夫編著：
現代の産婦人科学,
金原出版, 東京, 1984
- No. 7 11月 久保武士：
産婦の診察, 骨盤計測,
現代の産婦人科学.
金原出版, 東京, 1984
- No. 8 月 久保武士：
難産,
今日の治療指針 Today's Therapy 26 p.620, 医学書院, 東京, 1984

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 1月 岩崎寛和：
思春期と産婦人科.
日本母性保護医協会沖縄支部研修会特別講演（浦添市）, 1984
- No. 2 2月 岩崎寛和：
妊婦の腰痛.
昭和58年度厚生省委託助産婦再教育講演会（東京）, 1984
- No. 3 2月 是沢光彦：
Fetoscope の現況と臨床応用（シンポジウム）,
第22回産婦人科内視鏡研究会（東京）, 1984
- No. 4 2月 宮川創平, 白杵惣, 斎藤正博, 岩崎寛和：
産婦人科における AC-1370 の基礎的研究.
第2回 AC-1370 研究会（東京）, 1984
- No. 5 4月 飯島悟, 白杵惣, 斎藤正博, 岩崎寛和：
アズスレオナムの臨床的研究.
第1回アズスレオナム研究会（東京）, 1984
- No. 6 5月 柴田治郎, 岩崎寛和, Thomas J. Benedetti：
妊娠中毒症における尿中 Platelet-derived Growth Factor (PDGF) の意義
第36回日本産科婦人科学会総会（仙台市）, 1984
- No. 7 5月 佐々木純一, 目崎登, 庄司誠, 岩崎寛和, 浅野勝己, 江田昌佑：
女子運動選手月経異常発現の内分泌学的背景.
第36回日本産科婦人科学会総会（仙台市）, 1984

- No. 8 5月 白杵恵, 岩崎寛和, 久保武士, 宮川創平, 斎藤正博, 岩崎まり子:
 LH, FSH および prolactin の卵巣細胞核 DNA 合成機構に及ぼす影響について.
 第36回日本産科婦人科学会総会（仙台市），1984
- No. 9 5月 岡根真人, 重光貞彦, 稲葉淳一, 岩崎まり子, 是沢光彦, 久保武士:
 周産期病床管理のシミュレーション・プログラム.
 第10回産婦人科マイクロコンピュータ研究会（仙台市），1984
- No.10 5月 久保武士, 稲葉淳一:
 d-Base II の使用経験.
 第10回産婦人科マイクロコンピュータ研究会（仙台市），1984
- No.11 6月 重光貞彦, 岡根真人, 是沢光彦, 久保武士, 岩崎寛和:
 羊水過多症の治療について.
 第60回日本産科婦人科学会茨城地方部会（水戸市），1984
- No.12 6月 柴田治郎, 是沢光彦, 久保武士, 岩崎寛和:
 妊娠中毒症マグネゾール療法の再検討.
 第60回日本産科婦人科学会茨城県地方部会（水戸市），1984
- No.13 6月 伊藤俊一, 佐々木純一, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和:
 骨盤位分娩におけるレ線学的骨盤計測の評価.
 第67回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会（東京），1984
- No.14 6月 宮川創平, 岡根真人, 伊藤俊一, 岩崎寛和:
 β -subunit hCG 測定試薬 SST の臨床的検討.
 第67回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会（東京），1984
- No.15 6月 岩崎まり子, 目崎登, 佐々木純一, 久保武士, 岩崎寛和:
 切迫流産に対する ritodrine hydrochloride の使用経験.
 第67回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会（東京），1984
- No.16 7月 目崎登, 庄司誠, 佐々木純一, 岩崎寛和:
 ラット胎仔および新生仔の臍内分泌機能.
 第20回日本新生児学会総会（岡山），1984
- No.17 7月 佐々木純一, 庄司誠, 目崎登, 稲葉淳一, 重光貞彦, 岩崎まり子, 岩崎寛和:
 超小型人工肺使用による胎仔水中哺育法の開発.
 第20回日本新生児学会総会（岡山），1984
- No.18 7月 松葉裕美, 重光貞彦, 是沢光彦, 柴田治郎, 久保武士, 岩崎寛和:
 子宮内胎児発育不全における胎盤機能の統計学的検討.
 第20回日本新生児学会総会（岡山），1984
- No.19 7月 稲葉淳一, 重光貞彦, 岡根真人, 岩崎まり子, 是沢光彦, 久保武士, 岩崎寛和, 赤塚孝雄:
 正常新生児心拍自己相関の基礎的検討.
 第20回日本新生児学会総会（岡山），1984
- No.20 8月 岩崎寛和:
 中・高校生の妊娠.
 第12回茨城県学校保健学会特別講演（筑波大学），1984

- No.21 8月 金子實, 飯島悟, 庄司誠, 西田正人, 岩崎寛和:
 顆粒膜細胞腫と頸部扁平上皮癌の重複例.
 第20回日本産科婦人科学会卵巣腫瘍登録委員会症例検討会(東京), 1984
- No.22 8月 目崎登, 庄司誠, 佐々木純一, 松葉裕美, 岩崎寛和:
 思春期機能性子宮出血の内分泌学的背景と治療法に関する考察.
 第3回日本思春期学会総会(浜松), 1984
- No.23 8月 西田正人, 山内宏, 庄司誠, 松葉裕美, 笠原國武, 辻泰二, 岩崎寛和:
 療着防止剤としての32%デキストラン70の使用経験.
 第7回マイクロサージェリー研究会(仙台), 1984
- No.24 8月 重光貞彦, 宮川創平, 岩崎まり子, 飯島悟, 久保武士, 岩崎寛和:
 帝王切開適応の多変量解析による分類ークラスター分析の応用ー
 第7回産科婦人科ME懇話会(福岡), 1984
- No.25 8月 岩崎まり子, 岡根真人, 重光貞彦, 稲葉淳一, 久保武士, 岩崎寛和:
 陣痛発来時刻と分娩時間分布.
 第7回産科婦人科ME懇話会(福岡), 1984
- No.26 8月 稲葉淳一, 重光貞彦, 岡根真人, 岩崎まり子, 久保武士, 岩崎寛和:
 パーソナルコンピュータのデータロガーとしての使用.
 第7回産科婦人科ME懇話会(福岡), 1984
- No.27 8月 久保武士, 岡根真人, 重光貞彦, 稲葉淳一, 岩崎まり子, 岩崎寛和:
 コンピュータのシミュレーションによる分娩部病床管理の試み.
 第7回産科婦人科ME懇話会(福岡), 1984
- No.28 8月 久保武士, 岡根真人, 重光貞彦:
 オンラインコンピュータによる周産期棟病床管理の試み.
 第7回産科婦人科ME懇話会(福岡), 1984
- No.29 8月 Usuki S., Iwasaki H. and Shioda M.:
 Effects of LH, FSH and prolactin on DNA synthesis in rat preovulatory follicles.
 Vth Reinier de Graaf Symposium, Nijmegen, The Netherlands, 1984
- No.30 8月 Usuki S. and Iwasaki H.:
 Effects of LH, FSH and prolactin on estrogen secretion in ovaries at various aging stages before puberty
 IIIrd International Congress on Cell Biology, Tokyo, 1984
- No.31 9月 是沢光彦:
 シンポジウム 産科領域の救急 胎児仮死の救急
 第8回茨城県救急医学会(水戸), 1984
- No.32 9月 目崎登, 庄司誠, 佐々木純一, 浅野勝己, 江田昌佑:
 女子運動選手における運動負荷時の内分泌学的変動.
 第39回日本体力医学会大会(奈良), 1984

- No.33 9月 金子實, 重光貞彦, 斎藤正博, 庄司誠, 西田正人, 岩崎寛和, 稲田哲雄, 大原潔, 丸橋晃:
 子宮頸癌に対する陽子線療法の試み.
 第22回日本癌治療学会総会(東京), 1984
- No.34 9月 飯島悟, 白杵恵, 斎藤正博, 岩崎寛和:
 産婦人科感染症に於ける Aztreonam の効果.
 第2回アズスレオナム研究会(東京), 1984
- No.35 9月 Usuki S. and Iwasaki H.:
 Effects of LH and FSH on steroidogenesis by rat preovulatory follicles incubated or perfused in vitro.
 International Symposium on Growth and Differentiation of Cells in Defined Environments, Fukuoka, 1984
- No.36 9月 Kaneko M., and Iwasaki H.:
 Morphological changes of human macrophages in patients with ovarian carcinoma.
 The Reticuloendothelial Society, Xth International Congress, Ito, 1984
- No.37 10月 Koresawa M.:
 Fetal electrocardiogram monitoring using Fetoscope.
 VIth Fetoscope meeting, Paris, 1984
- No.38 10月 金子實, 飯島悟, 岩崎寛和:
 進行期卵巣癌の治療上の問題点.
 第5回東大産婦人科同窓会免疫化学療法研究会(東京), 1984
- No.39 10月 金子實, 西田正人, 岩崎寛和:
 卵巣癌患者における単球・マクロファージ系の機能と形態.
 第43回日本癌学会(福岡), 1984
- No.40 10月 目崎登, 佐々木純一, 庄司誠, 岩崎寛和, 浅野勝己:
 運動選手における月経異常発来機序に関する検討.
 第6回東日本スポーツ医学研究会(東京), 1984
- No.41 10月 久保武士, 稲葉淳一, 是沢光彦, 岩崎寛和, 三井利夫, 堀原一, 佐藤秀郎:
 経腹壁穿刺による直接誘導胎児心電図.
 第1回日本心電学会(名古屋), 1984
- No.42 10月 山本敏充, 原田勝二, 三沢章吾, 目崎登, 岩崎寛和:
 ヒトにおける Sperm Diaphorase (SD, DIA 3) の多型について.
 第53回日本法医学会関東地方例会(東京), 1984
- No.43 10月 柴田治郎, 岡根真人, 佐々木純一, 西田正人, 久保武士, 岩崎寛和:
 急性妊娠脂肪肝の血液凝固線溶能.
 第9回産婦人科新生児血液学会(鳥羽市), 1984
- No.44 10月 長谷川寛子, 目崎登, 岩崎寛和, 原田悦子他:
 妻の出産前後における父性意識の形成課程.
 第25回日本母性衛生学会総会(東京), 1984

- No.45 10月 安ヶ平伸枝, 長谷川寛子, 小松美穂子, 目崎登:
中学生・高校生の月経に関する調査.
第25回日本母性衛生学会総会(東京), 1984
- No.46 10月 高久富美子, 柴沢映子, 新井香代子, 佐藤千恵子, 辻泰二, 柴田治郎, 是沢光彦, 岩崎寛和:
妊娠中毒症スクリーニングとしてのロールオーバーテスト(ROT).
第25回日本母性衛生学会総会(東京), 1984
- No.47 10月 小笠原圭子, 重光貞彦, 伊藤俊一, 金子實, 菅谷文江, 新井香代子, 岩崎寛和:
コルボイリーゼについての再評価.
第25回日本母性衛生学会総会(東京), 1984
- No.48 10月 岩崎まり子, 小泉博, 柴田治郎, 岩崎寛和, 島崎修次:
三次救急によって救命し得た前置胎盤の症例.
第61回日本産科婦人科学会茨城地方部会(水戸市), 1984
- No.49 10月 関口勉, 鈴木光明, 玉田太朗, 西田正人, 丸中照義:
Uracil併用 Tegafur の抗腫瘍効果.
第68回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(松本市), 1984
- No.50 10月 重光貞彦, 稲葉淳一, 佐々木純一, 庄司誠, 目崎登, 久保武士, 岩崎寛和:
大学生の月経現象の現状.
第68回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(松本市), 1984
- No.51 10月 角田肇, 伊藤俊一, 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和:
胎位による児頭の変化—骨盤位をとる児頭はより大きいか—
第68回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(松本市), 1984
- No.52 10月 稲葉淳一, 是沢光彦, 久保武士, 岩崎寛和:
子宮内胎児腎機能検査の試み(胎児囊胞腎の1例).
第68回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(松本市), 1984
- No.53 10月 宮川創平, 柴田治郎, 角田肇, 重光貞彦, 是沢光彦, 金子實, 久保武士, 岩崎寛和, 土井幹雄:
放射線治療17年後に発生した子宮中胚葉性混合腫瘍の一例.
第68回日本産科婦人科学会関東連合地方部会(松本市), 1984
- No.54 11月 金子實, 宮川創平, 岩崎寛和:
担癌患者のリンパ球サブセットと免疫能の検討.
第8回産婦人科免疫研究会(京都), 1984
- No.55 11月 目崎登, 庄司誠, 佐々木純一, 岩崎寛和:
運動負荷時における prolactin 上昇の意義.
第29回日本不妊学会総会(東京), 1984
- No.56 11月 高瀬善次郎, 岩崎寛和, 白杵恵, 斎藤正博, 宮川創平:
産婦人科領域における AC-1370 の基礎的研究.
第33回日本感染症学会東日本部会総会,
第31回日本化学療法学会東日本部会総会(横浜), 1984

- No. 57 11月 松田静治, 岩崎寛和, 矢杵惣, 斎藤正博, 宮川創平：
産婦人科領域における AC-1370 の臨床的研究。
第33回日本感染症学会東日本部会総会,
第31回日本化学療法学会東日本部会総会（横浜），1984
- No. 58 11月 西田正人, 笠原国武, 辻泰二, 庄司誠, 金子實, 岩崎寛和：
Mirror-Ball Pattern の電顕像。
第23回日本臨床細胞学会秋期大会（郡山），1984
- No. 59 11月 角田肇, 庄司誠, 西田正人, 金子實, 岩崎寛和, 柴田文雄, 相馬雅行, 高橋恵美子, 深沢政勝：
クラミジア頸管炎の細胞像。
第23回日本臨床細胞学会秋期大会（郡山），1984
- No. 60 11月 重光貞彦, 久保武士, 岩崎寛和他：
出生前に診断し救命し得た臍帶ヘルニヤの1例。
第62回日本産科婦人科学会茨城地方部会（水戸），1984
- No. 61 11月 角田肇, 伊藤俊一, 久保武士, 岩崎寛和：
興味ある肛門形成手術の1例。
第62回日本産科婦人科学会茨城地方部会（水戸），1984
- No. 62 11月 西田正人, 山内宏, 笠原国武, 角田肇, 宮川創平, 岩崎寛和：
Jones & Jones 手術の変法による子宮形成術式の試み。
第29回日本不妊学会総会（東京），1984
- その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）
- No. 1 2月 金子實：
婦人の健康とがん。
下館市主催研修会（下館），2. 9. 1984
- No. 2 2月 久保武士：
周産期死亡について。
石下町保健センター, 下妻保健所, 2. 27. 1984
- No. 3 3月 金子實：
婦人の健康管理。
茨城県国保連合会主催研修会（茨城町），3. 2. 1984
- No. 4 9月 久保武士：
生体計測情報画像処理の現状とニーズ。
筑波大学特別会議室 Salon de Science et Medicine
(筑波大学), 9. 13. 1984
- No. 5 9月 久保武士：
避妊の知識。
今日の健康, NHK, 9. 17. 1984

No. 6 10月 久保武士：

産婦人科とコンピュータ利用.

県西支部研修会（下館），10. 20. 1984

No. 7 11月 岩崎寛和：

男と女一体の構造と働きの違い—

第129回大学共同セミナー（八王子），11. 24. 1984

No. 8 11月 岩崎寛和，安田利頭：

対談 思春期.

日本短波放送，11. 21. 1984

No. 9 月 久保武士：

パソコンを利用したシミュレーションによる周産期管理一分娩部における最適ベッド数を求めること。

母子保健

1984年（耳鼻咽喉科グループ）

原 著

No. 1 10月 大橋徹：

感音性難聴の蝸電図分析.

オージオロジー 27, pp.489-490, 長崎, 1984

No. 2 10月 阿瀬雄治, 大橋徹, 吉江信夫, 嶋田和人, 森口真理：

側頭骨含気蜂巣容積と Tympanogram.

オージオロジー, 27, pp. 685-686長崎, 1984

総 説

No. 1 10月 吉江信夫：

経鼓膜チューピング（中耳換気チューブ挿入留置術）の手術手技. 耳鼻咽喉科診療における病態像の把握と治療対策,

耳鼻咽喉科専門医研修テキスト（編集：吉江信夫）, pp. 7-10
日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会, 水戸, 1984

No. 2 10月 吉江信夫：

耳鼻咽喉内視鏡病像診断. 耳鼻咽喉科診療における病態像の把握と治療対策,

耳鼻咽喉科専門医研修テキスト（編集：吉江信夫）, pp.41-42,
日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会, 水戸, 1984

No. 3 10月 大橋徹：

中耳炎, 耳鼻咽喉科診療における病態像の把握と治療対策,

耳鼻咽喉科専門医研修テキスト（編集：吉江信夫）, pp.12-18,
日本耳鼻咽喉科学会茨城県地方部会, 水戸, 1984

著 書

No. 1 2月 吉江信夫：

耳鼻咽喉科学：蝸電図（監修：後藤敏郎, 編集：白岩俊雄, 北村武, 渡辺勲）, pp.
252-283

第3版, 医学書院, 東京, 1984

No. 2 4月 吉江信夫：

神経耳科学：蝸電図, 図説臨床, 耳鼻咽喉科講座（編集：松永亨）, pp.188-191,
第2巻, メジカルビュー社, 東京, 1984

No. 3 4月 吉江信夫：

神経耳科学：脳幹誘発電位（脳幹反応）聴力検査, 図説臨床, 耳鼻咽喉科講座（編集：松永亨）, pp.192-195

第2巻, メジカルビュー社, 東京, 1984

No. 4 4月 吉江信夫：

リハビリテーション医学全書. 第2版：聴覚障害：誘発電位聴力検査, 1基礎的事項, 2蝸電図(編・後藤修二), pp.120-147,

第13巻, 医歯薬出版, 東京, 1984

学会発表(シンポジウム, 特別講演を含む)

No. 1 6月 大橋徹：

頭頸部腫瘍に対する陽子線照射療法の経験.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 2 6月 宇佐神正海, 岡田慎一, 飯田律子, 新井泰, 新井峻, 江口実美, 阿瀬雄治：

聴覚センターにおける補聴器相談の現況.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 3 6月 阿瀬雄治：

騒音性難聴と耳小骨筋反射の影響.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 4 10月 大橋徹：

中耳炎

日耳鼻茨城県地方部会, 耳鼻咽喉科専門医研修会
(筑波研修センター), 10月, 1984

No. 5 10月 大橋徹：

感音性難聴の蝸電図分析.

第29回日本オージオロジー総会(長崎), 10月, 1984

No. 6 10月 嶋田和人, 吉江信夫, 大橋徹, 阿瀬雄治：

ABR トポグラフィーの検討.

第29回日本オージオロジー総会(長崎), 10月, 1984

No. 7 11月 越智健太郎, 吉江信夫, 阿瀬雄治：

味覚脱失を伴った鼓膜裂傷.

第14回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 11月, 1984

No. 8 6月 吉江信夫, 大橋徹：

最近経験した中耳炎の術後再発例とその対策.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 9 6月 森口真理, 嶋田和人, 吉江信夫, 大橋徹：

舌下神経由来の巨大副咽頭腔神経鞘腫.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 10 6月 嶋田和人, 吉江信夫, 大橋徹：

副鼻腔形質細胞腫.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 11 6月 森口真理, 吉江信夫, 大橋徹：

Lateral Rhinotomy の経験.

第13回日耳鼻茨城県地方部会(水戸), 6月, 1984

No. 12 10月 阿瀬雄治, 大橋徹, 吉江信夫, 鳩田和人, 森口真理:

側頭骨含気蜂巣容積と Tympanogram:

第29回 日本オージオロジー総会(長崎), 10月, 1984

1984年（麻酔グループ）

原 著

- No. 1 1月 齊藤重行, 山下衛, 小山完二, 野口雅之, 小形岳三郎, 内藤裕史：
低電圧直流電流による電気分解型アルカリ火傷.
救急医学 8:755-759, 1984. 1
- No. 2 1月 山下衛, 内藤裕史：
ボタン型アルカリ電池の人工胃液内での変化（その2）.
月刊薬事26:187-189, 1984. 1
- No. 3 1月 中村紘一, 内藤裕史：
中毒事故情報のコード化と分類ならびにコンピュータによる記録・解析.
医学のあゆみ 128:178-186, 1984. 1
- No. 4 2月 Naito H., Yamashita M., Nakamura K., Mizutani T.：
A centralized national poison information center and its advantage over
a multi-center system.
Vet Hum Toxicol 26:29-30, 1984. 2
- No. 5 2月 大谷英洋, 藤田達士, 高谷哲夫, 山崎陽之介, 土肥修司, 内藤裕史, 外丸輝明, 金子敏雄：
Prostaglandin E1 (G 511) の高血圧症ならびに虚血性心疾患合併例に対する低血
圧麻酔および術中血圧管理への応用.
現代医薬 16:867-871, 1984. 2
- No. 6 2月 松宮直樹, 並木昭義, 高橋長雄, 土肥修司, 数井暉久：
大量フェンタニール麻酔による開心術後異常興奮を呈した1例.
臨床麻酔 8:217-219, 1984. 2
- No. 7 3月 Mayumi T., Horikawa D., Miyabe M., Dohi S.：
Complete endotracheal tube obstruction after nasotracheal intubation.
Can Anaesth Soc J 31:344-345, 1984. 3
- No. 8 3月 中村紘一, 田中淳介, 水谷太郎, 内藤裕史：
生産額からみた急性医薬品中毒の国際比較.
臨床薬理 15:205-206, 1984. 3
- No. 9 3月 近藤陽一, 土肥修司, 堀原一, 武島玲子, 水谷太郎, 清野秀子：
人工心肺中の中枢神経系活動のモニター.
日本手術部医学会誌 5:215-217, 1984. 3
- No. 10 3月 Nokata M., Tanaka T., Tsuchiya K., Yamashita M.：
Alleviation of paraquat toxicity by kayexalate and kalimate in rats. Acta
Pharmacol.
Toxicol 55:158-160, 1984. 3
- No. 11 3月 山下衛：
急性薬物中毒.
臨床と研究 61:787-792, 1984. 3

- No.12 4月 武島玲子, 土肥修司, 内藤裕史:
脊髓血流量に関する3, 4の新知見.
臨床麻酔 8:449-504, 1984. 4
- No.13 6月 武島玲子, 中村紘一, 土肥修司, 内藤裕史, 番場和夫:
ビタミンK静注時の異常反応.
臨床麻酔 8:788-789, 1984. 6
- No.14 6月 土肥修司, 原田有三, 松宮直樹, 今久子, 白瀬真理, 表哲夫, 宮部雅幸, 百留和雄, 高橋長雄:
開心術に対するサイクラゾシン麻酔とモルヒネ麻酔の比較.
麻酔 33:599-606, 1984. 6
- No.15 7月 土肥修司, 宮下和広, 宮部雅幸, 水口章, 西川俊昭, 浅野真:
リドカイン静注の循環動態に及ぼす影響. 一ハロセン麻酔, 笑気フェンタニール麻酔および急性肺不全患者での比較.
麻酔 33:725-730, 1984. 7
- No.16 7月 加納克巳, 渡慶次重美, 内藤裕史:
化学物質による中毒死亡に関する統計的・疫学的研究—日本とイギリス・ウェールズの比較.
厚生の指標 31:34-40, 1984. 7
- No.17 7月 近藤陽一, 佐藤重仁, 渡辺誠治, 山下衛, 小形岳三郎, 島崎修次:
パラコート中毒急性期のショックの血行動態.
臨床麻酔 8:857-860, 1984. 7
- No.18 8月 渡辺誠治, 内藤裕史, 石黒五一:
水銀体温計による皮下迷入水銀.
救急医学 8:1023-1026, 1984. 8
- No.19 8月 小山完二, 山下衛, 今川重彦, 野口雅之, 尾池宗介, 渡辺信夫:
石灰硫黄合剤中毒.
臨床麻酔 8:1004-1008, 1984. 8
- No.20 8月 斎藤重行, 渡辺誠治, 近藤陽一, 山下衛, 内藤裕史:
パラコート服用後の嘔吐運動に原因すると思われる緘隔気腫.
IUC と CCU 8:1021-1023, 1984. 8
- No.21 9月 斎藤重行, 土肥修司, 内藤裕史:
プロスタグランジン E1 の脳脊髄液圧に及ぼす影響ならびに昇圧薬(フェニレフリン)との相互作用.
麻酔 33:947-952, 1984. 9
- No.22 9月 Dohi S., Matsumiya N., Takeshima R., Naito H:
The effects of subarachnoid lidocaine and phenylephrine on spinal cord and cerebral blood flow in dogs.
Anesthesiology 61:238-244, 1984. 9

- No. 23 10月 武島玲子, 土肥修司, 内藤裕史:
エンフルレン・笑気・酸素麻酔に対するナロギソンの拮抗効果.
麻醉 33:1064-1069, 1984. 10
- No. 24 10月 内藤裕史:
ガス・薬毒物自殺対策と安全工学.
安全工学 23:286-289, 1984. 10
- No. 25 10月 内藤裕史:
小児の中毒統計.
小児科の進歩 4:259-271, 1984. 10
- No. 26 11月 内藤裕史:
排気ガス自殺の防止について.
自殺予防と危機介入 9:38-40, 1984. 11
- No. 27 11月 山下衛:
薬物・化学製品.
小児内科 16:2181-2184, 1984. 11
- No. 28 11月 内藤裕史, 山下衛, 稲村博, 小田晋, 加納克巳:
農薬自殺の実態.
日農医誌 33:816-817, 1984. 11
- No. 29 11月 水谷太郎, 近藤陽一, 渡慶次重美, 市川直哉, 加納克巳, 山下衛, 内藤裕史:
農薬中毒死の都道府県別実態.
日農医誌 33:770-774, 1984. 11

総 説

- No. 1 1月 山下衛:
急性中毒の初期治療.
日本臨床麻酔学会誌 4:25-32, 1984. 1
- No. 2 2月 内藤裕史:
図書館からみた医学の特質.
医学教育 15:36-38, 1984. 2
- No. 3 2月 土肥修司:
社会的ニーズからみた専門医選択の現状と展望.
イアトロス 1:26-31, 1984. 2
- No. 4 3月 内藤裕史:
小児のタバコ誤嚥事故と処置法.
日本医事新報 3126:129-130, 1984. 3
- No. 5 3月 内藤裕史:
医原病—医療の目的論に立って—.
からだの科学 106:34-38, 1984. 3

- No. 6 5月 山下衛：
一酸化炭素中毒とアシドーシス。
臨床水電解質 1：14-20, 1984. 5
- No. 7 5月 山下衛, 佐々木順子：
PPC 方式における ICU の管理運営。
ICC と CCU 8：411-421, 1984. 5
- No. 8 5月 土肥修司：
脊髓循環と麻酔 1. 脊髓循環の特殊性と脊髓血流量。
麻酔 33：460-468, 1984. 5
- No. 9 6月 土肥修司, 武島玲子：
脊髓循環と麻酔 2. 脊髓血流量の調節と麻酔薬の影響。
麻酔 33：580-588, 1984. 6
- No.10 7月 山下衛, 番場和夫, 小山完二, 田中淳介, 清野秀子, 内藤裕史：
消毒薬中毒。
診断と治療 72：141-145, 1984. 7
- No.11 8月 土肥修司：
手術室内の麻酔ガス。
外科 46：832-834, 1984. 8
- No.12 9月 内藤裕史：
救急蘇生法の指針 中毒。
日本医師会誌 92：745-747, 1984. 9
- No.13 9月 Naito H.：
Poisoning and its Therapy.
Medical News 259：2-3, 1984. 9
- No.14 10月 内藤裕史：
中毒の実態。
ファルマシア 20：1013-1018, 1984. 10
- No.15 10月 内藤裕史：
Xenobiotics.
臨床麻酔 8：1211, 1984. 10
- No.16 11月 内藤裕史：
化学物質事故情報と中毒110番。
化学と工業 37：761-763, 1984. 11

著 書

- No. 1 4月 内藤裕史他：
農薬中毒の症状と治療法。
農林水産省農蚕園芸局, 1984. 4

- No. 2 4月 佐藤重仁, 内藤裕史:
中毒の応急処置と治療.
野村茂編, 生活と中毒, 1984. 4
- No. 3 5月 中村紘一, 内藤裕史:
臨床中毒学.
臨床老年医学大系19, 情報開発研究所, 1984. 5
- No. 4 5月 内藤裕史:
きのこ中毒.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 5 5月 内藤裕史:
その他の植物.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 6 5月 内藤裕史:
トルエン, キシレン(シンナー).
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 7 5月 内藤裕史:
吸着剤と下剤.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 8 5月 内藤裕史:
石油製品.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 9 5月 内藤裕史:
催吐.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 10 5月 内藤裕史:
胃洗浄.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 11 5月 内藤裕史:
強酸と強アルカリ.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 12 5月 内藤裕史:
海産生物の刺咬毒.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 13 5月 内藤裕史:
三環系抗うつ剤.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No. 14 5月 内藤裕史:
四塩化炭素.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5

- No.15 5月 山下衛：
殺鼠剤.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.16 5月 山下衛：
バラコート.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.17 5月 山下衛：
有機リン.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.18 5月 山下衛：
ハチその他の昆虫毒.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.19 5月 山下衛：
ニコチン.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.20 5月 山下衛：
有機硫黃.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.21 5月 山下衛：
消毒薬.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.22 5月 山下衛：
フグ毒.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.23 5月 山下衛：
フェノール系除草剤.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.24 5月 山下衛：
有機塩素.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.25 5月 山下衛：
クロルピクリン.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.26 5月 土肥修司：
造影剤物質による過敏反応.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- No.27 5月 渡辺誠治：
ヘビ毒.
新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5

- No.28 5月 渡辺誠治：
プロパンガス。
- No.29 5月 渡辺誠治：
メチルプロマイド。
- No.30 5月 中村紘一：
カンファー。
- No.31 5月 中村紘一：
エフェドリン。
- No.32 5月 中村紘一：
エチレンクリール。
- No.33 5月 中村紘一：
メタノール。
- No.34 5月 中村紘一：
バルビツール酸。
- No.35 5月 中村紘一：
ベンゾジアゼピン。
- No.36 5月 中村紘一：
アセトアミノフェン。
- No.37 5月 中村紘一：
サリチル酸。
- No.38 5月 中村紘一：
麻薬。
- No.39 5月 中村紘一：
抗生物質。
- No.40 7月 土肥修司：
最新麻酔科学（上巻）6. 技術、減菌・消毒,
- 新薬物療法, メジカルビュー社, 1984. 5
- 克誠堂, 1984. 7

- No. 41 10月 内藤裕史：
新臨床麻酔学全書・吸入麻酔薬の薬理,
金原出版, 1984. 10
- No. 42 11月 内藤裕史：
GCPに適合した臨床試験の考え方.
施設内審査委員会 (IRB) の意義と実際, 1984. 11
- No. 43 11月 内藤裕史, 山下衛：
救急中毒マニュアル.
医学書院, 1984. 11
- No. 44 11月 山下衛：
農薬中毒.
新興医学出版社, 1984. 11

学会発表 (シンポジウム, 特別講演を含む)

- No. 1 1月 Dohi S., Matsumiya N., Naito H., Takeshima R：
Spinal cord blood flow during spinal anesthesia.
The 8th World Congress of Anesthesiologists.
(Manila), 1984. 1
- No. 2 1月 Mayumi T., Dohi S., Takahashi T：
Cardiovascular effects of ketamin in patients with epidural anesthesia.
The 8th World Congress of Anesthesiologists.
(Manila), 1984. 1
- No. 3 3月 高木昌二, 須賀肇, 飯田俊代, 吉野清高, 町島啓, 山下衛, 内藤裕史：
医療用陽イオン交換樹脂によるラットにおけるパラコートの致死抑制.
日本薬学会第104回 (仙台), 1984. 3
- No. 4 3月 渡辺誠治, 小山完二, 清野秀子, 山下衛, 内藤裕史：
パラコート大量静注で観察される病態.
第11回日本集中治療医学会 (東京), 1984. 3
- No. 5 4月 渡辺誠治, 山下衛, 内藤裕史：
化学的ストレスに対するハロセンのカテコールアミン分布に及ぼす影響.
第31回日本麻酔学会 (福岡), 1984. 4
- No. 6 4月 近藤陽一, 土肥修司, 水谷太郎, 渡辺誠治, 武島玲子, 山下衛, 内藤裕史：
人工心肺中の脳波モニター.
第31回日本麻酔学会 (福岡), 1984. 4
- No. 7 4月 清野秀子, 近藤陽一, 武島玲子, 斎藤重行, 内藤裕史：
生後6日目に緊急手術を行った先天性気管狭窄の麻酔経験.
第31回日本麻酔学会 (福岡), 1984. 4
- No. 8 4月 土肥修司, 武島玲子, 内藤裕史：
テトラカイン, エピネフリンの脊髓クモ膜下腔投与時の脊髄血流量.
第31回日本麻酔学会 (福岡), 1984. 4

No. 9 4月 Dohi S.:

Cervical epidural block.

Finnish Society of Anesthesiologists. (Versa)
(招待講演), 1984. 4

No. 10 4月 Dohi S.:

Spinal cord blood flow relevant to anesthesia.

Finnish Society of Anesthesiologists. (Versa)
(招待講演), 1984. 4

No. 11 5月 斎藤重行, 清野秀子, 田中淳介, 小山完二, 武島玲子, 水谷太郎, 山下衛, 内藤裕史:
有機リン剤中毒に対するアトロピン治療の検討.

第12回日本集中治療医学会(仙台), 1984. 5

No. 12 6月 斎藤重行, 渡辺誠治, 内藤裕史:

中毒110番に寄せられた医師からの中毒相談の分析.

第7回日本プライマリ・ケア学会(倉敷), 1984. 6

No. 13 6月 Naito H., Mizutani T., Nakamura K., Yamashita M.:

Suicide by solid and liquid substances in Japan.

XIth International Congress of The European Association
of Poison Control Centres (Stockholm), 1984. 6

No. 14 6月 安藤義孝, 安藤公子, 尾形真光, 管野建太郎, 山下衛:

DHP を使用せる急性薬物中毒5症例の経験.

第4回急性中毒研究会(東京), 1984. 6

No. 15 6月 田中淳介, 斎藤重行, 山下衛, 内藤裕史:

セメント急結剤(商品名マノール)服毒の一例.

第4回急性中毒研究会(東京), 1984. 6

No. 16 6月 中村紘一, 武島玲子, 斎藤重行, 内藤裕史, 庄山文子, 外山譲二, 立石圭太, 北村豊三郎, 矢野光土:

ドクササゴ中毒.

第4回急性中毒研究会(東京), 1984. 6

No. 17 6月 小山完二, 田中淳介, 渡辺誠治, 内藤裕史:

D-D 剤中毒.

第4回急性中毒研究会(東京), 1984. 6

No. 18 7月 清野秀子, 渡辺誠治, 田中淳介, 小山完二, 内藤裕史, 中川晴夫, 三井清文:

Cryoanalgesia による肋間神経ブロック.

第18回ペインクリニック研究会(大阪), 1984. 7

No. 19 7月 内藤裕史:

シンポジウム, 臨床中毒学の現状と問題点.

第11回日本毒科学会学術年会(京都), 1984. 7

No. 20 7月 内藤裕史, 山下衛, 稲村博, 小田晋, 加納克巳:

農薬自殺の実態.

第11回関東農村医学会(土浦), 1984. 7

- No.21 8月 萩野雅資, 住谷賢治, 佐藤信一, 吉野清高, 町島啓, 山下衛, 内藤裕史:
タバコの吸殻に含まれるニコチンの残存量とその溶出.
日本病院薬剤師会関東ブロック第14回学術大会(大宮),
1984. 8
- No.22 9月 山下衛, 斎藤重行, 内藤裕史:
ペラコート中毒94症例.
第5回急性中毒研究会(大阪), 1984. 9
- No.23 9月 小山完二, 山下衛, 内藤裕史:
犬における石灰イオウ合剤の病態.
第5回急性中毒研究会(大阪), 1984. 9
- No.24 9月 福田妙子, 近藤陽一, 水谷太郎, 内藤裕史:
リドカインによると思われるアナフィラキシーショックの一例.
第24回日本麻酔学会関東甲信越地方会(東京), 1984. 9
- No.25 9月 内藤裕史:
中毒とその治療.
日本国際医学協会・国際治療談話会(東京), 1984. 9
- No.26 9月 田中淳介, 近藤陽一, 佐藤重仁, 山下衛:
肺高血圧症を伴う呼吸不全に対するOP 41483. α -CD (PGI2) の効果について.
第24回日本麻酔学会関東甲信越地方会(東京), 1984. 9
- No.27 9月 斎藤重行, 土肥修司, 内藤裕史:
プロスタグラジン E1 の脳脊髄液圧に及ぼす影響および昇圧薬との相互作用.
第24回日本麻酔学会関東甲信越地方会(東京), 1984. 9
- No.28 10月 Naito H., Yamashita M., Takeshima R., Nakamura K., Watanabe S:
Present status of paraquat poisoning in JAPAN.
American Academy of Clinical Toxicology, Annual
Scientific Meeting (San Diego), 1984. 10
- No.29 10月 Takaki S., Suga H., Yamashita M., Naito H.:
Effect of Kayexalate administration on the survival rate of rats administered paraquat.
American Academy of Clinical Toxicology, Annual
Scientific Meeting (San Diego), 1984. 10
- No.30 10月 武島玲子, 土肥修司, 近藤陽一, 堀原一, 内藤裕史:
呼気炭酸ガス持続モニターの有用性.
第6回日本手術部医学会(東京), 1984. 10
- No.31 10月 Naito H.:
Chairman of the plenary session. Risk management and risk assessment approaches.
US-Japan Seminar on Risk Management (Tsukuba), 1984. 10

No.32 10月 Naito H :

Risk analysis of suicide by poisoning.

US-Japan Seminar on Risk Management (Tsukuba), 1984. 10

No.33 11月 長山恭介, 太田福子, 内藤裕史, 長田孝治 :

急性中毒データベース作成・検索システム,

第7回情報化学討論会(大阪), 1984. 11

No.34 11月 渡辺誠治, 清野秀子, 田中淳介, 内藤裕史, 小野幸雄, 酒井那彦, 堀内晋, 石丸尚 :
脊髄麻酔で誘発される夜間ミオクロースス。

第4回日本臨床麻酔学会(大阪), 1984. 11

No.35 11月 武島玲子, 土肥修司, 内藤裕史 :

頸部硬膜外ブロックの圧受容体反射およびバルサルバ試験に及ぼす影響.

第4回日本臨床麻酔学会(大阪), 1984. 11

No.36 11月 清野秀子, 渡辺誠治, 小山完二, 内藤裕史, 中川晴夫, 三井清文 :

Cryoanalgesia による肋間神経ブロック.

第4回日本臨床麻酔学会(大阪), 1984. 11

No.37 11月 斎藤重行, 田中淳介, 小山完二, 山下衛, 土肥修司, 内藤裕史 :

頭部位置の変化による気管支内チューブの移動.

第4回日本臨床麻酔学会(大阪), 1984. 11

No.38 11月 内藤裕史 :

教育講演 急性中毒.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.39 11月 山下衛, 小山完二, 福田妙子, 山口浩史, 内藤裕史 :

ボタン型アルカリ電池誤飲344例の分析.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.40 11月 水谷太郎, 山下衛, 中村紘一, 渡辺誠治, 近藤陽一, 内藤裕史 :

電話で指示した機械的催吐の効果.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.41 11月 山下衛, 水谷太郎, 斎藤重行, 武島玲子, 田中淳介, 清野秀子, 内藤裕史 :

吐根シロップの催吐効果について.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.42 11月 清野秀子, 小山完二, 田中淳介, 山下衛 :

ソラニン中毒.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.43 11月 新井克明, 佐藤寿一, 吉野清高, 町島啓, 山下衛, 内藤裕史 :

アスピリン服用時における活性炭の投与量とアスピリンの吸着量との検討.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

No.44 11月 渡辺誠治, 内藤裕史 :

散布作業によってパラコート中毒は発生するか.

第12回日本救急医学会(広島), 1984. 11

- No. 45 11月 中村紘一, 田中栄之介：
H₂受容体遮断薬の肝薬物代謝能および肝血流量に対する影響—シメチジン, ラニチジン, ファモチジンの比較.
第5回日本臨床薬理学会（東京）, 1984. 11
- No. 46 11月 内藤裕史, 渡辺誠治, 斎藤重行：
中毒情報の都道府県別利用率と電話料金体系との関係.
第4回医療情報学連合大会（東京）, 1984. 11
- No. 47 12月 高橋宏, 小山完二, 山下衛, 内藤裕史：
クモ刺咬症.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12
- No. 48 12月 小山完二, 山下衛, 内藤裕史：
ツブ貝中毒.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12
- No. 49 12月 福田妙子, 清野秀子, 山下衛, 内藤裕史：
アマニタトキシン群きのこ中毒の症例.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12
- No. 50 12月 山下衛：
特別講演, 中毒110番の現況.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12
- No. 51 12月 田中淳介, 武島玲子, 水谷太郎, 山下衛, 内藤裕史：
有機リン剤を服毒し誤嚥性肺炎を呈した長期間人工呼吸管理を必要とした例.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12
- No. 52 12月 山下衛, 斎藤重行, 小山完二, 内藤裕史：
パラコート中毒に対する腸洗浄の効果.
第5回急性中毒研究会（東京）, 1984. 12

その他（放送, 座談会, 講演会などで学術的なもの）

- No. 1 1月 内藤裕史：
急性中毒の実態と初期治療.
茨城県病院薬剤師会（水戸市）, 1984. 1
- No. 2 1月 内藤裕史：
日本赤十字社救急法職員研修会・中毒について.
日本赤十字社（東京）, 1984. 1
- No. 3 1月 内藤裕史：
中毒の救急処置11. 酸とアルカリ.
中外医薬, 37:14-15, 1984. 1
- No. 4 2月 内藤裕史：
急性中毒の実態と初期治療.
栃木県病院薬剤師会（栃木県塩原町）, 1984. 2

- No. 5 2月 内藤裕史：
　　幼児の乾燥剤誤飲と中毒症状.
　　　　　　　　　　　日本医事新報3120：146, 1984. 2
- No. 6 2月 内藤裕史：
　　中毒の救急処置12. たばこ誤飲.
　　　　　　　　　　　中外医薬37：120-121, 1984. 2
- No. 7 3月 内藤裕史：
　　中毒の救急処置13. じゃがいもの芽 ソラニン中毒.
　　　　　　　　　　　中外医薬37：154-155, 1984. 3
- No. 8 3月 内藤裕史：
　　マムシ咬傷・クラゲ刺傷の処置法.
　　　　　　　　　　　日本医事新報3126：129, 1984. 3
- No. 9 4月 土肥修司：
　　救急医学臨床講座.
　　　　　　　　　　　イアトロス1：80-81, 1984. 4
- No. 10 4月 内藤裕史：
　　中毒の救急処置14. きのこ中毒.
　　　　　　　　　　　中外医薬37：236-237, 1984. 4
- No. 11 5月 内藤裕史：
　　中毒の救急処置15. 続・きのこ中毒.
　　　　　　　　　　　中外医薬37：274-275, 1984. 5
- No. 12 5月 内藤裕史：
　　消費者行政職員研修・一般講座
　　　　　　　　　　　中毒110番からみた暮らしの安全. 国民生活センター
　　　　　　　　　　　(相模原市), 1984. 5
- No. 13 5月 中村紘一：
　　Book Review (野村茂編 生活と中毒).
　　　　　　　　　　　モダンメディシン, 13：116, 1984. 5
- No. 14 7月 内藤裕史, 小山完二：
　　中毒の救急処置16. 石灰硫黄合剤.
　　　　　　　　　　　中外医薬37：368-369, 1984. 7
- No. 15 7月 内藤裕史：
　　身のまわりにひそむ危険.
　　　　　　　　　　　健康づくり7：18-20, 1984. 7
- No. 16 7月 内藤裕史：
　　中毒(服毒).
　　　　　　　　　　　新・応急救手と家庭看護事典：78-79, 1984. 7
- No. 17 7月 内藤裕史：
　　誤って飲む.
　　　　　　　　　　　新・応急救手と家庭看護事典：106, 1984. 7

- No.18 7月 内藤裕史：
最近の中毒症の臨床。
静岡県医師会（浜松），1984. 7
- No.19 8月 内藤裕史：
中毒の救急処置17. パラコート。
中外医薬37：408-409, 1984. 8
- No.20 9月 内藤裕史：
中毒の救急処置18. 続パラコート。
中外医薬37：482-483, 1984. 9
- No.21 10月 内藤裕史：
中毒情報システム。
スズケンメディカル17：1984. 10
- No.22 10月 内藤裕史：
救急医学 パラコート中毒の治療。
日本医事新報3155：140, 1984. 10
- No.23 10月 内藤裕史：
救急医学 マムシ咬傷・クラゲ刺傷の治療。
日本医事新報3155：140-141, 1984. 10
- No.24 10月 内藤裕史：
急性中毒の実態と初期治療。
岡山県医師会（岡山），1984. 10
- No.25 10月 内藤裕史：
中毒の救急処置19. パラジクロロベンゼン。
中外医薬37：536-537, 1984. 10
- No.26 10月 内藤裕史：
中毒110番。
グラレメディア No1：1984. 10
- No.27 11月 内藤裕史：
乳幼児の中毒事故と防止策。
新育児百科：372-373, 1984. 11
- No.28 11月 土肥修司, 菊地博, 安田勇治：
座談会プライマリ・ケアからみた救急医療
呼吸困難。日本医事新報3161：3-15, 1984. 11
- No.29 12月 内藤裕史, 小山完二：
中毒の救急処置20. ナフタリン, しょうのう（カンフル）。
中外医薬37：618-619, 1984. 12

1984年（歯・口腔グループ）

原 著

- No. 1 3月 石橋利文, 清水正嗣, 石橋克礼, 戸塚盛雄：
顎関節突起部に発生した骨腫および骨軟骨腫。
日本口腔科学会雑誌：第33巻3号, 607-620, 1984
- No. 2 4月 石橋利文, 染谷さき子, 田所重映：
硬口蓋に発生した血管筋腫の1例。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻4号, 415-419, 1984
- No. 3 4月 石橋利文, 染谷さき子, 田所重映, 福田廣志, 根本一男：
下顎歯肉頬移行部に発生した線維脂肪腫の1例。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻4号, 420-423, 1984
- No. 4 7月 石橋利文, 福田廣志, 染谷さき子, 田所重映：
下顎に発生した動脈奇形。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻7号, 1006-1016, 1984
- No. 5 7月 石橋利文, 野堀幸夫：
頬部に発生した神経鞘腫の1例。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻7号, 1047-1051, 1984
- No. 6 8月 舟久保太, 根本一男：
剛体条件の補正に関する研究, 第1報条件付間接法による補正。
日本補綴歯科学会雑誌：第28巻4号, 673-684, 1984
- No. 7 8月 舟久保太, 根本一男：
剛体条件の補正に関する研究, 第2報条件付直接法による補正。
日本補綴歯科学会雑誌：第28巻4号, 685-694, 1984
- No. 8 9月 石橋利文, 萩原敏之, 児野正明：
シアノアクリレート系外科用接着剤注入による粘液嚢胞摘出療法。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻9号, 1412-1418, 1984
- No. 9 10月 福田廣志, 田所重映, 児野正明, 根本一男：
筋強直性ジストロフィー症に伴う長顔症の顎矯正手術の1例：上下顎同時移動術,
特に total maxillary alveolar osteotomy について。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻10号, 1587-1593, 1984
- No. 10 11月 福田廣志, 田所重映, 染谷さき子, 根本一男：
陳旧性顔面外傷後の皿様顔貌に対し modified Le Fort III (頬骨・上顎骨前方移
動術) 型 + Le Fort I 型骨切り術を行なった1例。
日本口腔外科学会雑誌：第30巻11号, 1696-1702, 1984

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

- No. 1 4月 福田廣志, 田所重映：
開口を伴った長顔症の一治験例（ビデオ）。
第27回日本形成外科学会総会（横浜），4月，1984

- No. 2 4月 橋本賢二, 吉増秀実, 川口哲司, 塩田重利, 福田廣志：
顔面神経麻痺に起因したと思われる顎頬面変形症の2例。
第27回日本形成外科学会総会（横浜），4月，1984
- No. 3 5月 福田廣志, 萩原敏之, 高坂栄一, 染谷さき子, 田所重映, 石橋利文, 根本一男, 北川俊夫：
陽子線照射による舌癌の治療。
第29回日本口腔外科学会総会（札幌），5月，1984
- No. 4 5月 石橋利文：
急性化膿性顎関節炎の1例。
第29回日本口腔外科学会総会（札幌），5月，1984
- No. 5 5月 石橋利文, 福田廣志, 田所重映, 染谷さき子, 萩原敏之, 高坂栄一, 児野正明, 秋葉徹, 舟久保太, 根本一男：
オルソパントモ撮影法を施行した症例に関する臨床統計的観察。
第29回日本口腔外科学会総会（札幌），5月，1984
- No. 6 5月 石橋利文, 染谷さき子, 福田廣志, 根本一男：
再発性片側性顎関節脱臼の手術療法の1例。
第38回日本口腔科学会総会（東京），5月，1984
- No. 7 5月 石橋利文, 田所重映, 染谷さき子, 杉本敏樹, 萩原敏之, 児野正明, 高坂栄一, 秋葉徹, 福田廣志, 根本一男：
シアノアクリレート系外科用接着剤注入による粘液囊胞摘出療法。
第38回日本口腔科学会総会（東京），5月，1984
- No. 8 5月 福田廣志, 田所重映, 染谷さき子, 児野正明, 萩原敏之, 秋葉徹, 杉本敏樹, 高坂栄一, 根本一男, 小守昭, 小池正夫：
Malignant schwannoma の1例。
第38回日本口腔科学会総会（東京），5月，1984
- No. 9 6月 福田廣志, 田所重映, 染谷さき子, 萩原敏之, 杉本敏樹, 高坂栄一, 秋葉徹, 児野正明, 石橋利文, 根本一男：
拡大視野下での根尖歯周組織病変の治療。
第129回日本口腔外科学会関東地方会（埼玉），6月，1984
- No. 10 6月 福田廣志, 舟久保太：
顔面補綴の小経験。
第8回日本頭頸部腫瘍学会（久留米），6月，1984
- No. 11 6月 染谷さき子, 福田廣志, 舟久保太, 石橋利文, 根本一男, 金沢孝, 下平聖志：
顎頬面欠損患者の一治療例—D-P 皮弁による口蓋閉鎖および頬部再建術後の補綴処置—。
第1回日本顎頬面補綴学会総会（札幌），6月，1984
- No. 12 9月 児野正明, 福田廣志, 田所重映, 島崎修次, 近藤孝：
舌骨, 茎状突起骨折を合併した顎頬面骨骨折の1例。
第8回茨城県救急医学会（水戸），9月，1984

No.13 9月 飯島茂子, 中村日出子, 河野一郎, 桃島悌蔵, 山根一秀, 桜井徹志, 柏木平八郎, 福田廣志:

Ludwig's angina (口底蜂窩織炎) を合併した SLE の 1 例.

第340回日本内科学会関東地方会 (千葉), 9月, 1984

No.14 10月 萩原敏之, 福田廣志, 染谷さき子, 石橋利文, 根本一男:

正中囊胞の 1 例.

第130回口腔外科学会関東地方会 (東京), 10月, 1984

1984年（放射線グループ）

原 著

- No. 1 1月 竹島徹, 高瀬靖広, 小野隆, 小林幸雄, 秋貞雅祥, 岩崎洋治：
成人食道裂孔ヘルニアのX線分類と臨床経過。
日本消化器病誌, 81 (1) 1-6, 1984
- No. 2 3月 秋貞雅祥, 丸橋晃, 兵藤一行, 岸野秀則, 竹中栄一, 小西圭介, 西村克之, 安藤正海：
医学における SOR X 線の利用,
KEK 83-26, 53-61, 1984
- No. 3 4月 飯泉達夫, 矢崎常忠, 林正健二, 加納勝利, 小磯謙吉, 中島楨一, 秋貞雅祥：
尿路性器悪性腫瘍における fine needle を用いた後腹膜リンパ節吸引細胞診の意義。
日泌器科学誌, 75 (4) 633-637, 1984
- No. 4 4月 Sugishita Y., kosei S., Matsuda M., Ogawa T., Agisaka R., Iida K., Ito I.,
Oshima M., Takada T., Akisada M :
Functional significance of coronary collateral vessels during exercise
evaluated by radionuclide angiography, Its importance of supplying
arteries.
Acta cardiologica 29 (4) 273-283, 1984
- No. 5 6月 Nakamura T., Akisada M., Shigematsu A :
Whole body distribution of ¹¹C-(4)-aspartic acid in rats.
Radioisotope 33 (6) 363-369, 1984
- No. 6 7月 Akatsuka T., Matsuda M., Takeda T., Kwako K., Sugishita Y., Akisada M :
Cardiac image analysis corresponding to physical parameters.
Proc. Internat. Symp. Med. Images and Icons. 238-244,
1984. 7. 24-27, Washington D.C.
- No. 7 7月 Oshima M., Ijima H., Koda Y., Kuramoto K., Kikuchi Y., Wada M., Akisada M :
Peripheral arterial disease diagnosed with high-count-rate radionuclide
angiography.
Radiology 152 (2) 161-166, 1984
- No. 8 10月 中島楨一, 秋貞雅祥：
下肢悪性腫瘍におけるリンパ造影所見—レニウムシンチ, Ga シンチとの対比—,
リンパ学 7 (1) 85-88, 1984
- No. 9 11月 武田徹, 赤塚孝雄, 松田光生, 杉下靖郎, 秋貞雅祥：
造影剤を用いない DSA による心臓の壁運動解析の試み,
第4回医療情報大会 (JCMI) 抄録集, 406-411, 1984

- No.10 12月 杉下靖郎, 松田光生, 小川剛, 鯨坂隆一, 飯田啓治, 飯田要, 関口達彦, 松本竜馬, 藤田享宣, 武田徹, 秋貞雅祥：
最近の循環器治療薬の薬効評価法。
臨床成人病, 14 (12) 1983-1988, 1984
- No.11 12月 秋貞雅祥, 中島楳一：
リンパ浮腫の診断—四肢リンパ浮腫における各種画像診断法の中でのリンパ造影の位置づけ。
脈管学, 24 (12) 1295-1297, 1984
- No.12 3月 東野英利子, 平松慶博, 秋貞雅祥：
Iopamidolによる血管造影。
薬理と治療, 12(Suppl.1) : 163-169, 1984
- No.13 月 武田徹, 平松慶博, 倉本憲明, 平野洋子, 秋貞雅祥：
低濃度造影剤 Urograffin 60%を用いた Digital Subtraction Angiography の臨床的有用性について。
日独医報 29 : 639-644, 1984
- No.14 1月 中島楳一, 和田光功, 石川演美, 秋貞雅祥, 井島宏, 軸屋智昭：
上肢のリンパ浮腫。
外科, 46 (1) 2-7, 1984
- No.15 7月 柳原謙, 武田徹, 井島宏, 能勢忠男, 石川演美, 堀原一：
大動脈瘤症例における血栓シンチグラフィーの意義。
脈管学誌 24 (7) 563-568, 1984
- No.16 6月 稲田哲雄, 早川吉則, 丸橋晃, 大原潔, 北川俊夫, 秋貞雅祥, 河内清光, 金井達明：
高エネルギー垂直陽子線治療装置。
日本医放学会誌, 44 (6) 844-853, 1984
- No.17 11月 兵藤一行, 丸橋晃, 安藤正海, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄, 小西圭介, 豊福不可依, 西村克之, 長谷川伸, 諏訪昭男, 竹中栄一：
放射光を用いた K-edge subtraction に関する基礎的検討。
第4回医療情報大会 (JCMI) 抄録集, 412-415, 1984
- No.18 月 Maruhashi A., Kobayashi K., Shima K., Ishihara T., Kusumoto T., Inada T., Akisada M.：
Several problems on the application of PIXE to cancer diagnosis.
Nucl. Instr. Meth. 173 : 382-384, 1984
- No.19 3月 大原潔, 石川演美, 秋貞雅祥, 佐藤章仁, 海老原玲子, 立崎英夫：
食道癌における腔内照射法の試み。
医学と薬学, 12 (3) 771-773, 1984
- No.20 5月 影本正之, 本家好文, 広川裕, 小山矩, 勝田静知, 平井敏弘, 三好雪久, 服部孝雄, 大原潔：
Bypass 手術と放射線治療の併用により 5年生存した進行期食道癌の 1 例。
広島医学, 37 (5) 705-708, 1984

- No. 21 6月 稲田哲雄, 早川吉則, 丸橋晃, 大原潔, 北川俊夫, 秋貞雅祥, 河内清光, 金井達明:
高エネルギー垂直陽子線治療装置.
日本医放誌, 44 (6)844-853, 1984
- No. 22 10月 岩崎洋治, 岡村隆夫, 轟健, 大原潔:
補助療法—特に進行肝門部胆管癌に対する切除と術中照射合併療法の評価—.
臨床外科, 39 (10)1403-1408, 1984
- No. 23 11月 岩崎洋治, 岡村隆夫, 轟健, 大原潔, 西村明:
肝門部胆管癌に対する集学的治療法の問題点—非治癒切除と術中又照射の合併療法—
胆と膵 5 (11)1525-1532, 1984
- No. 24 10月 相吉悠治, 牛尾浩樹, 植野映, 山下亀次郎, 松本邦彦, 秋貞雅祥:
軟X線撮影による甲状腺腫瘍の診断,
ホルモンと臨床, 32 (10)939-943, 1984
- No. 25 2月 久保田進, 荒居龍雄:
コンピュータによるリンパ節転移の予測.
放射線システム研究, Suppl. No. 1 : 133-135, 1984
- No. 26 2月 中村謙, 遠藤真広, 吉川重夫, 飯沼武, 久保田進, 青木芳朗:
放医研治療計画 CT ビームポインターシステムの位置決め精度.
放射線治療システム研究, Suppl. No 1 : 88-91, 1984
- No. 27 2月 望月幸夫, 久保田進, 兼平千裕, 山下孝, 牧野元治:
放射線治療における容積・線量関係の一元的指標について.
放射線治療システム研究, Suppl, No 1 : 140-142, 1984
- No. 28 1月 久保田進, 荒居龍雄:
多変量解析によるリンパ節転移の予測(子宮頸癌III期の傍大動脈リンパ節転移について).
放射線システム研究, 1 : 153-159, 2月, 1984
- No. 29 6月 久保田進:
超音波断層のコンピュータによる自動診断.
慈大誌, 99 : 497-503, 1984
- No. 30 11月 外山比南子, 村田啓, 間島寧興, 山田英夫:
三次元ダイナミック・パターンによる局所心機能解析法.
核医学, 21 (11) 1421-1427, 1984
- No. 31 12月 Tanaka E., Toyama H., Murayama H.,:
Convolutional image reconstruction for quantitative single photon emission
computed tomography.
Phys Med Biol. 29 (12) 1489-1500, 1984
- No. 32 9月 Arimoto T., Mizoe J., Kamada T., Tsujii H., Shirato H., Matsuoka Y.,
Irie G.:
CT aided volumetry and prognosis in the cervical carcinoma.
Radiation Medicine 2 (3)197-204, 1984

No.33 9月 Arimoto T., Irie G., Tsujii H., Ito S., Mizoe J., Kamada T., Miyamoto M., Shirato H.:

A "Supralethal Dose Phenomenon" revealed by cancer of the maxillary sinus.

Radiation Medicine 2 (3)205-209, 1984

No.34 11月 辻井博彦, 溝江純悦, 有本卓郎, 鎌田正, 白土博樹, 入江五朗:

頭頸部固定具(シエル)による治療計画法
—熱可塑性ポリエステルレジンの利用—

日本医放誌, 44 (11)1391-1395, 1984

総 説

No. 1 1月 秋貞雅祥, 高田義久, 早川吉則, 兵藤一行:

各種 CT 像画像の進歩と比較.

医学のあゆみ, 128 (1) 33-43, 1984, 1, 7

No. 2 1月 秋貞雅祥:

デジタルラジオグラフィーについて

日放技師会誌 31 (367)増刊号, 36-52, 1984

No. 3 2月 秋貞雅祥:

リンパ系(座長まとめ).

日本医放会誌, 44 (2), 417-418, 1984

No. 4 2月 秋貞雅祥:

第3回医田画像工学シンポジューム印象記.

Med. Imag. Technol. 2 (2)128-129, 1984

No. 5 4月 秋貞雅祥: 書評

核医学概論(館野之男, 山崎統四郎編)

医学のあゆみ, 129 (1) 54, 1984, 4, 7

No. 6 5月 秋貞雅祥:

PCT(座長のまとめ).

核医学, 21 (5)476, 1984

No. 7 8月 秋貞雅祥:

軟線撮影のうつりかわり.

静電画像 4 (1)1-2, 1984

No. 8 12月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 丸橋晃:

放射光(synchrotron radiation)の医学利用—冠状動脈造影への利用を主に—
映像情報 16 (23)1155-1162, 1984

No. 9 12月 秋貞雅祥:

第3回医用画像工学(JAMIT)

シンポジューム印象記. Med. Imag. Technol. 2 (2)128-129, 1984

- No.10 1月 平松慶博：
腹部鈍的外傷.
放射線科, 3 : 27-34, 1984
- No.11 3月 平松慶博：
画像診断における腎・尿路・生殖器系の造影の意義と造影の一般的注意事項.
画像診断, 4 : 204-208, 1984
- No.12 3月 平松慶博：
腎疾患—早期診断から管理まで. 検査の手順,
画像診断, Medicina 21 : 404-408, 1984
- No.13 5月 平松慶博：
消化器の検査—CT.
小児内科, 16 : 641-644, 1984
- No.14 6月 尾崎秀雄, 大藤正雄, 大井至, 平松慶博：
肝胆脾腫瘍の総合画像診断.
肝胆脾, 8 : 853-866, 1984
- No.15 9月 中島楨一, 中島光太郎, 松本邦彦, 斎田幸久, 平松慶博, 監物久雄, 大川治夫：
小児血管腫およびリンパ管腫の画像診断.
臨床放射線, 29 : 987-991, 1984
- No.16 10月 平松慶博, 武田徹, 秋貞雅祥：
Digital subtraction angiography.
肺と心, 31 : 234-242, 1984
- No.17 11月 平松慶博：
副腎疾患の画像診断.
日本臨床, 42 : 2489-2493, 1984
- No.18 11月 平松慶博：
急性腹症の X 線診断.
放射線科, 4 : 255-260, 1984
- No.19 9月 松本邦彦, 秋貞雅祥, 福田信男, 館野之男：
人体臓器の容積測定.
映像情報, 16 (17) 838-846, 1984
- No.20 3月 外山比南子：
核医学的方法による心電図同期心イメージング.
Radiol Medicine 3 (3) 226-232, 1984
- No.21 10月 外山比南子：
シングルファントン断層法におけるソフトウェア開発.
Isotope News 10 : 6-9, 1984
- No.22 11月 北川俊夫：
陽子線治療とその課題.
粒子線医学, No.10 : 4-6, 1984

- No. 23 4月 北川俊夫：
筑波大学における陽子線治療の現況.
映像情報, 16 : 361-366, 1984
- No. 24 8月 北川俊夫：
筑波大学における陽子線療法.
放射線科, 4 : 119-123, 1984

著 書

- No. 1 1月 秋貞雅祥：
放射線診断 軟部,
放射線医学大系. 四肢骨盤Ⅱ, pp.229-252, 中山書店, 1984
- No. 2 3月 平松慶博：
泌尿器・生殖器・後腹膜,
新臨床X線診断学(大沢忠編), pp.365-412,
医学書院, 東京, 1984
- No. 3 3月 平松慶博：
小児,
新臨床X線診断学(大沢忠編), pp.621-675, 医学書院, 1984
- No. 4 6月 平松慶博：
胸部X線写真の撮り方と読み方,
日経メディカルX線篇, pp. 5-16, 日経メディカル, 1984
- No. 5 8月 平松慶博：
国試からみた放射線科学.
中学医学社, 1984
- No. 6 9月 平松慶博：
副甲状腺疾患および腎疾患.
放射線医学大系, 四肢・骨盤Ⅰ, pp.162-173, 1984
- No. 7 11月 平松慶博：
腎・X線診断,
腎・副腎・尿路疾患の画像診断(平松京一編),
pp. 8-39, 南江堂, 1984
- No. 8 4月 松本邦彦：
画像診断のための疾患図譜.
乳房, 甲状腺, pp.116-125, メジカルビュー社, 1984
- No. 9 9月 北川俊夫：
放射線療法の器械(Cancer therapy manual). 358-368,
秋季増刊通巻517号59年9月11日発行 日本臨床, 東京, 1984
- No. 10 10月 北川俊夫：
放射線療法と化学療法(癌制圧法).
新興医学, 365-372, 東京, 1984

学会発表（シンポジウム、特別講演を含む）

- No. 1 3月 武田徹, 松田光生, 桑子賢司, 小川剛, 鮎坂隆一, 垣花昌明, 杉下靖郎, 伊藤巖, 秋貞雅祥, 赤塚雅祥：
心筋血液灌流解析により虚血部位が明らかになった PDA に合併した congenital coronary a-v fistula の一例。
第28回臨床心電図学会, (福岡), 3月, 1984
- No. 2 3月 倉本憲明, 大島統男, 東野英利子, 井島宏, 秋貞雅祥：
四肢動脈閉塞性疾患に伴う潰瘍性病変の核医学的検討。
第20回核医学関東甲信越地方会, (東京), 3月, 1984
- No. 3 3月 飯田要, 大島統男, 武田徹, 松田光生, 鮎坂隆一, 杉下靖郎, 伊藤巖, 秋貞雅祥：
Radionuclide angiography を用いた虚血性心疾患患者の左室拡張機能の評価—特に運動負荷に対する Nifedipine の効果について。
第20回核医学関東甲信越地方会, (東京), 3月, 1984
- No. 4 3月 武田徹, 松田光生, 小川剛, 桑子賢司, 杉下靖郎, 赤塚孝雄：
Digital subtraction angiography による心筋血液灌流状態の定量化。
第48回日本循環器学会, (福岡), 3月, 1984
- No. 5 3月 中島禎一, 秋貞雅祥：
造影リンパ節像と病理との対比。
第43回日本医放学会, (松本), 3月, 29-31, 1984
- No. 6 4月 兵藤一行, 赤塚孝雄, 楠本敏博, 横田浩, 武田徹, 秋貞雅祥：
DSA 画像の画質改善とその評価。
第23回ME学会, (東京), 4月, 29-31, 1984
- No. 7 5月 秋貞雅祥：
Digital 画像手法の基礎と応用。
茨城県技術学会特別講演, (大洗), 5月, 13, 1984
- No. 8 6月 中島禎一, 秋貞雅祥：
ラットの造影における画像的評価。
第12回関東甲信越リンパ研究会, (東京), 6月, 14, 1984
- No. 9 6月 秋貞雅祥：
サイクロトロン核医学およびその関連領域
核医学技術関東地方会, (土浦), 6月, 23, 1984
- No. 10 7月 Akatsuka T., Matsuda M., Takeda T., Kuwako K., Sugishita Y., Akisada M.：
Cardiac image analysis corresponding to physical parameters.
ISMII, Washington D.C. 7月, 24-27, 1984
- No. 11 8月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 岸野秀則, 丸橋晃, 赤塚孝, 安藤正海, 小西圭介, 豊福不可依, 西村克之, 竹中栄一, 長谷川伸：
放射光を用いたエネルギーサブトラクションに関する基礎的研究。
第3回医用画像工学シンポジウム, (東京), 8月, 2-3, 1984

- No.12 8月 武田徹, 佐藤実, 赤塚孝雄, 松田光生, 秋貞雅祥：
Digital subtraction angiography を用いた心動態解析。
第3回医用画像工学シンポジューム, (東京), 8月, 2-3, 1984
- No.13 8月 Akisada M., Hyodo K., Ando M., Kohra T.：
On the clinical application of SOR Xray : digital energy subtraction method.
Prof. Rubenstein, E. を囲んで(東京) 8月, 9, 1984
- No.14 9月 小西圭介, 豊福不可依, 西村慢之, 秋貞雅祥, 丸橋晃, 兵藤一行, 岸野秀則, 竹中栄一, 長谷川伸, 謙訪昭夫, 安藤正海：
第48回日本医学会物理部会, (道後), 9月, 13, 1984
- No.15 9月 武田徹, 松田光生, 小川剛, 花垣昌明, 鮎坂隆一, 富沢巧治, 杉下靖郎, 伊藤巖, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄：
Digital subtraction angiography による局所心筋血流状態の定量的解析。
第29回臨床心臓図学会, (東京), 9月, 1984
- No.16 10月 福田潔, 木村敬二郎, 大塚盛男, 吉沢靖之, 長谷川堯, 渡辺宏, 長谷川鎮雄, 秋貞雅祥：
慢性閉塞性肺疾患を合併する肺癌の局所肺機能障害及び代償機能に関する ^{133}Xe 法による検討。
第25回肺癌学会, (東京) 10月, 30-31, 1984
- No.17 10月 秋貞雅祥, 兵藤一行, 丸橋晃, 小西圭介, 豊福不可依, 西村克之, 長谷川伸, 謙訪昭夫, 竹中栄一, 安藤正行：
放射光を用いた K-edge subtraction に関する基礎的検討。
第347回日本医学会関東部会, (東京), 10月, 20, 1984
- No.18 11月 武田徹, 赤塚孝雄, 松田光生, 杉下靖郎, 秋貞雅祥：
造影剤を用いない DSA による壁運動解析の試み。
第4回医療情報連合大会, (東京), 11月, 29-12, 1984
- No.19 11月 秋貞雅祥：
放射光を利用した医用画像—血管撮影への応用—。
第2回PFシンポジューム, (筑波), 11月, 1-2, 1984
- No.20 12月 秋貞雅祥：
放射光(SR)による冠動脈造影のヨウ素K吸収端を利用した IVDSA に関する基礎的研究。
第21回心臓放射線研究会, (東京), 12月, 1, 1984
- No.21 3月 岸野秀則, 平松慶博, 秋貞雅祥, 早川吉則, 赤塚孝雄, 稲田哲雄, 泊川一之：
Dual energy CT による甲状腺疾患診断。
第43回日本医学会, (松本), 3月, 29-31, 1984
- No.22 10月 武田徹, 石川演美, 桦原謙, 佐藤昌仁, 嶋山六郎, 秋貞雅祥, 増田義重, 大菅俊明：
腫瘍血栓検出に血栓シンチグラムが有用であった1例。
第24回日本核医学会, (福島), 10月, 18-20, 1984

- No.23 3月 兵藤一行, 鈴木正慶, 丸橋晃, 秋貞雅祥, 赤塚孝雄, 稲田哲雄:
 陽子線ラジオグラフィーに関する基礎的検討：
 第43回日本医放学会, (松本), 3月, 29-31, 1984
- No.24 9月 西村竹之, 小西圭介, 豊福不可依, 兵藤一行, 丸橋晃, 秋貞雅祥, 長谷川伸, 諏訪昭夫, 竹中栄一, 安藤正海：
 単色化 SOR によるエネルギーサブトラクション冠状動脈造影の基礎的検討。
 第48回日本医放学会物理部会, (道後), 9月, 13, 1984
- No.25 3月 大原潔, 石川演美, 秋貞雅祥, 北川俊夫, 広川裕, 早川吉則, 稲田哲雄：
 照射計画における1つの試みについて。
 第43回日本医放学会, (松本), 3月, 1984
- No.26 9月 大原潔, 丸橋晃, 石川演美, 秋貞雅祥, 北川俊夫, 稲田哲雄, 早川吉則：
 陽子線照射計画の1つの試み。
 第22回日本癌治療学会総会, (東京), 9月, 1984
- No.27 9月 更科広実, 轟健, 折居和雄, 岩崎洋治, 大原潔：
 直腸癌における術前照射と抗癌剤局注併用療法の治療成績。
 第22回日本癌治学会, (東京), 9月, 1984
- No.28 9月 吉井与志彦, 牧豊, 能勢忠男, 中川邦夫, 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃：
 脳腫瘍に対する陽子線治療の試み(第一報)。
 第22回日本癌治学会, (東京), 9月, 1984
- No.29 9月 福田廣志, 根本一男, 石橋利文, 吉江信夫, 大橋徹, 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃：
 舌癌に対する陽子線治療の試み。
 第22回日本癌治学会, (東京), 9月, 1984
- No.30 9月 金子実, 重光貞彦, 斎藤正博, 庄司誠, 西田正人, 岩崎寛和, 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 丸橋晃：
 子宮頸癌に対する陽子線療法の試み。
 第22回日本癌治学会, (東京), 9月, 1984
- No.31 9月 金子道夫, 澤口重徳, 大川治夫, 仁科孝子, 池袋賢一, 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃：
 小児悪性腫瘍に対する陽子線照射療法の試み。
 第22回日本癌治学会, (東京), 9月, 1984
- No.32 9月 岡村隆夫, 轟健, 高田彰, 岩崎洋治, 大原潔, 石川演美, 丸橋晃, 北川俊夫, 稲田哲雄, 小形岳三郎, 土井幹雄：
 原発性肝癌に対する照射療法—術中照射並びにプロトン照射の経験—。
 第22回日本治学会, (東京), 9月, 1984
- No.33 2月 吉沢利弘, 金沢一郎, 中西孝雄, 斎田幸久, 黒崎喜久：
 小脳テント周囲硬膜下血腫の1例。
 第88回日本神經学会関東地方会, (東京), 2月, 1984

- No. 34 10月 倉本憲明, 齋田幸久, 平松慶博, 秋貞雅祥：
大坐骨孔の CT. 第347回日本医放学会関東部会, (東京), 10月, 20, 1984
- No. 35 5月 黒崎喜久, 海老原玲子, 鈴木恵子：
鼓室上陥凹の前壁について. 第343回日本医放学会関東地方会, (東京), 5月, 1984
- No. 36 6月 池田博夫, 福田信男, 館野之男, 飯沼武, 鳥居伸一郎, 松本邦彦, 青木芳穂, 江原正明：
NMR-CT により放射線治療後の反応が疑われた症例について. 第344回日本医放学会関東地方会, (東京), 6月, 1984
- No. 37 8月 Matsumoto K., Hiramatsu Y.：
Paraquat lung. 韓日放射線医学学術大会, (ソウル), 8月, 1984
- No. 38 10月 松本邦彦, 兵藤一行, 池平博夫, 鳥居伸一郎, 福田信男, 館野之男：
NMR-CT による臓器体積の測定—基礎的研究—. 日本核医学会, (福島), 10月, 1984
- No. 39 10月 福田信男, 池平博夫, 山根昭子, 飯沼武, 脇野之男, 鳥居伸一郎, 松本邦彦, 上嶋康裕, 森脇正司：
NMR 映像と解剖学的構造との反応—信号強度分布曲線の解析による検討—. 日本核医学会, (福島), 10月, 1984
- No. 40 10月 福田信男, 池平博夫, 山根昭子, 飯沼武, 脇野之男, 鳥居伸一郎, 松本邦彦, 山崎達男, 上嶋康裕, 森脇正司：
NMR 緩和曲線の解析による脂肪量評価の可能性の検討. 日本核医学会, (福島), 10月, 1984
- No. 41 10月 池平博夫, 福田信男, 山根昭子, 遠藤真広, 松本徹, 飯沼武, 館野之男, 鳥居伸一郎, 松本邦彦：
NMR-CT の臨床評価(第三報). 日本核医学会(福島), 10月, 1984
- No. 42 10月 池平博夫, 福田信男, 山根昭子, 遠藤真広, 松本徹, 飯沼武, 龍野之男, 鳥居伸一郎, 松本邦彦：
NMR-CT の臨床評価(第四報). 日本核医学会(福島) 10月, 1984
- No. 43 10月 池平博夫, 福田信男, 山根昭子, 遠藤真広, 松本徹, 飯沼武, 館野之男, 鳥居伸一郎, 松本邦彦：
NMR-CT による T_1 値の臨床的評価. 日本核医学会(福島), 10月, 1984
- No. 44 11月 中島禎一, 松本邦彦, 平松慶博, 秋貞雅祥：
骨リンパ管腫症. 第13回臨床小児放射線研究会, (神戸), 11月, 20, 1984

- No.45 2月 久保田進, 荒居龍雄：
コンピュータによるリンパ節転移の予測。
第1回放射線システム治療研究会学術総会, (東京), 2月, 1984
- No.46 2月 中村謙, 遠藤真広, 古川重夫, 飯沼武, 久保田進, 青木芳龍：
放医研治療計画用 CT ビームポインタシステムの位置決め精度。
第1回放射線システム治療研究会学術総会, 2月, 1984
- No.47 3月 望月幸夫, 久保田進, 兼平千裕, 山下孝, 牧野元治：
放射線治療における容積一時間一線量関係の一元的指標について。
第43回日本医放学会, (松本), 3月, 1984
- No.48 3月 中村謙, 古川重夫, 遠藤真広, 飯沼武, 久保田進, 青木芳龍：
放医研 CT ビームポインタシステムを用いた3次元治療計画。
第43回日本医放学会, (松本), 3月, 1984
- No.49 3月 中野隆史, 久保田進, 森田新六, 荒居逆雄：
RALS による子宮頸癌の放射線治療。
第43回日本医放学会, (松本), 3月, 1984
- No.50 3月 外山比南子, 山田英夫, 田中栄一, 大石幸彦, 村田啓：
荷重逆投影法による SPECT イメージの定量性の検討。
第43回日本医放射線学会, (松本), 3月, 1984
- No.51 8月 外山比南子, 細羽実, 田中栄一, 村山秀雄, 村田啓, 山田英夫：
SPECT による臓器容積算出。
第3回医用画像工学シンポジウム, (東京), 8月, 1984
- No.52 10月 北川俊夫, 稲田哲雄, 大原潔, 秋貞雅祥：
筑波大学における陽子線治療について。
第347回日本医放学会関東部会, (東京), 10月, 20, 1984
- No.53 10月 北川俊夫：
肺癌の放射線治療の今後の動向。
茨城県臨床肺癌研究会, (水戸), 10月, 23日, 1984
- No.54 10月 北川俊夫：
筑波大学の陽子線治療について。
日本医放学会関東地方会, (東京) 10月20日, 1984
- No.55 11月 北川俊夫：
筑波大学における陽子線治療。
第16回放医研シンポジウム, (千葉), 11月29日, 1984
- No.56 4月 有本卓郎, 溝江純悦, 鎌田正, 辻井博彦, 入江五郎：
Tandem 1本線源による子宮頸癌の放射線治療。
第43回日本医放学会, (松本), 1984
- No.57 11月 有本卓郎, 溝江純悦, 鎌田正, 辻井博彦, 入江五郎：
子宮頸癌放射線治療における急性一晩発障害の関連。
第71回日本医放学会北日本地方会, (仙台), 1984

No. 58 6月 有本卓郎, 辻井博彦, 白土博樹, 鎌田正, 溝江純悦, 入江五朗:
子宮頸癌における CT 計測値と予後との関連.
第70回日本医放学会北日本地方会, (札幌), 1984

班研究報告

- No. 1 1月 文部省がん特1 (58010013) 秋貞班:
加速器產生放射性核種によるがん診療の基礎的研究,
(班員) 秋貞雅祥:
 ^{14}C モノヨード酢酸の担がん動物における体内分布
文部省研究報告集録, (昭58癌 pp.60-65)
- No. 2 1月 文部省がん特1 (58010006) 坂本班:
高 LET 放射線によるがん治療及び診断の基礎的研究.
(班員): 秋貞雅祥:
陽子線診断の基礎的研究.
文部省研究報告集録 (昭58癌, pp.31)

- No. 3 3月 厚生省がん研究助成 (58, 59年度) 秋貞班 (58-42):
高エネルギー粒子線を用いたがんの診断および治療装置の開発
報告書 pp.1-135, 昭和60年3月)
班員: 秋貞雅祥: (プロトンラジオグラフィー装置の開発)

- No. 4 3月 一般研究 (B) 57460128, 赤塚班:
動態画像の画像解析に関する実践的研究.
1. 武田徹, 松田光生, 赤塚孝雄, 桑子賢司, 杉下靖郎, 秋貞雅祥:
DSA を用いた心筋灌流の解析, pp45-57
2. 武田徹, 松田光生, 桑子賢司, 秋貞雅祥:
心筋血液灌流解析による診断の症例, pp59-67
3. 佐藤実, 武田徹, 井戸川徹, 秋貞雅祥:
左心室運動の位相関係の解析, pp80-87
4. 兵藤一行, 赤塚孝雄, 秋貞雅祥:
DSA を用いた血液量計測に関する基礎的研究, pp103-119

- No. 5 月 一般研究 (A) 59440049, 58-59-60年度 秋貞雅祥:
1粒線医学センターにおけるプロトンラジオグラフィーの基礎および臨床的研究.

- No. 6 3月 秋貞雅祥:
陽子線診断.
筑波大学粒子線照射技術研究会, (東京), 3月17, 1984

- No. 7 月 試験研究 (1) 59870038 秋貞班:
SOR X線の診断への利用.
- No. 8 月 がん特I 鳥塚班,
加速器產生放射性核種によるがん診断の基礎的研究.
班員: 秋貞雅祥:
[^{14}C] モノヨード酢酸の合成および担がん生体への投与.

No. 9 4月 秋貞雅様、小形岳三郎：

筑波大学学内プロ特定研究1026,
医療における画像情報処理

その他（放送、座談会、講演会などで学術的なもの）

No. 1 4月 秋貞雅様：

日本の放射線科医の事情。

北米医学放射線学会（RSNA）の事業活動調査団第1次報告書
(医用画像工学研究会、日米医用技術調査部会), pp 166-171
4月, 1984

No. 2 12月 秋貞雅様：

放射線医学の普遍則。

放射線医療大系月報「生命の科学」中山書店, 12月, 25, 1984

No. 3 10月 秋貞雅様：

随想。

核医学20周年記念号, p. 15, 1984

No. 4 2月 平松慶博：

外科臨床医のための放射線診断。

第117回茨城外科集談会、筑波大学, 1984

No. 5 2月 平松慶博：

腎・尿路（前立腺を含む）疾患の CT 診断、全身の Computed tomography,
第342回メディカルセミナー、(東京), 1984

No. 6 6月 平松慶博：

総合画像診断。

第23回全国自治体病院学会臨床医学・放射線合同特別講演,
(松山市), 1984

No. 7 11月 平松慶博：

腹部 CT について。

宮崎県外科医会秋期講演会、(宮崎市), 1984

No. 8 2月 外山比南子：

核医学領域への電算機利用。

昭和58年度診療放射線技師卒後教育講習会(厚生省), 2月, 1984

No. 9 9月 Toyama H.:

Data processing (Study meeting).

Group training course in medical and biological application
of radiation and radioisotopes 9月, 1984

1984年（臨床病理グループ）

原 著

- No. 1 4月 岡野芳幸, 菅谷孝雄, 神園和幸, 石島道郎, 長門京子, 伊藤祥枝, 堀越晃, 村井哲夫：
Sarcosine oxidase による血清クレアチニン測定法の日立 706D 型自動分析機への
応用,
機器, 試薬 7 (2) : 321-324, 1984
- No. 2 4月 飯塚義明, 蛾原紀枝, 仲村妙子, 藤代典子, 沢畠辰男, 村井哲夫：
溶血性レンサ球菌の血清群別と抗菌力について.
機器, 試薬 7 (2) : 467-472, 1984
- No. 3 5月 村井哲夫, 及川淳, 藤崎洋子：
血清中アミノペプチダーゼ活性測定の臨床的意義について.
第3報, 酵素阻害剤による LAP, AA, CAP 分離定量法の検討.
Lab, Clin Pract 2 : 30-44, 1984
- No. 4 8月 村井哲夫, 小池益史, 及川淳：
血清中アミノペプチダーゼ活性測定の臨床的意義の解明,
第4報, 多変量解析による他酵素との関係の観察,
臨床病理 32 (8) : 869-874, 1984
- No. 5 8月 長沢秀子, 上野芳子, 村井哲夫：
尿検査試薬「ウリニース M」の評価.
機器, 試薬 7 (4) : 751-758, 1984
- No. 6 8月 Murai T., Oikawa K., and Fujisaki Y. :
Elucidation of the clinical importance of measuring aminopeptidase activity
in the serum (I: Distinction between leucine aminopeptidase (LAP),
arylamidase (AA) and cystine aminopeptidase (CAP) according to the
difference in substrate specificity).
LAB. J. Res. Lab. Med., XI, (3) : 235-240, 1984
- No. 7 8月 Murai T., Oikawa K and Fujisaki Y. :
Elucidation of the clinical importance of measuring aminopeptidase activity
in the serum (II: Distinction between leucine aminopeptidase (LAP),
arylamidase (AA) and cystine aminopeptidase (CAP) as determined by
mini-column chromatography and electrophoresis).
LAB, J. Res. Lab. Med., XI, (3) 241-244, 1984
- No. 8 9月 桑克彦, 堀越晃, 村井哲夫, 及川淳：
イオン選択性電極直接法によるリファレンスの条件設定.
オリンパス NAKL-2 における Na^+ K^+ 濃度の同時測定,
JJCLA 9 (S) : 32, 1984
- No. 9 10月 村井哲夫, 小池益史, 及川淳：
血清中アミノペプチダーゼ活性測定の臨床的意義の解明.
第5報. 因子分析による検討, 臨床病理 32 (10) : 1137-1142, 1984

- No.10 10月 沢畠辰男, 佐藤美紀, 蛍原紀枝, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫, 及川淳:
細菌検査データのコンピュータによる統計処理の効果.
臨床病理 32 (S) : 125, 1984
- No.11 10月 吉田悦子, 村井哲夫, 及川淳, 堀越晃:
血清グアナーゼ活性とその他逸脱酵素との関係.
臨床病理 32 (S) : 257, 1984
- No.12 10月 吉本元明, 榎本孝一, 村井哲夫:
Coulter SP V 型装置白血球データの臨床的意義.
臨床病理 32 (S) : 327, 1984
- No.13 11月 村井哲夫, 及川淳:
血清中酵素活性値を用いた肝疾患の判別分析.
第4回医療情報学連合大会論文集, 168-169, 1984
- No.14 12月 村井哲夫, 小池益史, 田内一民, 及川淳:
判別分析による血清中酵素活性に基づく肝疾患分類の試み.
臨床病理 32 (12) : 1361-1363, 1984

総 説

- No. 1 2月 村井哲夫:
アイソザイム分析の臨床的意義.
月刊保団連 No 195 : 2-8, 1984
- No. 2 5月 村井哲夫:
髄液の一般検査.
Medical Technology 12 (5) : 405-408, 1984
- No. 3 8月 村井哲夫:
医療情報システムにおける検査センターの役割.
荏原医師会会誌 93 : 8-9, 1984
- No. 4 12月 村井哲夫:
中性脂肪.
Medicina 21 (12) : 臨時増刊号, 2320-2322, 1984

著 書

- No. 1 8月 村井哲夫:
検査部情報処理システム.
臨床 ME ハンドブック (日本エム, イー学会編)
pp.696-697, 医学書院 (東京), 1984
- No. 2 8月 村井哲夫:
その他の検査法.
臨床 ME ハンドブック (日本エム, イー学会編)
pp.686-687, 医学書院 (東京), 1984

No. 3 12月 村井哲夫 訳：

臨床検査データに解釈をつけた報告. Dennis B. Dorsay

臨床検査とコンピュータ（河合忠他編）

pp.9-18, 医典社, (東京), 1984

学会発表（シンポジウム, 特別講演を含む）

No. 1 9月 素克彦, 堀越晃, 村井哲夫, 及川淳：

イオン選択性電極直接法によるリファレンスの条件設定. オリンパス NAKL-2における Na^+ , K^+ 濃度の同時測定.

日本臨床検査自動化学会第16回大会, (東京), 9月, 1984

No. 2 10月 沢畠辰男, 佐藤美紀, 蛾原紀枝, 藤代典子, 飯塚儀明, 村井哲夫, 及川淳：

細菌検査データのコンピュータによる統計処理の効果.

第31回日本臨床病理学会総会 (金沢), 10月, 1984

No. 3 10月 吉田悦子, 村井哲夫, 及川淳, 堀越晃：

血清グアナーゼ活性とその他逸脱酵素群との関係.

第31回日本臨床病理学会総会 (金沢), 10月, 1984

No. 4 10月 吉本元明, 榎本孝一, 村井哲夫：

Coulter SP V型装置, 白血球データの臨床的意義.

第31回日本臨床病理学会総会 (金沢), 10月, 1984

No. 5 11月 村井哲夫, 及川淳：

血清中酵素活性値を用いた肝疾患の判別分析.

第4回医療情報学連合大会 (東京), 11月, 1984

あとがき

従来の方式により編集を行いました。お気づきの点がありましたら、明年度のためお知らせ下さいますようお願い致します。なお編集にあたり多大の協力を得ました柴美津江嬢に深謝致します。

昭和61年3月

編集担当

大 菅 俊 明
柏 木 平 八 郎
山 下 亀 次 郎